

日中笹川医学研究者制度の18年 別冊

アンケート自由意見の記録

2004年10月

財団法人 日中医学協会
日中笹川医学研究者制度検討委員会

はしがき

本委員会は日中笹川医学研究者制度の今日までの18年間の成果を評価するに当たり、指導責任者、研究者、特別研究者、中国派遣機関を対象とするアンケート調査を実施した。

回収状況及び設問内容は別記の通りであるが、本調査においては選択形式の他に、「自由意見」として帰国後の状況、本制度に対する評価、印象、将来の在り方、更には日中医学交流の将来に関する記入欄を設け回答を求めた。その結果、選択肢による設問では得難い、率直かつ具体的な意見が寄せられた。本制度の実施に携わる者として、厳粛に受け止めるべき内容をも含んでおり、また、今後の日中医学交流に有益な示唆を与えるものと考え、その抜粋を報告書別冊としてまとめた。

2004年10月

日中笹川医学研究者制度検討委員会

委員長 杉本恒明

目 次

| | |
|-----------------------------|-----|
| 1. アンケート調査概要 | 1 |
| 2. 指導責任者の自由意見（研究者） | 3 |
| 3. 指導責任者の自由意見（特別研究者） | 83 |
| 4. 研究者の自由意見 | 95 |
| 5. 特別研究者の自由意見 | 154 |
| 6. 中国派遣機関の自由意見（研究者） | 164 |
| 7. 中国派遣機関の自由意見（特別研究者） | 187 |

注：自由意見要旨欄の氏名記載について

- ① 指導責任者についてはご同意を頂いた方のみ回答者欄に氏名・所属を記載した。
上段は研究者受入れ時のものであり、下段はアンケート回答者の現役職である。
- ② 回答者氏名の記載にご同意の無かった方については「—」印で表記した。
- ③ 研究者・特別研究者・中国派遣機関からの回答は無記名とし、回答者ごとに点線で区別した。

1. アンケート調査概要

(1) 発送数及び回収数

| | |
|------|---------|
| 総発送数 | 3,247 通 |
| 回収数 | 1,588 通 |
| 回収率 | 48.9% |

研究者（1期～25期）

| | 総数 | 発送数 | 回収数 | 回収率 |
|--------|-------|-------|-----|-------|
| 指導責任者 | 1,180 | 1,042 | 648 | 62.2% |
| 研究者 | 1,385 | 1,343 | 533 | 39.7% |
| 中国派遣機関 | 413 | 413 | 171 | 41.4% |

特別研究者（1期～11期）

| | 総数 | 発送数 | 回収数 | 回収率 |
|--------|-----|-----|-----|-------|
| 指導責任者 | 158 | 154 | 105 | 68.2% |
| 研究者 | 160 | 160 | 85 | 53.1% |
| 中国派遣機関 | 135 | 135 | 42 | 31.1% |

(2) アンケート設問の要旨

1. 指導責任者（特別研究者指導責任者）に対するアンケート

- (1) 研究者は、貴施設での研究により（特別研究者は再来日により）成長したとお考えですか。
- (2) 研究者（特別研究者）は、貴施設に寄与し、貴施設での仕事は進展しましたか。
- (3) 研究者（特別研究者）との帰国後の連携について。
- (4) 日中笹川医学研究者制度（特別研究者制度）をどのように評価されますか。
- (5) 日中笹川医学研究者制度（特別研究者制度）について、特に印象に残った事項をご記入下さい。
- (6) 日中医学交流の将来に対するご意見をご記入下さい。

2. 笹川医学奨学金制度で来日した研究者（特別研究者）に対するアンケート

(1) 帰国後の状況

- 1) 帰国後、日本での所属研究機関、指導責任者、同僚との交流はありますか。
- 2) 笹川研究者（特別研究者）当時在籍した所属機関以外に、現在交流を行っている日本の研究機関、団体はありますか。
- 3) 研究者としての来日前後に、中国での所属・役職の変更はありましたか。
- 4) 笹川医学研究者制度研究者（特別研究者）としての経歴は現在の活動に役立っていますか。
- 5) 帰国後、研究・学会参加・留学（滞在3か月以上）その他学術交流の目的で日本に来たことがあ

りますか。

- 6) 帰国後、研究・学会参加・留学（滞在3か月以上）その他学術交流の目的で日本以外の国に行ったことがありますか。
- (2) 笹川医学研究者制度（特別研究者制度）をどのように評価されますか。
- (3) 笹川医学研究者制度（特別研究者制度）について、特に印象に残った事項をご記入下さい。
- (4) 笹川医学研究者制度（特別研究者制度）の将来に対するご意見ご希望をお聞かせ下さい。

3. 研究者（特別研究者）の中国派遣機関に対するアンケート

- (1) 帰国後、研究者は成長しましたか。
状況を具体的にご記入下さい
- (2) 笹川研究者（特別研究者）の日本での研究・経験は、現在の貴施設の活動に役立っていますか。
- (3) 日本における研究内容は中国でも継続して行われていますか。
- (4) 笹川医学奨学金制度（特別研究者制度）についてのご意見、ご希望をお聞かせ下さい。
- (5) 日本との医学交流の将来について、ご意見ご希望をお聞かせ下さい。

以上

2. 指導責任者の自由意見（研究者）

第1期

将来：日本で勉強したいという意欲のある人を受け入れることが必要であろう。

評価：この時期に、若手研究者を招請して、日本で洋医に接触したことは大変有益だった。10年後北京の会に出席し、受け入れた研究者にお会いしたが、来日した諸先生方が中国医学界の指導的立場にあり、各方面で活躍されているのが実感できた。現在我が国で漢方医学が見直されてきていますが、この面からも相互交流は有意義であったと思う。

印象：第1回の研修生来日時の歓迎会。当時の首相である中曽根氏も出席し、笹川会長と鏡割りを行って研究者たちを歓迎したことは、この制度に対する期待が現れていたと思う。この精神を10年間続けられたのが本制度の意義であろう。

将来：本制度開始時は、日中の医学研修は6:4か7:3で日本が中国に教えるということであったと思う。この比率を前にして日本が中国から学ぶものは何かを考える時期ではないか。単に日本が中国医学を学ぶということだけでなく、その発想、物の考え方、実証方法などを学ぶということである。

評価：通常では日本での勉強の機会は得られなかったであろう非常によい制度である。

将来：中西合体は素晴らしい福音をもたらしてくれるものと期待したい。

評価：全体的には有益であると思う。

評価：私共の研究の相性という点ではミスマッチであったと思いますが、結果がよい方向へ進んだことを考えると、受け入れ側にも問題があったのではないかと考えます。制度自体は極めて有意義。

印象：最近是中国側研究者の質が変わってきているように思います。協会関係者の努力が大きいことに敬意を表します。

将来：北京から遠く離れた地方にもこの制度の実施状況が伝えられることを期待しています。

評価：日中笹川医学研究者制度で優秀な研究者と共同研究できたことに感謝している。ここで得られた研究成果は中国へフィードバックして、労働者の健康保持や予防医学的貢献するのみでなく学問的にも重要な知見を社会へ還元できるものと考えている。この制度がなければこのような貴重な機会を得ることが出来なかった。この共同研究は今日も続いており、私のライフワークになっている。

印象：この制度の最大の利点は、研究者の生活が保証されていることである。これらの不安がないために研究や勉強に専念できるために、本来の目的とする成果を上げて帰国することが出来る。受け入れ側から見ても生活の面倒見ることなく研究指導のみに専念できる利点がある。

将来：少なくとも私と受け入れた研究者は共に互いに尊敬し合い、目的に向かって良好な研究生を送ることが出来た。中には必ずしも研究者と指導教官が上手くいってない場合も聞く、この制度に応募する際には互いに研究目的や受け入れ態勢をよく調査する方法が必要と考えられる。

評価：受け入れた研究者は、欧米留学へのワンステップとして日本留学を試みたと考えられる。

将来：中国のカウンターパートがどのようにして日本への研究留学先を選んでいるのか公表されたい。受け入れ側の研究者募集リストを中国側へ示しておられるのでしょうか？任意的、個人的コネクションによるのですか？

印象：組織的で大規模な人事交流

将来：段々と Competitive になっていくのではないのでしょうか。

評価：この時期に大規模な中国医留学制度が発足し、その後長年に涉り継続していることは誠に意義深く適切な制度であると考ええる。

印象：制度については、ほぼ適当という印象を持っている。

将来：1987年受け入れ当時に較べ中国の経済発展は目覚ましく、人の考え方も大きく変化している。将来は一層対等な立場での医学交流が要求されて来るものと予想される。両国のあらゆる関係を良好に保っていくためには、医学交流は重要な役割を果たすものと考ええる。

評価：時間が短かすぎる

印象：留学生は奨学金を得て良いが、受け入れ側の負担は大きい。

将来：中国は経済力をつけてきており、時代は変わりつつあるので日中医学交流も質を変えるべきでしょう。

評価：言葉のハンディキャップによる相互理解に支障を来したことがあった。日常生活における物質面を含めたカルチャーショックを受けている様子が窺えた。そのような中で、昔我々が欧米に留学したときの経験がそうであったように、帰国して生かされる何かがあったと思われる。

印象：私が担当した研究生は、当時の私とあまり年齢差のない医師であった。何故このような中年に近い人が選ばれるのか疑問に感じた。結局日中友好程度で終わり、日本での経験が彼のキャリアに大きく発展していくような結果にならなかったのは残念である。

将来：今後は日本が指導するという一方的な立場ではなくて、相互交流という形で、中国人の優秀な頭脳から日本側も学ぶ機会があるのが望ましい。

評価：「中国の医学レベルの向上に寄与したい」という当方の心情が無視され、滞在生活も勝手であり、迷惑であった。

将来：アジア諸国との交流は盛んにすべきと考えます。

評価：優秀な研究者に対して留学の機会が与えられる。

印象：特別研究者制度は有意義であった。

将来：今後とも継続して頂きたい。

評価：続けて頂きたい。

評価：4千年の歴史を持つ漢方医学と漢方薬物に関して、科学的な観点から研究を進めることは、現今でも、中西医結合の面で極めて重要な問題である。本研究者招聘制度の実効力を上げるためには、出来得れば奨学金支給期間を2～3年にまで延長し、大学院修士課程を修められる程度にされることが望ましい。

将来：日中笹川医学研究者制度も既に16年の歴史を経、現在年間100名に及ぶ研究者・特別研究者の招聘が行われていることは大変意義深いことで、これまでに果たしてきた成果も輝かしく大変喜ばしい事である。日本では博士研究者の奨学金制度が米英諸国に較

べて非常に貧しいのが現状であるが、それを補う意味で、本日中笹川医学研究者制度において、特別研究者の招聘を充実させることが望まれる。

――
――

評価：将来我が国と韓国・中国などが中心になってアジアの科学を欧米並みに立ち上げる必要があり、その為には中国が科学的に発展してくれないと困る。日中笹川医学研究者制度はその意味で重要である。

印象：中国側が一番優秀な人材を欧米に送り出し、その次の層を我が国に送り出すとされているように、我が国に来る中国人留学生の中で極めて優秀と思われる人が少ない。

将来：中国は大国であるので優秀な人材も多い、したがって我が国が中国と親密な交流を深め世界をリードしていく体制を作って欲しい。

――
――

評価：初期の頃は大変有用であった。

印象：発展するであろうと思われた国にこの制度を適用されたのは先見の明があった。

将来：お互いに交流し、発展することが望ましい。

第2期

――
――

評価：笹川研究者制度は、中国の医療・医学研究者にとって大きな励みとなったことは間違いない。

――
――

印象：研修より貯金では困る。

将来：日本の医学教育において「漢方」を取り入れていく方向にある、今後は中医看護を含めて相互交流を進めて欲しい。

――
――

評価：本制度による手厚い経済的援助の下、整った研究環境が提供され、本人の資質及び努力と相まって、国際的に通用する段階にまで到達することができた。一律に期間を一年に限定するのは不都合。一年ごとに再審査の上、3年程度まで更新継続できるなど、弾力的に運用できる制度が更に望まれる。

将来：今後は今日までの豊かな経験を踏まえて、研究者の受け入れ・派遣、研究会の開催などにとどまらず、多彩な日中医学交流に事業内容を拡充することが望ましい。

――
――

評価：中国人学生はほとんど全て真面目、勤勉で帰国後それぞれ大学病院で教育・研究・臨床で活躍している様子。日中笹川医学研究者制度は期待通りの成果を上げたと思っている。

将来：これまで有能な研究者（教員）の育成に果たしてきた我が国の努力は、今後とも続けていく意義は極めて重要と考える。

――
――

評価：研究者に日本の医学を学ばせるだけでなく、彼等が日本語を通じ日本の文化・風習を学び、日中の友好を進めることとなり、その意味でも価値が高い。

印象：受け入れ側の教官と彼等が一堂に会して、祝賀の会を開催したときの圧倒的な熱気が印象的だった。

将来：中国留学生の受け入れ制度がずっと継続されることが望ましい。

――
――

印象：研究者の身分など全て保証されているので受け入れ側は安心である。

――
――

評価：本制度によりはじめて外国人留学生が生活の不安なく、環境が整った。本制度を高く評価する。

――
――

評価：10年以上にわたって日中の医学交流に果たした役割は大きい。

将来：相互交流の方向を求めたい。

――
――

評価：私が受け入れた研究者は期待通り世界的に活躍している。私は医学部長をしており、国際交流を推進しているが、留学生の何人かが（たとえごく一部であっても）日本を理解し、かつ世界で活躍していただければ成功と考えている。

――
――

評価：日中の医学者の交流相互認識に大きく役立ってきた。

将来：今後も相互からの貴重な情報を日中の研究者・臨床医がスムーズに受け取れるようにして欲しい。

――
――

評価：多数の応募者の中から当人が選考されるに至った経緯について、受け入れ施設に情報がなかった。

印象：選考制度の仕組みについて知りたかった。例えば履歴書の記載について裏付けを取っているのかどうか等。

将来：続けて欲しい。受け入れ態勢（宿舍、研修人員、資料等）は整って来ている。

――
――

評価：私が受け入れた研究者は1年間の研究期間では十分な成果が得られないとして89年に再来日して研究を完成させ、博士の学位を取得して帰国し、教授に就任し、後進の指導に当たっている点で最も日中笹川医学研究者制度を有効に利用した研究者ではないかと思う。

印象：印象的なのは、研究者が1年間の研究を終え帰国し再来日してきた時、「日本で1年しか留学しなかった者はいつもアメリカ帰りの博士さんの手下になって下働きをしている。できれば私も日本で博士号を取って帰国後は指導的役割を果たしたい」と言っていたこと。数年後日中医学協会からのアンケートに答えてわたしも「年間の募集人数を1/3から1/4にして研修期間を3～4年に延ばしてほしい」と提案したのを覚えている。1992年度には特別研究者制度が設立され、文字通り指導者育成制度になっていることを嬉しくおもう。

将来：益々交流の輪を上げたい。

――
――

評価：この制度により研究の互いの進展が望まれ有益である。

印象：この制度を続けて欲しい。

将来：将来とも交流を続けて、医学シンポジウム等を時々行ってください。

――
――

評価：中国の社会・経済がまだまだ不安定な時期に、若手の医学者を大量に日本への留学の機会を与えた本制度は高く評価できる。しかし、日本の生活・研究に慣れてきた頃に留學生活が終わってしまい、成果が上がりにくい。私が受け入れた人は、たまたま大変な努力家であったため短期間でも比較的成果の上昇した希な例でなかったかと思う。

印象：研修と研究がなかなか区別できない。研修といっても実地治療に携われないなど、矛盾が多かったと思います。

将来：今までのように「日本で教育してあげる姿勢」はやめて「若い研究者を入れて交流を図る」方向に持っていくべきでしょう。

――
――

将来：中国研究者との交流ができた

――
――

印象：受け入れた研究者は言葉の問題もあってあまり発展が見られなかったが、他の所が受け入れた人は成果が見られた。制度自体はよいものと思っている。

第3期

――
――

評価：互いに国のこと、人のこと、研究内容について知り合うのに意義があった。

印象：若手研究者の交流に役立っています。

将来：研究期間（滞在期間）の延長をある程度認めて欲しい。

――
――

評価：中国の研究希望者にとって日本での技術の習得は極めて意義深いものであり、また我々にとっても文化交流、教育の面で有益である。

――
――

評価：目的をはっきりさせ、充分に人選（選考）をすれば意義があると思います。

――
――

印象：殆ど事故無く進展しつつあること。

将来：20年の後についてはお互いに知恵を出し合いたい。

――
――

将来：今後も重要な人材を養成する制度が必要である、是非継続されたい。

――
――

評価：医学研究・医療が国境を越えて交流可能であることを具体的・組織的に示したものとして高く評価できる。

印象：日本語を十分習得した人物を選んだこと。終了後母国に帰り貢献したこと。

将来：日中医学交流については一区切りしてもよいかと思うが、別の国を対象として同様な交流は可能ではないか。コメディカル領域の交流も考慮に値する。

――
――

印象：研究は可能であるがQOLは必ずしもよいとは言えない。

将来：留学生への手厚い処遇を希望します。

――
――

評価：中国の研究環境が充分ではない時代にはこの制度は有意義なものであったと思います。近年中国のレベルも上がり当制度の役目は一段落したものだと思っています。

印象：受け入れた研究者は滞在中は本当によく仕事をしました。これも日中医学協会からの援助が安心して研究に専念できる事を保証して下さったからだとおもいました。

--

--

評価：立場としても教授になり得る研究者であったが、その通り教授になり、かつ現在は管理運営の手腕を買われて副学長である。日本で学んだ研究の業績も大きかったと思われる。

将来：中国の優秀な研究者の中には日本留学をひとつのステップとして米国留学を目的としている場合がある。中国人側の自由だが日本の力の増強が望まれる。

--

--

印象：大変立派な制度と思う。ただ期間が短い、長期に涉って数多くの研究生・研修生を受け入れ、かつ事後に帰国した人々の学術集会を開催していることに感銘を覚えた。

将来：是非続けて欲しい。研究生・研修生が中国へ帰って、中国の学問・医療の充実発展のために役立つことを我々の喜びとすべきで、見返りを期待する必要はない。できれば期間を2～3年として頂きたい。

--

--

印象：他の奨学金制度に較べてあらゆる点でよいと思った。

将来：このようなシステムは今後も是非続けて欲しい。

--

--

評価：3人もお世話させて頂いたことを大変に光栄に思っています。

印象：中国が次第に門戸開放され、実力さえ有ればアメリカなどにも自由に行けるようになりました。残念ながら日本留学はまだアメリカほど人気がありません、受け入れた研究者は、結局はアメリカに活路を見いだそうとしました。かれは中国の所属機関で成績首席でした。現在彼の同級生の約30人がアメリカで研究者・医者として活躍しているそうです。

将来：研究・研修の成果を上げるには1年はあまりに短いと思います。将来は人数を絞っても、よい条件を与えて優れた人材を確保し、有る程度時間を与えて、それを高いレベルに教育することにより、日中の架け橋になれるような人物が生まれることにより、日中笹川医学研究者制度の発展につながるように思われます。これはリーダーを養成するのか、一般の医学レベルを上げるために平均的教育を施すのかの観点によるでしょう。

--

--

評価：中国の学術向上のため、将来の発展のため貢献していると考えます。米国のフルブライト奨学金のそれと似て、日本の若者を刺激し学術向上に精進できたことは評価できる。

印象：初期の研究者は90%優秀な人材であった。日中間の学術交流中最高のエリート集団と断言できた。しかし、10数年以後は次第に学力低下者や学問意欲に見劣りするところが見受けられ残念に思った。

将来：研究者は目的終了後帰国し、自国の学術向上に貢献することを確約させた方が交流目的が明確になる。選出は可能な限り厳正にし、未永くこの制度を残したい。

--

--

評価：貴制度の審査により来日した研究者は極めて優れた資質を持ち、両大学にとって得るものが多くあった。

--

--

評価：トップ層の厚さを感じる。日本が立場として研究者を養成しているが、近い内に追いつかれるのではないかと考えている。今後国境を越えて医学の領域で研究・診断面で手を携えて協力し合うことは必須であるが、それに先鞭を付けた貴協会に敬意を表したい。

--

--

評価：当時中国では学生の自由化運動と天安門事件があった時代で、研究者がその時期を日本で過ごし、日本から中国の状況を報道で見ることが出来たことは大変意義深い経験をしたと思う。その後の中国の発展に先見的な視野を入手できたと思っている。

--

--

印象：10周年記念で北京に行き2人の留学生と再会したことが印象的である

将来：最近の中国から日本への留学生は質が低下している。

--

--

評価：極めて意義深い制度であり、日中文化交流の中心的役割を果たして下さることをお祈りいたしております。

印象：極めて優秀な研究者・教育者と新しい関係が出来、お互いに学ぶことが大きかったと思います。受け入れた研究者は日本語の学力が抜群であったこともあり、本制度によって選ばれた優秀な人材は日本のよき理解者になると思う。

将来：新しい時代の日中医学交流を更に進展することが出来るよう希望いたします。

--

--

評価：若い中国人研究者の養成に寄与し、且つ両国の良好な国際関係の構築に寄与している。

将来：20代の若い研究者の招聘が特に望まれます。逆に40代以降の人は能力に問題が多いと聞きます。

--

--

評価：中国の若手の研究者に日本での研究の機会を与えると共に、その後のアフターケアを考慮している。また、日本の研究施設と中国との共同研究等の機会を提供し、その芽を育てる機会にも貢献している。

印象：留学生との交流の場を設けて、一般には途絶えがちになる研究交流に組織的な後押しを行い、日中の研究交流を支えている。

将来：大学院在学中に、共同研究の関係にある日中の施設間で1年の留学ないし交換留学制度等を設ける方向が、今後の中国の若手研究者が日本との共同研究に貢献してくれる可能性を高めるのではないかと。中国の大学院の指導者が日本との共同研究をする機会を設け、その共同研究の維持推進の基盤としての大学院生の交流事業の展開が期待されると思う。

第4期

--

--

評価：実のある国際交流であったと思う。

印象：民間の力で多数の留学生を受け入れたことは新鮮な驚きだった。

将来：留学生の希望と受け入れ側の興味が一致するよう努力し、期待を裏切らないことが重要であろう。

--

--

評価：今後も日中笹川医学研究者制度を継続して欲しい。

印象：重慶で学生と研究指導者の交流会がもたれ、意義有る制度を認識した次第です。

--

--

将来：出来れば第三次10年計画まで発展させて頂きたい。

--

--

評価：研究者にとって日本に留学したことは辛いこともあったかも知れないが、大きな財産になったと考えている。

--

--

評価：今後の日中友好交流、特に医学面での交流に対し、その基礎を確実にされた。これは歴史的にも有意義で、深く敬意を表する。

印象：この制度は常に計画性や組織性に留意されていて、研究者は安心して生活や研究に従事できた。

将来：中国は現在、医学のみならずあらゆる分野において素晴らしい発展が見られる。このような現状と、これからを見るとき、医学研究者の育成を支援・助成する制度は完了されるのがむしろ当然ではないでしょうか、ただ、日中医学協会は今後も続ける。それは日中笹川医学研究者制度で育った中国の方々と、それに関わって来た我々のために。

--
--
評価：中国の若い研究者が日本の薬学部の実状を知る機会として非常によい制度と理解して評価した。今後は受け入れ機関との交流・連絡が予めあることが望まれる。

印象：財団当局の世話のよく行き届いていたことに感心した。

将来：薬学部関係の分野も続けて交流が出来ることが望まれる。さらなる発展を祈る。

--
--
印象：問題は言葉です。日本語或いは英語が充分でないとコミュニケーションギャップが起こります。

将来：やはり言葉の問題が大きいです。

--
--
評価：大学院に入るきっかけを作ったことで充分意義はあった。その後当方からも中国医科大学に行き交流を計っている。

印象：我が国の奨学金に比べ金額が少なかったため色々金銭面で苦労した。

将来：笹川財団の学生は中の上といったところ、学力テストが無く語学中心の選抜方法にも問題があるかと思う。

--
--
評価：研究者は、帰国後も中国で活躍しており、研究者個人の知識・技能修得だけでなく、両国間の人的交流に大変役立っている。

印象：優秀な研究者に、本人の経済的負担なく研修の機会を与えることが出来る点で優れている。

将来：是非この制度を継続すると共に、更に受け入れ枠を増やすよう努力して頂きたい。

--
--
評価：1980年代は、中国においても基礎医学・臨床医学の発展は急速に進んだが、そのような時期に本制度の存在は極めて意義深いものであった。来日した研究者もその期待に十分応えた優秀な医師であった。

印象：研究員も研究に専心従事することが出来、受け入れ側の施設にとっても、本制度の存在は感謝すべき事であった。

将来：現在の中国は医学の分野においても、外国に留学した医徒が帰国し、先進医学並びに医療の進歩に尽くしていると聞いています。今後も本制度の存在は、両国の友好関係にも多くの貢献をするものと思います。

--
--
評価：中国の脳神経外科の普及・進歩に貢献したと思います。

将来：奨学金で来日した中国の脳神経外科医は、中国にて優秀な人達だと思いますので、日本で受け入れた機関をまとめた総合的組織を作り、一層の知識の交換の場を作ることを望みます。その組織は更に日・中・韓の脳神経医学の中核になればと願うものです。

--
--
評価：研究態度や勉学に対する姿勢は日本の学生にも好影響を与える。

印象：極めて友好的であり、且つ礼儀正しく、勉学に対する考え方が一昔前（戦後すぐ）の日本を思い出させた。

将来：複数年での来日が可能になれば、研究に対しても更に進展するものと考えている。

--
--
評価：来日するきっかけが出来て、その後、それを機会に日本における学習のための教育機関の選択等に役立った。

印象：2年目以降も研修を継続する事を強く望んでいたが、延長がかなわず、帰国しなければならなかった。

将来：有能な人材に研修の機会を与えて頂きたい。

--
--
評価：この制度が出来たことにより、お互いの理解が深まった事は意義深いものです。

印象：日中の医学薬学の交流に大きい役割を果たしたと思います。訪申時に通訳として来られる中国人に貴会の奨学生が多いのに驚く。

日本語会話の試験・研修を果たしたので、在日中にコミュニケーションのトラブルが無くなったのは良かったと思う。

将来：現在、日本留学希望が減少しており、日本の教育及び研究制度に問題があるのではないかと危惧している。交流は益々盛んになりますが、日本という国のアイデンティティーが問われるようになると考えています。

評価：本人にとってはあまり有意義でなかったと思われる。

評価：研究意欲並びに能力の高い中国の研究者を公正且つ厳正に審査し、支援する貴制度は、中日友好のみならず両国の学術協力を高め、ひいては持続社会の形成に益するものと評価する。

将来：留学期間延長制度の導入は、留学生並びに受け入れ施設にとって利益が大きい。必要と認められた場合、留学期間延長が可能であるとありがたい。

将来：一年間の留学では短かすぎる。短期間の将来の交流を作るコースと、長時間じっくり研究させるコースを。

評価：本人の学位取得。中国に臨床心臓電気生理を導入した。

印象：中国の若い医学研究者が、笹川医学研究費で来日して医学研究をするのは、我々が60、70年代にフルブライト留学、或いはレジデントシステムに採用されて米国留学をし、帰国して日本の医学の指導的立場に立つようになったのと似た状況にあると考えながら指導に当たった。その目的は達したと思われる。

将来：未だ中国医学は、我が国とギブアンドテイクのレベルにあるわけではない。留学生が帰国後指導的立場に立ち、更に進んで、対等の日中医学交流に発展することを願う。

評価：研究者の求めるものを満足させ得なかった。求めるものにやや差があった様に思う。

印象：日本で得たものが中国で役立ったかどうか疑問であった。

将来：日中交流のためには大変意義深い、1年間、しかも生活面でも充分であったかどうか疑問であった。

評価：中国には5回ほど学術訪問しており、日中笹川医学研究者制度が中国の医学研究の発展に極めて大きく寄与してきたことを実感している。

印象：中国を訪問した際に、日中笹川医学研究者制度を利用して日本で研究生生活を過ごした研究者の多いのに感心した。彼等はこの制度のことを大変感謝している。

将来：最近の中国医学の長足の進歩、特に米国・台湾・ヨーロッパとの学術交流の活発さに驚かされた。

日中医学交流を益々盛んにさせる必要があると感じている。

印象：フェローシップとして日本に定着している数少ない制度。

将来：継続的に事業が推進される事を望みます。

評価：日中友好が深まったと同時に、教室の研究にも寄与し、かつ現在も活躍している心臓外科医を育成できたことは意義深いと考える。

印象：日中友好に極めて意義深かったが、一年間の留学期限は、現実問題として短すぎる。成果によって延長が可能であったり、帰国後10年後に再度招聘の機会が有れば、更に日中医学交流は進むものと思われる。生活面のサポートが充実していたことも、本制度の優れた点であった。

将来：日本人医師を中国に留学させ、既留学生の再来日の機会を作る。本制度の継続発展に期待する。

――
――

将来：機会を見つけて日本を訪問することを計画したい。

第5期

――
――

評価：中国の真面目な研究者を受け入れて良かったが、多くは中国に帰国せず母国の科学に貢献することが少なかったと思う。

印象：中国のために巨額の資金を投入した点。

将来：私のところでトレーニングを受けた多くが、母国で枢要の指導的地位に立っており、教育の成果は上がった事を見るべきである。これからは本国に帰ってからアメリカ帰国の研究者より実力をつけて、よい地位につけるように配慮すべきである。

――
――

評価：受け入れ施設の評価としては、交流を持つ以上に成果を求めることは難しいと思われた。但しこれは研究者の目的と関連する分野、本人の努力に依存する。

印象：基礎研究では研究者が成果を出すことは可能。臨床については日本の制度、現状では無理がある。

将来：中国の研究者が、こちらで具体的に何をすべきか、来日前に十分検討する必要がある。

――
――

印象：研究生を選考する上で、日本語習得よりも、英語習得を重視することが宜しい。

将来：研究候補者を選考する上で、研究能力の他に人物人格を十分に配慮されること。日中医学交流の益々の発展を期待します。

――
――

評価：既に在日している留学生でも優秀な方は採用してあげられる制度が有ればと思います。

将来：留学生の質の選択は厳しく行った方がよい。

――
――

将来：良い制度、今後も続けられることを希望。

――
――

評価：今後しばらくの間は、中国での将来の指導的人材養成支援のためのこの制度は極めて意義深いものであり、国際協力事業として、是非継続発展させて頂きたい。

印象：研究生と受け入れ研究室の事前打ち合わせを充分に行っていないと、来日後研修生の興味と違うというケースが出る可能性がある。

――
――

評価：真面目な中国の研究者を援助する良い制度である。

印象：当人は再度の来日研究を望んでいたが選に漏れた。

――
――

印象：日本語の実力の格差が大きいこと、日本に関する基礎的知識の差が大きい事を感じている。十分な選考が必要。

--
--
評価：第一線で働いている研究者に重点を置いたことが有意義であった。

--
--
印象：特別研究者制度で二度目の来日が可能であったことは大きい。

将来：中国の発展には目を見張るものがある。実際の中国には未だに根強い反日感情があることを理解し、こうした人的交流には大いに力を注ぐべきである。

--
--
評価：受け入れた研究者を、人物として高く評価している。中国で中医と西洋医学の間を継ぐ医師として必ずや大成すると考えている。

印象：とても素晴らしいものと理解している。

将来：中国も発展しているし、ぼつぼつ役割を終える時ではないだろうか。

--
--
印象：本制度で日本に留学した人には、その成果を基に恩典を与えるのも一案であろう、その為には自然科学の分野で2～3年の滞在期間が欲しい。

--
--
評価：本制度に応募して来日した留学生は基礎教育レベルが高く、また、応用力に優れていた。

印象：10周年記念大会。日本からと中国からと500人くらいが一堂に会し、指導者・研究者が意見を交換、話し合えたこと。

将来：日中医学交流は、日本の伝統医学や洋式医学のみならず、中国医学を含めた相互交流に発展させるべきである。

--
--
評価：研究志向の有無を確実にするためには面接が必要と考えます。

印象：試験を厳密にし、研究心の強い人のみにする。

将来：日中医学交流は広い意味で必要と考えますが、実を伴わないと両国にとって有意義とならないと思います。

--
--
評価：日中医学交流の機会となった。

印象：留学生の知識や技術の習得のための熱意を感じた。

将来：中国も既に経済大国となりつつある、両者共同のプロジェクトの実施が望まれる。

--
--
評価：若手研究者の育成に大きな収穫があった。

印象：制度そのものの趣旨は大変結構であるが、第二次が第一次とどう変わっているのかわかりません。

制度を手直しするとすれば、人数を減らしても、短期の他にも中・長期留学制度を導入するのもひとつの方向かと存じます。

将来：帰国後どう活躍し、研修経験がどう生かされているか追跡調査が必要。日本では困難な臨床前研究のシステムづくりを両国間で話し合うことが出来ればと思います。

--
--
評価：資金面の援助だけでなく、語学研修、住居の世話など他の制度と比較して優れた制度である。

将来：是非続けたいと思うが来日する人の個人差が大きい。

--

評価：中国人研究者の能力向上に役立ったのではないかと推察している。

印象：本制度により、滞日した研究者が世界に通用する研究者として外国で雇ってもらえる能力を与えたことであり、中国国内での医学研究の発達に直接は結びつかなかった。この結果で良しとするか否かは意見が分かれると思う。

将来：SARSの制圧など具体的な医療上の問題で中国内部の医師・研究者との研究交流が望ましい。

--

--

評価：受け入れた研究者は優秀で日本語の習得も非常に早く医学的技術に対しても積極的で成果が素晴らしかったと思う。彼は「中国の名医」にリストアップされ飛行機で各地に往診しているとのこと、頑張っている様子。

印象：人を選んで留学させている点が非常によい。

将来：もう途上国からの留学生と考えずに、もっとレベルの高い中国人を、もっとレベルの高い日本の施設に留学させる時期と思います。

--

--

評価：途上国援助として意義はあった。

--

--

評価：最初から日本に留まることを目的に来日したように思う。滞在延長に対しては教室として奨学金も与えたりしたが、成果はなかったように思う。

印象：制度は素晴らしいがミスマッチが無いようにしなければと思う。

将来：ミスマッチさえなければ積極的に取り組みたい。

--

--

評価：かなりレベルの高い研修生の選抜をしている点が高く評価できる。帰国後の研修生の活躍の様子を把握して頂くとありがたい。例えば簡単な名簿作成などでもよいのではないか。

将来：「医学」という概念を広く大きくとらえて、受け入れの分野をもっと広げる事も必要ではないだろうか。

--

--

評価：この制度は当時中国があまり豊かでなかった時代には非常に有益であったと考えられる。

印象：海外へ留学する資力の無かった中国の若い医師にとって大変有意義な制度。

将来：今後も機会があれば受け入れたい。また、私たちが中国で講演したり手術を供覧する機会があれば訪問しても良い。

第6期

--

--

評価：全面的に支援する本制度は安心して研究に専念できる意義有るもの。

印象：事務局の方々の対応も良かったと感謝しております。

将来：続けて欲しいと思います。

--

--

評価：大学院（3～4年間）を支援するか、在日経験を有する研究者の更なる支援に力を入れる方がいい。

印象：研究実績等を考えると1年間の留学制度は成果に結びつきがたいと思う。

将来：質の高い人材を選ぶ方法をとる必要がある。少なくとも英語は必要。

--

--

評価：笹川研究生を3人世話したが、何れも素晴らしい能力の持ち主で、現在世界的に活躍している。

将来：1年というのは短い、場合によっては2年以上の延長があってもよい。

評価：研究者は研究室の新しい課題の基礎的立ち上げに貢献した。開発途上国の学生・研究者を受け入れるに当たっては、日常生活を支える経済的基盤が第一である。貴協会の奨学金制度は最も高いレベルのひとつと考えて良い。

印象：生活費のみならず、種々の手当・補助金が本人に与えられる。

将来：本学の場合約700名の留学生の内、約7割が中国から種々の資格（私費を含む）で入学・在籍するので多面的な解決が要求される問題が多い。これらの解決法は唯一経済的に安定する事であり、貴協会の貢献は特筆すべきものである。

評価：日中笹川医学研究者制度で来日する研究者は優秀である。生活費が適切に支給されているので研究に専念することが出来る。

評価：日中笹川医学研究者制度は適切且つ有意義と考えている。問題は効率を高率に上げるのは留学生を如何に選ぶかである。留学生は全て語学のハンディキャップを持っているので6か月は日本語の勉強に時間を費やせざるを得ない、このために留学の効果が半減するゆえ、この問題に対し検討する必要がある。

臨床実習希望の留学生には留学中だけ通用する医師免許獲得試験制度を作り、合格したものに限り臨床を許可する内規を作ることも教育、研究指導に必要と思う。

印象：1990年代の日本の医学のレベルは高く、その恩恵を分かちつく発足した日中笹川医学研究者制度は極めて有意義であると感動した。一方この制度を推進する日本での体制が全然整備されておらず、また、指導する大学、大学院の留学生に対するカリキュラムの準備も不足していた印象を受けた。これらの問題は改善の余地があり、日中医学交流の成果にも影響が深い。

将来：将来の東アジアを考える時、西洋・漢方医学を同じレベルまで上げていく必要があると思う。西洋薬で得られない漢方薬の作用機序を解明し、また、彼我の共通疾患・彼我の特有疾患に対し、研究や学会の交流を積極的に進めていくことが望ましい。

評価：受け入れた研究者は研究業績が多く、日本・USAにわたり国際医学に貢献している。

将来：受け入れ側にも選択権を与えた方がよい。

将来：奨学金の額がもう少し多くないと生活費のためアルバイトも必要で研究に充分時間が割けない。

評価：研究者としての能力を引き出したことは、医学全体にとって非常に有意義である。

印象：資金が充実していることに支えられて、自由度の高い研究活動が保証されている。有能な人材の発掘に大いに貢献し、結果的に日中の医学の友好的発展に寄与している。

将来：前向きに同様の交流を続けて欲しい。長期的な意味で必ずや大きな実を結ぶと思う。

評価：中国の研究者にとって極めて有用である。

印象：よく整備されている。

将来：どんどん発展させて欲しい。

印象：期間が短かすぎる

将来：今後是非続けて欲しい。

印象：2名の中国人薬剤師を受け入れたが、何れも国費留学生となり学位を取って帰国、一人は中国に適当な職場が無く現在カナダに在任。もう一人は中国に帰国して活躍中。

将来：そろそろ限界を感じます。日本の若者にもっと夢を持たせるような育英制度をお願いします。

印象：良いことと思われず。

評価：中国人の日本の医療に対する評価は高く、また、近い国であることにより留学したい希望者が多い。特に本制度で日本語を学んでから留学し再度招聘で大学院に入学、研究が出来ることが有益であると考えられる。

印象：日常会話に不自由がなかったことが本人にとって良かった。再度招聘制度により留学し、大学院に進めることが中国人にとって有益である。

将来：日中医学交流ということから、この制度が有益と考える。

評価：互いの知識・手技等を向上させていくのに有用な制度と考える。

印象：受け入れに際し、多くの希望者から選ばれた人物でしっかり者であると感じた。

将来：今後とも学術交流の制度として発展させて頂きたい。

評価：戦後日本のフルブライト制度に似ていると考える。戦後の貧しい、貧弱な研究環境で育った研究者が目を開かされたアメリカの研究環境といった状態とよく似ている。中国の研究者にとって明らかに役立つ制度である。

印象：研究者の財団によるバックアップがとても良かった。引き受ける側の負担が極めて少ない。研究者が帰国してから研究を続ける環境（制度・施設）が整っていないため研究を進展させることが出来なかった。

将来：指導する、面倒を見るという関係から対等の研究者関係を目指す。人数は限られてくると思うが、研究施設を持ち、現に研究している優秀な若手を高待遇で共同研究する方向にシフトすれば良いのではないかと考える。

評価：笹川研究生を受け入れなかったら日中の癌看護の交流は無かったと思う。

印象：事務局の対応は柔軟だった。

評価：日中笹川医学研究者制度は留学生の質を選べば有益である。

将来：中国からの留学生はレベルの高低が大きい、面接と選抜試験を厳しく行い、質の高い留学生を採ることが重要である。

評価：受け入れた研究者の場合は母国に帰らず米国で活躍しているが、近い将来帰国して教育・研究者として一層活躍することが望ましいと考える。貴制度の貢献は大であると評価される。

印象：受け入れた研究者の場合は、極めて優秀であったが、一般的には資質の確保、専門分野への適性の判断が大切であると思う。

将来：今後は交流分野を特化し、国際的視野に立って活躍できる研究指導者を育成し、貴財団の支援を受けた者の中からノーベル賞受賞者が輩出するよう期待している。

--

--

評価：国際交流することが若い医師にとって良い勉強のチャンスと思います。研究面のみでなく人間的な交流こそが目的のひとつかと思われま

印象：いくつかの援助がありますが、日中医学協会の方法が最も良いように思います。交流学生にとって何が最も嬉しかったのか、一番の苦勞は何だったのか調べてください。フンボルトではかなりデリケートな対応をやっていると思います。

将来：援助後のフォローが良くできています。これからの日中交流には効果的なメンバーの人选の工夫がいるかと思

--

評価：中国の教育研究に従事する人材の養成に大いに貢献した。

印象：留学研究者の再来日支援などアフターケア制度がユニークである。

将来：東洋医学分野などでは、日本から中国へ留学する研究者や医学者・医師の派遣を考えて欲しい。

--

印象：住環境が悪い（家賃が高い）ことでずいぶん苦勞しました。これは日本全体の貧困と思っています。

将来：中国の医学生物学研究のレベルも上がっているの

--

評価：フォローアップが無く日本で修得した知識をどのように活用して中国で活躍しているのかわからない、残念である。

印象：日中友好は果たせたと思う。医学の修得については医師免許証を持たないため手術などの実技については限界がある。

将来：帰国後に研究者がどのような活躍をしているのか、また中国医学にどのように貢献したのかなどを十分検討して欲しい。

--

評価：日中の医学・薬学等の相互交流及び中国側若手研究者の育成にも有効であったと考える。

印象：優秀な奨学生を採用されたことが最大の印象である。

将来：可能な限り続けられるべきと考える。

--

評価：中国における医学研究は近年進歩が著しいが、尚日本との間には差が認められる。このような状況で中国の医学者を日本に招いて研究に従事して頂くことは日中双方にとっても有意義であったと思う。

--

評価：海外に出ることが困難な時代に、これだけ多くの医学従事者が、先進国レベルの日本の医学を研修出来たことは、大変有意義であって、日中友好に大きく寄与したと思う。ただ、中国の留学生を預かって時々感ずることであるが、学んだことが中国の所属機関にどれだけ寄与しているか疑問に思われるのが残念である。この事業も所属機関との関係が希薄のように思う。

印象：1993年長春で開催された笹川同学会に出席し、私が受け入れた研究者を含む多くの奨学生と面談でき、このような機会を設けられていることが印象深かった。

将来：大学間交流を主に、中国のいくつかの大学関係者と大変良好な交流を持って来たが、このような医学交流を通じて、親しい人間関係を築くことは、日中両国間の相互理解に大きく寄与するものと思う。これからは我々が教えるということではなく、対等の立場で交流を行うべきである

--

将来：日中笹川医学研究者制度は非常に大きな意義を持っていたと信じます。今からは選抜の方法を考え、人を選ぶことが重要かと思

--
--

評価：研修できることは、国際平和、アジア平和に役立つ、21世紀の人材育成にとって大変有意義と考える。

印象：研修者が希望を持って来日していた。日本の国際経験のモデルとして、意義づけている。

将来：現状を維持し、良い人材を選別されたい。若者に対し、人類のため、地域のための意義注入が大切！！本基金の役目は絶大。

第7期

--
--

評価：まずまず真剣に研究していた。

将来：進めるべき。

--
--

評価：受け入れ研究者と我々の関係はやや特殊かも知れないが、再来日して大学院に入り米国留学や理研への採用など長い関係が続き、初めての来日の時とは見違えるほど成長し、そのきっかけとなった本制度は極めて有意義だったと考える。

印象：留学生に対する対応が行き届いている。

将来：資金や中国医学の発展などの面から、この制度を続けることは再検討を要するかも知れないが、今後日中医学交流はより発展するのは確実であり、ご援助をお願いしたいと希望している。

--
--

評価：意欲があり努力型の人達には良い制度。

印象：この種の制度の中では、制度利用者に対しての管理等、全体的に良好。

将来：本人にとっては大いに励みになり、それなりに努力はしているようです。

--
--

評価：将来質の高い交流に発展されていくことが期待される。

印象：漢方の医薬の降圧作用を西洋医学の手法で実証的に確認できたことは有意義であった。中国医学と日本の医学ではその体系に根本的な差異があるので、中国医学を日本の医学に研究段階で受け入れるには、日本の側にまだ準備が出来ていない様な気がする。

将来：この制度により中国医学の研究者に接し得たことはひとつの有意義なことであった。両者の交流が盛んになり、両国医学の長所を各々が取り入れ生かすことにより、両国医学が質的にも発展するようになることが期待される。

--
--

評価：私たちの教室に来られた4～5人の留学生は皆、日中笹川医学研究者制度を利用して来日された。

全員勤勉で帰国後も研修の成果を生かして活躍している。

印象：帰国した研修生が再度研修に来られた時、更に進んだテーマに関心を向けて頑張ったこと。

将来：研修を行った研修生が、何年か経た後、再度来日されて中国での活動状況を報告する機会を日中医学協会の助成の下で行えるようにすると良い。

--
--

評価：私自身戦後のフルブライト留学生として米国へ留学した。貴会がこの事業を実施されている意義は非常に大きいと評価している。語学問題はもう少し精緻に調査されるべきだと思う。1990年頃は中国内の思想的な問題もあり、「共産党でない者は帰国しても出世できない」と我々から見て気の毒な場面を見た思いがした。その後他のルートから留学してきた留学生(中国人)とは質的には非常に差があり、受け入れた笹川研究者が優秀な人だったことを思い知らされた。

印象：貴会を経て留学してきた留学生は信頼できるという評判。

将来：日中医学交流に尽力された貴会の活動に敬意を表するが、中国の経済発展も目覚ましく、特に医療関係者の生活程度は近年顕著に向上してきている。今後は東南アジア、特にインド・ベトナム・カンボジア・インドネシア・フィリピンなどに中心を移していくべきではないでしょうか。

--
--
評価：大いに価値がある制度と考えられる。その恩恵に与った人達はそれぞれの分野で大いに頑張っており、中国の医療レベルの向上、日中の医学交流にも役立っている。

印象：試験に合格した人を留学させ、希望の勉強・研究をさせてあげた点は素晴らしい。特に彼等への宿舍の提供・研究費の支給など行き届いており、さすがだと思った。彼等の後に私費で来た連中の多くは、時代背景が変わったとはいえ、貴制度で来た研究者に較べると質が低下していたようである。

将来：私は 1985 年から 8 回ほど中国へ行き、北京や上海の医療事情がよくなることを実感した。しかし少し奥に入るとまだまだである。我々も米国などからいろいろ援助して貰ったから、今度は少しでもお返ししようと言う考えで犠牲を払って努力してきた。しかし時代と共に留学生の質も違ってきている。これからは少し違う対応が必要であろう。

--
--
評価：研究者として著しく技術知識が向上した。

印象：中国からの研究者同士仲が良く情報を交換している。

将来：今日、研究がより複雑化し、1 年より長く、1 年半より 2 年くらいの派遣でないとなかなか成果が得られなくなっている。

--
--
将来：有効な制度である。

--
--
評価：日本への留学・研修希望者は少なくないと聞いています。アジアの大国である中国からの留学を支援することは、日本の学術振興のためにも、また、両国の友好関係を深めるためにも大変有益なことだと思われます。

印象：この制度のおかげで、中国の若い学者のみならず、彼等の指導者との交流も生まれたことは大変貴重な体験でした。

将来：今後、中国でも大学院制度が整備されてくると、よりレベルの高い相互的な交流が可能になって来るように思われます。

--
--
評価：1980～90 年代には非常に大きな意義があったものと思います。

印象：留学生がのびのびと勉学に励んでいたこと。

将来：時代と状況に応じた両国の医学の発展のための潤滑油となって行ってほしいものと思います。

--
--
評価：中国の発展と共に制度の在り方は変わっていくと思います。両国の医学研究の交流は今後も発展させるべきであり、日中笹川医学研究者制度の意義は大変高いと考えます。

印象：きめ細かい適切な援助につとめて下さること。

将来：相互の交流が更に広がるように、例えば新しい医療技術指導のために日本から医師・検査技師・看護師等を一定期間派遣する事業、中・小規模の研究会・学会への参加支援などもお願いしたいと存じます。

--
--
評価：受け入れ研究者に関しては本人はもとより、当教室にとっても研究の進行上極めて有意義であった。

印象：本制度で来日した中国人医師は支給される奨学金を少しでも残し、家庭へ持ち帰ろうと努力していた。

将来：中国人が自国の貨幣をもって自由に日本へ来て勉学が出来るようになるまでは、本制度は続けていきたいと考える。

--
--
評価：先方で選考するため必ずしも優れた人ばかりではない。今後更に継続の可能性があれば、日本で選考することも考えるべきであろう。

印象：10 周年記念式典に北京に行き、本学に留学していた人の多くが帰国後も活躍していることを知った。継続することは力である

と強く感じた。

将来：これからの交流は少し変わって行くと思う。優秀な医師を選んでもらうこと、そのことが日中の絆を一層強くすることになると思う。

評価：中国の若い研究者に、日本を始め世界と交流するチャンスを与えることは意義有ることである。

将来：日中双方が欧米中心主義から脱却し、交流の中心を日中に置くぐらいの考えが必要だ。

評価：本人の意欲能力によって差は大きいですが、異文化への適応能力・協調性も評価して選んでいただければ幸いである。

印象：当時は当人が得る奨学金が充分でなかったように思う。その面で苦勞している人もあった。

将来：発展させるべきであろう。

評価：この時代は中国の科学の再興期だったと考えます。現在では有る面では中国の科学は日本よりも進歩しているので（例えば有人ロケット打ち上げ）、少し意義が変わりつつあります。

将来：この交流事業を是非進展させてください。

評価：選考方法（中国側）が適切で優秀な人材が選ばれている。我々の所では米国に移住したが、それは制度上予期しなかったものではあるが、結果的には良かったのではないかと考えています。

印象：一度帰国すると1年は動けないのが残念で、期間延長の方法が有れば、私の研究室で滞在し、よりよく仕事が出来たのではないかと考えます。私のところでトレーニングして、果実はカナダ・米国に取られてしまったとの感じが否めません。それ故期間の延長が出来ていれば良かったと思います。

将来：ポスドクを雇えるような資金源が有れば、日本はもっと世界的な競争に勝つことが出来、また、中国のためにもなると思います。

評価：今後益々大切になることが明らかな日本と中国の医学学術交流に対し、先駆的に支援し続けてきた日中笹川医学研究者制度の寄与は、計り知れない価値を持っていることと考えられる。

印象：応募した研究者本人と、受け入れ側指導者の双方にとって、お互いを理解し交流を深める機会を積極的に提供し続けて頂いたことを心から感謝している。

将来：我々は中国から多くのことを今後学び得るし、また、学ばなければいけないと痛感している。今後も日中医学交流についてご支援をいただければありがたい。

評価：研究者の研究に対する意欲は高まり、中国における上咽頭癌への免疫療法応用を試みようとするようになった。しかし当時の研究者の本国の所属機関には免疫療法を行いうる実験室設備は無く、経済的・人的支援を望んでいたのが現実であった。しかし、当時本学からの支援の可能性を越えるものであり、実現できなかった。

印象：受け入れた研究者の性格は温厚であり、研究のみならず、この狭い内輪（教室）だけでも、国を越えた交流は密になり、この制度の一つの効果として銘記すべきであると感じている。この制度で決められた奨学金・生活費については研究者が満足していたことを記憶している。

将来：研究者との帰国後の交流は実質的には進展しなかった。中国と欧米との医学を通じた交流は急速に進展しているが、日中医学交流においても、それを更に充実させるには、日本で得た研究成果を中国で発展させるべく、一部の有望な研究者に対しては経済的にも人的にも援助する制度の確立が望まれる。

第8期

評価：当時の段階でHIV研究の技術取得が可能であったのは、この様な制度があったからだと思う。

印象：①2名引受けましたが、何れも帰国後会社に移ったようで連絡が取れておりません。②やはり1年では出来る事に限りがありますので、もう少し長期間で有ればと思います。こういう制度は大変貴重だと思います。

将来：少人数でも、もう少し長期間の援助を願えればと思う。

評価：日中笹川医学研究者制度は広く短くとの印象であるが、当初から3年までの研究期間を許される面があれば更に有益と考える。

印象：この制度で研究生を招くに当たっては、情実を廃し、学生時代の成績評価を厳正に、且つ期間中に副業（アルバイト）に従事しない事などを責任を持って確約して頂くことが重要と思われる。

将来：日本が東北アジアを如何に重視するか、留学生を学問的に如何に親身に、しかも厳しく指導するか、人間的には学術交流会を含め人間的相互信頼を如何に持ちうるか。

評価：意義は大きい。但し、日本への受け入れについては、人物の誠実さ、研究意欲をよく確かめる。受け入れる日本の研究室は日本人研究者に対する以上に十分に中国人留学生に配慮し、丁寧に指導すること。人手不足を埋めるために受け入れるという考えは日中友好にとって害になる、どこまでも育てるという意識で受け入れること。

印象：経済的不安無く受け入れられる事。

将来：研究室間の協力を育てる必要がある。中日間で十分合意した上で臨床研究を進めることは大きい意義がある。日本の大学のみでは症例が少ないだけでなく、研究室間の共同研究が出来にくい伝統がある。

評価：非常に手厚い奨学生制度に敬服。臨床より基礎的研究に向いてると思う。臨床の場合短期間で十分です。

印象：手厚い制度に驚きました。

将来：臨床医学では短期・他施設見学で十分です。基礎医学研究では長期間でよいと思います。方法論の指導で本国に帰っても継続可能な分野の選択が必要と思われます。

評価：日中の医学発展と相互の尊敬の念を懐かせる機会を与えている。

印象：研究者の1か月程度の再来日の研究機会をより多くの研究者に与えることが極めて重要である。それによって現在中国人研究者が悩んでいる問題を解決することが出来ると思われる。

将来：今後の日中医学交流に極めて重大な影響を与えている、今後尚一層の財政的援助を希望する。

評価：意義はあると思います。本人、受け入れの問題です。

印象：更に良い方向に進めていけばと思います。

評価：滞在期間が短く、研究を完成することが出来ない。もう少し人数を減らし、2年間の滞在とするとよい。

印象：人柄も良く、人選が適切であるという印象を持った。

将来：中国の医学研究も進歩しているので、もう少しレベルの高いものを目指すべきと思う。

評価：本人の短期滞在を契機に、今日まで交流が続いていることは素晴らしい。

――
――

評価：留学生本人が留学によって進歩し、受け入れ側の研究が進展した。

将来：日本人が中国の研究機関に留学する制度を拡充したらよい。

――
――

将来：受け入れを決める前に本人と教室の教官が連絡を取り、最善の組み合わせを探すようにして欲しい。

――
――

評価：両国の相互理解を深める上で有益であると思っている。

将来：新たな発想に基づく交流が継続されることを期待したい。長期にわたる相互交流関係を構築し、日中共同研究を推進し、成果を共有するなどの仕組みは創れないものでしょうか。

――
――

評価：帰国後活躍されていれば、研修・修得された知識・技能を発揮されて有用であったろうと思われる（帰国後亡くなった）

将来：医学のみでなく日中交流のためには有用であったと考えられる。

――
――

評価：文部科学省・厚生労働省などによる助成金と異なり、比較的自由に研究費が使用できる点が良い。

将来：中国の研究レベルも次第に高くなって来ると思われるから、日本が一方的に指導するという意味での交流は少なくなって来ると思われる。

――
――

評価：約10年15年前の中国と現在の中国では比較できないほど異なっている、当時この制度は、その時代としては良かったと考えている。

印象：民間団体としてよく尽力された事に敬意を表します。

将来：今後は学位を取得した研究者が、自身の研究をより発展させる事が出来るように、30代～40代の人を対象として、交流活動をされてはと思います。

――
――

印象：期間が短いのが欠点だと思います。

――
――

印象：是非続けて行って貰いたい。日本にいる中国人にも同じ機会を与えて欲しい。

――
――

評価：日中笹川医学研究者制度で来日した人は選抜が厳しいため、高い能力を有し、私は高く評価している。

印象：選抜方法が厳しくフェアな点が印象に残りました。

将来：これからも優秀な人材の育成を是非やって欲しいと思い、協力いたします。英語で交流できる人が望ましい。

――
――

評価：帰国後の中国研究者への援助等が出来ればと思います。中国の経済発展は著しいが、研究費等の配慮が不足しているのが現状。

印象：多くの中国の俊英を日本に招き、研究を推進させたことは、大きな功績であり、中国の研究者と交流をもてたことは日中両国にとって極めて有意義なことであった。留学生の方々が、中国の医学界の中核となっていくことが期待される。受け入れた研究者は帰国

後は講師となり、将来は教授となると考えられる。中国に対して果たした財団の功績は極めて大であったと言える。

将来：日中笹川医学研究者制度の果たした功績は極めて大であると言える。アジア・世界において日中の提携は不可欠であり、この点笹川財団の功績が大であると言える。

第9期

評価：この制度は有意義なものであった。中国から派遣される人の選定で検討を要する点がある。

将来：継続していただけますと、非常に宜しいと思います。帰国後も日中交流に何らかの貢献が出来るような方だと嬉しいです。

評価：研究者としての自由度をもっと広げるべきであろう、滞在期間の延長や、他機関への異動など、1年ごとの評価を行い、これらを決定していくべき。研究資金が中央又は旧帝大に集中する傾向があるが、地方大学での基礎研究の養成は独創性が中央以上に期待できる。これを考慮の上、留学生を派遣すべきであろう。

将来：日本での基礎医学を実質的に支えているのが留学生であるといっても過言でないであろう（昔の日米関係の如く）、この状況をむしろポジティブに受け取り、より充実した支援をお願いしたい。

印象：一定の貢献をした。

将来：本当の意味での日中医学交流の架け橋になるような制度を作ってください。

印象：研究者に対する生活上の受け入れ態勢が完備されている。

将来：優秀で将来性のある人材を厳選して本制度を続けて行かれることを希望します。

評価：中国人の日本への留学希望者が多く、かつ国費留学生の人数が少ない時期に、大いに役割を果たしたと考えます。

印象：留学生への日本滞在中のサポートが、国費留学生より充実していたと思います。

将来：アジア地域の医療水準の向上に日中双方が協力して貢献できると良いと思います。

印象：英語が良くてきたので、上手に交流できた。

将来：大局的には大いに交流を拡大すべきと思います。もう少し日本語が英語の能力を要求（条件）されたら如何でしょうか。

印象：組織的で大規模な人事交流

評価：未だに環境衛生は中国で遅れた分野であり、更なるサポートが望まれる。

印象：しっかりとしたサポート体制が整っており、研究者を安心して受け入れることが出来た。

将来：今後も続ける意味は大きい。

評価：日中笹川医学研究者制度で来日する研究者は優秀である。生活費が適切に支給されているので研究に専念できる。

--
--
評価：①中国の若い研究者に、臨床及び関連する研究を教育する良い機会が与えられた。②中国医師の能力は非常に高く、将来は相互交流を必要とする時代が必ず到来する。日中笹川医学研究者制度はその先覚をなすものと考えている。

印象：中国留学生の真面目さ、物静かさと同時に、彼等は非常に社会的に優れている。日中笹川医学研究者制度で選別されてきた留学生は素晴らしい人材であると思う。やる気のある若い学徒に国際的感覚を植え付ける事に意義があった。

将来：留学生を受け入れる以上、十分な研鑽を積むことが出来る施設に紹介する必要がある。最近の日本は医学部の方向性が収益重視の方向にあり、研究指向性がやや薄くなってきている。将来留学生を送り込む時には、留学生に馬鹿にされることのない、また、反感をかうことのない施設を配慮して頂きたいと思います。

印象：1年で帰国せず、驚き且つ困ったが、結果的に博士号を取り、現在アメリカで活躍している姿を見てみると、良かったと納得している。ご迷惑をお掛けしたが、寛大な処置に感謝しています。

将来：このようなシステムは是非続けて欲しいと思う。

評価：貴奨学金で研究生として来日し国内の研究部門を見聞して帰国し、再び日本で大学院生活を送ることは有益であったと思う。中国ではまだ研究に多くの予算を回せる状態では無さそうなので、私費留学生への援助枠をもっと増やして欲しいと思う。

印象：この制度で来日した学生は、熱心で学究心に富んでいたと思う。私費留学生のレベルが最近低下していることを見るにつけ、学生の質の向上のためには中国国内での選別をしっかりして欲しい。

将来：一度日本で研究をして帰った奨学生で、本土でも研究を続ける意欲のある人に1～2年の再度日本での共同研究が出来る制度が欲しい。

評価：5名の研究者を受け入れたが、全ての方に関する印象はポジティブで、現在でも種々交流がある。

この制度は日中の人的あるいは学術的な交流に多大の貢献をしている。

印象：全ての研究生が大変真面目で勤勉で且つどん欲であった。また日本人以上に最大限の敬意と親愛の情を示してくれた。

将来：この制度により益々活発な人的学術的交流がなされることを期待する。

評価：日中笹川医学研究者制度によって推薦されて日本へ留学した学生は、終始熱心に研究し学位取得を目指している。学生の選考基準、留学前のトレーニング等々が十分に行われていること。この制度が守られるよう、更に発展するよう期待している。

印象：学生が優秀であった。

将来：大変意義のある試みだと思う。その他の国々からの推薦も受けるシステム作りが期待される。

評価：日中笹川医学研究者制度は大変有意義で適切な制度であったと高い評価を与えたい。本制度で来日した研究者は全ての点で優れており、本制度の価値は高いと考えている。

印象：研究者の人選を始め、実際の来日に際しての事務的処理等の諸問題に有能且つ適切な対応をされて安心して研究者の受け入れをすることが出来た。

将来：本制度の将来に今後とも期待を寄せるものである。

評価：研究者来日当時は、中国の経済力は現在ほど向上しておらず、真面目な研究者を支援することは極めて有意義でありました。反面、研究者が奨学金から得た余剰金を本国に持ち帰ろうとする一面が見られました。また、貴協会から大学に頂いた研究補助金を「自分に与えよ」と主張され、説得する場面もありました。最近の留学生の実態（犯罪への関与）を見聞しますと、色々と考えさせられます。

印象：東京での歓迎パーティーに始まり、非常に暖かく留学生を迎えられたという印象が残っています。

日中友好事業の中でも主だったものの一つで、私などの世代は中国侵略に伴う日本軍の行為をよく知っており、中国人民には、すまない事をしたという気持ちが強く残っていますが、その贖罪につながる良い制度であると受け止めておりました。

将来：将来は、医師としての活躍の場も提供するようにする、教授・助教授・講師レベルの交流を進める。日本語のみならず、英語の能力の高い留学生を選ぶ。

--

--

評価：我々が嘗て外国に学んだように、日本の医学レベルの向上、留学受け入れ教育体制整備などの充実を図り、外国人にとって魅力のある日本留学になる事を期待したい。

将来：北京その他主要都市の医師は充分高度先進医療を行っている。

--

--

評価：研究者の殆どが成績優秀で、知識が豊富であり、日本滞在中で得た知識を帰国後に生かすという点で高く評価できる。日本滞在中に何らかの成果を上げるという点では1年間という限られた期間では極めて困難である。場合によってはもう1年延長する場合もあっていいのでは。現在では日中双方の状況も大きく変化し、共同研究を行う方向に変わっていくべきではないかと思う。

印象：予め日本語教育に力を入れておられるので、日本語の会話が出来る。滞在費などの援助が、欧米からの留学生と比較して少なすぎる。帰国後、元の職場で研究・教育に従事するとは限らず、欧米に移住する場合がある。

将来：中国の経済発展が著しい今日、日中医学交流は研修から共同研究に変わるべきではないかと思う。

また、中国の研究・教育のレベルが全体として向上するために、中国自身による研究・教育の支援という視点が必要ではないか。

--

--

将来：中国の医学も進歩してきているので学術交流・共同研究などの方向に行くのがよいのでは。

--

--

評価：精神科医療における医師・患者関係の在り方、チーム医療を学習できたことは本人には衝撃的なことであったようである。逆に私共は中国における医療現場のヒエラルキーについて考える機会となった。

印象：中国の医師が、この制度無くして、我が国の医学研究の現場を体験できなかったと考える。その意味で極めて価値ある制度であった。

将来：学会交流も大事だが、現場での交流が望ましい。

--

--

評価：医学領域間の日中両国間の人物交流が、文化交流の一環として、両国間の友好関係を推進することが期待される。多くの中国留学生に対して、彼等を支援できる一つの優れた方策と理解される。

印象：研究者は何事に対しても常に積極的に対処していた。実験手技の修得においては、全ての手順を一つ一つ自分の手で修得するよう心がけていた。

将来：日中医学交流によって、西欧文明を代表する科学的近代医学と東洋文明の代表例ともいえる中国古来の伝統医学が、相互の長所を取り入れ短所を補うことによって、人類全体の健康増進、疾病の予防・治療に貢献して、地球上における人類の継続的繁栄を可能にすることが期待される。

--

--

印象：10周年記念で、北京に行き二人の留学生と懐かしい再会をしたこと。

将来：最近日本にきたい中国の留学生は質が低下している、優秀な人は米国志向？

第 10 期

評価：急速に近代化しつつある中国に医学研究・臨床を通じて近代化へ貢献できた点。受け入れた研究者が教授職という指導的立場を得た現在、後輩の指導を通じて日本の国、人を正しく伝え、相互交流が深まるであろう。

印象：今春（2003 年）元留学生の活動状況の見聞もかね、広州・中国旅行ができたこと。

将来：いずれ中国が経済的にも医学的にも日本を越える日が来るはずである。中国人留学者がその時には日本から留学生を招き交流を計るように希望する。これは丁度フルブライト奨学制度が 50 年目を記念して始まった米国からの留学生受け入れ制度の日中医学交流版と言えるものだ。

評価：極めて意義深く、有益と考えます。語学については英語の文章能力・会話、ある程度の日本語会話ができることが条件です。

印象：中国他アジアの留学生に対する脊髄損傷の専門的研修についても貴財団の援助が有ればよい。本制度についてはしっかりした審査制度があること、フォローがよいこと、経済的に心配をしなくて良い事など大変結構と思います。

将来：大変有意義で、大いに交流を続けてください。

印象：1993 年以後中国から「研究者制度に合格したので貴研究室での研修を希望する」というメールが届いた。その後別なところへ配属されたという。配属決定の基準が判らず少し疑問に思った。

将来：今後も出来る限り、時代に則した形ですすめて欲しい。

評価：日中友好のため、素晴らしい制度だと思います。

将来：交流が益々進展することを希望します。

評価：お互いの学問的交流を深める意味で、本制度は極めて有用であった。

印象：この制度の留学生は、他の留学生と較べて日本語が十分習得されている点で感心させられた。

評価：制度は十分評価できる。実際に来られる人物が、十分な熱意を持っておられるのか疑問の点がある。

印象：研究者の中国での実績が不明。

将来：一定水準以上の研究者への支援が望ましい。公募制度になっているか疑問である。

評価：研究者本人の学習に寄与するのみならず、受け入れ側研究室の長期的発展に貢献してくれた実績は極めて重い。極めて意義深く、有益な制度だと、高く評価しています。

印象：中国側も充分時間を割いて、慎重に優れた人材の選出に努力されていることに敬服いたしました。

日本社会全般には、中国からの研修生・研究生に対してある種の偏見のようなものが出来つつあるのを憂慮しています。日中笹川医学研究者制度は優れた人材との交流を通して、真の意味で日中交流の礎を築く任を果たされていることに感謝しております。

将来：今後も継続して更に発展されることを期待します。当教室も喜んでそのお手伝いをさせて頂きたいと考えております。

評価：マンネリ化している。

--

評価：日本と中国との歴史的関係、現在の両国の経済的社会的基盤の違いを考えると、極めて有意義で、今後とも続けていくことが望ましい。

印象：優秀な人材が選択されている。1年では短かすぎる。

将来：臨床面では、日本の進んだ技術・知識の普及として、極めて重要な役割を果たす。基礎医学面では、我が国各大学において、人材供給の大きな窓口となる。

--

印象：優秀な留学生を採用している。

将来：更なる発展を願う。

--

評価：語学等問題なし、経済援助は、当研究室にとって極めて有益であった。

--

印象：真面目で礼儀正しい医師であった。医療に対し前向きで研究態度が良かった。

--

評価：全くミスマッチであり、彼にも気の毒なことをしたと思う。事前の十分な調査が必要と思われた。

他大学の他の教室に来られた研究者には、それなりの成果を上げた方もいるようである、結局は個人の問題か？

印象：大変有意義な事業と思われます。

将来：中国を始め、アジア各国との交流は推進すべきと思います。

--

評価：大学の診療体制の中で本人が患者に対して直接診療できない規定になっており、診療に苦慮した。

--

評価：本制度は日中研究者交流に充分貢献していると判断している

将来：対等な研究交流を活性化することが重要ではないだろうか。例えば環境汚染の問題などでは、中国現地での研究・調査が実際的な場合もあり得る。日本から中国への短期・長期の派遣を増やすべきだろう。

--

将来：組織的で大規模な人事交流。

--

将来：今後益々盛んに交流し続けるべきと考える。

--

将来：研究者の選考に際し、所謂情実が関与していたとの印象を持った。

--

印象：中医出身者では基礎学力が不足している。

将来：トップクラスの大学・病院では対等の立場で共同研究を行う時期に来ている。今後は学術交流を隆盛にするため、研究を目指す中国からの留学生を期待する。

--

--

評価：人材選出が適切であった。特に特別研究者制度が研究者の向上に極めて有用と思う。

印象：多くの留学生を受け入れてきたが、本制度の方が優秀な研究者を採用しているようです。

将来：日本形成外科学会では、1988年から日中医学交流を行い、昨年第13回を南京で開催しており、長続きしています。日中医学交流が深まることは確かです。

--

--

評価：本人は中国東北部の田舎の出身で、再来日し、遂に日本の大学院を修了した。米国に渡り永久滞在を希望しており、この件については、中国所属機関の役に立っていない。しかし、多くの友人が来日する様になり、日本との交流が盛んとなった。

印象：10周年記念その他の日中の会議に出席した時に多くの笹川留学生に会うことが出来た。笹川留学生の多くの友人がいろいろの奨学制度を利用して、短期・長期の日本への留学をしている。

--

--

評価：極めて意義深く、有益であったと評価できます。しかし、非常に優秀な人材は欧米へ行き、それに漏れた場合に日本へという傾向があると聞きます。長い将来の両国間の交流を配慮して、人材の選考や、日本での待遇など、よりよく運営されることを期待します。

--

--

評価：日中笹川医学研究者制度で来日した人を数名知っているが、皆優秀な人達である。そうした人材が中国で活躍すれば日中両国にとって多大の利益となる。

印象：選ばれた人達を、オリエンテーションをしてから日本へ来日させている、これは大変意義深い。

将来：今後アジアは一層連帯が深まる。両国医学交流は日本のみならずアジア全体にとって重要な意味を持つ。疑いもなく交流は益々深まり広がって行くであろうし、また、そうならなければいけない。

--

--

評価：他の留学生に比べて、大変恵まれた条件で滞在しており、大変優れた制度であると思いました。ただ、多くの学生が引き続き大学院等に入って研究を希望するようで、あまり厳しく母国に戻ると言うようなことは言わなくてもいいのではないかと思います。何れ将来には必ず母国に貢献もし、また、日本と中国の交流に大きな役割を果たすのは間違いのないことですから。

印象：中国に出向いて、試験をして候補者を決めるとかがありました。貴財団を参考にして、最近私どもも少なくとも電話でのインタビューは必ずしています。

将来：貴財団の交流に果たす役割は誠に価値あるものであり、長年のご尽力に敬服いたします。

--

--

評価：この制度で選抜された人材には能力面で期待でき、受け入れ施設、留学者双方に益する。

将来：留学期間が1年と短期であるため、優秀な人材に博士号を取得させるためには何らかの方法で再度招かねばならないが、貴協会からの支援があっても良いのではないかと。

--

--

評価：中国で基礎研究がまだ難しかった時代に、やる気のある非常に優秀な若い中国人研究者に日本での研究の機会を提供したことは、双方にとって有意義であったと思う。

印象：非常に優秀でやる気のある若者を選抜していたと思う。

--

--

評価：今後も地道に続けて欲しい。

将来：今日益々必要。

--
--

評価：候補者の選考がしっかりしている。私の経験のみならず、本学で受け入れた他の教授のみならず、本制度の研究者なら積極的に受け入れるべきと考えていることから、制度運営が優れている証拠だと考えている。

印象：事務局の運営体制がしっかりとしていること。また、日本語の研修がしっかり行われており、到着時、日常生活に不自由しない状態なのも評価したい。

将来：中国の経済成長と共に、これまでの形は変わると思うが、学术交流の成果は是非残し、発展的に、他の制度に生まれ変わることを期待している。

--
--

評価：指導医も懸命でしたが、院長始め各職員や友人も心から協力してくれた。ご本人が熱心だったので、成果は上がったと思う。中国語の講義もしてくださったし、誠実で立派な人であった。国際交流に寄与すること大であった。

印象：日中笹川医学研究者制度は素晴らしいもので、財団としてはこの上ない努力を注いでこられたと思う。中国での評価は如何なものでしょうか。対日感情が最近必ずしも良好とは考えられないのは不思議である。日中両国の評価を整理してみる時期が来ているように思う。

将来：隣国であり、今後とも交流は必要不可欠であると思う。日本人との間に、考え方の相違があるとしても、歴史認識について余りにも自説を協調しすぎる嫌いがある。所謂内政干渉はお互いに慎むべきであろう。

--
--

評価：留学してくる本人によって、その評価は異なる。

印象：受け入れた研究者に限っては、極めて有用な制度であった。

将来：意欲のない者では成果は上がらない、派遣に当たって厳密な選択が必要と感じている。

--
--

印象：受け入れた研究者のような人が育ったことは素晴らしいと思っている。

将来：もう一度来たいと言ってますし、出来れば実現してあげたい。

第11期

--
--

評価：受け入れた研究者は勤勉で、性格も素直な方で、教室員の一人として力を発揮、有益であった。日中の相互理解にも努め互いに有益であった。

将来：中国側が勤勉・有能な人を送り出してくれる限り、将来共に本事業は希望がもてる。日中の相互交流、相互理解が深まることを実体験できたことは、大変喜ばしいことであった。

--
--

評価：研究者を受け入れたことは双方にとって非常に有意義であった。

印象：彼は教室で研究生として学んだ第一号であった。この制度を利用したいと思ったが、どのようなプロセスで進めているのかがよくわからず、日本側からの働きかけの手だては無いのではないかと諦めた。

留学生を受け入れたが、彼の上を行く人は一人も居らず、非常に優秀な人を笹川制度でサポートして貰ったものと考えている。

将来：アジア地区の研究レベルは著しく上昇しつつあるが、何れ中国のレベルも上昇し、差が詰まってくるものと思われる。

--
--

評価：一人の研究者に大きく育ちうる機会を与えたことの意義は極めて大きいと考える。

印象：最初に研究者と受け入れ側とを対面させる機会を企画し、一緒に施設に戻る機会を作ったことが印象的であった。

--

評価：「このような制度がなければ、日本に来ることは不可能であった」「ここで学んだこと、知り得た人々は一生の宝だ」と今でも手紙に書いてくる。日本での体験を通じて、日本への見方が改善し、視野を広げていく様子がよくわかった。日本語の上達は目を見張るものがあった。

将来：看護学領域の交流拡充、大学レベルでの看護学研究の国際協力を進め、ケアの質の向上、国情にあったケアの在り方を探っていけるよう希望します。

--

評価：日中笹川医学研究者制度により、初めて外国からの優秀な留学生在が生活の不安なく研究できる環境が整った。この制度を高く評価しております。

--

評価：非常に優秀な研究者を選考し、招いて頂き感謝している。制度を高く評価している。

印象：本制度で選考が適切に行われていること。

将来：中国には優秀な人材がいることを改めて痛感した。

--

評価：留学期間の延長が出来ると良い。

印象：非常に熱心に研修される先生を毎年受け入れて居られるのに敬意を表します。

--

印象：制度として有用であり、多くの熱心な研修者がおり成果を上げたこと。

--

評価：当受け入れ側の条件にもよるが、来日した時期が良い場合はかなり有意義有益である。受け入れた研究者はよい例に当たる。

印象：中国の医療水準が着実に高くなっている。この制度の良い影響があるという印象がある。

将来：将来更に交流が進めば、医学上にも、また、文化的にも新しい発展が望まれる。

--

評価：中国での基礎トレーニング（研究の）が出来ていなかったため、本人も悩んだのではないと思われる。

印象：受け入れ教官と留学生の事前の面接など、マッチングの必要性を感じた。

将来：研究歴のある若手を選抜することが重要。困ったことが起こった場合（留学生側・受け入れ側）の相談窓口が必要だと感じました。

--

評価：帰国後も活躍できるポテンシャルのある人が多いと考える。

印象：帰国後の再研修制度の存在は非常によい。

将来：制度の充実が最も大切で、奨学生の選出及び受け入れ教官の厳選が重要なポイントとなる。せっかく蒔いた種を、より成長させ花や実が付くところまで推進して貰いたい。

--

評価：中国の医学が十分に充実して居らず、大きな問題を抱えていた頃より日中笹川医学研究者制度は中国の医学の勃興に大きく寄与していると思います。本制度は新しい時代に即応した形で更に発展するものと期待しております。

印象：この制度は我が国と中国との間に地道な活動を続けられ、今日の中国の医学・歯科学の発展に寄与した事に鑑み、その慧眼とご努力に深い敬意を表するものであります。本制度の特徴として、一度招請した研究者を、その後の成長を見て再び同じ施設で研究面での再会を促していることが印象的。今後ともきめ細かい、実効のある国際育英制度になって頂きたい。

将来：中国と日本はアジアの中心であり、あらゆる意味で世界の三極であります。そのことに本制度は早くから着目し、大きな責任を果たして参りました。将来は日本が中国を援助するパターンを捨て、新たな日中関係を促進し、アジアの医学に巨視的に貢献されることを期待しております。

印象：若く、協調性と柔軟性に富む留学生が欲しい。成績はよいが年齢が高く、プライドの高い人間は不向きと言える。

評価：受け入れた留学生は年齢の割に研究や実験方法に当初は習熟していなかった。こうした手法を覚えて帰国されたこと自体が有意義である。

評価：研究の進展そのものよりも、若い中国の研究者が日本の研究室を見聞し、日本の文化に触れて触発される場所に大きな意義があると思う。

印象：政府関係の法人が招く留学生の扱いに比べて、研究室への配慮、留学生の生活の確保などにおいて、やや劣るところがある。

将来：日本の現状をゆっくり見て貰うだけでも大きな意義がある。

評価：人材育成・日中友好、刺激があり有意義でした。

印象：学位が無い人が来日すると、大学院進学を希望し奨学金が必要になりますので貸付金制度があっても良いと思います。

将来：今後は共同研究や学会開催のための支援をお願いしたいと思います。

評価：この制度で来日した研究者は多数で、それぞれ有益な成果を上げている。中国の近代化は非常に進んでいるが、日本から学ぶ点は多大であり、今後とも日中文化交流に果たす役割は大きい。

印象：留学生のため非常にきめ細かく援助していた。

将来：将来益々の発展を祈っています。

評価：1年間という短い期間であるが、有効に使える者と、生活するのがやっとの者と落差が大きい。人選が全てである。

第12期

評価：中国の優秀な研究者は、日本の最新の医療技術に触れることが出来、帰国後その最新技術を多くの同僚に伝授することで、中国の医療が数段進歩すると思われます。向学心旺盛で、研究熱心な中国の研究者に触発され、我々も研究意欲が向上しました。相互により影響を与え合えたことが、本制度の大きな貢献と思われます。

印象：日本と中国の人々の考え方の違いを、心を割って話し合うことが出来たことは得難い体験でした。

将来：今後は、一方的に日本の最新医学を修得させるのではなく、我々も中国の漢方医学などを学び、さらには中国との共同研究へと発展することを期待します。

将来：1年間の交流だけでなく、共同研究の方向へ発展すべき。感染症を始め遺伝子解析も白人には見られないSNPと疾患との関係、創薬等に役立つはずである。

--
--

評価：現在、米国で仕事をしており、成果を中国で生かして欲しかった。残念である。

--
--

評価：医学・医療の広い分野の中には、臨床指導が有益な領域であると思われる。臨床を学ぶことを目的に来日するのであれば、それを支援することは十分に有意義である。それには日本語がある水準以上に達した上で来日できる事が望ましい。研究室では英語が通用するであろうが、臨床の研鑽では日本語を必要とするからである。

--
--

評価：中国の有能な人材に、その才能を啓発開花させる機会を与え、世界の医学医療の発展に寄与した。これらの人材が次代の育成の基となると期待される。受け入れた側にとっても、業務の面のみならず、人間的成長をもたらし、国際親善に益した。

印象：日中の選抜を受けただけに、有能な人材の印象。日本側教師の選考に一考を要すると感じた。

将来：医学医療は、長い歴史的つながりを持つ日本と中国といえども、それぞれの特徴を持つ。両者の交流が一方的でなく、バランスよく継続されている時、人類に寄与すると考える。更なる発展を望む。

--
--

評価：中国人の中に優秀な学生や研究者のいることを日本人に認識させた。

印象：人数の多さ。

将来：これからは日本人が中国に行って学んだり、研究したりすることが重要。

--
--

評価：研究者の交流を援助することは評価できる。

将来：人数を減らしてでも、1年ではなくて2～3年の助成をした方が研究者養成には有効だと思う。

--
--

評価：中国の優秀な若手研究者を指導し、また、研究を共にした日本の学生諸君にとっても貴重な経験であり、その意義は深く、極めて有益であった。

印象：研究者の受け入れ体制が極めてよく整っており、担当者の方がとても親身になって面倒を見ていたこと。

将来：今後ともこの交流制度を継続して頂きたい。

--
--

将来：中国の若手の有望な医師を指導する意味は重要である。

--
--

評価：世界的に見ても類例の少ない素晴らしい制度と考える。是非継続して貰いたい。

印象：受け入れて指導する立場になった者として自省していることは多々あるが、日本の臨床医学教室は、外国人留学生の受け入れに不慣れであり、未熟であって、今後改善されるべき問題点を多く抱えている。笹川留学生の帰国後、中国側の受け入れ態勢が不安定である点も憂慮している。

将来：日中医学共同研究の振興・促進に、もっと格段の研究費が配分されることを希望する。共同研究のテーマとしては、少なくとも臨床領域には、数限りなくある。

--
--

印象：この制度そのものは素晴らしい制度であるが、選ばれて来日する個人個人の能力と積極性に大きく関わっており、日中友好関係の維持にも大きな役割を果たす人を選ぶことが大切である。

将来：中国が既に米国等との交流を積極的に進めていることを考えると、日中医学交流をもっと積極的に推進することが日本の将来にとっても大切である。

――
――

評価：医学情報活動は国境を越えた活動が求められてきており、この時代に適切であった。

印象：当センターは医学情報をテーマとしており、基礎・臨床医学とは少し内容が異なるが、このような分野にも目を向け日中交流の機会が与えられたことは有益であった。

将来：日本が学ぶ機会が求められてきている。

――
――

評価：成功例を見ると本制度は極めて有益であった。

印象：研究者がプロジェクトを放り出そうとした時に、日中医学協会の方が、わざわざ研究室に来ていろいろと親身にお世話を頂いたこと。日中医学協会の方々には感謝しています。

将来：別に何人かの中国人留学生の受け入れをしているが、共通の悩みは経済的問題であり、彼等をサポートする奨学金制度が少ないことである。一定の選抜制度の下に研究者を派遣するような制度があれば、より効果的な交流が可能になると思われる。

――
――

評価：今後益々日中交流は重要になると思われる。

将来：技術交流（手術手技、他）等も重要。

――
――

印象：進歩は著しく、且つ研究者としても成熟しつつあると思われた。

将来：この数年間に中国は充分発展し、自らの意志と実力により進歩できる段階に到達したと思われまます。アジアにおける更なる援助を要する国は他にあると思います。

――
――

将来：このような制度は、これからが、必要な時期と思われまます。

――
――

評価：更に新しい21世紀に向けて、本制度の発展を期待している。

印象：第二回目の来日は家族同伴となり、夫人が小児科学大学院に入り博士学位を取得した。貴制度の国際学術交流が大きな広がりとなって現在も成果を上げつつ有ることは喜ばしいことである。

将来：一方的に中国の留学生受け入れを推進するのみならず、今後は対等の立場で、帰国留学生や研究者の所属する大学や研究室を拠点に、相互交流を推進して、研究面での未解決課題をテーマに研究者同士の交流を推進して、日中共同研究の更なる発展を期待するものである

――
――

評価：研究者の仕事が有る程度進展したのは、笹川制度を足がかりにして大学院等に入学し、長期滞在して研究が可能となったからである。

将来：全ての援助を日本側が行っているが、今後は中国が全面的に行うべきである。

――
――

評価：この制度は本人はもとより、我々にとっても大変貴重な経験である。今後とも継続して行って欲しいと思います。

印象：10周年記念で訪中し、研究者と中国の地で会った事である。帰国して頑張っておられる様子をこの目で見、この制度の偉大さが実感としてわかったことは大変有意義であった。

将来：今後とも医学者及び薬学系研究者の研修を継続していかれることを切に願います。その時はぜひ四国、徳島にも研修地を選択肢

として入れて頂きたく切に願います。

第13期

評価：身元がしっかりしていて、本国でのある程度地位が確保された人に限ることを前提として、又はその保証を与える制度として評価できる。

印象：研究室に真面目に朝早くから出勤し、懇親会にも積極的に出席して日本人仲間によくなじんだ。

将来：中国に帰国してから、同僚仲間が、どのように本人を受け入れ、評価しているのか本音を知りたい。

評価：是非優秀なドクターを日本に留学させて欲しい。

印象：1年で限りがあり、2年くらいは期間が欲しい。

将来：若手医師の留学の機会を増やすべきである（一定期間の就職後でないとう申請できないと聞いており、2～3年の臨床体験の直後から貴奨学金に申請できた方が好ましい）。

評価：中国からの情報が得られること。日本との交流が図られ日本の情報が相手国に伝えられること。個人の学問的レベルの質的向上が期待される。中国へ帰国後役立つ。

印象：安心して研究に従事できること。

将来：今後とも推進して貰いたい。

評価：研究者はアルバイトする必要が無く、全ての時間を研究に専念する事が出来、指導する側も安心して受け入れることが出来る。国内での関連学会への参加もサポートして頂けるので、研究者の発表の機会が確保でき、研究者の励みにもなる。

評価：優秀な学者学徒にグローバルスタンダードである医学を教授することが出来た。

印象：本人は日本において基礎的実験技術を習得したと思う。同様な機会は多くの中国学徒に与えなければならない。本人は帰国後も再三再四日本への再来日を希望したが、上記の理由で小職は断った。本人は日本において論文を沢山書いているが、これは当時の指導者の配慮によるものである。

評価：厳しい選考により意欲・知的レベルの高い人材に研究の機会を与える制度である。日本側の研究者にも大いに刺激となっている。

将来：私の紹介で、その後米国において研究を続けているが、そのまま中国に戻った場合は保証が無いとすると残念である。その制度も考えると良い。

評価：日中交流の促進に大きな力となる。

印象：留学生にとって、経済的のみならず、社会心理的に大きな支援となる。

将来：大いに進めるべきである。

評価：継続すれば将来的には真の技術交流をするように思われ、相互研鑽の有力な場となるように感じられる。

印象：日常的な交流の中で、中国の医療文化等を知ることが出来て、大変印象深いものがあった。

将来：この制度を発展させて、日中医学会のようなものを臨床・基礎全体にわたって創り上げると良い。

--
--

評価：受け入れる側は、常に極めて多忙であり十分に時間をかけて指導できなかったことを反省している。留学生としては大きなメリットが有ったと思う。

印象：大変人柄の良い女医さんでした、但し研究の基本的な問題を理解して頂くのに時間がかかりました。受け入れ側の私共も大変忙しく、面談することが少なかったことは反省しています。

将来：留学生諸兄がこの制度並びに、日本での生活にどのような印象を持ったのか伺いたと思います。

--
--

評価：米国以外の留学により、帰国後中国の指導的役割を果たしている研究者が多いことは有意義な制度と考えたい。

印象：向上心があり立派な研究者であった。

将来：一方的援助の交流は改められるようになると思うが、今後とも日中医学交流が盛んになっていくと考えられる。

--
--

評価：最近では来日そのものはそれ程難しくないように思える。本制度は留学しても義務がないため、我々が経験したようなこと（研究室に出ずアルバイトをしていた）が発生しうるし、期間が短いと思える。

印象：私に関しては、怒りと傷ついた事しか記憶に残っていません。

将来：大学入学、大学院入学する留学生への援助を頂いたら実効があると思います。

--
--

評価：姉妹校の関係を樹立する契機を作った。

印象：優れた人物を迎えることが出来たのは幸運であった。

将来：候補者の厳選が必要。

--
--

評価：極めて真面目に研究に精進した。日本人大学院生・研究生にとっても良い手本となってくれた。高く評価したい。

将来：本学には多くの留学生がいるが能力的に問題のある学生もいる、選抜制度について公平・公正で厳正なものが必要であろう。

--
--

評価：専門学会にも出席でき、大変意義の深い留学であったと思います。

--
--

評価：中国の医学水準の向上に寄与したと思う。

印象：本人は本制度に非常に感謝していた。

将来：良い制度であると考えます。

--
--

評価：中国の医師と共に仕事出来るのは、我々にとって刺激的であり、また其の熱心な研究・学習態度により我々も勉強になる。費用のかかる国際交流を実現して頂いたことは、大変大きな意義があると思います。

印象：違う文化の先生と接触できるのは、日常臨床において刺激的であり、有意義と思われる。

将来：今後も未永くこの制度が続くことを期待しております。

--
--

評価：優秀な研究者が多く研究し甲斐が有るが、1年と短く、当人は不満足の場合も見受けられる。

将来：研究者のテーマ毎にセミナーも考えられる。

――
――

評価：最初の1年間は本格的研究に入る下準備としての意義はあると思いますが、1年間で終了できる研究を本人に期待するのは無理がある。再度来日できる制度が設立されたそうなので、良いことだと思います。問題になるのは言語です。本人は日本語をかなり勉強して来日し上手でした。しかし母国に業績を持ち帰る際には、国際学会での発表国際誌への投稿が要求される。そうすると英語が主たる言語となり本人は苦労していた。

印象：1年の研修で、満足したと考える者と、学位取得を目標にする者がある。応募者の希望に添った受け入れ態勢を考える必要が有る。

将来：優秀な中国人を日本に留学させるような方向に役立つ制度としてご発展下さい。

――
――

評価：中国人の研究レベルの向上に寄与している。

印象：大変良い制度、日本での生活が保証されている。

将来：これからも交流を続けて頂きたい。

――
――

評価：中国における医学の発展のみならず、我々にとっても課題を発見したり深めたりする良い機会となる。

印象：互いの国の医学・医療を越えたレベルで新たな体験が出来、留学生にとっても我が教室の医局員にとっても有意義であると思われる。

将来：近い国同士であり、今後強い連帯を深めるべきである。

――
――

評価：優秀な中国の研究者との交流が出来、研究者がその能力を発揮する場を提供出来、帰国後当方で得た知識を活用できること。

印象：極めて優秀な人物が来訪したことが、特に印象的であった。

将来：今後もこの形式での交流は大いに望まれる。

――
――

評価：研究上の進展を得るためには2～3年必要だと思われる。1年以内の滞在では、テクニックの修得のみで終わってしまう。

印象：中国からの研究者との交流という意味では良かった。研究上では双方にメリットは無かった。

将来：大学院に入学させる制度が良いと考える。

――
――

第14期

――
――

評価：今後も継続を希望します。

印象：帰国に関しては微妙な駆け引きがあった。

将来：中国自体も大きく変化しており、それに合った対応が必要であろう。

――
――

評価：多くの研究者は将来の欧米留学への基盤作りの過程となっていた傾向が窺える。制度の全面的見直しが必要でないだろうか。

将来：これからは日中共同研究の支援者としての活躍が期待される。

――
――

評価：中国で活躍している。

--
--
評価：研修期間1年はあまりにも短かすぎると思われる、2年が適切であろう。

--
--
評価：医学情報活動について、日中の協力はこれから益々求められる。
印象：医学情報という分野に日中の協力活動の機会を与えてくださった事を感謝しております。
将来：日中の情報担当者が協力し、情報の流通がスムーズになればよいと希望しております。

--
--
評価：中国人と直接共同研究を行うことが出来る貴重な機会であった。
印象：日中医学協会の留学生に対する手厚い配慮が印象に残った。
将来：今後も是非続けて欲しい。医学研究者制度を若い人材に対して適応して頂きたい（大学院生など、多少語学能力が低くても意欲のある若い人に対して）。

--
--
印象：アフターケアも含め大変手厚い支援。
将来：私費で留学して、経済的に苦労しながら勉学に励んでいる優秀な留学生も多い。そのような留学生に対する支援をお願いしたい。

--
--
評価：その人の能力・将来性・研究スタッフとの信頼関係の構築は1年ないし2年の内に意義も有益性もわかってくる。
将来：日中交流のフィーバーはやや冷めて来ているように思われるが、科学者同士の交流と、政治的な促進と両方で、更に将来に良い結果をもたらす事が期待できると思う。

--
--
評価：日中笹川医学研究者制度も現状に併せて変化する必要もあろう、成果をある程度持って帰国するには2年程度が良いのではないかと。配偶者も受け入れ可能にすべきであろう。中国が成長してきている現状では必ず中国に帰国を義務づける事も問題が有ろう。最終的に世界の役に立つと考えれば良いのではないかと。
印象：全体としてかなり優秀な人材を選抜している。日本語コースで来た中には英語が出来ない人がいる。中国に一端帰ることは納得しているが、修士・博士に進みたいとの要望が大きく、そちらの方に来日のウエイトがある様に感じられる。
将来：日中交流の為に是非継続して欲しいと考えている。本事業が始まった頃と現在では人の考え、国と国との関係も変わっており、中国人の人権をやや無視した面が来日の条件となっており、再考すべきと思う。

--
--
評価：今後は数は少なくとも若手で、将来の活躍を期待できる人材を育成すべきである。

--
--
評価：大変有意義であり、今後も何らかの形で展開して頂きたい。
将来：私は1990年以降日中交流をしており、双方がお互いに学ぶ機会は今後とも必要である。

--
--
評価：中国国内の優秀な学生を選抜し日本語教育を予め行い、高いモチベーションを持たせていることは他の制度に無い特徴である。
印象：住宅補助も有ること。
将来：その後、このプロジェクトの留学生がやってこない、積極的に受け入れたいと希望する。

--
--

評価：勉学することは極めて困難な時代であり、私自身昭和40年初頭の米国留学時に1ドル360円の交換レートで日本円の持ち出しに厳しい制限があった事を思う時、中国人にとって本制度は大変意義深いものと思われる。

将来：自由に自国の貨幣を持ち出して日本に勉学に来られる様になるまでは、本制度は続けて頂く事、この事は中国人だけでなく、日本という国にとっても人材育成の点で極めて意義有ることと考える（中国人は恩人を決して忘れない）

--
--

評価：中国からの留学生を迎えることが出来て良かった。

--
--

評価：大変優秀な人材に巡り会えたという意味で、私共にとって極めて有意義でした。

--
--

評価：多くの中国人が留学を希望しているが、日本の受け入れ態勢は極めて貧弱である。日本の大学の研究費の中における人事に関する予算措置が極めて硬直化していること、米国の如くに大学ないしは教授の裁量で自由に人が雇えない、奨学金制度も限られている、このような中で笹川基金は何にも替えがたい意義があると言えよう。

印象：留学は本人の資質に加えて、受け入れ態勢の質にもかかっている。フンボルト財団の留学制度にも勝るとも劣らない制度と理解している。我々の教室は基金の規則に則って留学生に接してきたが、仄聞するところ受け入れ側がかなりルーズであり、そのことが留学生を逆にスポイルしているような事実を、留学生間の交流の情報から聞くことが多かった。日本の受け入れ者の更なる自覚が必要である。

将来：日中笹川医学研究者制度は極めて優れた基盤で運営されて来たと思う。望むらくは受け入れ先での状況の第三者審査を、留学生のみならず、受け入れ機関にも厳しく行うことである。数よりも質の高い交流こそがよい結果を生む。

--
--

評価：中国の医学の発展を考えると有意義であった。

印象：他の部からの誘惑がある、例えば、教室を通さず勝手に中国医療をやらせるような。

将来：広くアジアに目を向けた方がよい。

--
--

評価：有史以来日本は中国から文化を受け入れる立場にあった。現在では出来る範囲で文化的に寄与すべきである。

印象：本制度による留学生はやはり優秀であると思う。それでも閉ざされた世界から来た人の驚きは新鮮であった。

将来：是非ともお続け下さい。

--
--

評価：研究者本人にとっては、衣食住を保証されて日本へ留学し、研究に従事する機会を得られて大変有意義な制度であったと思う。この制度で受け入れた研究者はそれが基礎となって、日本の大学院に進学して立派な成果を上げ、現在米国で研究に従事している。このような経験から考えて、この制度は研究者本人にとっては大変意義深い制度であった。受け入れる側にとっては、1年間の期間であまりにも短く殆ど社会奉仕のつもりで取り組まざるを得なかったというのが正直な話である。

印象：私共が関係した3名全員（受入れ研究者1名、当制度経験者を博士課程大学院で受け入れた2名）は、結局再来日して日本で学位を取りしかも米国での職を求めて現在米国でポスドク生活を送っている。

この点で大人のキャリア開発には役立ったが、中国の医療機関レベルの向上に役立っているとは思えない。

--
--

将来：良くできる中国からの研究者は日本での研究が終了すればアメリカに留学するようである。このことが少し問題であると思いません。

--
--

評価：受け入れた研究者は優秀であり、中国における人材育成に意義有るものとする。

将来：残念ながら優秀な中国からの留学生は日本を経由して米国に渡る者が多い。話によると中国に戻った後に十分な研究の出来る環境がないとのことである。

--
--

評価：幸い受け入れた研究者は大変能力のある優れた研究者であったので、その実を上げることが出来た。この制度は適切な制度であり、研修生にとって大変有益であると思う。

印象：協会がこの制度の充実に十分対応しているように思われました。

将来：将来のよりよい交流のために研修生が研修期間終了後も本人の希望・意志が有れば、特に制限する事無く滞日延長・再来日が可能になればいいと思う。

第 15 期

--
--

評価：受け入れた研究者はその後日本での研究を進展させていないようだが、日本の研究者との交流による相互理解、後進への指導を通じて経験はきっと生かせると思う。

印象：日本語の理解は研究の進行に十分であって良かった。研究に熱心な医師が選択された。研究者の生活が維持でき、研究に専念できた。

将来：中国の医学はその経済発展に伴って発展するであろう。優れた研究者を選んで教育の機会を与える事は日本人にとってもプラスになろう。

--
--

評価：受け入れた研究者に限定すると評価できない。

印象：制度自体は概ね宜しいが、我々の場合はネガティブな印象のみ。

将来：本交流の目的をよく理解し、モチベーションの高い人物をどのように選抜するのが課題と思われます。

--
--

評価：一般論としては大変有益で意義深い制度と考える。研究者の人物像も含めてもっと厳選していただければ更に効果がある。

印象：中国からは今回の貴制度研究者以外にも、中国留学生の受け入れ実績があり、帰国後も活躍している。今回の研究者は大学にとって正反対の結果になって遺憾であった。これはチューターの選定を誤ったせいであると反省している。

将来：非常に重要である。今後の一層の進展を期待する。

--
--

評価：この制度を用いて派遣される留学生は全て質が高いという感じを持っている。

--
--

印象：受け入れ主体がしっかりしている。

将来：事業は継続されることが望まれる。

--
--

評価：研究者に機会を与える事は意義の有ること。但し受け入れ側にも外国人を迎えるにあたり準備態勢の確立が必要でもあるため、双方にとって意義深いという評価を下すことは出来ない。

印象：一度に多数の研究者を招いていることを知り、驚きました。二回目の研修も支援されていることを知り、良い制度だと思いまし

た。

――
――

評価：泌尿器科のような、外科医療が主体の教室では受け入れが非常にむずかしい。

将来：臨床系の教室では言葉（日本語 OR 英語）が出来る中国人ドクターでないと受け入れるのがむずかしいと思います。

――
――

将来：この制度で来日された方が帰国後も日中共同研究が出来るような人材への補助が望ましい。

――
――

評価：研究者は何れも帰国後習得した技術を生かして中堅幹部として成長している。笹川奨学金がなければ彼等は腰を据えて日本で技術研修を行うことは不可能である。

印象：研修期間を終えた後、一端帰国させる事である。この仕組みにより、理由のない曖昧なままの滞日が続けること無く、無用なトラブルを避ける事が出来る。帰国後のフォローアップ制度は、日中双方の旧交を温めるに役立つばかりでなく、互いの研究の進捗状況を知る良い機会である。

将来：本制度を維持することが重要であり、知日派の断層が出来ないように努力することが大切である。

――
――

評価：引き受けた研修生は帰国後何れも習得した技術を生かして中堅幹部として成長している。これだけでも大変立派な事業である。

印象：約束した研修期間を終えた後は帰国させること。帰国後のフォローアップ制度

将来：本制度を継続させることが重要であり、知日派の断層が出来ないように努力することが大切である。

――
――

評価：個人差があるのは理解できた、当時の他の中国の方と比較して悪くはなかった。

印象：平均的にレベルの高い方が来られるので、指導は行いやすかった。制度そのものはしっかりしており、進めやすかった。日中友好に役立つことが期待できた。

将来：何らかの形で継続されることが望ましい。どのように選抜するか、例えば中国の貧しい地方を優先するとか。ある面では対等なつき合いでの医学交流が望ましく、中国からも予算を出すとか？日本の方が中国で勉強できる場を拓けるとか？

――
――

評価：研究者と受け入れ側のマッチングを事前調査で対応出来るとよい。

印象：協会として大変よくお世話をしてくださる制度。

将来：基本的には継続すべきであると思います。

――
――

評価：研究者をもっと選択しないと何の役にも立たない。

――
――

評価：非常に真面目で来日目的がはっきりしており、帰国しても日本で学んだことを実地に移して役立てている。

印象：良い制度。

将来：最近の中国では日本語学校が大分閉鎖され、英語を学んで英語圏で学ぶ人が増加しているそうです。この制度はこれからの日中両国にとり大切であると思われます。

――
――

将来：中国はこれからもっと成長する国と思います。貴財団の益々のご発展をお祈り申し上げます。

--
--

評価：極めて優れた制度で深く感謝しております。フルブライト奨学金制度に匹敵するものと信じております。

印象：十分な準備期間を取って頂き、日本語や日本についての研修が十分であり、来日して直ぐに研修にはいることが出来てありがたかった。

将来：私は高地医学を研究しており、辺境な地域の人々と交流している。これらの地域の人々は研究環境も貧弱で、海外との交流の機会も少ない。しかし、意欲のある純朴な人々も多く、貧困と健康を蝕む病気がリンクしており、援助の手を待っている。

--
--

印象：研究者に対する指導成果を正確に把握するには、数年後、指導者が現地に赴き実際の活躍の場を視察した上で判断すべきであると思う。

将来：今回のSARS発生に、嘗ての留学生たちがどのように活躍して自国のために奉仕したかを調査されることは、この制度に必要なことと思います。

--
--

評価：我が国の大学を始めとする受け入れ機関は経験が少なく、体制が不備であった、中国からこの制度により留学生を迎えるのは、留学生のためばかりでなく、我々の受け入れ体制の改善にもつながり、その後オーストリー、中国から別に留学生を受け入れても、それなりの体制で望むことが出来感謝している。

印象：選考も充分にされており、又貴制度のバックアップがあるので安心して受け入れることが出来、結果も極めて良好であったことには感謝します。

将来：現在のところは、中国の医学界は、まだ発展途上にあると思います。今後是非継続して頂きたいと思います。留学生を受け入れるのは研究費の問題にもかかってきますので、その点も考慮していく必要が有ると思います。

--
--

評価：中国の優秀な研究者が成長する上で、大きな貢献をしている。

印象：重慶で開催された交流会で中国の研究者が、中国の大学等で重要な地位に就き活躍していることを見てその成果に感動した。

将来：人を育てることが最も重要な国際貢献と交流を促進するものと考えます。今後とも、優れた人材の成長をサポートする支援を継続されることを期待しております。

--
--

印象：京大レベルの大学院生と互角以上の能力を有していた。日本語の訓練も充分されており、非常に優秀であると感じた。唯、実験に対する基礎トレーニングはされておらず、又、知識の偏重が強く、実験を積み重ねることの重要性を理解させるのに時間がかかった。中国では技術と知識が同一人物の中で一体化されていないのではないかと感じた。米国への留学・就職を求め、京大で博士学位を授与されたが、キャリアのステップととらえている様であった。一般的な姿かどうかかわからないが、この制度と中国医学生のとらえ方を示しているように思う。制度的には期間が中途半端であった。大学院博士課程を修了する4年程度は必要と感じた。

将来：将来中国の医生物学研究者と共同研究が進められるような状態が来ればよいと願っている。

--
--

評価：両名とも日本人院生に比べても優れた人格を有しており、教室の研究体制を強化する上でも大いに役立った。

印象：研究者の人格が優れており選考の質の高さが印象的である。

将来：①同窓会組織の結成。②受け入れ教授が自ら中国に出かけ、共同研究相手先から優れた研究者を招請する。

--
--

評価：本学において努力して研究し、帰国後其の知識を活用して活躍してくれると思います。

印象：非常に有用でありがたい制度である。

--
--

評価：是非続けて頂きたいと思いますが、試験のようなものを取り入れた方が良いのではないかと思います。

印象：日中友好を深める最良の手段。

将来：中国は歴史のある国であり、能力のある人が沢山いると思います。

--
--

評価：制度は評価できます。中国のどこの地域、施設から選ばれるのか、研究の目的、帰国後の貢献、その後の日本との交流等、より検討されることが望ましい。

印象：学生が、アルバイトに専念しすぎることがあり、多少の矛盾を感じた。

将来：再来日の制度はとても良いと感じましたが、今後継続性・国益にも配慮し、グループの研究会・シンポジウム・ワークショップ等の形式も取り入れてみてはどうでしょうか。

第 16 期

--
--

評価：次第に両国の医学研究のレベルの差が無くなると、制度の改革が必要になります。

印象：経済的に恵まれたのは笹川財団の支援を受けた留学生であり、他の留学生との格差が大きく気の毒に思っておりました。

将来：本当の意味での日中医学研究の架け橋になって欲しいと思います。

--
--

印象：受け入れたのは礼儀正しく、人柄がよく、優秀な人物だった。彼のような方が今後当科を希望し研究する機会があれば全面的に協力したい。

--
--

評価：博士号を有しない者でも留学できることは意義深いと考える。特にコメディカルな部門で働く人々には他にないよい制度と考える。

印象：留学生の生活環境について配慮がなされており、受け入れ側にはこの面で心配することはないのがありがたかった。

--
--

評価：笹川財団の中国留学生は優秀であるとする。私が受け入れたような研究者と研究できたことは私自身の喜びであり、本人も成長した。

--
--

評価：研究者が熱意を持って研究に取り組んでおり、研究者の選考方法・基準が確立されている。

--
--

評価：医学と薬学を通じて交流が深く、中国の医療に貢献している。本制度は極めて意義深く有益であるとする。

印象：中国の医療事情の一端がわかった。

将来：今後も継続されることを希望する。

--
--

印象：一所懸命の方とさほどでもない方があり、受け入れ側としての対応が難しい場合が多い。

--
--

評価：人物の選考方法に何か問題があるのではと思っています。

将来：大変よい制度と思いますが、時間と共に選考対象の質の低下があるのでは。

--
--

評価：研究者の向上心が研究室の学生の刺激になっていた。研究者は生活面と研究進行において精神的に安定して、研究に進進できた。

印象：日中医学協会の事務局が受け入れて下さる制度で、当方は研究や交流についてだけ注力すればいいのがありがたかった。

将来：研究面ばかりでなく、国際交流の点でも大きな意味があるので今後も継続して頂きたい。

--
--

印象：1997年の10周年記念に北京に招かれ、現地の留学生と交流し、大変手厚く歓迎して下さったことが大変印象的です。

将来：日中の学術・文化の交流に大変有意義であります。今後も続けて行かれますよう希望いたします。

--
--

印象：スタッフの面倒見の良さとサポートシステムはフルブライトに匹敵する。

将来：今後も継続すべし。

--
--

評価：中国の医学が十分に充実しておらず、問題を抱えていた頃より、日中笹川医学研究者制度は、中国の医学の勃興に日本の医学が大きく寄与していると思います。またその役割は新しい時代に即応した形で更に発展するものと期待しております。

印象：この制度は地道な活動を続けられ、今日の中国の医学、歯科の発展に寄与していることを鑑み、その慧眼とご努力に深い敬意を表するものであります。今後もきめ細かい、また長期的に見て実効のある国際育英制度になって頂きたいと思っております。

将来：日本と中国はアジアの中心であり、あらゆる意味で世界の三極のひとつであります。そのことに日中笹川医学研究者制度は早くから着目し、大きな責任を果たして参りました。本制度が新たな日中関係を促進し、アジアの医学の発展に巨視的に貢献されることを期待しております。

--
--

評価：これからは、このような制度を中国自体が予算を付けて若手研究者を育てるべきと考える。特に最近では、アフガニスタンやイランなどにこのような制度を運用してあげた方が有益であるように思われる。

印象：非常に親切で、留学生にとって行き届いた留学制度だと思う

--
--

評価：十分な経済的援助と思われる。

印象：現在では中国人研究者の生活レベルも向上しているので、今以上の経済的援助は必要ではない。

--
--

評価：将来にわたり年間80名程度の奨学生と20名程度の特別研究者の受け入れは必要と思われる。特定疾患または特定領域のトピックに相当する2国間のセミナー、ジョイントセミナーを開催する。中国の若い研究者の国際機構への投稿を援助する必要があると思う。

将来：笹川奨学生は英語の能力があり教室に滞在中、日本人の若い者との交流が生まれ、これは将来の両国の交流に甚だ大きい影響を及ぼす。私の所に来た2名は、現在アメリカにおります。彼等にしてみれば、「日本に来なければ世界の何処にも出られなかった」と言っています。

--
--

評価：研究生の能力、バックグラウンドをきちんと掌握できず、研究開始するまでに時間がかかる。

印象：研究するには1年という期間は短く、受け入れ側の負担も多いです。

将来：研究者として対等に仕事が出来る人達と交流できる方向で進めて行って頂きたいです。

――
――

評価：中国の優れた医師を日本に招請し共同研究を行うことは、両国にとって医療の向上につながり、大変意義深い制度である。

印象：中国の研究者が研究に集中できる環境を整えられている素晴らしい制度。

将来：このような制度により、更に日中両国の医学交流が発展すればよいと思う。

――
――

将来：今後は日中に限定せず、開発途上国全般に幅を拡げられるべきだと思いますが、中国の優秀な人材は米国へ大量流失しており、かつての日本人の如くに米国の研究室（特に生物系）の下支えをしている。

――
――

評価：帰国後、日本で得た知識・技術を中国での医療の現場に役立て、医療の質の向上に寄与している。

印象：来日した研究生は極めて優秀で、本制度での選考がよかったものと思われた。

将来：必要があれば帰国後の研究生との交流が自由に、且つ継続的に行える様、資金面を含めたバックアップ制度の検討をしてほしい。

――
――

評価：中国に帰国した研究者が、母国の研究をリードしており、高く評価できる。

印象：留学の人選から、日本への留学中及び留学後のフォローが充実している。

将来：本制度は、今後も是非必要と思う。

――
――

印象：我々が受け入れた留学生は修了後米国留学を希望し渡米、米国で永住権を申請している。このような状況で小職はどのようなアドバイスをしたらよいのか悩んでいる。

――
――

印象：留学前の語学研修という制度のためか、日本語の理解が大変よかったのが研究がうまくいった原因と思われる。

将来：日中両国の医学分野における協力及び医療の向上を目指すために、是非続けてもらいたいと思います。

――
――

第17期

――
――

――
――

評価：この制度を通じて中国について知ることが出来、中国の発展に少しでも協力・支援できた。また、中国との人的交流の基盤となることから、意義有る制度と思う。

印象：制度がしっかりしていて、対応がきめ細かく確実になされている点が心強く、研究者にとっても頼れる制度と感じてもらえ、日本への印象を良好にしたと思う。

――
――

評価：中国人研究者の選考方法が不備で、適切な能力を持つ人を選ぶのは時間がかかるので、この点を改良すべき。

印象：日本で学んだことを中国人民に還元する気持ちを持つような人達を応援したくなります。

将来：続けるべき。

――
――

--

評価：1年という期間が短く、せっかく研究や環境に慣れた時点で研究室を去るのが残念でした。期間についてもっと柔軟に考慮して頂きたく思います。

印象：日本語の教育が優れていて、日本に来てもすぐに順応する事が出来た点は素晴らしい。優れた人材を選んでいく点も評価される。

将来：日本の大学院に留学し、学位を取れるようなシステムに発展させて頂きたく希望します。

--

評価：中国からの留学生は質が高く、日本の研究の発展にも必要である。

印象：1年間という期間は短いと思いました。

将来：今後是非継続をお願いします。

--

評価：日本においては既に殆ど消滅したような病気が中国にはまだ見られるものが多い。これらの病気について、日本の経験を中国に導入し、共同研究する意味において本制度は極めて意義深く、有益である。

印象：研究者は何れも真面目であり、勤勉努力家揃いであることが印象に残っている。研修期間がもっと長ければ立派な仕事、国際的な業績を上げることが出来るものと信ずる。

将来：最近の中国における発展は著しい進歩を遂げているので、むしろ今までの芽はこれから伸びると信ずる。したがって可能な限り日中医学交流を継続して行くべきと思われる。

--

評価：1980年以前までは日本の学者が欧米を中心として留学が盛んに行われていたが、今度は日本人が他のアジア諸国に目を向け、研究者のホスト国となる時期に一致して、このような制度は適切と考えます。

将来：優秀な人材の滞在期間を延長する制度もあるとよいのではないだろうか。

--

評価：研究生の多くが帰国後指導的立場で活躍していることを考慮すると、適切な制度であったと考えられる。

--

評価：中国は重要な国家である。日本の進歩した医学を伝えることは重要な仕事である。

印象：もう少し詳細にシステムを構築すべきである。

将来：将来もっと強化すべきである。

--

評価：ディスカッション出来る程度の語学力（英語もしくは日本語）を修得してる方を採用して欲しい。

印象：来日前に期限が切れてから必ず帰国するよう納得させておかれた方がよいかと思います。

将来：将来的には日本からも中国に留学できるような相互交流が望ましいと考えます。日中友好親善が加速されることを望みます。

--

印象：日本の生活に慣れてくると、私どもの目の届かないところで、アルバイトに専念するような実態があります。

将来：目的意識を十分持った人を選別することが重要です。

--

評価：能力の高い人が選ばれており、その内かなりな人々が中国本土における研究の推進者となると期待される。日本で研究の端緒を掴んで帰国し、本国で活躍し、能力を伸ばすことが出来ると、中国にとって有益であると共に、将来の日中関係に大きな役割を果たすことになる。

印象：有能で将来性のある人の再来日の機会が与えられたこと。1 回目の来日で能力評価が見えており、こちらから推薦するため、直接の研究指導者に責任感が生じ、指導体制がよくなること。

将来：中国の医療水準は落差が大きく、医療供給体制を組織化し、この落差を減らすことが急務と感じる。日中医学交流を通じ、医学教育者と医療行政に関わる人材の育成を図ると意義が大きいと思われる。

――
――

印象：受け入れ側にとって当たりはずれがある。

将来：継続は必要だが形態を変えることが望ましい。

――
――

評価：本制度開始10周年記念が北京で行われました時、留学生の活気溢れた行動に接し、本制度は可能なら継続して頂きたいと考えております。私どもが受け入れていた時代と現在では、中国の医学研究レベルが大幅異なると考えられますので、その点を考慮する必要が有るかも知れません。

印象：家族一緒に留学が認められなかった。家族に何かがあっても帰国できないことがあった。

将来：家族での留学が可能になって欲しいと希望します。

――
――

評価：日中の交流の機会として有意義と考える。

――
――

印象：受け入れ機関に対して研究助成などメリットが有るようにする必要がある。

将来：継続。

――
――

評価：人物にもよるが、極めて熱意を感じる。

将来：希望者には門戸を開くべきと考える。

――
――

評価：もっと研究業績のある語学の出来る優秀な人材が欲しい。

印象：突然に日本に鍼灸科の中医学の医師がやってきて西洋医学を全く知らない。急に神経内科の専門知識を習得しようとしても無理なように思う。

将来：優秀な医師の交流は有意義だが、ただ沢山の人々を無理に送り込んだとすれば、制度の改善が必要である。

――
――

印象：研究能力だけでなく人格的にも、語学を含めた適応能力も秀でた人材を派遣して頂いたこと。

将来：一層の充実を期待します。

――
――

評価：中国の研究者はチャンスが十分に与えられておらず、本制度のおかげで能力が開花したと思う。

印象：費用的に十分でなく他の奨学金の支援も併せて貰わないと日本での生活は苦しい。

将来：本当にやる気のある人と、日本に来ることが目的の人がいるようだ。選考をうまくやるのが大切と思う。

――
――

評価：中国からの留学生として経済的な心配が無くてよい。

――

評価：日本での研究は研究者の基礎知識となり、今後の発展が期待できる。

印象：当人と私どもだけの交流ではなく、周囲の人々を巻き込んだ交流となるので、大きな交流の輪になることを痛感した。

評価：本制度では本人の評価も十分であり、日本語・英語等の言葉についても問題がなかった。

第 18 期

評価：優秀な人材の発掘が出来る。

印象：終了時に帰国せず、日本に更に留まるとか、外国へ日本から行くことが出来る様な制度であれば、少なくとも私のあずかった研究者には良かった。

評価：受け入れた研究者は中医であった。中国でも西医の研究領域に触れることは余り無いらしい。リハビリテーション分野で中国伝統医学を如何に活用できるかを学習した。

印象：国際学会等も開ける様になったことは素晴らしい成果と言える。

将来：対等なディスカッションの場を設け、刺激を与える時期に至っていると判断する。中国国内で、成果を知るための研究集会を開催しては如何？

評価：中国で選抜してくる制度はよい。語学研修を受けてくるのも良い。頭が良くスマートな研究者であった。

印象：フォローが行き届いていること、日本語を習ってこること。中国で選抜してくることがよい。

将来：あちらが日本より進むのは、もう時間の問題だと思います。「生きる」ことにかかるバイタリティーが、中国の人と日本の若者では比較になりません。

評価：日本を理解してもらい良いチャンスを作っている。最終的には中国で活躍する人材を育てられれば良いのですが、本人は現在米国におります。

印象：日本語がよく教育されていること。日本の習慣も良く教えられていること。アパートの世話までお願いできること。

将来：このまま続けて欲しいが、期間1年というのは短すぎる。

評価：①海外が初めてという研究者にとって、言語から文化習慣に至るまでの教育を含めたサポートはユニークかつ卓越している。②語学力、特に英語力で人選することで、優秀な人材が選択されている。③1年間というのは優秀な人にとっては、短すぎる助成制度です。1年間の評価をした上で延長可能な制度を一部の優秀者には取り入れてはと思う。

印象：①入国前日本語の指導があったことは、日本という特殊な世界で暮らして行くために大事だと思う。②入国時、出国時、滞在中のレクリエーション行事など、きめ細かなサポートを有りがたく思った。

将来：日本と中国でしかできない医学研究テーマを取り上げて共同研究を支援する。「教育」から「研究」へのステップアップを考慮に入れたユニークな交流支援が要求される時代になると思う。

評価：受け入れた研究者は極めて真面目で努力家で周りに迷惑をかけぬ様気を遣っていた。このような奨学生をより多く招く様になると良い。

印象：10周年記念行事で北京の行事に参加したこと。日本からの多くの参加者と交流がはかられたこと。曾野綾子氏の講演が良かった。

将来：中国の成長（国としての）が著しい。今後少し方向転換が必要ではないか。

--

--

評価：今後とも研究生の招聘を続けて欲しい。

印象：きめ細かい受け入れ体制が出来ています。

将来：「継続は力なり」を感じ入ります。

--

--

評価：現代では中国もかなり発展しており、他のアジアの諸国からの研究者を受け入れるべきである。

将来：帰国した研究者が財団にどれだけ感謝しているか甚だ疑問であります。研究の1年間は中途半端になります。この制度が続くなら研究者の内、臨床のみに絞る病院での研修の方が良いのではないかと思います。

--

--

評価：この制度の下、多くの中国人医師が研究経験を積むことは、中国の医療の向上に有意義である。研究者育成の点でも意義がある。我々にとって優秀な人材を教育できることは喜びであるし、我々の研究にも役立つことである。

印象：優秀な人材が選ばれている。また、身分保証等多くの面倒な手続きを財団が行ってくれることはありがたい。

将来：日中間に絞った民間財団の存在意義は大きい。他の国、特に東アジアの国々との交流に特化した民間財団が他にも現れる事が望ましい。これらがEUのような地域共同体的つながりを醸成し、将来の日本の安全保障の確保と日本の活力維持に役立つと考える。

--

--

評価：①優れた研究者（人材）は米国を志願している、なんとかすべきだ！②2年にすべきだ。

印象：選ばれた人達であり、つぶぞろいである。この10年中国側の急激な変化が見られ、それに対応して受入側の変化も必要である。

将来：継続すべきである。

--

--

評価：受け入れた研究者は医師でないため、臨床医としての研究には適しなかった。

印象：日中の交流に役立っている。

--

--

印象：①この制度を利用した研究生は出来るだけ帰国して中国の発展に寄与して欲しいと思う。現実には日本で就職したり、或いは欧米への留学の足掛かりにする研修生もいるので、この点は採用する時に確認した方がよい。②笹川制度は日本学術振興会の留学生より競争率が高いと聞いている、研究生の質は笹川制度で来た人の方が目的意識がしっかりしていて優秀であるとの印象を受ける。選抜に当たっては能力は勿論、意欲など面接をしっかりやって頂きたい。

将来：日中だけでなく日中韓、更にはオーストラリアなどを含めたアジア・オセアニア交流も視野に入れた方がよい。

--

--

評価：6年前に、貴財団の援助を受け、能力と気力にあふれた臨床医を受け入れました。おかげで、基礎的な研究思考を持った素晴らしい研究者に育ち、現在、米国で活躍中です。国内のあらゆる医科大学（あるいは医学部）に公平に援助を行っている貴財団の存在は、私たち地方私立医大にとっては大変心強く、感謝しています。

将来：1年間でなく数年間コースもあれば、研究と教育の連続性が今以上に保てるのではないかと考えています。

--

--

評価：帰国後適切な地位で活動できる留学が重要。

将来：①非常に重要なことである。但し領域を考慮しないと中国の医療体制と異なることが有るので要注意である。②特に基礎医学の領域では重要である。③期間を年単位でなく成果（例；論文作成）に応じた設定も必要であろうか？

――
――

評価：本来国家がすべき事をするに意義あり。

――
――

評価：①試験で選考し、日本語研修を受けているので、能力・意欲等が優れている。②招聘期間が1年間と短い、再来日の制度もあり、これはよい。

将来：SARSの例の様に両国が共同で対応しなければならない問題も出てくるので平素の交流が重要である。

――
――

印象：1年ではどうしても仕事としてまとまらない。論文にまでまとめる形とならない。

将来：日本の大学院に入学する留学生に対する補助も行って頂きたい（じっくりと指導して帰国後リーダーとなれる様に育てたいので）

――
――

評価：第1回～第10回までは途上国的な扱いで当科としても全力を上げて応援し成功させたのが喜びであった。最近中国も富の分配がありハングリー精神にやや欠ける人がいる。

印象：受入が成功であったこと。

将来：①そろそろその役割を終えるかも知れない。対等の時代？②他の途上国に目を向ける事は？

――
――

評価：出来れば中国以外の東南アジア諸国からの留学生に恩恵を与えてほしい。

印象：留学生の渡航前・後の諸手続が円滑に行われており、優秀な者は「特別研究者制度」を設けて再渡航の機会を与えて貰うのは受入側にとっても嬉しいことであった。

将来：より一層の発展を祈るのみです。

――
――

評価：中国の医師・研究者にとって有用な滞在だと思われ、熱心な方が見えれば受入側にとってもメリットが十分ある。

将来：今後は日本はパートナーシップで協力していくことが重要と思う。

――
――

評価：日中両国の友好を高める意味で有用であると思われる。

将来：中国だけに限定しない幅広い人材の交流が重要である。

――
――

評価：極めて意義深く有益であったと考えます。研究生及び当教室にとって有益であったのみならず、日中友好という意味でも極めて貢献できたと思います。研究なども互いにコミュニケーション出来るのが重要で、その点笹川奨学生の人は日本語の特訓を受けいて、日本語で教室員と交流出来たのは大きかった。更に、日中笹川医学研究者制度の優れた点にその継続性が有ると考えます。点としての交流でなくて、線としての、或いはこれだけ継続されてくると面としての制度の有効性が有る様に思います。今後更にこの制度が継続されることを願っています。

印象：①奨学生がよく選抜されていること②日本語の教育が出来ていて、日常生活に殆ど不自由がない事、研究上のコミュニケーションが取りやすいこと。③1年の研究を終えた後に継続して研究を続けられる様な制度的保証がもう少し有ればと思います。

将来：将来は希望的である。点としてでなくて線としての或いは面としての交流につなげていくことが重要。その為には制度が継続されて、十分な成果を上げていくことが大切だと思います。かつて行われた様に、20周年などの区切りの時に日中の交歓会を開くなど

も将来的発展をする上で大切なことだと思います。

――
――

評価：受け入れた研修生に対しては多少の疑問がありました。

印象：継続した研究、共有する問題に共通の目的を持って共同作業が出来れば友好関係を継続する成果につながる。

将来：中日医学交流の成果発展的活動としての研究会、シンポジウム、ワークショップ等は如何でしょうか。

――
――

印象：北京での記念集会。

将来：優秀な人材を。

第 19 期

――
――

評価：学問的交流もさることながら、人的交流の意義が大きい。

印象：非常によい制度であるが、限られた期間の中で論文としてまとめるだけの業績を上げるのはかなり難しいと思われる。優秀な研究者には更に年月を追加できる制度があればありがたい。

将来：今後も積極的な交流が続いて欲しいと願う。

――
――

評価：研究者にとって、大いに有益な制度。帰国後の活躍により、再度奨学生となった。

印象：滞在中日本の文化に積極的に触れる努力をした。

将来：相互交流できるシステムの構築が望まれる。

――
――

将来：1年間の交流だけでなく、共同研究の方向へ発展すべき。感染症を始め遺伝子解析も白人には見られないSNPと疾患との関係、創薬等に役立つはずである。

――
――

評価：笹川研究生を3人世話したが、何れも素晴らしい能力の持ち主で、現在世界的に活躍している。

将来：1年というのは短い、場合によっては2年以上の延長があってもよい。

――
――

評価：地味で苦勞の多い仕事。お陰で若い青年たちが育って行くことに意義がある。感謝いたします。

印象：皆優秀で、他国で学ぶことが出来る素地を培ってから来られたので、勉学に無駄がない。

将来：国際的人材養成事業として、教育という原点の下に制度が運営されている事に敬意を表します。

――
――

評価：中国の医学に貢献するところ大であり、多数の指導者を育成した。日中交流に役立った。

印象：優秀な人物を留学生として育成でき、教室員の励みになった。

将来：本制度の継続をお願いする。

――
――

評価：相互理解が深まる。双方の研究・診療に役立つ。

印象：①事務的サポートが万全で安心して留学生を受入れられる。②非常に優秀な留学生が選抜されていること。

将来：これからも継続して頂く事を望みます。

――
――

評価：有意義な制度であったが、今後現行制度を継続していくことに疑問を感じます。研修を希望する留学生と受入側の体制が合致していれば双方が成果を上げることが出来る。

印象：近年の留学希望者の申請書を見て感じることは、目的が不明確であり、かつ自分がどの施設で何を修得したいかが示されて無い点が問題である。また、研究を行う上での学問的背景の未熟さが目立つ。

将来：今後も両国間の学際的協力が必要と考えるが、現在の様な 100 名規模の受入は不必要と考えます。

中国側からの一方的な推薦による受入は止めるべきと考えます。将来の両国間の正しい理解と更なる友好関係を発展できる様なシステムの構築を考えるべき。我が国の若手研究員や指導者の中国からの受入を考えて貰う時期に来ている。

――
――

印象：①大変良い制度。②選考が公平なものかどうか多少疑問を持った。

将来：高いレベルでの交流を希望すると共に、日本側で協力出来る教育などは、時間の制限を緩めて十分行うことを希望します。

――
――

評価：大変重要な制度であり、高く評価する。

印象：留学生への面倒見がよい。

将来：今後とも数を増やして頂きたい。

――
――

評価：才能有る有為な人材が多い。

印象：①スカラシップが出ているので安心して勉強が出来る。②高い能力の人材。③日本語のコミュニケーションがスムーズ。

将来：継続を希望。

――
――

評価：国際交流できることは、当該研究者だけでなく、研究室員、特に学生にとっても海外について知る良い機会であると思う。

印象：両国の文化・社会性は大きく異なる。来日前に生活習慣やマナーの知識などについて重点的に教育して頂きたい。

将来：今後も継続していくことが望まれる。

――
――

評価：中国人留学生の人選を性格的な面で十分チェックすることが必要。

印象：この制度で研修した人のフォローを担当責任者に伝えるようにして頂きたい。研修成果が後々どのように反映されたかが全く不明。

将来：研修修了後の研究の進み具合を研修した施設に自ら報告するような資質の学生を選んで欲しい。

――
――

評価：受入れた研究者は特例的に良くない行動を取った。本人は米国留学へのステップとして利用したと思われる。優秀だったので成長を期待しただけに研究室一同ショックを受けた。

印象：在日学生という立場を利用して、カナダ・米国に行く人が多いように感じる。必ず中国に帰り、指導者になるという中国の本当のエリートにすべきではないかと感じることが多くなった。

将来：日中医学交流そのものは一層進めるべきだと思うが、最先端医学には格差が大きく、日本で研究後、中国でしかるべき職が得られるよう中国側に働きかけることが必要と思う。その為には中国側の上層部の意識改革と若者の本当の希望を知ることが必要であろう。或いは日本在住の私費留学大学院生を厳選して月額 10 万円支給するなど。人選をより慎重に行うべきであろう。

――
――

--

評価：しっかりした目標や動機付けを評価して採用すべき制度で有ればよい。

将来：厳格な審査の後、健全なる心身・目的のある方を選ばれることが必要。

--

--

印象：特に優秀な留学生には再度我が国に留学する機会が与えられること。二度目の留学により当大学において博士論文を完成された方が強く印象に残っている。

将来：今後も是非この留学生制度が続くこと、留学された方と再会できるような連絡網の調整を望みます。

--

--

評価：教育的要素が強い。

印象：中国人留学生が様々な問題を抱えながらも必死に努力する姿。

将来：対等の立場での共同研究が始まるべきである。

--

--

評価：受入れた研究者は、頭脳の良さは感じられたが、指導者との相談は少なく、勝手に研究を進めていた。しかし、日中笹川医学研究者制度は貴重な制度であり、その役割は極めて大きい。

印象：笹川制度で来られる人は年齢もいっておられる方が多いので、個性が強い人の場合、対処しにくい面がある。

将来：隣国で歴史的にもつながりが極めて深い。将来ともども重要なパートナーでなければならない。日中笹川医学研究者制度を含めて尚一層の人的交流・文化交流が行われることを願っている。

--

--

評価：留学生側の熱意により研修効果が大きく異なる。熱意のある者には門戸が開かれるべきである。今後益々重要となる。

将来：学術交流のみでなく、手術手技の供覧デモンストレーションなど、様々な分野のサポート（相互の）が必要と思われる。

--

--

評価：経済的援助ということで価値は高かった。

将来：今後も継続して行かねばと思う。中国の経済力が、かなりついて来ていると思われるので、全部援助というのは検討の余地があるかも知れない。看護師の大学院入学などに関しては私立だと授業料免除がきびしいが、国立だとその制度があるので、国立が多く受け入れると更に発展するかも知れない。私が担当した例では、当研修が動機となって、その1年後に来日して修士・博士課程を修了し、現在中国で活躍しております。

--

--

印象：日中の研究の交流、研究の活性化に大変有意義な制度である。

将来：毎年1～3名の中国の若手研究者を迎えているが、医局の出費も大変である。笹川医学奨学金に援助をして頂けるようなら大変ありがたいのだが。

--

--

評価：中国に帰っても国際的に通用する指導者を育成したいと思っていました。そのレベルに達したと思っています。貴制度は大変有意義であり、もしこの資金がなければ目標の達成は困難だったと思われる。

印象：優秀でしかも努力した。英語能力も十分ある。

将来：中国に帰っても国際的に通用する指導者となり、多数の後輩を指導して欲しいと思っています。貴制度は大いに役立ちました。

--

--

評価：中国の人が経済的に不安無く研究に専念できる。優秀な人を送ってくれる。

印象：東京で全体懇親会のあった時のこと。

将来：今後も継続して頂きたい。

――
――

評価：本制度の留学生は、難関を突破し選別された秀才で、よく勉強し優秀な成績を残している。また、帰国後再来日するフォローアップで知識・研究の方法論等最新のものに更新が可能になるなど。手厚い支援により、日中学術交流に大いなる貢献を果たされていると感謝申し上げます。

将来：代替医療が見直されている今、中医学の専門家を招請し、日本での啓蒙を行う一方、日本人で漢方医学を目指す学生を支援し中国で本格的な中医を勉強させるなどの支援制度の設立は如何でしょうか。

――
――

印象：留学生個人で差があるようであるが、受入れた研究者のような人で有れば、多少滞在期間を延長してもよかった。

――
――

評価：まだ日本の大学にいたので自国の発展に寄与していないことが非常に悔やまれます。

印象：非常に自由で留学生の誰からも不満を聞かず、研究に邁進できる事であろう。

将来：殆どの留学生が与えられた期限に研究を済ませ本国に帰り、自国の科学レベルを高揚させるという本奨学金の趣旨を遵守していないように思われることである。しかし最近事情が異なっており、彼等の選択が正しかったのかも知れないということを考えている。

――
――

評価：私にとって中国医学界との関係はありますが、貴協会の制度による受入研究者との交流が、双方にとって大変有益で、最も意義深いものとなったと思っています。

印象：同じ地域内の中国人留学生同士の交流が深かったことに驚きました。反面、日本側指導者同士は全く関係ない状態だった。もっと地域の交流会（留学生・指導者の）が企画されれば有りがたいと思います。

将来：同じ分野の日中の専門学会の交流がもっと発展しなければと思います。韓国・台湾・ASEANなども含めた東アジアの交流の核となることを期待します。

第 20 期

――
――

評価：研究方法、まとめ方法等、学んだ点は多かった。帰国後の評価は長期的に見る必要がある。

印象：留学生にとっては十分な生活費になっていた。

将来：将来的には相互交流となって、中国から迎えてもらえるようになると良い。

――
――

評価：関係者の方々に深く感謝。

印象：「帰国すること」に関してトラブルが無いことが大変良いことだった。

将来：①共通する言葉がない。②お互いにそれまでの業績が殆ど理解できない、まして会うこともない。

基本的な（特に臨床面の）考え方の違いが短期間には埋められないことがある。将来的には解消されることを望んでいる。

――
――

評価：①私共の教室で学んだ知識・技術を、帰国後部下・後輩に伝授している。②その努力が認められたのか教授に昇進している。

将来：私は終戦後に引き揚げて来たのですが、中国の方に大変お世話になったそうです。恩返しのためにお引き受けしております。いつまでも続けて欲しいと思います。

――
――

――

評価：最先端の研究を体験し、今後中国における研究に大いに役立ったと思う。真剣に取り組んで頂き、論文も短い間に出すことが出来て我々も満足に思っている。

――

――

評価：①学術も研究もつまるところ人である。②人と人の交流はお互い得るところがあり理解が進む。③まして隣の国の人と交流できたことは大きい。④長い継続的な交流は高く評価されて良い。

印象：①懐の大きな制度であること。②若い人を対象としたこと。

将来：日本の研究者が中国に行って学ぶ時代になっていると思います。交流のパイプがもっと太くなっていいでしょう。

――

――

印象：日本の生活になれてくるとアルバイトに目が向いてくる。一旦お金が入ることを知ると、だんだんそちらに関心が向いてきたように感じます

将来：目的意識を持った人の選抜が重要。

――

――

評価：貢献は計り知れないと思います。中国側、政府・個人・大学などはどのように評価しておりますでしょうか。

印象：①年 100 人という大勢の招請。②世話した者を中国に招待。③今後も続けられよ。

将来：①日中以外、アジア諸国にもと思います（招致）②若手、中堅を日本から途上国に派遣。

――

――

評価：参加者は勉強よりも滞在期間延長に興味があり、テーマを十分勉強する時間が無かったようだ。

――

――

評価：中国が貧しく、潜在的に優秀な成長する能力を持つ医学研究者を、日本の先端医学研究に接触させるという意味で、極めて有益であった。今後とも研究生の方たちが日中医学交流の中心になると期待される。中国は国力を付けてきており、日本からの一方的な援助は考え直す時期に来ているかも知れない。ただ、中国に限らずアジア全般に貧しく医学研究は遅れており、今後とも何らかの形で人材育成を援助することは、長い目で見て有意義なことと思われる。

印象：この制度のお陰で、多くの研究者が育ちつつあることは大変印象的である。色々の理由から日本やアメリカに滞在している人達も、長い目で見れば、中国や日本の為になると思われる。ただ 1 年は短く異国に順応して落ち着いて成果を出すためには少なくとも 2 ～ 3 年は必要であろう。その意味で特別研究者制度は有意義だが、一度帰国して研究が中断するので効率が悪い。

将来：中国は土地も広大で人口も多い国である。現段階では一般にまだ貧しく、大学や研究所の設備まで手が回っていない。このような時期に中国の若い有能な人材の育成に協力することは重要であろう。

――

――

評価：国際交流に寄与している。日中の相互理解を深め人材交流を促進している。

印象：①研究者の選抜が体系的・組織的に行われ、研究者の身分保証がなされているため、安心して受け入れることが出来る。②研究に必要な費用の一部が財団から提供される。③研究者に在日中の生活費の保証がされる他、細やかな支援が行われている。④大きな国家的プロジェクトとして研究支援が行われていること。

将来：研究者のニーズを十分踏まえた支援で有れば、今後更に意義のあるプロジェクトになる。

――

――

評価：日中交流の機会として有意義と考える。

――

――

評価：中国の医学レベルの向上に寄与した。留学生が東北地方（ハルビン市）からであったこともあり、彼の地の小児消化管内視鏡検

査の先駆者となり大いに貢献した。

将来：有る程度の目的は達成できたと思う。今後は共同研究程度で十分。

--
--

印象：①1年は短く更に長期の滞在を望んでいる留学生が多い。最終的に日本に残留を希望している人もいるようで、この点は問題かも知れない。②日本語・英語両方必要、英文論文が読めなければ日本でも勉強のしようがない。必須とすべき。

将来：継続されると良い。

--
--

評価：中国には多くの天然資源が眠っている。自然破壊の起こる中、又、伝統医学の重要性の増す現今、日中笹川医学研究者制度は極めて意義深く、他部署との更なる連携が出来れば非常に有益である。

印象：2名の奨学生を受け入れたが、両名とも非常に真面目で大いなる成果を得ることが出来たと共に、人的交流が継続している事を考える時、その出会いを与えてくれた笹川制度に感謝いたします。東京での式典に参加した際、亡き笹川さんが壇上に飛び上がったその若さに感激、曾野綾子さんにお目にかかって感激でした。

将来：特に我々の分野では、中国は天然医薬資源の宝庫として重要であり、いつまでも相互学術交流が継続できることを願います。

--
--

評価：本人にとってはとても良かった。

将来：①田舎から来る人は従来型でよい。②北京や上海から来る人には新しい考えが必要である。

--
--

評価：日本語だけで無く、英語はせめて読める人を選んでいただければ、来日した研究者にとっても、もっと有意義になる制度になると思う。

印象：留学生は有る程度貯えが出来るため、安易に進学や更なる海外留学を考える者が多くいるようである。余り処遇が良すぎるのも考えものである。

将来：日本の受入機関で育成した中国の研究者には、今度は中国で学会等を開催してお世話になった先生を招聘するような企画をさせてもいいのではないかと。

--
--

印象：様々の形式的行事は一切省略した方がよい、研究・研修に集中できるような配慮が必要である。

--
--

評価：研究者を育成する本来の主旨は大変意義有るものだと考えます。

印象：①こちらに何の相談もなく東京の病院に就職活動をしたことです。②夫や弟を呼びたいので保証人になって欲しいといわれた。③生きていく為には遅く、金銭感覚は異常。④文書で見ただけでは熱心な人と受け止めましたが、誰かのアドバイスを受け申請書の研究目的等を記入したように思われます。

将来：他の教室に来ていた人は素晴らしい人で、帰国して活躍しているとの報告もあり、日本にはない漢方中心の病院のことなど、こちらで学ぶことが出来ました。このような交流が出来ると大変良いと思います。

--
--

印象：日中医学交流に大きな貢献を果たしている。

将来：今後もこの制度を続けて頂きたい。

--
--

評価：笹川医学奨学金制度のような厳しい審査を受けてきた人は比較的優れた人物が多く、日本受入に関して適切な人物の選別に有用であると思われる。

印象：中国での選別がしっかりしていると思われる。

将来：笹川医学奨学金制度のように、研究に対して素質のある者を厳格に審査し、日本で研究の機会を与えることは、両国の交流・発展に有用であると考えます。今後ともこのような制度の下に交流を図ることは、意義深いものと思われる。

評価：アジアの中心として活躍すべき両国の交流に大きな役割を果たしていると理解しています。

将来：日中の文化交流は、近将来は相互依存的になるものと考えているが、今しばらく貴会の貢献に期待している。

評価：①医学領域における日中両国間の人物交流が、広い意味での日中両国間の文化交流の一環として、両国間の友好推進に良い影響を与えることが期待される。②笹川医学奨学金制度は、日本への留学を希望しながらその望みを実現できない多くの中国人学生に与えられた希望の星の一つと理解される。本制度による人物交流と、その成果としての東西文明の交流は、両者の相互理解によって、地球上における人類の持続的発展に寄与すると期待される。

印象：①研究生受入に際して、東京で行われたオリエンテーション、指導教官との面会、研修場所への移動が手順良く準備され円滑に行われたこと。②当該研究生は研究機関において、何事においても積極的に対処してた。特に新しい実験手技を修得する場合に、全ての操作段階を自分の手で遂行していた。また文献の検索や新しい情報収集なども、自分から積極的に行っていた。これらの心がけと態度が、彼が研究期間内に然るべき研究成果を上げることを可能にした。

将来：西欧的科学技术に基づく近代的医学と、古来の伝統と経験に支えられた漢方医学は、相反し対立するものではなく、むしろ相互補完的なものと理解される。日中医学協会が将来、西欧的近代医学と伝統漢方医学との相互補完性に見られるように、互いに長所を取り入れ、短所を排除するという切磋琢磨によって、継続的に発展を遂げ人類の未来に明るい希望を与えることが望まれる。

評価：滞在期間が比較的短期であるので、我々は相対的にGIVEが大部分でTAKEは少ない、しかし、人材養成として中国に貢献しているのであろう。

将来：今後中国の研究レベルも上昇してくると予想され、対等なレベルでの交流も可能になるかも知れない。米国志向型、欧州志向型の次が日本志向と聞いている。日本志向型の学生の質を如何に上げるか。

第 21 期

評価：研究者と一緒に共通の問題で研究に取り組むことが出来たことは、単に研究上の相互理解に留まらず、日常的ライフスタイルを通じて相互理解を深めることが出来たと思われた。

印象：研究者への支援体制が良かった。

将来：帰国された研究者の活躍により、中国における西洋医学の進歩のスピードは著しいと予想されます。両国の医学交流は極めて重要と思われます。今後とも引き続き本プロジェクトを継続されることを期待いたします。

評価：これからはもう少し高度な研究協力が出来ると良い。

将来：中国の分子生物学も大いに進歩すると予想される。その時に実質的な研究協力が出来て、よい共同研究の機会が出来ることが望ましい。

評価：研究者の帰国後も公私に渡って交流しており、良い制度である。

将来：1年では短いので2年以上の留学期間をお願いします。

――
――

評価：中国での音声言語医学の発端となったこと。留学生は帰国後関連学会の指導的立場に立っている。本制度が高く評価されているあかし。

将来：我々が関与している学問分野（音声言語学）について、中国は未だ発展途上と言わざるを得ない。その点を考えると、有る程度指導的立場にある研究者を交流の対象にする事が望ましいと言える。大変有意義な制度である。

――
――

評価：日本の第一線の研究教育機関で学びたいという強い希望を持った留学医学研究者に、研究の遂行・継続をサポートする本制度は①優秀な医学研究者を得ることにより日本人大学院生・研究者にとって、留学生の方から研究面のみならず人文・社会面を含め多くを学ぶことが出来る。②向学心に溢れた優秀な人材をサポートするこの制度により、日本・中国の生命科学の研究推進に大いに資すること。③日本・中国の医学研究を通じて更に大きな交友関係が築かれること。是非とも本奨学制度の継続により、より多くの中国からの留学研究生の研究推進が図られることを強く希望する。

印象：受入れた研究者は生活維持のためのアルバイトを余儀なくされていたが、そのような生活状況と本人の優秀さとモチベーションの高さを余すところ無く汲み取りサポートされた。

将来：今後は日本人研究者の中国派遣など両方向性の医学交流が更に進むことによって、アジア圏での医学・生命科学が飛躍的に推進されることを希望する。

――
――

評価：日中交流の点では、双方の努力が必要とされる。

――
――

評価：彼女の場合は、制度にとってもマッチしていた。制度としては継続して頂きたい。

印象：①レベルの上の方が来るので研究は行いやすかった。②宿舍も決めてある、定期的集まりがある、国内旅行がある等、日本の生活が楽しめるので良い。③人間的に既に成長された方が来るので良い。

④日中で指導員の交流もあるのでよい。

将来：①何らかの方法で継続するのが望ましい。②どのように選抜するか考えてくだされば幸いです。中国でも貧しい地区を優先するとか。③対等なつきあいで医学交流が望ましい、中国からも予算を出すとか（詳しい現状は知りませんが）、日本の方が中国で勉強できる形を拡げるとか。

――
――

評価：1年間という研究期間は必ずしも十分ではないが、研究推進に役立っている。

将来：本格的に基礎研究をやりたいのか、一つの勉強として留学を考えているかにより、適切な受け入れ先があるものと思われ、研究機関も異なってくる。事前の打合わせや面接がもっと重要であろう。

――
――

評価：研究者が異国で生活の心配なく研究できるという環境は大きい。

印象：訪日前、訪日中、帰国後における研究者へのあたたかい支援に感激した。

将来：研究者は財団による手厚いサポートにより思う存分研究に専念できた。このような研究者は帰国後も恩を忘れず、非常によい印象を持ち続けることになると思う。本制度の日中医学交流に果たす役割は大きく、貢献は計り知れない。

――
――

評価：能力の高い人が選ばれており、その内かなりな人々が中国本土における研究の推進者となると期待される。日本で研究の端緒を掴んで帰国し、本国で活躍し、能力を伸ばすことが出来ると、中国にとって有益であると共に、将来の日中関係に大きな役割を果たすことになる。

印象：有能で将来性のある人の再来日の機会が与えられたこと。1回目の来日で能力評価が見えており、こちらから推薦するため、直

接の研究指導者に責任感が生じ、指導体制がよくなること。

将来：中国の医療水準は落差が大きく、医療供給体制を組織化し、この落差を減らすことが急務と感じる。日中医学交流を通じ、医学教育者と医療行政に関わる人材の育成を図ると意義が大きいと思われる。

――

――

評価：①研究面を相互に高めることが出来る。②現在の中国の人々はこのように考えているのだと理解できたことも大きな収穫であった。

印象：中国の医師の考え方や発想が日本と違っており、とても新鮮でした。これが今後の研究の面でのお互いの発展につながると思います。

将来：これからも引き続き行うべきと思います。1年という期間は短くもう少しいられたらもっと研究が進んだと考えると残念です。一度帰国するとなかなか双方の連絡が取れないため、その面でご協力いただくと（同窓会のような）助かります。

――

――

印象：日本の目は欧米に向いています。中国との「交流」が「業績」にプラスとなるとは少なくとも今は思いません。しかし、交流が文化的交流につながり得るものと信じます。

将来：熱心でやる気のある人ならどこへ行ってもウエルカムと思います。

――

――

印象：当方の受け入れた留学生の半数は中国国内及びカナダ・米国等で活躍しており、かつて我々が欧米から技術・学術上の援助を受けたことの効果を思い起こさせる。

将来：現在の留学生はやや緊張感に欠けるのではないか、人選を厳格にした方がよい。

――

――

印象：留学生は優秀である。

将来：更なる発展を期待する。

――

――

評価：留学者の教育・研究のバックグラウンドと配属された研究室の研究の内容やレベルの高さが違う場合が多い。その場合、1年間というのはあまりに短期間過ぎる。研究の意味や方法論を理解して自分で応用や発展を考えられるようになるかならないかの頃には帰国になってしまう。

印象：①留学者の教育・研究のバックグラウンドと配属された研究室の研究の内容の違い。②純粋に基礎医学を目指す研究者も選抜する。③成果まで期待するなら1年限りは短かすぎる。④日本語を研修してきたのに米国・カナダが目的なためか、周囲の日本人に日本語で話をしない態度は不快である（事務局注；当該研究者はカナダ在住）。

将来：別記①～④が改善されれば有意義ではあるので、続ける意味はある。

――

――

評価：日中の相互理解に資する所が大きい。帰国後も研究を継続し、更なる成果を期待できる人材を派遣することが出来れば、その意義は大きい。

印象：生活費が保証され、日中医学協会からきめ細かな支援が行われていること。

将来：選抜のプロセスに一層の工夫が必要、研究活動（実績）があるか、来日目的は何か、帰国後も研究を継続発展させる可能性があるか等。

――

――

評価：日中両国の友好に大きく貢献している。

印象：留学者の研究意欲を選考時に十分に評価して頂きたい。

将来：21世紀初頭には、日中医学交流を益々発展させる必要がある。

--
--

印象：研究者が研究に没頭できる非常によい制度だと思う。

将来：中国は診断と高度な技術を必要とする部分は大きく遅れている。その一方日本には少ない疾患が多く存在したりして、共同研究の必要性を痛感する。両国の密な交流でアジアのみならず、世界のリーダーシップをとるように出来るとよいと思う。

--
--

評価：国際交流による人脈形成（知日・親日のリーダー養成の観点から）

将来：交流の維持が望まれる、人材の選択には慎重な配慮が必要。

--
--

評価：5名の研究者を受け入れたが、全ての方に関する印象はポジティブで、現在でも種々交流がある。

この制度は日中の人的あるいは学術的な交流に多大の貢献をしている。

印象：全ての研究生が大変真面目で勤勉で、且つどん欲であった。また日本人以上に最大限の敬意と親愛の情を示してくれた。

将来：この制度により益々活発な人的学術的交流がなされることを期待する。

--
--

評価：中国では医学の基礎研究ばかりでなく臨床研究への取り組みが未だ不十分です。その意味で役立っている。友好関係にも寄与している。

--
--

評価：国際的に評価され、しかも母国の教授になれたので、多数の後輩の指導が出来ると期待される。この制度の輝かしい成果の一つであると誇りに思うと共に、貴制度に深く感謝しております。国際共同研究の助けになる制度がありましたら是非今後も当該研究者をご援助下さい。

印象：この制度無くしては、現在の彼女の教授昇進は無かったと思います。大学院の3年間はよく頑張ったと思う。帰国のタイミングもよく、現在の地位就任に間に合ったと考えます。

将来：日中医学交流に大変良い種をまけた。このような制度があると大変助かります。帰国後の共同研究打合せのための交流基金でも有れば研究が一層推進されると思います。

--
--

評価：優秀な研究者を受け入れることが出来、大変有益でした。

印象：優秀な人材を手厚い助成で日本に派遣している。

将来：今後も優秀な中国人研究者との交流を続けて下さい。

--
--

評価：初期の頃の意義は極めて大きかった。

印象：受入研究者が教授になったこと。

将来：別の途上国を相手にする。

--
--

評価：派遣される人物の資質と受入側の設備 Capacity にもよると思われるが、京大医学部と当該研究者とは見事なマッチングだった。

印象：彼等は本制度の受益者であることを殊の外誇りに思っており、受け入れた大学が彼等の能力を存分に発揮しうる所であることを切に願っています。

将来：能力の有る人材を本邦の相応の施設にお招きして共同研究を行うことは、大いに意義有ることと思う。派遣先を充分考慮して差し上げることが最大の礼儀であろう。

--
--

評価：まだ日本の大学にいたので母国に寄与していない。

印象：非常に自由で留学生の誰からも不満を聞かず、研究に邁進できる事であろう。

将来：殆どの留学生が与えられた期限に研究を済ませ本国に帰り、自国の科学レベルを高揚させるという本奨学金の趣旨を遵守していないように思われることである。しかし最近事情が異なってきており、彼等の選択が正しかったのかも知れないということを考えている。

--
--

評価：彼が日本で研究を進めるのには非常に困難があったと思います。また、現在行方不明のような状況であり、制度を利用して別の行動をするに至ったことは誠に残念である。

--
--

評価：研究者自身の学問的レベルアップのみならず、母国へ帰国してからの活躍が期待でき、今後も国際的な交流として発展していける可能性を内包している。

印象：いったんは母国へ帰国するという条件は、交流の基本理念の原則を貫くものとして印象に残った。

個人の利益に資するのみでなく、国へ還元すべきであるというコンセプトはこの2000年代初めまでの時代としては必要不可欠のものであったかも知れない。

将来：2008年で制度が終了の後、規模を縮小してでも、交流生OBとして更なる研究の発展のために、6か月～12か月滞在して研究できるようなシステムがあれば素晴らしい成果が期待できる。

--
--

評価：素晴らしい制度。

印象：きっちり留学生の仕事ができており、チェックされており、交流事業も良いと思います。

将来：更に積極的に行って頂きたい。

--
--

評価：日本での経験をどのように中国で生かしていくか、本当に役立ったのかどうかのフォローアップが必要。

印象：生活面でのサポートが行き届いていた。

将来：日本から中国への研修制度（例えば漢方薬の研究）もあって良いと思う。

--
--

評価：1年間という期間で目に見える成果を上げるのはあまりに短すぎる。実質的な評価を得るためには、ケースによっては2～3年のコースも有ればなお良い。人数を削ってでも実質的な成果を上げるケースを作る意味でそうすべきだ。

印象：①期間があまりに短すぎる。②その結果受入研究機関にかなり大きな負担をかけている結果に終わることが多々あるのではないかと。

将来：主旨は大変立派な事で大木に伸ばして行って頂きたい。但し本来の目的である研究成果を何らかの形で目に見えるものにするには、1年間という期間ではあまりに短すぎる。場合によっては期間を延長する配慮が有っても良いのではないかと。

--
--

評価：奨学金制度だけでなく、日本語の日常会話能力と研究に必要な英語能力を習得していることがよい。

印象：研修修了後必ず一度帰国させることにより、なし崩しの滞在が無くけじめが付けやすい。日本語会話能力が高く、意志疎通が図りやすい。

将来：将来を担う研究者を養成するには1年間では短いので、帰国後再来日し数年～4年間の研究が出来るような奨学制度が有ればよい。

--
--

将来：このようなフォローアップアンケートの実施は非常に意義があると思います。記憶が薄れたり、正確さを欠く部分が出てきま

す。もしもこのようなアンケートを定期的に出来るのであれば、3年間隔であるのが適当ではないかと思えます。

――
――

印象：優秀な人材の発掘に役立っている。戻った時のフォローを充実し、長期的アウトカムをみる必要がある、その為の活動があると良い。

――
――

印象：1989年に研修生を受け入れた時、天安門事件があった。この時の研修生は文革の影響を受け基礎教育が充分でなく、大変指導に苦労した。10年あまりして再び研修生を受け入れたが、その違いは目を見張るもので、個人的資質以上に、中国の進歩を強く印象づけられた。

将来：途上国の指導というよりは、日本が中国から優秀な人材の提供を受けるという色合いが強くなってきていると思う。新しい段階でのギブアンドテイクの関係を作っていく必要がある。

――
――

評価：良い制度であるが人選をしっかりと欲しい。前向きに勉強する人が望ましい。

将来：今後も継続した交流を望みます。

――
――

評価：日中交流という面での役割は充分果たしたと思う。私共の研究室にて不整脈診療を修練した経験が中国で生かされるよう期待しています。

印象：①中国政府の要人が研究生の活動について視察に来られ、有意義な討論をすることが出来たこと。

②大連での笹川留学生の発表と交流はこの制度のアフターケアという面で有意義であった。

将来：是非継続していきたい。

――
――

評価：研究者が新しい研究方法を知る良い機会になった。また、研究内容についてのディスカッションを通じて色々な見方を得ることが出来た。

印象：①学会への出張が認められていること（出来るならもう1回増やして頂きたい）②協会の職員の方が大変熱心であった。

将来：日中医学交流を拡大していくことは、非常に大切であると考え。来日する研究者数を増やして頂きたい。

――
――

第22期

――
――

評価：有能な研究者に発展の機会を与えた。中国では未発達の学問の研究であり、将来の中国の医学・医療への寄与は大きい。

印象：1年の研究期間だけでは本人は満足せず、私費で再来日して大学院に進学し博士号を取得した。もう少し長期の滞在を許可・援助して欲しい。

――
――

評価：基礎的な研究の経験が全くなかった彼女が一人で研究をプロモート出来るようになった。その過程で教室の大学院生、研究者と深い交流が出来るようになった。

将来：この制度は何時までも続けて欲しいですし、機会があれば何時でも何人でもお引き受けしたいと思えます。

――
――

評価：私の研究分野では有能な若手研究者・院生が少ない。当制度により中国の有能な若手研究者と日常的に接し、中国とは違う詳細な研究を理解して頂くこと、また、私も日本にはない発想等を彼等から得ることがある。こうした学術交流が続けられれば、今後の日

中医学の友好に大きな成果をもたらすと思われる。

印象：システムが非常によく整っており、特に「生活ハンドブック」が良くできている。本学の中国人留学生にもコピーして渡した。

将来：戦前の同仁会は当初、日本医学を大陸に普及させる目的の民間団体だったが、しかし財政難のため日本政府の助成に依存することになり、軍事侵略を支える側面が出てきた。このため前半の活動では良好な日中医学交流の歴史があったが、戦後一切忘却されてしまった。それ故極力政府（政治）とは離れた形で民間による日中医学交流が重要と思う。

――
――

将来：是非今後もこの制度を続けて日中医学交流を進めて欲しい。

――
――

印象：当該研究者のケースを考えると、大学院に入学するための準備期間に使われている様に感じられた。受入側は研究をしに来ると考えていたのに、試験勉強に来られたのでは直接に指導する立場として困りました。

――
――

評価：有能な人材が派遣されてくる。

印象：①安心して勉強できた。②良い能力の人材。③日本語のコミュニケーションがスムーズ。

将来：継続を希望する。

――
――

評価：以前と異なり現在は様々な奨学金制度があり、中国の方にとって日本に留学するチャンスは増えている。この奨学金制度が意味のあるものとして存続するには何らかのユニークな点が必要である。これまで来られた方お二人は既に学位をお持ちの方で、学位を既に取った方が1年間の海外研修に行くというサポートは私の知る限り他に余り例が無く、貴重なチャンスになるのではないかと考えられる。その場合、限られた1年間に何を学びたいのか、という事をなるべく具体的にはっきりさせ、それにあった研究機関をマッチングさせることが必須であるとする。来る方も受け入れる方も使命感を持って、よくマッチングした研究内容のところで充実したトレーニングをすることが重要である。アプリケーションを受ける際にかなり具体的にやりたいことを書かせ、受入れ先の決定に際し、その意向を実現できる場所を慎重に選ぶべきである。この制度を利用して何をアチーブしたいのかという事が明確な方を選択することで、学位取得のための留学のサポートとは異なる成果を上げることが出来るのではないかと予測する。

――
――

評価：本制度は適切な制度と考えますが、問題は当該研究者の資質に負うところが多い。受け入れた2名の研究者はそれぞれ当人は、有る程度の成果を得たものと思いますが、教室の者が欧米に留学する状況及び内容とは差が大きいと感じました。受入側として負担になってしまったのは残念です。もっとも、これも私達の責務と理解しています。

将来：研究者の意欲を予め確かめて頂き、日中双方が満足できるような方向に進めて頂きたい。

――
――

評価：看護婦としての免許がないために、臨床現場での見学のみの研修では限界があり、積極的には勧められない。現状を知るレベルで有れば期間が長すぎる。先ず国の免許を取ること、その上で学校、大学、大学院などで学問体系をきちんと学びながら現場を理解する方が有意義である。

将来：経済的援助だけの支援になる可能性が大きい。財団の主旨が、それだけを望んでいるのならば、そのような場所の選択を望む。

――
――

評価：研究機会に恵まれない中国の研究者（医師）に対して大いなる貢献をしたと思う。

印象：この制度に採用されることは中国の医師（研究者）にとって憧れであったようである。

将来：この交流が続くことは、中国の研究者にとって、大きな意味を持ち、期待も大きいものと思われる。但し来日時の研究レベルの向上は大きいものの、帰国後そのレベルと研究機会がダウンするのは、日本の研究者（米国帰りの）にも多々見られる現象であり、アフターケアについての考察が必要か？

--
--

評価：本人にとっても、受入側にとっても有益であった。

印象：①一人っ子政策でわがママが多い。②父親のように接する事で急成長が見られた。③本制度は人格形成にも役立っている。

将来：2年の滞在が必要。

--
--

評価：中国の医療事情は、まだまだ基礎医学的研究は充分であるとは言えない状況である。これに鑑み基礎的研究をサポートする制度が是非とも必要である。そのような理由で今後とも是非続けて欲しい。

将来：日中医学交流は、しばらくは日本が指導的役割のもとで進むと思われるが、やがて侮りがたい相手になると思われる。中国には未だ感染症をはじめ、様々な疾病が存在している。中国において基礎医学的研究が進み、互いに本音で話し合えるようになってはじめて、真にパートナーとして交流できるのではないかと大いに期待している。

--
--

評価：極めて成功して、良い人を派遣してくれたものと意義深く有益であった。

印象：留学に来る人が連続してくるようであれば、研究は途切れないですむので、より理想的と考えます。日本では衣食住の内、住が最も大変で何か良い方法を考えて頂きたい。

将来：大いに進めるべきだと考えます。日本側からも先方に講義、指導などで教授などが派遣される手段が有ればいいと思います。臨床系に留学する人は、医師免許の関係で臨床のみというのは無理なので、何かテーマを設定して、それを研究するという形で仕事をすれば将来に学术交流が継続すると考えます。

--
--

評価：とっても良い制度と思っています。①語学をきちんと学び、話せる状態で来るので、受入側は直ぐ研修目的や方法に具体的に入られる。②学ぶものがはっきりしているので研修計画が立てやすい。③研修費や研究費が支給されるので、研究会、学会での学びが難しく出来る。

印象：年に1～2回集会がもたれているので安心できる。研修生は、緊張が取れリラックスして次の研修に臨める。

--
--

評価：日中両国人民の医学分野における協力関係を促進させ、両国の医療向上に多大な貢献をされてきた。日中笹川医学研究者制度で来られる研究者は優秀な人材が多く、研究面でも大きな成果を上げている。

印象：研究者は有能な人材が多く、講義・実習に対する姿勢はとても意欲的だとの印象があります。この制度について良い印象を持っています。

将来：日中両国医療の向上のために、今後も末永く継続されていくことを希望いたします。

--
--

評価：能力の高い研究者を派遣していただき、教室の研究レベルアップにつながっている。彼の能力・知識・積極性は優れており他の教室員の指導並びに学内外への影響力も大きく、大変貢献してくれた。今後も引き続き優秀な学生さんの受入を希望いたします。

印象：国際的人材育成において、お互い学ぶものが多く、良い制度と思います。

将来：帰国後の中国側の受入が、施設によっては未だ古いシステム、考え方の所があり、新しい技術・知識を学んで充分に活用されていない現状の改革を中国側に期待したい。

--
--

評価：日本はもっと開放的に、他国からの研究者を受け入れるべきであり、日中笹川医学研究者制度は適切な制度であるとする。しかし、実際に日本で研究し短期的に成果を上げるためには、日本語又は英語が来日前にマスターされていなければならない。

印象：日中交流、国際化のために有用な制度である。

将来：研究者に対しては語学的能力評価をもっと厳しくして欲しい。

--

--

将来：フォローアップしてその後の成果を評価し、更なる人事交流が増進できたらと思う。

--

--

評価：日本人の若者の研究離れの中で、発展途上国の若者に研究参加して貰う点で意義あり。

将来：①日本語の研修があるため、優秀な方が来られません。ムダと受け取られています。一流の人は英語を求めています。②中国に限定せず、インドの研究者もサポートして欲しい。

--

--

評価：優秀な学生が集まり、有益であるが、期間が短く実験系の研究室には成果が上がる前に帰国することになる。

将来：テーマ毎の合同セミナー等を企画できれば。

--

--

印象：非情によい人物を紹介いただき、協力した意味があったと教室員も納得しております。

将来：1年の期間では短いと思いますが、長期になりますと日本に定住したくなる様です。この辺の調整を上手く行えば、日本をより理解し、日本に協力的な人材となると感じました。

--

--

評価：留学生・受入側とも多大な利益を得ています。また、今後の発展も楽しみです。

印象：相互交流により双方が利益を得、日本原産の高血圧ラットを先方に贈ることが出来ました。本人は帰国後教授になってくれました。

将来：今後は共同研究の支援、日中医学会開催など、個人から大学・学会間への支援していけばいいと思います。今や中国は経済的にも文化的にも日本より優れた国になっています。

--

--

将来：中国には有能な人材がいるので大いに留学させて欲しい。また逆にこちらの指導者も1年なり中国に派遣するのは如何？

--

--

評価：有能な人材の発掘。

印象：この制度で1年間お預かりし、大学院へ入学され学位を持って帰国されました。この切っ掛けがなければ縁がなかったと思います。

将来：更に進展するべきである。

--

--

評価：色々問題もあった。

--

--

印象：①やる気のある優秀な研究者が来る。②研究レベルでは全くの初心者であり、1年では教えるだけに終始し、直接の指導者は疲れて、もう次の人は結構となることが多い。我々は臨床教室であり、指導者が臨床・教育・研究で忙しすぎる事が根底にある。

--

--

将来：社会的経済的状況の変化に伴い、研究者（指導的）間の交流に焦点を置いては如何でしょうか。

--

--

印象：私共の教室でお預かりした2名の中国の医師は学位を取ることを目的にしていました。しかし、本人が過去に実験室の研究実験

を行っていなかったもので、現在のテクニックを習得するのに半年はかかる。

従って2年間で有れば彼等の希望も叶えられたと思います。

将来：ほぼ中国の大学改革も終わりに近づいており、彼等にとって留学のメリットによる指導層への仲間入りは限界に来ていると思う。今後は質の高いものを目指す制度に変更すべき時に来ていると思います。

評価：①才能はあっても外国で勉強する機会が無い人材を研究の盛んな日本の施設に派遣するものであり、留学生にも良い研究の機会を与えるものだ。また、日本の受入施設にとっても才能豊かな人材の確保が出来、双方にとって有益である。②当該研究者の参加により当教室も大きく進展し大変成果が上がった。数度の学会発表を行い、当教室の活動度を内外に示すのに大いに貢献した。教室員にとっても国際交流の楽しさや問題点を肌で感じる事が出来、意義深い経験でした。また、他の外国人留学生（中国・バングラデシュ）への面倒見もよく、お陰で彼等は英文論文を発表することが出来ました。当該研究者の当教室への参加は本人にも回りの研究者にも大変有意義であったと思います。

印象：当該研究者に関してただ一つ残念だったことがあります。彼は2000年3月に開催されたAnnual Scientific Meeting of the American College of Cardiologyに演題が受理されましたが、米国からビザが下りず、学会参加・及び演題発表が出来ませんでした。理由は日本に在住する残りの期間が短かすぎることで、日本に家族がいない事でした。この点が改善（例；家族同伴で2年滞在する）されれば更に本制度の意義は高まるものと思います。

将来：中国は高度経済発展中であり、経済が発展するところは学問も発展します。今後日本も中国もそれぞれ医学研究のレベルが上がれば、日中医学交流は益々重要になると思われます。

評価：受入研究者の研究（当該分野における）レベル評価をきっちりとしてから、各施設へ派遣頂ければ更にありがたい。そうでないと1年間という期間が、研究者と受入機関と両者にとってマイナスになる可能性がある。それ以外は非常に高くこの制度を評価しております。

印象：事務局の方が、一人一人の事をよく心配し、ケアされていた。

将来：多くの場合、苦勞して中国人研究者を一人前に育て上げて、すぐ米国に仕事を求めて行ってしまう事が多いようです。理想的には日本で成長した中国人研究者は、本国へ帰った時、もっと優遇されないといけないと思います。そのような事も協会がご尽力いただければ、日中医学交流は更に実りのあるものになると思います。

評価：極めて意義深く有益であると思います。この制度より選ばれた研究員は、中国において優秀な人材であり、日本での研究活動を通して、学問的な向上をとげる事ばかりでなく、将来的な国際共同研究の協力者の育成の意味でも意義が大きいと考えます。

印象：日本に来る前に、日本語能力を身につけさせる準備期間を持った事で、それが大きく役立った。研究者の生活面における適応についても十分配慮されているという印象を持ちました。

将来：将来的には日本人の研究員を中国に派遣し、双方の日中医学交流が図られる事を期待します。

第23期

評価：有意義な制度であると思われる。しかし中国人研究者の指導などに受入機関の負担がかかりすぎるきらいがある。中国側の研究者にとっても5か月間の語学研修は大変な負担になると思われる。制度の日本側推薦募集に関しては語学研修を免除するなどの方法も考慮すべき。

印象：生活面への支援が充実している点。

将来：日中医学交流は今後も拡大していくべき。医学交流を通じて日中両国の理解が深まる事を期待する。

評価：経済支援は本人にとって意義深く有益であった。

印象：この制度で来日した留学生には合格点が与えられる。

将来：語学力の十分な教育が必須であり、学習意欲のある人物を採用されたい。中国指導者（複数）の推薦状を必ず添付されたい。

--
--

評価：当科へ来た1名については、よくやっているし、良い機会を得たと思う。

印象：研究専念の機会を得たことに、当人は非常に感謝し、また、熱心に新しい課題に取り組んでいた。

将来：時代と共に中国の医学のレベルも変わっていくと思うし、中国人の意識も変わるであろう。そういう流れをどれだけ汲み上げられるかが、今後の正否に関わるのではないか。

--
--

評価：研究心のある若手医師に留学の機会を与えることは今後も必要があり、日中両国の親善にも有益と思います。

将来：留学期間の延長（最高2年）も可能な制度にして戴きたい。

--
--

評価：今まさしく中国は多方面で急速に進歩しております。この急速な進歩に日本が深く関与していることが非常に重要（我が国にとって）なのではないかと考えます。可能な限り数多くの研究者を日本に招いて教育し、中国における指導者を育成していくことは日本の行く末にとっても大きく役立つものではないかと考えます。この制度は極めて意義深いもの私は考えます。

印象：こういう制度により、多くの人間が中国から我が国に来て研究などに触れるチャンスを得ることが出来ることは非常に素晴らしい事だと思います。

将来：中国が進展期にある今が非常に大事な時期ではないかと考えます。中国は極めて重要なパートナーであるという事を考えますと、今こそ力を注ぐべきでしょう。このような制度は拡大させることはあっても、決して絶やささない様に是非ともお願いしたいと思います。

--
--

評価：有能な人材を発掘する良い制度である。

印象：1人の滞在期間が最低2年有ると良いと思った。

将来：日本での研修・研究期間を長くして、良い効果のあがる交流にして欲しい。

--
--

評価：良い選抜制度を作るべきである。

--
--

評価：1名だけの経験であるから評価できない。

印象：研究者で招聘された各人はかなりの孤独・さみしさ・ホームシックに悩んでいたと思われた。

将来：受け入れの申請書は本人が記入したものではないと思われることがあった、内容として理解していたかどうか？

--
--

評価：熱心な中国研究者に場を与えることが出来ると共に、私達も中国研究者に対する深い理解を得る機会となった。

将来：中国研究者が自国で研究の発展に貢献し、日中間の将来の相互理解を深められるチャンスが何らかの形にしろ続くことを願っています。

--
--

評価：研究の発展という点からは、受入施設においてメリットは余り無いが、研究者自身にとって得られるものが多いのではないか。

印象：制度の目的とするところが、多分多様なのでは。

将来：1～3か月程度の交換教授制度の様なものが有っても良いかも知れません。留学生自身が、小生が中国へ行って直接手術指導をすることを強く望んでいた。

--
--
評価：有能な人材が派遣される。

印象：①スカラシップが出ているので安心して勉強が出来る。②高い能力の人材。③日本語のコミュニケーションがスムーズ。

将来：継続を希望。

--
--
評価：留学生同士で状況・条件を比較し合い、待遇に不満を持つ傾向が見られた。実験より見学を好んでいた。

将来：直接現地へ行って指導した方が高率がよい場合がある。相互の現状にあったテーマ、指導を考えるべきである。

--
--
評価：本人の意欲と受入側の研究環境が有る程度合えば、それなりの効果は出てくると考えます。

印象：交流や見聞を広める機会として、良かったのではないかと思います。言葉の関係もあるのか、ご本人は中国からの留学生仲間と旅をしたり、楽しむ傾向が強かった。

将来：継続的に進め、国民レベルの交流の実績を重ねることが大切だと思います。

--
--
評価：何にも増して大事なことは、「アイデアを生かす」ことには、異なった立場・価値観の者がコミュニケーションすることである。考察こそが科学の推進の源であるということを生身の人間同士で理解できる。欧米以外の国との交流も意味があることが実感できた。

印象：一昔前の日本の様に、欧米に追いつけということで技術をマスターしようとするのが中国の政策或いは中国人のものとのとらえ方に思える。実際には基礎的な掘り下げや、異分野と思われるところの連携が技術を生み出し、改良をし、更なる発展にはやはり基礎科学における充実が重要であることに気づく。当初「こんな事も通じないのか」という戸惑いも多々あったが、それを少しでも超えられたという気になったこと。

将来：日本の研究者が中国にもっと出かけ、自らの限界、科学の限界を知るためにも一緒に研究することも意味がある。

--
--
評価：日本の国民皆保険制度は患者自身に選択の権利を有するが、看護体制による医療機関の分類がなされている。中国では3段階に予め分類されており事実上選択する余地は無いとのこと。改革に役立てたいとの願望を抱いていた。

印象：高度の実績を残した者と、平凡な生活を送って帰国する者とに分かれる様である。来日前の人選に問題がある様だ。

将来：長期に渡る教育援助の結果有能な人材が国際的にも活躍し始めている。研究協力者或いは共同研究者扱いの留学生（3～5年内）を増やしては如何。

--
--
評価：将来へつながる方向での投資が必要である。

将来：多くの留学生の目標は米国である。現代を背負う留学生を教育し、将来への橋渡しとなる様にして貰いたい。

--
--
評価：問題は当該研究者の資質に負うところが多い。受け入れた2人の研究者は有る程度の成果を得たものと思いますが、教室の者が欧米に留学する状況及び内容とは差が大きいと感じました。従って受入側としては負担になってしまったのは残念、もっとも、これも私達の責務と理解しています。

将来：研究者の意欲を予め確かめて頂き、日中双方が満足できる様な方向に進めて頂きたい。

--
--
評価：日中の人的交流は非常に長い、このような形で日中の医学研究の交流が継続されることの意義は大きい。特に肺癌の分野では中国はより進行した段階で発見・診断されている。この制度による研究生が中国帰国後は中国の肺癌治療を指導していく立場になる事が予測され、その意義は大きい。

印象：日本語の研修があるなど、来日後研究者がスムーズに日本の施設に馴染めるよう配慮されている。

初日の顔合わせのパーティーが研究者には非常に印象に残った様である。

将来：①中国の現状は発展途上の部分は未だあるものの、医学の分野でもその発展はめざましいものがある、日中で医学の交流を継続することは、必ずや東アジアの医学の発展に寄与するものと考え。②1年という期間に限られた場合、与えるテーマはかなり限られたものにならざるを得ない。連続して2年或いは3年の機会が与えられることを期待したい。

評価：両国間における研究交流の基礎を築くものであり、意義深いと思う。本邦における基礎的及び臨床的研究方法或いは実地臨床を経験することは大いに役立つと思われる。

評価：①経済的サポートがあり、受入側も安心している。②選考がよく行われているので安心である。

印象：このような制度を中国だけでなくアジア諸国に発展させてみたい。

将来：世話した人達が中国でどのように活躍しているかをこの目で見たい。

評価：中国側研究者と1年間直接共同研究が行える良い機会であった。

印象：留学生に対する手厚い配慮が印象に残った。

将来：今後是非継続して欲しい。若い人材に対しても適応して欲しい。

評価：個々の例による。

将来：続けることは意義がある。

評価：今後両国の研究グループによる共同研究が盛んに行われるものと期待され、非常に意義深い制度である。

評価：有能な人材の発掘に大いに貢献し、日本をその足掛かりとする機会を与えることによって将来的に日中間の医療分野での良好な関係を保証することになる。

印象：①選択された人材が非常に有能であること。②豊富な資金援助によって研究活動に専念できる状況を提供していること。

将来：この状態を継続することによって、将来の中国と日本の医療における良好な関係が保証されると思う。

評価：中国には有能な人材が多い、若手の優秀な中国人に対する経済的支援は意義が大である。

将来：海外留学は通常2年が望ましい。ようやく仕事が軌道に乗り始めた時期に帰国することになっている。受入側にとっても、仕事を完成させるためには、仕事の後半の部分をこちら側で補完させねばならないため大きな支障がある。

評価：制度そのものは有意義と思う。

評価：現在何をやっているか連絡が無い。当方が上海を訪問しても会ったことがない。

印象：制度としては申し分ないが、留学に来る人が連続して来る様で有れば、研究は途切れなくて済むので、より理想的と考えます。日本では特に衣食住の内、住が最も大変であり、何か良い方法を考えて頂きたい。

将来：大いに進めることが重要だと考えます。また、日本側からも先方に講義、指導などで教授などが派遣される手段が有ればと思い

ます。臨床系に留学する人は、医師免許の関係で臨床のみというのは無理なので、何かテーマを設定して、それを研究するという形で仕事をすれば将来に学术交流が継続すると思います。

――
――

将来：出来るだけ続けることが望ましい。

――
――

印象：旅費・宿泊・生活費など全て十分に用意されており、研究者は研究に没頭できた、指導者側も経済的に問題がないので安心であった。

――
――

評価：日常生活がまずまず保証されているのでその方は大丈夫であるが研究をする場合は受入教室の研究費が充分あることが必要である。

印象：研究期間が2年間で有ればもう少しいろいろな対応も出来ると考えられるが、1年間のため限られた対応になる可能性がある。特別研究者制度で補完するか両方併せて2年だけの制度を入れると良い。

将来：初期の頃に比較すると留学生の資質が落ちているという印象を受ける。厳正な選別によって送り出されて無いということが囁かれている。この点は中国側の問題であるが考え直す必要がある。

――
――

評価：優秀な中国研究者と接する事の出来る有意義な制度と思います。

印象：語学研修から生活面までほんとに細やかに面倒を見るシステム。元々優秀な人材を集めていますのでこれによって研究成果が飛躍的に高まると思います。

将来：相互往来による学术交流。特に若い学生たちが知識以外の面で中国に学ぶことは多いと思います。

――
――

評価：優秀な研究者が研究室に加わることで本人のレベルアップと教室の研究の進歩につながる。

――
――

印象：本制度の学生は総じて学生の質がよい。

将来：貴制度の今後の一層の発展を期待する。日中友好のためにご尽力下さい。

――
――

印象：受け入れた研究者は中国の大学からもう一度派遣されて、今、本研究室で共同研究を続けています。この研修制度は日本への1年間の留学期間中に人材養成の実を上げるため周到に準備されているところが特徴です。長い歴史に培われた日本と中国の絆を深め、両国の医学交流を促進しました。日本の研究成果を世界に向けて情報を発信していくことにも大変貢献しました。

将来：目的は医学研修であることは間違い有りませんが、日本人と交流し日本の文化などをもっと知って頂きたい。この研修制度は中国の医学の向上だけでなく、お互いの文化の交流でもあると思います。

――
――

評価：研究者の素質が優れており（研究者としても人格的にも）良い制度である。

印象：招聘に際しての連絡（事前）、滞在中の宿舍等の手配などがきめ細やかに行われ、研究者の研究への準備が円滑に行われた。

将来：良い制度でありこれからも継続して頂きたい。

――
――

評価：日中笹川医学研究者制度で来日された研究者は、何れも研究能力のみならず、人格的にも立派な研究者であり、これらの中国人研究者と知り合える機会を頂いた貴制度を高く評価します。

印象：帰国した研究者を再度（数年後）日本に呼べるシステムは他にない優れたものと思います。

将来：貴制度で来日された研究者が、日本を第二の学問的な故郷と思ってもらえれば非常に喜ばしいことと思います。

--
--

評価：日本人の若者の研究離れの中で発展途上国の若者に研究参加して貰う点で意義があると思う。

--
--

評価：中国人研究者の研究に対する姿勢が良く、日本人の大学院生に対しても良い意味で手本となったように思う。

将来：現在は研究期間が1年に限定されているが、将来にはもう少し研究期間を延長できるようにして貰いたいと思う。

--
--

評価：3名受け入れたが、他の2名に比してA君に関しては何故試験に合格したか理解できなかった。明らかにレベルに達していない人物でありました。

--
--

評価：日本中国双方に研究面でも有益であり、人的交流としても非常に意義がある。

将来：更なる発展を期待している。

--
--

評価：留学生の知識の獲得や技術の習得に限らず、双方の理解や新たな研究テーマの端緒となりうる。

印象：やる気のある若い医師は、チャンスを与えれば言語や習慣を軽々と乗り越えて、長足の進捗を遂げることを実感した。

将来：一人一人の交流経験は小さなものかもしれないが、継続することでやがて大きな力となって開花すると思われる。

--
--

将来：コミュニケーションが取れる事が重要。英語或いは日本語で有る程度複雑な内容の意思の伝達が可能な留学生でないと比較的短時間に研究面で実績を上げる事は無理。

--
--

評価：留学前によく日本語と日本の習慣を教えておられた。

--
--

評価：留学前に日本語を教え、日本の生活習慣を教えて貰っていたので教室に上手く参加できた。

印象：日本の習慣をよく理解していたこと。

将来：国立大学も受け入れるのが困難になってきている、このような交流にボランティアの参加が必要になってきたのではないだろうか（ホームステイ等で）

--
--

評価：日本の物価高のもとでは長期滞在することは支障がある。本研究者制度は経済的な配慮が行き届いているため、特別研究者として再訪できることは研究交流の推進に貢献しうる。

印象：受入側の負担が極めて軽微である。

将来：平和に貢献するものでなければならない。

--
--

評価：受け入れた研修生は、本制度に採用されて研究者としてのキャリアを始めることが出来ました。彼女自身にとっても、中国にとっても、我々受入側にとっても大変有意義であった。

印象：生活費ばかりでなく、細々した事にまでサポートがあったこと。

将来：不景気の折りですが、この素晴らしい制度を残していただける様期待しています。

評価：文部科学省では国費の留学生（大学院生）の受入が主体であるが、この制度では短期であっても充分効果を残すことが可能であった。広く留学生を受け入れる制度は適切であると思われた。

将来：相互の交流ができればもっと良いと思われれます。

評価：中国の医療関係者にとって留学というのは経済的・社会的に相当な負担と思います。トータルに中国留学生を支援する本制度は大変有意義であると思います。

将来：相互に行き来できるシステムが出来ればよいと思います（一方向のみでなく）

評価：研究したくとも環境が整わない若手研究者を迎え入れて、その機会を与えているという業績は大きい。

印象：1人だけの受入経験であったが真面目で強い印象を受けた。

将来：今後是非続けて欲しい。

評価：有能な研究者であり人間的にも素晴らしい人物で、彼の様な人で有れば有益であった。

印象：礼儀正しく好感が持てた。

将来：是非続けて欲しい。

第 24 期

評価：お世話した研究者の印象はととてもよい。

印象：事前の日本語能力チェックが素晴らしいと思った。日本語が出来ているので直ぐに研究診療に取り組めた。

将来：続けて欲しい。

評価：日中両国民の理解は双方の交流から生まれる。

将来：長期留学（2～3年程度）が出来ると制度。双方から具体的プロトコル・提案に従ってマッチングできる制度。

評価：これまでの研究分野に囚われず、新しい研究分野に挑戦する意欲を持った若い研究者にとって、本制度は非常に有益であると考えます。

印象：同期の来日研究者を会った成果発表会、交流の機会を在日期間中に持つなど、研究者間の横の連携をはじめ、日中の民間レベルでの交流、ひいては日本と中国の将来にわたる友好に貢献することを目標に掲げる配慮が感じられたこと。

将来：研究者を受け入れ共同研究したが、本人のみでなく、我々受け入れ側もメリットが多かったと考えます。貴財団の役割が大きく、今後是非このような交流に積極的に取り組んで頂きたいと考えます。

評価：受け入れた研究者は呼吸器病の臨床及び研究を行っており、臨床上感じた疑問などを解明したいと考えてきました。来日後、目的とした実験を遂行できたことは、彼女にとって研究上大きな喜びであり意義有ることと思われれます。受け入れた我々にとっても研究

の重要な部分を来日研究者が成功裡に遂行してくれたことは大きな貢献と考えられます。

印象：留学生が実験を通じて、「正確に量を測る」ということの意義を次第に理解してくる過程が興味深く思われました。おそらく背景にある科学教育や基礎医学知識の違いが、彼等が我々とやや異なった考え方を持つ原因かも知れません。研究とは別に、現在の中国の医療体制と日本の医療体制について話し合うことがしばしばあり、日本の医療の進んでいるところを中国に導入して向上させたいという留学生の強い意欲が印象的でした。しかし今年の夏（2004年）大連を訪れる機会があり、鉄道病院を訪れたところ、正式の正面玄関の手前左に伝染病棟が別棟で建てており、患者は正面玄関を入らずに伝染病棟へ直接行けるしくみになっていました。今、SARSや高病原性の鳥インフルエンザの流行の予兆をみるに、中国から教えられることの大きさにも感激しました。

将来：日中笹川医学研究者制度による日中医学者間の連携はアジア医学交流の重要な核となると考えます。

--
--

将来：今後は対等の交流が宜しいと思います。

--
--

印象：この制度の留学生は現在中国で大変活躍していると聞きました。

将来：意欲の有る研究者に対するサポートを何らかの形で発展させてください。

--
--

評価：中国の医学（研究）レベルは急速に発展しつつあると思われるが、現時点ではやはり経済的な問題から海外留学などには大きな困難があるように思われる。引き続き意義深く、両国の良好な関係を保つ上でも有益であると考えます。

--
--

評価：中国の西洋医学の進歩に対して貢献できるのであれば、今後とも協力していきたい。来日前の語学研修、語学力の評価をきちんと行い、来日後から活動できるようにする。

印象：帰国した研究生が、どのような形で研修を生かしているのかが非常に気になる。

将来：日本の研究者を短期または中期で訪中させることも効果があると思われる。希望する若手研究者は少なくないと考えられる。

--
--

評価：中国の医師の目を日本に向けさすという点で非常に有意義と思われれます。

--
--

評価：有能な若手研究者を日本に呼び共同研究を行うことは、時代的にも、また、これからの日中の研究推進のため極めて有意義であった。

印象：熱心な中国の医師の姿に感心しました。

将来：今後とも日中医学交流を続けることと、特に、より専門家育成の為のプログラムも特別にあってよいかも知れません。

--
--

評価：日本人若手研究者よりも優秀な人が多く、彼等の刺激になる。

印象：中国の若い優秀な人材と接することができ、互いの刺激となる。

将来：この制度は継続した方がよい。

--
--

評価：中国からの留学生として生活面での便宜まで見る。それによって実効が上がる。

印象：私の所に来た人は極めてよい人選であったと思います。

--
--

評価：日本の研究室の雰囲気を感じて貰うという程度の意義しかない。3～5年間大学院に入って貰うべきだと思います。

将来：長期にわたり大学院に入ってもらうのが良い。もちろん日本の大学院が米国のそれに匹敵する指導体勢を持っていることが前提で、そのために大学も改善すべき事が多々あるのですが。

――
――

印象：留学生の宿舍が大きな問題となるが、その点に対する心配りが素晴らしい。

将来：この交流を通し、成長を遂げた研究者が、帰国後中国の研究の中心となってくれればと期待する。

――
――

評価：貴財団による助成を受ける研究者は、一定の業績があり、また日本において新たな研究手法を学ぶ能力が十分あると考えられる。

印象：今後とも継続して頂きたい。

将来：ポストドクレベルの研究者の受け入れを重点的に行って頂きたい。

――
――

評価：本制度に基づいて来日する研究者の質と熱意は非常に高いと言える。母国で指導的立場に就くことが十分期待でき、我が国にとっても有益な制度と評価できる。

印象：受け入れ体制が整備されており研究指導責任者の負担が少ない。研究者の質も粒揃いである。

将来：中国も科学大国となりつつあり、今後は互恵の精神に基づく真の交流へ発展していくことが望ましい。

――
――

評価：中国からの質の高い留学生を支援する貴重な活動と理解している。当講座にきた研究者は独立した研究者として活動を続けるため再来日を決心した。留学生のモチベーションや能力などに応じて、もう少しフレキシブルな制度となると、もっと有効に機能するようにも感じている。

――
――

印象：生活費が保証されているのでやる気がある人は研究がかなり行える。一番問題があるのは言葉（日本語）であった。

――
――

評価：日中笹川医学研究者制度の厳しい試験や来日前に受けた習練等を通過できたということが、本人の大きな自信につながっている。日本への印象が比較的良く、また、その後の仕事も積極的で、国際的な視野を持つに至り、こうした制度は極めて重要である。

印象：日本に留学するという意味が本人にも受け入れ側にも非常に明確になる制度。本制度を通った方でしたら、これからも積極的に受け入れたいと思います。

――
――

印象：生活面が大変よくアレンジされており、受け入れ側の私共が研究指導に没頭できたこと。

将来：当方の研究内容を中国の方々に説明できるような講演会を企画して、日本側からも学術的な意味で選抜した研究者が、訪問できるようにしたい。

――
――

評価：極めて適切な留学生を送って下さり感謝している。

印象：すべて人による。今回の方は優秀、人格的にも満点。

将来：この事業を続けて下さい。

――
――

印象：奨学金制度が少ない中、この制度の存在意義は大きい。

将来：隣国として大いに交流すべきである。

印象：滞在期間中の研修生への研究及び衣食住全てにわたって保証されていること。医学教育制度の相違（但し本人の向上心は素晴らしいものがあった）。日本語能力（読む・書く・話す）が高い。

将来：研修成果フォローのための訪中の機会があると良い。この素晴らしい制度を対中国だけでなく、アジア諸国に対しても行われると更に良い。

評価：制度自体よりも研究者の資質に左右される。

印象：臨床面の研究者と基礎の研究者では学会への参加等に不平等が生じて来ますので、それを如何に解決するか。

評価：本人の研究面での成果だけでなく、民間病院である当院へ外国人留学生が滞在したことで、特に、中国の中でも辺地である新疆からの留学生であったので、病院全体に国際的な視野を広げる契機となった。

印象：向上心の強い前途有為な中国の青年医師が、日本の医学を学ぶのに非常に恵まれた奨学金制度ある。是非多くの中国人医師にこの機会を与えて下さい。

将来：中国での学会に、日本から講演に訪問する機会が多くなるように援助することも是非必要。

評価：日中協力の牽引役として重要だと思う。出会う機会無くして日中協力は始まらない。

印象：国がやるよりも、多大な日中医学交流に寄与していると思います。

将来：臨床・基礎だけでなく社会医学方面の交流への支援もお願いしたい。臨床疫学・生物（医学）統計学・臨床試験等。

評価：優秀な人材を紹介頂き双方にとって有益であったと思われる。

将来：状況に応じ、1年から更に延長が可能で有ればよい。

評価：中国の医学研究（基礎・臨床）の発展に寄与している。日中友好にも寄与している。

印象：留学生への細かな配慮。

将来：継続は意義深い。英語の学力についての向上も期待。

印象：語学研修については本人もよく努力され感心するばかりである。但し研究することについては、あまり予備知識が無いように受けとめられた。今後は語学に加えて研究についての基礎知識を学んで来日されることを望む。

評価：本人、受け入れ側とも研究活動に打ち込むことが出来る点は長所である。

印象：再留学の枠があることも特徴的。

将来：帰国後の動向について、協会として情報を提供してもらえたらありがたい。

評価：極めて有意義であり、過去に来た人達を含めて、現在、中国てんかん学会のリーダーとなっている。

印象：教育・研修に必要な経済的負担や、学会参加などについてもサポートされていること。選別されてきた人が非常に一生懸命であった。

将来：日中間交流は今後も続けられると思いますが、更にモンゴルを含めてその周辺への適応があると、アジア地域の人達にも有効と

考えます。

――
――

評価：かつて当院で受け入れた若き中国の医師が、現在教授として活躍しているのに会うと、当院で研修したことが少しでも役立ったと自負している。数人の研究者（臨床研究者）を受け入れたが、すべてやる気は充分であった。このような医師にチャンスを与えるのは非常に有意義と思われる。

将来：卒後間もない医師にもチャンスを与えるコースを

――
――

評価：中国のこれからのリーダーとなる人材が、日本の現状を知り中国にない多くの先端医療を学び、これを中国に還元することは両国にとっても有益である。

――
――

評価：教室員にとっては中国の様子が理解でき、国際性を高めるのに役立っている。

印象：1年で基礎研究を仕上げるのは大変。よい留学生には多少の留学期間延長を認める制度を考えられないでしょうか。

将来：分野別、領域別に交流学会が開けるようになればなお良い。

――
――

評価：意欲と能力のある留学生を迎えるシステムとして日中笹川医学研究者制度は、私たちにとって最も信頼度の高いものであった。中国の新たな共同研究パートナーを見つけるための大きなチャンスを与えてくれるものであった。日本と中国の文化の違いが、ともすれば誤解を生じやすい状況を生む中、「研究」を中心に相互の人間関係が築けたことは大きな喜びであった。自分の例に限らず、終生の友人とまで発展した例も聞いており、本制度を高く評価している。

印象：中国側研究者のみならず、受け入れ側にも本当によくご配慮下さった。来日研究者がおしなべて日本に対する好印象をもって帰国したこと。

将来：日中が相互に対等に交流する時期になっていると考えます。しかし医学研究を取り囲む環境には大きな差があるようで残念です。所謂パートナーシップをどのように構築するかが大きな問題と思います。

中国は大きな国であり、経済的に豊かな地域とそうでない地域とで、私たちの接し方に違いが要求されることも日中医学交流の難しい点のひとつでもあります。

――
――

評価：お互いがよく理解できる素晴らしいシステムであると思います。

印象：受け入れた研究者は有能であり、努力して業績を上げようという意欲もある。相互理解の素晴らしい助けとなった。

将来：このような活動を更に充実させて、広く日本中に知らせると良い。

――
――

評価：中国の国力も進展しており、これ以上の援助は不要。

――
――

評価：日中友好交流への貢献が大きく、歴史的に意義深いと考える。

印象：私たち研究者が受け入れやすい環境が作られており、また研修生も安心して研究に専心できる。おかげで研修生が立派に成長し意義有る国際共同研究を生み出すことが出来た。

将来：日本と中国の友好交流を発展維持していく上で、日中医学交流の貢献度は多大である。本制度で研修を受けた中国の医師・医学研究者が帰国後中国でも活躍している話を聞くと誇りに思います。

――
――

評価：日本の医学と中国の医学に共通の基礎的地盤が形成された。

印象：日本語を話す留学生である点が大変良いと思います。日本語を話すと言うことは、日本文化や日本的な考え方を理解することにつながるから。

――
――

評価：優れた素質のある研究者が選抜されている。

印象：きめ細かな支援により安心して研究者をあずかることが出来た。

将来：今後とも両国の医学交流のために活躍して欲しい。

――
――

評価：中国は近くの国であり歴史的にもつながりが深く、このような制度は有意義と考えます。

印象：受け入れた研究者は日本語が上手で、日本文化に対しても興味を持って来日されました。

将来：研究熱心な者がいれば、どの国に生まれても成果が上げられるようになれば良いと考えます。

――
――

印象：研究者の故郷の大学で、私ともう1人の教室員が講演をするチャンスを与えられた。

将来：中国古来の治療法の研究も盛んになればよい。

――
――

評価：中国にとってのみならず、日本にとっても新しい仲間ができ、交流することは極めて有意義であると思います。

印象：慣れない環境で勉学に取り組む姿勢には、教える側、教えられる側という枠を越えて感嘆します。

出来る限りの応援をしてあげたいと思います。

将来：日中友好を現場で更に進めていく大きな力として継続して頂きたい。

――
――

評価：少なくとも英語は話せる人なら歓迎します。

印象：受け入れた研究者は真面目な人物だったので好感が持てた。

将来：1年間は短い。

――
――

評価：中国の有能な人達に飛躍する機会を与えるという点で意義深いと思います。

印象：笹川研究生は研究に熱意を持った優秀な人が多く、我々の研究を確実に前進させてくれた。彼等は将来中国での指導的立場に必ずなりうる人達であり、中国と日本の交流に関してプラスの意義が極めて大きいと感じています。数年前にお引き受けした方は、日本で行った研究に対して（日本の）学会賞を授与されました。今回の人は抜群に優秀であることから、このまま中国へ帰るよりも世界に羽ばたける道を拓いてあげた方が適当かも知れないと思っております。

将来：厳選された優秀な人達ばかりですが、もう少し採用人数を増やして頂き、定期的に留学生を受け入れることが出来れば大変嬉しく思います。この制度をきっかけとして医学以外の面でもプラスが大きいのと考えます。

――
――

評価：本人が多くのことを学び、帰国後役立てることが出来ている。互いに先入観とは異なる中国人と日本人の理解に貢献することが出来た。

将来：両国民の相互理解と参加者の発展につながる制度として続いて行って欲しいと思います。

――
――

将来：中国では法医学の研究指導者が不足しているようであるので、法医学を希望する人を優先的に留学してもらったらどうか。

――
――

評価：両国間の人文両面にわたる深い理解に寄与している。

印象：留学生に対して責任有る対応をしてあげられること。

将来：継続は力なり。多くの留学生が時代を超えて交流できることが意義がある。1年の留学は短いように思います。特別研究者の場合は業績の上がっている者や、特別の事情のある者に更に1年の延長が出来るシステムがあると有益なものになる。

評価：私共が中国の事情の一部分でも理解できたことは有意義であった。研究者が帰国した後、彼の出身大学と交流できることを期待しておりましたが、本人が出身大学に戻ることを帰国間近で否定したことで残念に思いました。

将来：少しずつでも長期に継続されることが必要の様に思います。

第25期

印象：他のグラントで来た方々に比べてずば抜けていた。選考基準が厳しいのだと思う。

将来：アジアのために続けていただきたい。

評価：サポートがよく安心して研究に打ち込める。受入側としても安心して受け入れる事が出来る。機会が有れば今後も受け入れたい。

印象：①研究者のサポート体制が良くできている。②受入側の負担がほとんど無い。

将来：継続を強く希望する。再来日の機会をもてると良い。

評価：日本に対し良い印象を持ってくれる中国の医療・医学研究者を育てるのに大きな意義があった。

印象：①日本での生活の準備期間がある事。経済的支援が充分であること。②1年間であるので受入機関にとっては give and give である、2～3年になると give and take になりうる、大学院生が4年で研究をまとめることを考えても理解できるように、来日研究者が1年でまとめるのは不可能。

将来：1年では教えて慣れた頃に終わりとなり、受入教室で実際に指導を担当する教官は大変。総受入人数は減るが、良い評判の教室に2～3年というコースを作るのも一案であろう。

評価：経済的心配無しに研究に打ち込む事が可能であり、選抜者も優秀であり、研究が進展し、当研究室、選抜者本人、双方にとって極めて有益である。

印象：良い制度である。

評価：日中医学協会の選抜により優秀な研究者が発掘されているもの考える。

印象：良い制度ではあるが、1年間は短すぎる。

将来：特に優れている研究者には、2年程度の滞在を可能にされては如何でしょうか。

将来：1年間の交流だけでなく、共同研究の方向へ発展すべき。感染症を始め遺伝子解析も白人には見られないSNPと疾患との関係、創薬等に役立つはずである。

評価：再び大学院生として一緒に仕事をしている。本制度は素晴らしい人材が来るので我々としても楽しみである。

印象：笹川の人は大変性格が良く、日本にもよくなじむ。人選にかなり頑張っていると思い評価したい。

将来：私は大学の国際交流委員長、日本肝胆膵外科学会国際交流委員長もしており、日中医学交流には益々発展するよう努力して行くつもりです。

評価：欧米にて日本人が長く研修した歴史があり、アジアでは日本がその責を果たすべきと思っています。

印象：経済的バックアップが有るので安心して受け入れられる。

将来：医療関係は研究面だけでなく、技術や技能という側面があり、この研修も実は大きな意味を持っている。技術・技能の習得を目的にした交流もあって良いと思います。

評価：近い国、中国との交流はとても重要で意義がある。

印象：受け入れていて、とても細やかな対応・準備をされているので感心する。

将来：より一層の交流をお願いしたい。

評価：来られる研究者によると思います。若くて研究心旺盛な人材で有れば良かったと思います。

印象：語学に優る若手医師を対象とすべきと思います。ただ、日中の交流、中国医療への貢献という観点からは大変意義有るものと考えます。

将来：今後の益々のご発展を祈っています。

評価：基礎的研究をしたい人はそのような施設に行かせるべきと思いました。勿論当科は研究も出来ますが、始め臨床と思ったので、そのように扱ってしまいました。

印象：何を学びたいのかはっきりさせる事。論文を書きたいのであれば、始めからそのような要求をして欲しい。

評価：両国の若手研究者の交流は有益であった。研究者の受入は、指導体制の整備や研究費の面で受入側に負担がかかる。この制度による貴協会からの研究助成金は総経費の1/5程度であり、成果発表以外の学会参加費の助成を廃止し、その分を研究費として受入側に支給した方が良いのではないかと。

印象：歓迎式には出席出来たが、離日前の修了式には出席出来ず残念でした。

将来：中国の研究者を受け入れるだけでなく、日本の若手研究者を中国へ派遣する制度を設ける事が望まれる。

評価：中国は今後共同で研究を進める上で重要なパートナーである、このような交流基金を通じて関係を築く事は重要である。

印象：優秀な研究者を選んでいるので、もう少し長く滞在できるのがよい。

評価：国際的貢献度が高いと考えられる。今後、研究者が我々の研究室で再度研究に従事する可能性もあるので日本側・研究者側にもメリットがある。

評価：対等なレベルでの研究協力には至りませんでした。中国の研究者の研鑽という点では意義があるものと思います。

将来：交換教授や技術指導など1~3か月程度の短期の交流が有っても良いと思う。留学生自身が日本側が中国へ来て手術指導をすることを強く望んでいました。

印象：教室行事にも参加し、学会参加を行い、充実した活動をしたと思う。

将来：短期的でも再来日して仕事のまとめをする事が望ましい。

印象：教室の皆と交流して、交流のみならず文化の面でも実があったと思う。

将来：再訪問の機会もあるとよい。

評価：いい事だと思う。

印象：研究期間を2年間程度にするといいと思う。

評価：①中国の研究をリードする研究者が育成された。②中国－日本の研究、臨床を橋渡す人材が得られた。③日中友好の実質的
或いはシンボリック的制度と評価される良好な関係が出来た。

印象：貴重な人材発掘と、里親的日本側教育者の選択、及び留学研究後の中国における留学生のフォローアップが一貫されている事。

将来：より幅広い人材の発掘と、交流・教育を推し進める必要があろう。これは金銭面だけでなく、受入側の人間教育、学術推進も重要と思われる。

将来：短期間の研修では臨床業務が望ましいが、語学力が不足している。基礎研究を行うには期間が短かすぎる。よほど基礎研究の
バックグラウンドがないと難しい。

評価：異なる文化との接触により、当施設のスタッフにも大きな刺激となり、有益だったと考えます。

印象：国際的な文化交流及び国を越えた医学研究の発展という意味で非常に有益な制度であると考えます。

将来：この制度の発展及び、この制度を利用された研究者の方々の益々の発展を期待します。

印象：留学生に対して親切に指導している。日中の相互理解に大いに寄与している。

将来：本制度の更なる発展が期待される。

評価：研究生の過程で生活上の交流が行われて行くので、スムーズに人的交流に入っていけるので非常によい制度である。

印象：他の留学制度と比較すると、非常にきめ細かい心遣いに感心した。

将来：優秀な人材を3～5年間くらいの継続的なサポートで育成していく事も大切であると思う。

評価：特に本制度は、学位の有無に関係なく支援を行っているため、若い研究者に研究の重要さや、おもしろさを経験させる事は、今
後の研究者としての生き方に多大の影響を与えるものとする。本制度の発展と継続を望む。

印象：僅か1年ばかりの日本での滞在で、十分な研究はとて望めない事ではあるが、本制度では派遣研究者がこの短期間に出来るだ
け研究に集中し、かつ日本の生活をエンジョイできるように、様々なプログラムや、支援活動を行っている事に感銘を受けた。我々の
研究室では何人かの研究者を受け入れてきたが、彼ほど日本での生活をエンジョイした人はいない。おそらく本制度で派遣された全
ての中国人研究者も同様であると感じる。

将来：中国は日本の隣国の大国であり、今後は日本・韓国・中国の東アジアの国々が協力し合って、西欧諸国に対抗できる科学技術を

創造する時代が来るであろうし、これまで戦争責任に対する補償、途上国援助という形で援助を行ってきたものと考えられるが、今後は同等の立場での研究交流が出来るような制度が有ればと思う。

――
――

評価：日中の交流はこの先益々栄える事が予想される。今や中国の成長は目覚ましく、研究に関しては世界的に後れを取っているが、人材としては大変優秀な人々なので今後の発展が期待出来る。日中笹川医学研究者制度は現代の日本と中国を結ぶ研究者の育成を目指している事から時代に適切な制度であると考ええる。

印象：研究者は研究を行うと同時に宿舎で研究者同志コミュニケーションを取っている様子で充実しているようでした。十分に研究に集中する事が出来た事が幸いだったと考える。

将来：今後の日中の医学交流は大変重要であると考えます。大変重要な要素があり、我々が学ぶべき点は多いと思います。共同研究で科学的解明を行う事により、中国医学の素晴らしさを世界に広める事が出来れば幸いです。また、中国の若い研究者を育てる事に日本人研究者が少しでも役立てば、今後の日本にとっても有益であると考えます。

――
――

評価：受入側の意図（教育トレーニング）と研究者本人及び研究者の送り手側の意図が必ずしも一致していないように感じる。費用と効果がアンバランス、他の用途に使った方がよい。

――
――

評価：医学及び日中の友好という面からも有意義な制度と思われた。有益かどうかは来日する人によって大きく変わるので、来日する人が決まるまでの過程が大切と考える。

印象：2回目の留学のある事は、本当に研究を深めたい者には良い事である。

将来：①本当に日本で医学を勉強したり、研究をしたい人が来日できるような制度が続く事がよい。②日本から中国での医学について知る事の出来るような制度が有ると良い。

――
――

評価：①日中の文化交流に大きな貢献をした。②中国の看護の発展、人材養成に貢献している。

印象：主体的で学ぶ意欲のある研究生を受け入れる事、受け入れた研修生は私生活、当センターでの研究共に自立し、常に前向きであり意欲的であった。

――
――

印象：かなり経済的には余裕が見られ、その分、人数を増やす事が出来ないか。

――
――

評価：来日に先立ち、日本語・英語の講習を行っている点は大変評価できる。ただ日本語がわかり英語がわからない場合には苦勞する。英語がしっかりしている方が大学等の研究生活に適している。優秀な人の博士への道を拓くのも良いかと思う。

――
――

評価：私達のような小さな研究室では、研究の幅が狭くなりがちであるが、貴制度の派遣による研究者により、思いもよらない薬物を扱う事が出来、新たな視点が生まれた。

印象：貴協会によるケアがしっかりしていて、研究者が研究に集中できた。

将来：日中医学交流のためますますの健闘を期待する。

――
――

評価：奨学生が新しい研究方法を習得するのみならず、その背景となる思考過程を理解している事で、帰国後の母国医学界の進歩に寄与する事が期待され、また、その交流が継続される事で、今後の我が国の医学界へも何らかの成果をもたらすと期待される。

印象：日本で技術を習得するためには、日本語ないし英語でコミュニケーションが出来る事が必須であるが、その点今回の研修生は充

分なレベルであった、更に受入機関で研究を開始するまでのサポートもしっかりしていた。

将来：優秀な研究を行った者が、その必要性において滞在期間を延長する事が容易となるようなシステムを、構築して欲しい。

--
--

評価：中国の医学の進歩に貢献していると思う。

印象：奨学金（本人への）支給額も充分で配慮が行き届いている。

将来：中国と日本が協力し合い、アジアの医療水準を向上させて欲しい。

--
--

評価：研究面だけでなく、友好関係や相互理解を深めるために有意義。

印象：生活を含めたサポート体制がしっかりしている。

将来：①今後は中国の経済的基盤、科学技術がしっかりしてくると思われるので、共同研究的な形態の比率を高めて行くことが必要である。②共同研究の際の規制（例えば遺伝子情報の国外持ち出し禁止規制）の緩和など協会としても働きかけて欲しい。

--
--

評価：きちんとフィードバック（本人評価）を求める連絡が当方へくる、本気でこの事業を成功させようとしている気持ちの表れであり評価できる。

印象：良い人を選んでくれた。

将来：文化が違う外国人を受け入れるのは困難である。どうすれば外国人が日本で幸せに学ぶ事が出来るのかその辺のノウハウの蓄えが必要と思われます。是非財団には頑張って欲しい。

--
--

評価：中国には優秀な研究者が多く、特に若手研究者は今後日中の関係に大きく貢献するものとする。

特に生薬の分野では中国との関わりが重要であり、今後も中国研究者の受入を推進していただきたい。

--
--

評価：大変優秀な研究者を日本語も鍛錬した上で来日させるため、教室・研究室に直ぐうち解ける事が出来、成果も上がる。願わくばもう1年の滞在期間があれば成果は数倍になると思われ、特別研究者制度が期待される。

印象：①日本語を予め研修してくる事。②臨床研修を協会が積極的にバックアップしている事。③協会が助成のみならず、成果が上がるように様々なイニシアチブ・努力をしている事。

将来：非常に有益だと考える。こういった交流から真の友好が生まれると考える。

--
--

評価：きめ細かなケアが来日・中・後でなされる事。

印象：今後ともこの活動を続けていただきたい。

--
--

評価：本人の留学目的、学びたいという意欲と関係すると思います。留学途中で目的が変わってしまう人がいるのではないのでしょうか。

印象：本当に学びたいと思っている人には素晴らしいシステムと配慮のある制度だと思いました。

将来：必要な事だと思います。

--
--

評価：今後もこの制度を続けられる事を心より願います。あえて言うなら、在日期間を2年までにするオプションを付けると、当該研究者のような人材は更に進歩すると考えます。

印象：箱根セミナーがあったのを本人が楽しく語っていました。受入前の日本語研修は良いシステムと考えます。

将来：我々医学研究者レベルの地道な外交活動と考えており、貴財団の今後のご発展を祈念します。

――
――

評価：本制度は中国にとって意義が大きいものと考えたい、中国からの研究生のひたむきな学習姿勢は日本人の研究者や学生に強い感銘を与えており、日本側にとっても有意義な刺激となる、今回の研究者の訪日によって、共同研究が大きく進展したが、日本で得難い研究機会が拓ける事で、日本側にとっても貴重な経験が得られるなど極めて有益と評価できる。

印象：本制度による留学生は日本語や日本文化を有る程度習得しているの、コミュニケーションが取りやすい。留学生にありがちな孤立感を和らげ、教室における良好な関係を築くのに大いに役立った。

将来：今回エイズ予防財団の研究費を獲得できた事で、日本側と中国側のつながりが出来、当該研究者の学習した事を生かす場が出来たばかりでなく、日中の友好関係が促進され、彼の職場における評価も高まった。研究員という形で来日研究者の帰国後を支援する仕組みが本制度の中に出来る事を望みたい。

――
――

印象：東京まで行って出迎える必要があるのか？

――
――

評価：政治的な問題が入りやすい両国の交流に純粋に学問的な交流を与えて下さった事。

印象：細部までの配慮は感動的であった。

将来：滞在1年では短かすぎる。研究業績を出してから誌上発表までには少なくとも2年は要します。

――
――

評価：医学を通じて、日中相互交流をする事は、日本に対する理解を深め、また、昔、日本が米国に対して受けた恩恵を引き継ぎ、国際貢献をするためにも重要であると考えられた。しかしながら、中国は発展性の高い国であり、今後訪日を維持するためには、日本側の更なる努力・向上が必要になってくるかも知れない。

印象：修了後、一時帰国して再来日し、現在本学博士課程に在籍、これまでの研究を継続している。

将来：日本で学びたいという研究者を受け入れる事は、自教室の利益になると共に、国際交流・日中相互理解の点でも有意義であると考えられる。他にない優れた制度と考えられた。

――
――

評価：教室員が中国人研究者と交流でき有意義であった。

――
――

評価：多数の研究者の交流に貢献された実績を高く評価しています。

印象：生活支援がしっかりしており、研究者が日本でトラブルを受けることなく、研究に早くから専念出来る所がよい。

将来：神経病理学は神経内科医や脳外科医の教育と研究に欠かせない領域であり、それらの領域の中国の臨床医に神経病理学を系統立てて学んで貰う必要性を感じている。個々の教室間でなく、日本神経病理学会が積極的に日中の交流を推進できるように働きかけていきたい。

――
――

評価：日本語のやりとりはほぼ出来たようだ。実際には英語論文を読んで貰う事になり、これは大変苦しんだ様子だった。午前8時30分から午後9時まで頑張り研修の実は上げていたように思う。

将来：中国の人々にとってはかなりの成果が上がっているように思う。今後はアフリカの人々というのはどうでしょうか。

3. 指導責任者の自由意見（特別研究者）

第1期

--
--

評価：日中笹川医学研究者制度により私並びに中国側の教室の若手研究者が着実に育っている事は大変喜ばしい。当該研究者は、私と共同研究を続けている間に、助教授、教授、更には公共衛生学院の院長へと発展した。一方小生も助教授、教授、大学院の研究科長、並びに社会医学系長となり、互いに一歩ずつ成長していった。この過程において、常に次の研究は何をすべきか互いに話し合いながら進んできた。わたしは定年退官したが、先方の希望もあり、共同研究は続けている。

印象：彼が笹川医学奨学金制度並びに特別研究者制度で来日して以来共同研究を行っている。また、私は年に1回調査、研究の打合せや、講演で中国現地を訪問し、彼を年に1回日本に招聘してデータ解析や生体試料の分析を行った。共同研究を次世代に引き継がせる必要があるため、彼の研究室の講師が本学の博士課程に国費留学生として進学して、当教室で博士号を取得した。また、内モンゴルのヒ素汚染による健康被害に関する研究では、同じく彼の研究室の講師が博士号を取得した。これらの研究には、旭川医大の教授と聖マリアンナ医大の助教授も参画している。彼との共同研究は次の世代に受け継がれ、今日も発展している。

将来：当該研究者は大変に優秀で人格も優れていたもので、研究する上で私自身も恵まれた境遇であったと思われる。しかし、中には指導者と研究者の間が必ずしも良好でない場合も聞く。このことは両者のみならず、多くの予算を使う財団にとっても大きな損失と考える。応募する人は業績を申請書に明記することを義務づける事も必要ではないでしょうか。但し、もう一歩で成果が現れる申請者に対しては、帰国後の研究や研究業績を審査して、1～数か月間の短期招聘制度を認めるような柔軟な対応をお願いしたい。帰国後の報告義務は財団にお世話になった事を思い起こす励みと緊張感を維持するために必要な事と思います。

--
--

評価：前回に比して在日中の待遇が改善し良かったと思われる。本当の指導者育成に有効であった。

印象：優秀な人材を手厚く処遇し、将来の日中交流の核となるようにして欲しい。

--
--

印象：再招聘制度が大変有意義でした。

--
--

評価：中国で指導的立場になられる方が多い。

将来：この制度も継続されると良い。

第2期

--
--

評価：帰国後も中国で活躍しており、研究者個人の知識、技能習得だけでなく、両国間の人的交流に大変役立っている。

印象：優秀な研究者に経済的負担無く研修の機会を与える事が出来る点。

将来：是非この制度を継続すると共に、更に受入数を増やして欲しい。

--
--

評価：有能な人材を得て、共に研究し、中国国民の健康水準の向上を考える機会を得た事は、我々にとっても有意義であった。

印象：滞在期間の延長が出来るなど、ゆとりのある研究生活が出来た。

将来：彼等の将来がどうなっていくのか楽しみだが、ちゃんと追跡調査をして頂きたい。

--
--

評価：日本の戦後の学術向上に至極貢献した米国のフルブライト奨学制度と似て、中国における未来に強力な制度になっていると思う。中国の研究はもとより、日本の研究の活性化に大いに役立っている。

印象：留学生の多くが帰国を避け、日本で就職或いは米国などに再留学に転身してしまった事は残念である。日中両国指導者が連絡し合って、制度の目的を達成するようにすべきである。

将来：交流の初段階は優秀な人材が多く、日本の指導者も満足していた。10年数後はこの傾向が悪化し、一流は米国へ、二流が日本へとの流行が見られる。この辺で基本に戻って考え直してみる必要がある。

第3期

--
--

印象：研究の完成度は高くなり、帰国後中国のお役に立っていると思う。

将来：第三次10年計画まで発展させて頂きたい。

--
--

将来：日中医学協会の存在意義は何か、関連団体との連携生はどうなのか、社会的評価はどうなのか、将来の方向性をどのように提示していくべきなのか等、絶えず自己検証していくべきである。最近協会内では「日中共同で何か医学に貢献出来る事はないのか」「日中医学の特性を重視した独創性の高い研究は出来ないのか」「民間医学交流で何をなすべきか」の声も聞こえてくるようになった。

--
--

評価：続けて頂きたい。

--
--

評価：今後もこうした人材を支援して貰いたい。

将来：極めて有意義なプロジェクトでした。結局は人間の交流が全てである。

--
--

印象：日本人の外国留学を見ても1年ではなかなか成果が上がらない。2年、この場合特別研究者を含めて合計2年研修できた事は大変有意義であった。

将来：共に手を携えて、臨床、研究を進めていきたい。

--
--

評価：人材の育成、日中の研究協力、友好関係の確立のために有意義な制度。

印象：研究指導者に対する補助金は非常にありがたく有意義に使用できる。

将来：中国は人口も多く、症例も多いので将来は臨床に対する共同研究を行いたい。もっと多くの指導者を育成する必要がある。

第4期

--
--

評価：当時としては適切な制度であったと思うが、現在の国情や経済状態（日中双方）を考えると、また、受け入れる指導施設の負担を考えると、今後も継続する事には否定的である。

--
--

評価：中国に対して親近感が増した。

印象：質の高い人が派遣されてくる。また、日本の事情に詳しくった。

将来：交流を続ける事に意義を感じる。同じアジアの国として文化の面でのつながりや違いを研究していく事は意義がある。

--
--

将来：研究レベルでの日中間の落差はまだまだ大きく、彼等にとって日本留学は大きな励みになる。

--
--

評価：特別研究者として再来日し、帰国後も研究を継続し、中国有数の皮膚科研究者（教授）となっている事からも本制度の意義は充分あったと言えよう。

印象：優秀な者を特別研究者として再来日させ、研究のステップアップを図る事は有意義。この制度があったからこそ、彼は現在中国有数の研究者となった。

将来：日中の真の友好交流は人材育成にあると思われる。人材育成は直ぐには目に見えて来ないが、長い目で見ればハード面の援助より遙かに意義があり、特に中国人は若い頃の恩人を決して忘れない事からも、続けていくべきと考える。

--
--

将来：この事業を是非進展させて欲しい。

--
--

評価：日中笹川医学研究者制度は人材養成に大きな成果を上げている事は言うまでもなく、更に、帰国した研究者の中から選抜し、再度招請する特別研究者制度を設けた事は、実に巧みで有意義な制度と思います。それは、第一次留学の成果を見極め向上させるばかりでなく、日本の研究室の研究活動に貢献します。また、研究者間のネットワーク形成を容易にする。

印象：彼の場合、初来日の時、既に優秀な人材である事は明らかでした。その優れた素質は百科事典的な情報を持っている、或いは受験秀才的なすばしこさではありません。知識は充分でなくても、適切な実験を企画、実行し、結果から次を企画、実行し経験を積み重ね一步一步前進するという原則を崩さない勤勉さと、辛抱強さです。帰国後傑出した業績を上げる事が要求されるのは勿論、奨学金を受けいている時から真剣になるという効果もあるかも知れません。研究者の選抜方法を知りたいものです。また、特別研究者制度では自国の医学に貢献するため、何か特定の義務があるのかも興味のあるところです。

将来：日中医学交流の将来を考えると、複数国との国際交流の将来という問題になる。このような交流の中で自分の identity を失わない人材の養成を望んでいる。

--
--

評価：中国に帰国した研究者が、母国の研究をリードしており、高く評価できる。

印象：留学の人選から、日本への留学中及び留学後のフォローが充実している。

将来：本制度は、今後も是非必要と思う。

第5期

--
--

評価：初回の来日期間のみでは技術の習得に時間を要し、研究者として完成するのは無理である。特別研究者制度は彼にとって大変有意義であった。

将来：同じ研究対象を共同研究することを通して、両国の相互理解を深める事は大きな意義がある。研究者の交流は今後も継続される事を切に希望する。

--
--

評価：特別研究者の修了後も日本科学技術振興財団の博士研究員として採用され、更に一段のキャリアを積み、立派な研究者に成長する機会を与えて頂けるという点で、極めて意義深く、有益な制度である。

印象：通常の研究員制度が、一回きりの支援しか提供できず、研究員成長を支援するという点で限界があるのに対し、笹川医学奨学金制度・特別研究者制度が更に長期的視野から研究者の育成を図っているのは大変素晴らしい事だ。現在日本社会には中国からの研修生・研究生に対し、ある種の偏見の様なものが出来つつあるのを憂慮しています。その中で本制度は優れた中国側との人材を通して、真の意味で日中交流の礎を築く任を果たされている。

将来：今後も継続して、更に発展される事を期待しています。当教室も喜んでそのお手伝いをさせて頂きたい。

--
--

印象：2度目の来日のため研究に集中できた。

--
--

評価：これ（特別研究者）を目指して研究者が努力し得る。また、より緊密な相互交流が可能となる。

印象：研究者を終えて帰国後、直ちにこの制度を目的として、お互いに共同研究、人的交流を継続した。

特別研究者制度により相互の交流、信頼関係がより深まった。

将来：このような制度を継続する事により、日中医学交流がより深まる事を祈念する。

--
--

印象：再来日の機会を与えて頂いた事。研究者のその後の状況を追跡して調べておられる事に敬意を表します。

将来：彼が上海市辺りで Sleep Apnea Center を開設する事が出来れば、中国のこの領域の医学・医療の発展に資するものと考えております。そのようなケースに対する何らかのサポートをお考えいただければ日中医学交流を深める上で大変意義深いのでは。本人はカナダ移民の希望もあるようですが、私としては中国で活躍して欲しいと思います。

--
--

評価：修了後大学院修士課程に進学し、看護学修士を得て帰国した。現在看護大学で指導者として活躍している。この制度の意義は大きい。

印象：意欲的で馬力のある人でした。余り得意でない英語の論文を徹夜で読んでくるなど努力家であった。

将来：看護学領域の人材交流を、特に大学レベルの交流を盛んにし共同研究等を進める事を願う。

第6期

--
--

評価：極めて優秀で、希有な人物であり、このような人が留学されると両国間の友好にも大きく寄与するので特別研究者制度を今後も進めて頂きたい。

印象：本人が特に優れた人であったため、この制度は特に良い印象を与えた。

将来：日中医学交流は双方互恵の精神で進めていく事が大切である。中国は特に日本に近い国であり、欧米も相互交流を進めているので、日中医学交流も今後益々充実、発展させて頂きたい。

--
--

評価：中国研究者の能力がこの制度により高度になり、また、これにより受入施設の研究成果も増す、帰国後も連絡を取り合い、研究交流を続ける事によって両国の理解と親睦が深められる。

--
--

評価：初めての来日ではなく、特別研究者として直ぐに研究を実践する事が出来、2年間の当教室の在籍にも拘わらず学位取得に至った。(本来医学部では大学院で4年間が必要、彼は当医学部での2年間、中国での研究期間を加算してその申請資格を得たが)、特別研究者制度にその端を切り開いて頂いた事に意義があると考えている。

印象：大学院生として(例えば文科省・私費留学)開始するのは異なった状態で、彼はその研究能力を一気に伸ばす事が出来た。研究費の支援があった事も助かった。特別研究者として2年目の申請が出来るとありがたかったのだが。

将来：中国からの留学生・研究生が貴財団をはじめとするサポートで来日し、ある者は中国に戻って、ある者は日本や米国でポストクとして更に研究の場を求めて展開している現状で、個人の活躍の場が増す事により、日中医学交流に留まらず、国際的な絆が強くなっていくと確信します。今後中国の科学、医学の研究レベルも大いに向上し双方向に向かう事であろう。そのサポート体制が出来る事を望む。

--
--

評価：2回目であるとお互い理解するのに時間的な余裕が出来て良いと考えます。

印象：共同研究で国際学会に出席して良い研究のレベルアップが出来た。

将来：更に交流が進めば、相互の協力関係が質的に良い面が出てくると思います。

--
--

評価：もう少し能力のある人が選べれば良いと思う。

将来：人選の方法の改善が必要ではないか。

第7期

--
--

評価：特別研究者制度のように経験者に更に磨きをかけるような方法は大変有益である。

印象：1回目の経験を有する事で、受入側としては「即戦力」として受け入れる事が出来るため有効である。

--
--

評価：来られる研究者の質と人柄によって大きく作用されるものと思う。彼のような人材はめったにいないと思います。

印象：彼のような人が来日しやすくなる制度として発展する事を望みます。具体的には宿泊場所や、生活費の充実が必要です。そうでなくてはアメリカの人材吸収力に太刀打ちできません。

将来：人次第だと思います。

--
--

評価：2回目の来日の方が相互に理解があり、スムーズに研究を進める事が出来る。

--
--

評価：1回目の来日と比較して相互の理解が得られよく、遙かに大きな成果を上げる事が出来る。

--
--

評価：中国都市部での研究者の水準はかなり高くなっている。彼等は欧米への研究活動を積極的に広げようとしている。この努力は日本人よりも数段勝ると思われる。特別研究者制度は有能な人材を日本に目を向けさせる点が必要であり、今後もその意義は高いと考える。

印象：研究者が蓄財する傾向にあり、日常の生活の余裕が感じられなかった。

将来：有能な人材の交流が望まれる。

--
--
評価：一旦帰国して中国に貢献した後、立派な研究者となって更なる研鑽を積むため再来日することは、交流の面でも有意義。

--
--
評価：一度留学で身につけた先進的知識を実施し、再度確認しリフレッシュする事は意義有る事。

印象：フィードバック或いは再確認が出来る事は良い制度。

将来：もう一人笹川研究者を受け入れたが、その人の場合は、日本で学び博士号を取得しながら、その経験、知識を母国にフィードバックすることがなかった事が残念である。

--
--
評価：1年間の研修内容を補完するために、特別研究者制度は有益と考える。数年間の冷却期間をおいて招請する事に意義がある。

印象：本制度の場合は、私達研究者側が受け入れやすい環境が作られており、研修生が安心して研究に専心できるように身分が保証されている。お陰で研修生は立派に成長し、意義有る国際共同研究を生み出す事が出来た。

将来：歴史的にも民族的にも近い関係にある日本と中国の友好交流を維持発展させていく上で、日中医学交流の貢献度は多大である。本制度で研修を受けた中国の医師・研究者が帰国後中国でも活躍している話を聞くと誇りに思います。

--
--
評価：研究者と受入側にとって有益というばかりでなく。最初の来日からすると12年が経過し、親交も増す事でより別の形で発展する可能性がある。

印象：特別研究者制度は、予め人柄・その能力がこちらにわかっている事、また、研究者も日本の事情がわかっている事などから仕事をスムーズに進める事が出来る。日中医学協会を通して選抜された人は信頼できる。

将来：事情が許せばこの制度を活用して、更に多くの優秀な中国人研究者と仕事を続けたいと考えている。

第8期

--
--
評価：極めて優秀であり、熱心に研修・研究活動を行った。当施設でも先生から教えて頂くことも多く、良好な国際関係を保ち研究を進展させるのに役立った。

評価：金銭面での援助があることの精神的な安定と、選抜された自負による積極性・自信が背景に存在する事で、特別研究者は特に積極的に研究活動が行えているように感じた。

将来：良好に交流関係が継続される事を望みます。

--
--
評価：中国の研究者と共同研究を行う機会が得られ、中国の状況や彼等の積極的態様が伝わってきた事、更に日本との比較研究においては汚染因子の違いなどが明らかとなり、当方の研究を進める上においても極めて有意義であった。

印象：汚染要因解析においては日本の研究者にとっても、有意義である。

将来：環境問題・感染症問題などに対して、各種研究者を育成しておく事は極めて重要である。今後も継続していく必要がある。

--
--
評価：本制度は、再来日のため日本側構成員と面識もあり、十分に日本において活動が出来、非常に有効であった。

印象：在日研究が非常にスムーズに遂行できよかった。

将来：特別研究者制度の再来日の制度（半年程度も可）があれば、より一層素晴らしいものになる。

--
--

評価：研究者の中に中国の指導的立場に立つ人が輩出しているのは中国における日本の学問的な先進性の評価を得るのに大変役立った。

印象：研究者の再訓練の制度として大変良い。

将来：中国も経済力を付けてきた現在、新しい形で日中医学交流の必要性は益々高まると考える。

--
--

将来：今後も継続すべし。

--
--

印象：多くの業績を上げ、当方にとっても大変有益でありました。

将来：業績を上げた研究者に、期間延長が認められればと思う。

--
--

評価：反復して来日し、研究に参加する事は、専門領域の幅を拓げるために役立つと思う。科学全体の研究速度が速くなっているため、その現実の一部でも留学生が理解できればよい。

印象：研究の進展が見えるか否かは、本人の柔軟な思考による。そのような資質を持つ留学生にとっては、大変有効な制度である。

将来：①研究者の交流よりも、実際には医療技術や医療環境改善の援助の方が重要であることは、中国の医療の現場を視察するとよくわかる。②2～3年間の滞在が可能な奨学制度があると、実質的な効果が飛躍的にあがる。

--
--

評価：実力・実績のあった彼を当研究室に迎えた事は、お互いの研究のために極めて有効であった。大学間の交流校提携にまで結びつき、お互いの研究推進のみならず、日中友好にも大きく寄与した。

印象：特別研究者としてシニア研究者を招請する事は、より大きな研究交流に結びつく可能性がある。実力も実績もあった彼の存在は、同時に滞在していた中国をはじめとするアジア各国からの大学院留学生にもポジティブな影響を与えた。ただ、1年間は論文を出版するにはやや短く、帰国してからの投稿、追加実験など困難な面もあった。

将来：特別研究者制度の様な制度は極めて有意義であり、継続して欲しい。研究期間の延長の制度や、日本人研究者の長期滞在などの制度が有ればよいのではないか。

--
--

評価：素晴らしい制度であり、今後も発展される事を願います。

印象：日本語がとても上手く、コミュニケーションは殆ど支障がなかった。日本の文化についても興味があるようで、プライベートな面でも楽しめました。お礼の言葉として述べられた敬語も完璧。

--
--

評価：優れた仕事を行った者に再度機会を与える事は有意義と思います。この制度を有効に使用するか否かは本人次第である。

将来：自分の海外留学の経験から、留学で得られた良い印象は日本全体の良い印象になって留学生に残る。今後は日本から中国に出向いて行き、留学者と旧交を温める機会が有れば良い。

--
--

評価：中国での問題点をもって再度研究できるのであるから、研究が日本にいる時だけのものに終わらず、中国での研究に結びつく可能性が高く、大変良い制度。

印象：来日後速やかに研究に着手する事が出来効率よく進展する事が出来た。

--
--

評価：経済的サポートは大変助かった。

将来：協会のサポートで各分野における研究会を開いては如何でしょうか。

――
――

評価：特別研究者制度でよく知った研究者を再び迎え、短期間により大きな成果を出す事が出来た。

将来：将来もこの形での続行が望まれる。

第9期

――
――

評価：学習意欲の高い人が再来日する事は意義深い、しかし、4年のブランクがあり、研究はほぼゼロからとなってしまった。

印象：奨学金を得る事が困難な現在、本制度は意義深い、しかし、再来日までの期間が長いと研究に支障が出る。

将来：是非継続をお願いします。

――
――

評価：2度に渡り来日研究する機会を持つ事は有意義と考える。その人物が国へ帰り指導者として活躍し、弟子を育てた場合、出来ればその弟子に笹川財団奨学金による日本での研究継続援助を期待する。このことにより長期継続的研究者育成業績が上がり、日中両国に貴重な人脈を創り出す事が出来よう。

印象：笹川財団の奨学生制度は懇切丁寧で申し分ない。第一次の奨学生が母国で指導者として次世代を育成した場合、その若き研究者の日本での奨学金援助をお願いしたい。

将来：桂林への日本指導者の訪中はスケジュールが重なり行く事が出来なかった。是非同様の機会を期待したい。中国に笹川財団支援による研究者の支援センターの構築を期待したい。

――
――

評価：厳しい審査を経て来日しているだけに、その水準は素晴らしく非常に熱心である。本制度は極めて有益。

印象：留学生は極めて熱心であり、その態度は当教室の他の研究者にも強い刺激となった。ファンドの少ない我々のような研究室にとって極めて有意義な制度である。

将来：ますますの発展を期待します。アメリカと違い研究費が少なく人手も雇えない研究室が多い中、この交流は有益です。

――
――

評価：2度日本で学び医学博士の学位を得、現在米国で更に勉強中である。彼は奨学金を得て勉強し、米国に行く事は良くないと思われるかも知れないと心配していた。しかし、チャンスは誰にでも与えられるものではない、必ず将来中国そして日本のために貢献してくれると信じている。

――
――

評価：目的意識を持ち、真面目に研究する研究者が多い。このような制度を介して、日中の研究者間の交流が盛んになる事は意義がある。

印象：研究歴のある方が多く、目的意識が明確である、このような研究者が日本で研究する事は、我が国にとっても大変に素晴らしい事と考えます。

将来：是非本制度を継続して頂きたい。

――
――

評価：若手の優秀な中国医学生に対する経済的支援の価値は極めて大。

将来：海外留学は2年が望ましい。技術の習得とこれを応用した研究成果の発表の為には1年間は短すぎる。せめて一部の有望な人達には2年間という枠を設定していただけないか。

印象：二回目の留学の際も私の研究室を選んでくれ、最終的に本学で学位をとりました。貴財団の選考の公平さ、的確さを感じました。中日友好にも貢献できたのではないかと思います。

評価：個人の努力に負うところが大きいのではないかと。

評価：比較的臨床研究が行われていない中国での将来の指導者一人を養成できた。

印象：1年目のみの前回と違い、積極性が初めから異なっていた。

将来：人選が大事、官僚の縁故で選ばれたが、よく適応できぬままの人もある。

評価：生活が保証されており、アルバイトをしなくて済み、研究に専念出来るシステムが素晴らしい。貴財団の制度の充実している事を指導者としても感謝している。

第 10 期

評価：中国と日本に共通の医学的研究課題が明らかとなり、共同で研究する方法を開発中です。向学心旺盛で、研究熱心な中国の研究者に触発され、我々も研究意欲が向上しました。相互により影響を与えたことが本制度の大きな貢献。

印象：ここ数年の中国の医学状況や、社会全体の変化を直に聞く事が出来、その中で治療方法の違いが明らかとなり、相互に利用する方法を開発する研究の原点となった。

将来：IT技術を駆使し、互いに情報交換を行い、その中から国際的な大型国際研究が企画される可能性があります。

評価：中国における医療レベルを向上できる。

印象：歓迎式など温かな対応が印象的である。

将来：日本から技術指導の派遣も考えて頂きたい。

評価：臨床研究は1年では、なかなか成果が上がらない、日本語・英語のどちらかで十分なコミュニケーションが取れる人を条件にして頂きたい。

印象：日本語は完全な理解は出来ない状態で、日常使う英語が入ると更に理解できなくなり、100%のレベルでの意志の疎通は出来なかった。

将来：具体的な目標を設定して欲しい。臨床現場では1年で病院に貢献できる研究を論文に完成させる事を含めて行う事は困難である。

評価：中国の研究レベルの向上には貢献しているが、研究期間が短く出来れば2年欲しい。

印象：優秀な人材を派遣していただけるのは有意義。

将来：一方通行でなく、日本側からも派遣しては如何でしょうか（漢方医学の研鑽など）

--
--
評価：今後現行制度を維持していく事には疑問に感じます、研修を希望する留学生と受入側の体制が合致していれば成果を双方が上げることが出来る。

印象：近年の留学希望者の申請書を見て感じることは、目的が不明確であり、かつ自分がどの施設で何を習得したいかが示されていない点が問題である。また、研究を行う上での学問的背景の未熟さが目立つようである。

将来：両国間の学際的協力が必要と考えるが、現在のような100名規模の受入は不必要と考えます。中国側からの一方的な推薦による受入は止めるべきと考えます。将来の両国間の正しい理解と更なる友好関係を発展できるようなシステムの構築を考えるべきで、我が国の若手研究者や指導者の中国からの受入を考えて貰う時期に来ていると思います。

--
--

評価：大変優秀な人材を紹介頂き、現在も国際的研究を継続していることについて感謝しております。

印象：日中医学協会の活動に感謝、今後も協力できることは協力したい。

将来：中国の高齢化はすさまじいスピードで進行している。我が国で得られた高齢者の健康や医学の経験が生かされる。日中医学交流の重要性は益々大きくなると確信したい。

--
--

評価：好感の持てる人柄で、研究は自ら創意工夫して行っていた。このような人物がこの制度を利用して来日すれば必ず成長し、母国で後継の人材を育てることになるだろう。

印象：研究補助金があまりに少額なので、小規模な研究に限定された。本人はさらに研究を発展させたいとの意欲が大いにあった。

将来：大多数の中国人医学者は、アメリカに行ってみたいと思っている。日本へ引きつけるには良い指導者と、良い環境を用意しないとアメリカへの憧れを変えることは出来ないだろう。なお、本人とは後日談として、本年(平成16年)7月、日本国内学会への参加を誘ったところ、2題の演題を用意するとの返事があった。この意気に感じ、渡航・滞在費全額をポケットマネーから捻出し、無事、参加・発表にこぎ着けた。日中間の国民感情が問題となっているなかで、彼は多数の人々に日本との友好を説いていると思う。

--
--

評価：中国には多くの留学希望者がいるようですが、金額をもっと絞ってでも人数を増やすことも考慮する必要がある。当然ながら、レベルを維持するために選考はしっかりする必要があると考える。

印象：日本への2回目の留学ということもあって、地元根付いたボランティアも行っていました。学問だけではなく、社会面での貢献もできたと思います。

将来：総括的に見ると日中医学交流はプラスだと思いますが、世情も考え、人選だけは十二分に行って欲しいと思います。

--
--

評価：日本と中国の医学界に共通の基盤が形成されつつある。

印象：日本語の上手な人物である点が大変良い。

将来：特別研究者制度の留学生とは、長い交流の機会を持って欲しいと思います。

--
--

評価：特色有る制度で、有意義と考えます。

将来：継続して支援して頂きたい。有名大学・有名研究所出身の人々に偏りがちと思いますが、広く特色有る有能な人達に留学の機会を与えて欲しい。

--
--

将来：本支援が日中交流に資して欲しいと切に希望する。

--
--

評価：共同研究の一貫としての再来日は、大変有意義で成果が期待でき、事実大きな成果進展をもたらしてくれた。再来日に際し密接な研究計画を立案していたので、直ちに研究に着手する事が出来た。大学教官として、研究者として立派に成長していることがわかった。
印象：研修態度が立派な研究者であり、我々のセミナー・グループミーティングにおけるディスカッションは高度で我々教官に対して大変刺激的であった。英語論文の執筆に苦勞していたようだが我々日本人・中国人の宿命かも知れない。
将来：大いに進めて頂きたい、出来れば薬学・工学（生物化学メデシナルケミストリー創薬化学）に広く門戸を開いて欲しい。

--
--
評価：日中友好の上で多くの中国の知識層に日本の科学と文化を理解していただける事が出来た。

第11期

--
--
評価：優秀な研究者に研究できるような経済的支援をし、大変有益である。
印象：日常生活を送るには、ほぼ十分な経済的援助をしている。
将来：更に拡大されることを期待したい。

--
--
評価：継続した長いスパンの関係を築くことが出来、研究を通して深くお互いを理解し合える。今後とも是非継続して頂きたい制度であると高く評価いたします。当該研究者は帰国後更に成長し、再来日時には研究着想ばかりでなく遂行能力も充分あった。
印象：再度の来日により、日本語の上達が顕著であった。これに刺激されて、若手の医師たちが是非中国語を習いたいとの要望が出た。共に多忙であり時には準夜帯に手術室の片隅で真剣に中国語を習う研修医の姿が印象的であった。
将来：今後とも医学を通した長いスパンでの交流を心から望みます。

--
--
評価：極めて研究意欲が高く、研究の進展が可能である。本人の研究者としての成長が著しいと共に、受入研究室にも有益である。
印象：経済的な保証がしっかりしており、各人の保証をもう少し押さえても、多くの希望者にチャンスを与えてもいいと思う。特別研究者は各人の研究意識が高いことから、本人にとっても、受入研究室にとってもメリットは大きく、日中交流という意味でも意義深いと思われる。
将来：今後日中医学交流は益々必要になってくると思われるが、何らかの形で交流できる制度を継続できれば、一段高いレベルの日中友好が生まれてくる。

--
--
評価：公私ともに関係が深くなる。能力・語学とも進歩しており、我々の研究、臨床にも役立った。日本企業の中国進出にも協力するなど、日中交流に寄与している。

--
--
評価：再来日時にスムーズに研究に入れる。

--
--
評価：研究者同士として受入教室の助手たちと研究上の意見交換が活発であった。自信を持って研究していたのが大変良かった。
印象：再来日では研究に対する視野の広がり、若い学生に対する指導力の点では非常に進展していたと感じた。
将来：今後とも是非続けて欲しい。

評価：研究所・研究室の活性化につながり大変有益であった。帰国後も共同研究等続けて頂きたい。

印象：1年間というのは研究の期間として少し短いのではないのでしょうか？もう少し長いスパンで研究できる制度があればよい。

将来：今後共発展を期待します。

--

--

印象：特別研究者制度は留学期間を伸ばしても良いのでは。

将来：大変真面目な人物でしたが、軍隊関係のためフランクに交流する事が出来ませんでした。軍隊関連は敢えて選ばなくて良いのでは。

--

--

評価：再来日ということで、深く掘り下げて研究が展開できる。

将来：更に強固なものにする必要があると思う。

--

--

評価：フルブライト方式による日米交流と同様な制度で日中交流上その意義が大である。

印象：中国政府の要人が私共の施設を訪れ、有意義な討論をすることが出来たこと。

将来：是非継続して頂きたいと思いますが、同一研究者が、研究生と特別研究生と2度来日して修練を積むようにすれば、より効果があがると思われます。

--

--

印象：①経済的に充分保証され、研究に専念できる。②最後の研究成果発表の会やレポート提出は良い刺激になった。③研究補助金は有効に使用させて貰った。

将来：彼のように優れた研究者が奨学金を貰って1年という短期間ではあるが、研究に没頭できるこのような制度は、本当に素晴らしく、大変ありがたく思っています。1年間という期間は研究をまとめるには短すぎるので、2年間の制度も別にあると良いと思います。是非今後も続けて頂きたいと切に願います。

4. 研究者の自由意見

第1期

評価：日中笹川医学研究者制度の中国の衛生事業発展に果たした役割は史上空前であると同時に、今後の中国医療発展に深い影響を与える。今後全中国人民は貴事業の意義を益々深く認識し、永遠に忘れることはないだろう。

印象：本制度は中国が医療衛生事業の発展を最も必要としている時、そして私が年齢的に最適な時に留学の機会を与えてくれた。本制度が現在の業績を上げ、目的達成に至ったことは、誠に容易ならざる事であった。

制度の将来：長期にわたり継続して欲しい。又、臨床方面の帰国笹川生が再来日（3か月～半年）して研修・共同研究等を行うことが本制度にとって更に好ましい。

医学交流の将来：中日医学交流は両国の大都市間ばかりでなく、帰国笹川生の活動する都市を対象に行ってはどうか、また、交流内容は西医のみならず中国伝統医学・薬学に拡げ、中医薬臨床治療領域の研究交流を行うのがよい。

印象：緻密な組織、厳格な要求。人間的な運営、一致した協力関係。

制度の将来：専門的な研究討論については、ハイクラスの専門家を対象に訪日又は来華交流を行う。1～2週間が適当。

印象：①事業規模が大きい。②組織的かつ行き届いた世話。③箱根セミナーの実施。④協会事務局員の仕事ぶりや研究者への配慮。

制度の将来：①20名程度の若く有望な基礎研究者（生化学・生物化学―彼等は殆ど衛生部に属していない―）を育てる。②年二回程度研修成果の審査会を行い、学習意欲を高める。③選考に当たっては中国国内のバランスに配慮し、日本語力に拘らない（日本語は後からでも、また、来日後は特に学びやすい）

印象：事業の規模・実施期間の長さ。研究者への行き届いた世話。

制度の将来：事業の継続を望みます。中日の共同研究特に研究者と指導責任者との長期にわたる共同研究を提案します。

医学交流の将来：「中日医学雑誌」或いは「日中医学雑誌」を創刊し、両国の言語で学術論文を掲載する。また、専門別の中日学術交流組織を設立し、学術交流を行うことを提案します。

印象：日中笹川医学研究者制度で育成された人材の中国人民の保健医療向上への貢献は大きい、特に今回のSARSとの戦いの中で果たした役割は突出しています。

制度の将来：人材養成にもっと力を入れ、中国人民の医療水準の向上、中日医学交流及び中国と世界の医学交流と友好の促進に貢献して頂きたいと思います。

医学交流の将来：全方位的に中日医学交流と合作を行うこと、医学に国境はなく、アジアのみならず世界と交流し、各国の新しい考え、新技術を用いて治療する、これが人類に幸福をもたらすと思います。帰国笹川生に対する経済的・物質的援助を行うことにより、帰国笹川生は能力を発揮し、本制度の目的を達成できると思います。よって、人材養成事業は更に発展し、様々な全方位合作が可能となり、また、笹川生同学会はそれに協力いたします。

印象：帰国笹川生の多くが学術的リーダーとなり、各科の牽引役となっている。

制度の将来：①来日前の研究者への指導・情報提供を強化して頂きたい、②本制度関係機関は研究者たちの十数年に亘る経験と教訓を小冊子にし、将来の研究者に提供して欲しい。

医学交流の将来：日中医学協会は貴協会の出版物及び多くの関係資料を帰国笹川生に贈り、中日医学交流を促進して頂きたい。

評価：①両国人民の友好と相互理解を促進した。②歴史を鑑とし、未来に向け共存共栄の精神を体現させた。③両国が関心を持つ東洋伝統医学の中日医学交流・合作を強化した。

印象：①中日友好の使者としての、笹川良一先生の博愛精神は、深く心に残ります。②日本の指導責任者や教室員の仕事を愛する心と自己管理能力の高さが印象的でした。

制度の将来：①同学会活動を強化し中日両国人民の交流の新たな架け橋とする。②日本の専門家の訪中を援助し、中国貧困地区への医療援助を強化し、ボランティア診療の回数を増やして欲しい。

医学交流の将来：交流の強化対象を中国の郷鎮・貧困地区とし、医師・医薬品が不足している農民を救済したい。

評価：民間援助事業として、前代未聞の規模で中日学術交流の重要な道程となったと考えます。

印象：本制度は大変行き届いたものであり、研究者が多くの事を修得できました。

制度の将来：本制度の効果は極めて大きい、20年計画終了後も継続して欲しいです。但し、私費留学が容易となった今日、事業内容は時代にあわせ、例えば両国の大学が協力して中国に大学を作る、また、学術的実績を上げた帰国笹川生に短期援助をするための笹川

医学基金会を作る等。

医学交流の将来：①中日医学交流の方法は種々ある、柔軟性を持たせ、様々なレベルで展開したい。②両国は距離が近く、生活習慣も似ているので様々な中日医学交流が出来る。③本制度は時代にあった形に変化させて継続されてこそ大きな効果を上げることが出来る。④中国政府は外国と中国の大学が連合して人材養成を図ることに力を入れている。中日笹川医学研究者制度もこの方面で充分考慮し、力を入れるべきである。現在英・米・欧州・豪州がこの種の協力事業を行って、例えば公衆衛生領域では2002年から修士学位取得に関する協力関係を開始している。日本も参加すれば大きな貢献をなすと思う。

印象：私は87年来日の第一期生で、帰国後15年経った今でも、本制度について情報を入手し、また、日中医学協会の援助を嬉しく思っている。

制度の将来：日中笹川医学研究者制度は中日医学交流を強化する良い制度で、継続を希望する。

医学交流の将来：現在特別研究者制度には年齢制限があるが、私は健康でやる気のある研究者や臨床医師が再訪日すれば得るものは大きいと思う。60才以上でも参加させるべきだ。

印象：新知識、新技術、進んだ管理体制を学ぶことが出来る。

制度の将来：継続して欲しい。先端的分野を中心に研究者を選考して欲しい。

医学交流の将来：引き続き交流を強化する。また、中医分野の共同研究（基礎・臨床を含む）を促進する。

評価：両国人民の友好と医学交流を促進した。

印象：①研究者への具体的な世話②帰国後のフォロー③帰国率が高い

制度の将来：特定の専門分野に的を絞る。例えば「移植」「介入」など。

医学交流の将来：①定期的に中日医学交流学術会議をもつ。②短期訪日システムを作る。

印象：大学・指導責任者・研究テーマに十分な選択肢があること。生活・研究面で行き届いた援助をしてくれた。

制度の将来：機会があれば、再度交流・研究のため訪日したい、特に一期生は。

医学交流の将来：業績を上げた笹川生には更に研究の機会を与えること。それにより中日医学交流の絆が深まる。

評価：中国の指導的人材を育てたこと。中日医学交流を促進したこと。両国人民の友好往來を促進したこと。

印象：組織的で丁寧な世話。

制度の将来：継続して頂きたい。

医学交流の将来：①相互留学②相互の短期訪問交流③共同研究の強化④両国による学術会議の共催。

評価：友好の促進

印象：信頼できる。発展的であり組織的。

制度の将来：帰国笹川生が訪日して学術交流をする機会が欲しい。

医学交流の将来：交流を進めたい（特に上海地区）

印象：現場の医療人員をしっかりと養成した。

制度の将来：新しい内容で継続して欲しいです。

評価：多くの人員の訪日を援助し彼等の差や問題点を見聞し、専門知識を学んだことは確かに有益だった。しかし、日本語学習に多くの精力を費やしたが、帰国後日本語を使うことも読むことも少ないのが口惜しく、また、中日友好にも大きな貢献が出来ず、笹川先生に申し訳なく思う。ただ一つの事、「人民に対する奉仕を通して笹川良一先生の恩に報いること」を思っている。

印象：日中医学協会の仕事ぶりは素晴らしい、私の模範である。日本の成功は国民が真摯に努力した結果であることを学んだ。真面目に自己を鍛えることが成功の元である。

制度の将来：帰国笹川生の研究活動に対する援助を強化し、時間と努力を費やして学んだ日本語を役立てる場を創る。

医学交流の将来：連絡・交流・技術支援を強化して欲しい。1年で終わりではなく常時往來したい。笹川生の選抜に中国側指導者の推薦制を導入することを提案する。理由：①多くの帰国笹川生は修士・博士課程の指導を行っており、学生のレベルをよく知っている。②帰国笹川生は日本の指導者の研究内容をよく知り、かつ日本の専門家の研究発展状況も理解している。③上記二つの理由から、もし大学院生の指導を行っている帰国笹川生が自分の優秀な学生を推薦し、日本の指導者や日本側の研究テーマについて理解させれば非常に有益であり、また、その師である帰国笹川生と日本側との研究継続にも有益であり、長期的な意義有る共同研究が可能となる。

評価：中国のために多数の医学界リーダーを養成した。中日相互理解と友情を育てた。中日医学交流を促進した。日本の先進的医学研究方法及び日本の謹厳な学風を学んだ。

印象：両国人民の友情学術交流のレベルアップ。

制度の将来：医学協力の促進。

医学交流の将来：学術交流の強化及び専門家の相互訪問交流。

評価：日中笹川医学研究者制度は学術領域のみならず、両国間の友好往来を推進した極めて時宜に叶ったプロジェクトであった。

印象：国際的な医学交流の中で、斯くも多人数で長期間の交流事業はかつて無かった。本制度は世界的な成功例であり、歴史に残る人材養成事業である。

制度の将来：今後も絶えることなく継続して欲しい。帰国笹川生の短期訪日交流団を定期的に組織し、継続的に交流し、相互学習する。

評価：①科学的な考え方を学んだ。②両国を跨ぐ文化交流③国際的な論文④日本の学校衛生の先進的経験を広めた。

印象：①長期に毎年事業を展開したこと②同学会活動で連絡・交流を深めたこと。③忘れがたい友人が出来たこと。

制度の将来：①同学会活動を継続し、中日医学交流の架け橋としたい。② E-mail により定期的に活動状況を提供して欲しい。

医学交流の将来：①定期的に資料を発表し、積極的に同学会活動を展開している人々の活動を周知し、多くの帰国笹川生に活動への参加を促す。②再訪日の機会を与えて欲しい。③「笹川生通信」の日本語抄訳を作成し、日本のメディアに公表して欲しい。

評価：貴事業は多数の医薬従事者を育成したばかりでなく、両国の合作・交流を促進し、中日両国人民に大きく貢献した。

印象：本制度の実施により、多くの中国医学者・薬学研究者が訪日し、先進的な日本の科学技術・思考を学ぶと共に日本の医学者との交流の機会を与えた。

制度の将来：本制度を継続して、中国全土の医学者に訪日の機会を与え、中日両国医学者の合作・交流を促進して欲しい。

医学交流の将来：私は薬学を専門とするが、中国伝統医薬学は偉大な宝庫と考える。日本の薬学者と企業が訪申し合作・交流を大に行って欲しい。

第 2 期

評価：中国医学と看護領域の水準を大いに高め、両国の子々孫々に亘る交流を促進し、また、自分が世界に通用する看護教育の専門家になるべきであることを自覚させた。

印象：行き届いた事業である。

制度の将来：看護分野の教育と臨床に携わる帰国笹川生を看護学術交流の為訪日させるプロジェクトを本制度に加えて欲しい（各人 1 回限り）

医学交流の将来：中日看護教育・臨床看護交流の充実、例えば現場における実際的な看護教育の探求、論文交流等

印象：①日本の医師の勤勉さと責任感に触れたこと②先進技術を学んだこと。

制度の将来：①訪日して学会参加・活動するための援助を希望します。②主任医師（教授）クラスの短期訪日視察のための援助を希望します。

医学交流の将来：①相互交流を促進したい。②日中医学交流の使用言語は日本語か中国語で行い、英語でなくていい。

印象：日中医学協会の人々の真剣さと責任感

制度の将来：多岐にわたる事業を実施して欲しい。

医学交流の将来：①多くの日本の専門家に訪申して講義して欲しい。②中日両国は中西医結合の分野で協力する。難病の科学研究に対して援助し、中国とこの方面の研究を促進して欲しい。

評価：中日医学交流を促進し、中国政府の人材養成に協力し、中国医療人員のレベルアップと日本の厳格な科学的管理を見聞させたこと。

印象：①中日友好交流②日中医学協会の周到な仕事ぶり③日本の先進技術

医学交流の将来：現在の訪日研修以外に短期訪問・長期訪問プロジェクトを加えるほか、期間延長を含む日本語研修の強化

評価：中国医学の不断の進歩と発展を促進したこと。②中日医学交流と相互理解を促進したこと。日中両国人民の友好事業発展を促進したこと。

印象：2 期生は幸いにも笹川良一先生に何度もお会いし、お話も伺っている。笹川先生の信奉する「人類は皆兄弟」「人類に奉仕する」理想と努力に敬服する。

制度の将来：①帰国笹川生が日本で行われる国際会議に参加するのを援助して欲しい。それは中国と世界の医学の交流を促進させる。②中国国内の科学研究基金を充実させ助成金を増やせば、帰国笹川生の国内における水準を高めることが出来る。

医学交流の将来：専門別中日医学交流学会の開催に協力して欲しい。

印象：手が組織的で行き届いており、事業の効果が大きい。中日医学交流の新しいページを開いた。

制度の将来：以下について援助を希望します。①共同研究②短期相互訪問③学術会議の共同開催④中日医学交流に貢献し、業績を残した人の表彰。

印象：事業の組織運営がしっかりしていて、仕事も行き届いている。また、指導責任者と研究者の関係も非常に良く、中日友好を促進した。

制度の将来：大きな科学研究のテーマと関連する研究分野について帰国研究者と日本で研究中の人を組み合わせれば大きな成果が上げられる。

医学交流の将来：①交流は面と点を考えるべき②科学研究だけでなく、その成果を商品化することも支援する、例えば健康食品・医薬品開発③帰国笹川生の人材を活用し、民間大学か病院を設立し日本からの友人や国内の患者を治療する。

評価：中国の医療水準を向上させ中国人民に多大な貢献をした。

印象：規模が大きく分野が広い。また、研究目的がはっきりしていて、全ての研究者が著しい成果を上げた。

制度の将来：①本制度を継続して欲しい②帰国笹川生の一部を組織し日本の各種学会に出席させて欲しい。

医学交流の将来：両国の各科・専門別学会間を基礎とし中日医学交流を強化すべき。

印象：研究者として訪日したことは、医師としての生涯で何物にも替え難い意義を持つ。日本への見方が変わった。

制度の将来：本制度を継続すべき。帰国後仕事内容に変化があった人、特に行政職に変わった人々については、元の研究機関で1～2週間調査・研究・視察・行政管理の研修は出来ないか。

評価：研究に専念し、大変なになった。臨床に応用し人類を幸福にしたい。

印象：本制度は一貫して選考が合理的であり、組織的で、配慮が細かく、責任感に満ちている。

制度の将来：両国の各専門家間・専門領域の間で情報交換を強化すれば中国人民の健康と中日友好の将来に有益である。

医学交流の将来：交流と合作を盛んにする。医学各分野におけるホットな問題の共同研究は人類を幸福にし、中日友好を促進する

評価：改革開放の初期に中国医療の発展に大いに貢献したことはとりわけ重要である。

印象：十分に配慮がなされていること。臨床習練があること。

医学交流の将来：①学術交流と学術以外の交流は二つとも重要である。医師同士の個人的友人関係は中日関係に有効である。②交流方法は多面的であるべきである。

評価：①中日友好の架け橋②規模・人数が大きく歴史上希な事業③中日医学界の相互理解と各方面の交流の促進④千を超える21世紀の中国医学を担う人材の育成⑤今後は多くの専門分野の交流を継続して欲しい。

印象：世界は一家、人類は皆兄弟、本制度の功績は歴史に永く刻まれる。

制度の将来：①本制度終了後は、形を変えたプロジェクトで医学交流を展開して欲しい。②同学会の運営により、本制度の効果と交流関係は継続される。③同学会を通して教育・人材育成・病院開設等を中国で行う。

医学交流の将来：中日友好交流の歴史は悠久である。今後も医学交流を継続・強化し中国或いは日本で学術会議を開催する。また、初期（5期まで、或いは10期まで）の帰国笹川生から選抜を行い、短期訪日の機会を与える。

評価：中日医学交流を促進すると共に、中国人民の医療向上に貢献した。

印象：2人の指導責任者に大変お世話になったこと。

制度の将来：①臨床分野の研究の強化②帰国笹川生が外国で開催される学会に参加するのを援助するプロジェクトが欲しい。

医学交流の将来：中日医学交流の規模を拡大し、更に多くの医師、とりわけ地方の現場の医師に日本で研究する機会を与える。

印象：きちんと運営されている。特に帰国後も学習活動の組織化を行い日本側及び日本側学友との連絡を保っていること。

制度の将来：相互に連絡を取り中日医学交流に努力する。

医学交流の将来：大型の共同研究を行い、笹川生の学んだ特長を生かすことにより中日医学の発展に更に努力する。

印象：日本の指導責任者は勤勉に仕事をし毎晩夜中に帰宅する。また、協会からも便宜をはかって貰ったことは生涯忘れない。

制度の将来：将来継続するので有れば、医科大学卒或いは臨床家を招聘すべきである。看護・行政官は数を少なくすべき。彼等は帰国後余り活躍できない。聞くところによると後期の研究者の中には研究を怠りアルバイトに熱中し、金儲けを行う者もいる。よりよい募集方法を考えるべきである。

医学交流の将来：帰国笹川生はそれぞれの持ち場で大変活躍している。中国と日本はそれぞれ特徴があり、日本は医療技術・設備が発達しており、中国には伝統医学がある。両国研究者が臨床方面で協力し合えば素晴らしいと思う。

評価：日中医学協会の研究者に対する熱心な仕事ぶりや生活面の行き届いた配慮。

制度の将来：継続して欲しい。願わくば指導責任者が中国に来て指導して欲しい。

医学交流の将来：ネットワークによる診断治療の検討とその方法の確立。

印象：日本で身につけた多くの知識を帰国後臨床面で活用し、実践中である。

印象：日本の医師の勤勉さと、協会事務局の真面目さ。

医学交流の将来：日本人と中国人の文化史・生命観の形成過程には違いがある。この違いは現在の中日医学交流の現状に示唆を与える。この問題をお互いに考えるべきである。

第3期

制度の将来：①研究テーマは指導責任者と合致しているべき。②選抜については語学能力ばかりでなく、専門知識と研究の基礎を重視すべき、そうでないと1年間は無駄である。

医学交流の将来：長期に亘って継続して欲しい。

印象：長期に亘り、広範囲に中国の優秀な研究者・臨床家を育成した本制度は強い印象を与える。

制度の将来：長期に亘って継続して欲しい。

医学交流の将来：日本で博士学位を取れる様にして欲しい、1年間では高度な研究者育成には不十分です。

印象：同じ目的に向かって一致している。

制度の将来：5周年10周年を北京で行った様に、日本での機会が有れば、かつての研修地を訪れ指導責任者・同僚と会うことが出来る。これは皆の希望である。

評価：深く交流することにより相互理解は深まる。そうすれば中日友好の基礎が築かれ不安定な中日関係を改善することが出来る。

印象：①本制度は政府と民間の合作による大きな事業であり、中日関係の改善に益する。②プロジェクトを運営する日中医学協会の効率的な仕事ぶり。

制度の将来：第三期・第四期事業の有る無しに拘わらず、帰国笹川生は中日友好人士として中日医学交流を展開していく。帰国笹川生の活動を支える方法は種々考えられるが①同学会との連絡と相互協力②中日共同或いは日本の資金により病院を設立して共同運営する、病院名は「笹川記念病院」③「笹川中日医学交流協会」を設立し、共同研究と教育分野の交流を行う。

医学交流の将来：中日両国の一般大衆レベルでは、両国間の相互理解は深いとは言えない、特に原則的問題において往々にして相互不信に陥る。医学交流もまたその影響を受ける。よって中日医学交流は高度な専門的交流に重きを置く前に、一般的な民間交流から交流を始める、例えば「中日医師交流協会」「中西医結合協会」「中医漢方交流協会」等。

評価：日中笹川医学研究者制度は中国医学の人材養成事業として非常に有意義である。

印象：本制度は周到且つ厳格に組織運営され、所期の目的を充分達成している。

制度の将来：中日医学交流を更に継続・促進して欲しい。

医学交流の将来：日本の関係分野に関する刊行物をデータベース化しネットワーク化すれば中国国内から日本の文献を読むことが出来る。

印象：日本の医師の仕事に対する真摯な姿勢は敬服に値する。1988年、私が経済的に困難であった頃、笹川奨学金を得たことは私の仕事の生涯の基礎となった。心から感謝する。

医学交流の将来：私は63才になるが臨床に従事している。心臓電気生理の中国国内代表も務めている。教授クラスの訪問団として1～2週間の訪日を希望します。

印象：①厳格な要求、熱心な指導とサービス態度。②帰国後、人類の公益事業に尽くす事を学んだ。③力を合わせ助け合い、連携を強める事。

制度の将来：事業を継続し、中日両国子々孫々の友好と世界平和を促進させたい。

医学交流の将来：日中医学協会は活動を継続する事。また、選考に当たっては、必要とする地域の有用な人材を対象とするよう提案する。

評価：①多くの笹川生の帰国後の業績は、在日当時学んだ事と大いに関係がある。②多人数の中国医療人員の資質を高めることに貢献した。③中日医学交流を強化促進したい。

印象：①研究者への世話が行き届いている。②帰国笹川生との緊密な連携。

制度の将来：帰国笹川生への配慮、特に引き続き指導責任者のアドバイスを受けてたい。出来れば一生その指導を受けたい。
医学交流の将来：貧しい地域の医科大学は既に発展した地域の大学の支援を得て、学術顧問を招聘している。日本からも指導責任者が年に1～2回訪中して指導して欲しい。多忙の場合は他の人でも良い。

印象：友好的且つ高い事業管理能力。

制度の将来：継続発展と教授クラスの短期交流への援助。

制度の将来：優れた研究テーマに補助金を提供する基金の設立。

評価：①発展途上国である中国の知識青年に自己を高め、能力を発揮する機会を与えた功績、中国の医学薬学の研究・臨床レベルの向上に対する功績は極めて大きい②両国人民の友好促進③中国の青年の日本社会・文化・生活習慣及び近代的管理運営方法への理解の促進。

印象：①日本側の組織・能率的業務運営レベルの高さ②協会の配慮③指導責任者及び教室員の心遣い④静かで快適な生活環境、物価の安定、社会奉仕。⑤優れた研究環境。

制度の将来：若い研究者の養成は必要だが、年長者にも必要がある。第二の青春は更に輝き貢献度も高い。人を選んで養成すること。祖国に貢献するのに年齢制限は不要。

医学交流の将来：日中笹川医学研究者制度に医薬分野の博士課程プロジェクトは可能だろうか、条件①資格は修士修了後1年以上の者②西部地区・辺境地区から③特別研究者より少数でよい。

印象：協会は研究機関・研究テーマの選択に最大の努力をしてくれた。おかげで1年で成果を上げることが出来た。

制度の将来：是非継続してください。

印象：中日医学交流の架け橋を創った。

制度の将来：再度北京で交流会を開催して頂きたい。

医学交流の将来：中日両国の中医薬分野の交流を活発にし、中医薬と日本医学界の情報交換と交流の機会を作って頂きたい。

第4期

評価：時代の要請に合致した制度であり、日中友好に有意義であった。

印象：笹川財団・日中医学協会・衛生部に感謝する。指導責任者の敬業精神に感動した。

制度の将来：人類の健康事業に有益であり、継続させるべきである。

医学交流の将来：同学会の活動として、笹川記念病院・笹川健康研究院などを開設する。もし可能なら更に制度を継続させる。

評価：本奨学金制度は研究者のレベルアップ及び日中医学交流に大きく貢献した。

印象：中国側の厳正な選抜と日本側の周到な手配。

制度の将来：事業を継続し、中国のために多くの人材を養成して欲しい。

医学交流の将来：日本に戻っている笹川生の同学会を組織し、交流を促進する。

評価：日本の先進医学の研究方法及び技術を学ぶと同時に中国伝統医学を日本に広めた事は国際間の自然科学交流に深遠な意義がある。

印象：第1回の学術発表会と「10周年記念大会」。

制度の将来：可能なら本事業を継続して貰いたい。

医学交流の将来：①同学会の「日本分会」を作り連絡を密にする。②笹川生を中心とした定期或いは不定期の国際医学学術学会を開催する。③中国側にも対応する奨学金制度を作り、日本で中医学を学ぶ人達を激励する。

評価：本制度の設立は中国医学界及び医療人員に日本で研究するという得がたい機会を提供した。

印象：厳しい科学的姿勢と責任感。

制度の将来：2008年以降も継続し、第三次10年の事業を行って欲しい。

医学交流の将来：帰国笹川生の先端的テーマ・新技術の研究のため1～2か月の再訪日の機会を与えて欲しい。

印象：協力、活気、情熱

制度の将来：ハイレベルの専門家に2か月以内の短期訪問を提供して欲しい。

印象：①長春の日本語の先生は昼夜を問わず熱心に教えてくれた。②指導責任者は研究者に対し辛抱強く、細部に亘って親切に指導してくれた。③日中医学協会の効率的な仕事ぶりには敬服する。

制度の将来：中国の国際的人材養成のため、中国人民が高いレベルの医療を受けられる様にするため、本制度を継続して貰いたい。
医学交流の将来：日本で研究中に気づいたことだが、毎期カナダ・アメリカ等に出国する者がいる。この事業は中国の医療事業に貢献するためにある。日本が資金提供しているのだから、日本を踏み台にして他国へ行く現象は無くすべきである。対策を厳しくすべき。

評価：本制度は笹川財団が全面的に資金提供し中国医療関係者が日本の先進技術を学びレベルアップする道筋をつけてくれた。

印象：最も印象的なのは日中医学協会の細やかで周到な手配と研究者に対する思いやり。

制度の将来：本制度が更に多くの日中医学交流の機会を創り、両国人民の友好の窓口となることを願う。

医学交流の将来：医学の専門領域は特殊性がある。現代は通信手段が発達しているので、両国医療関係者間の交流例えばSARSの様な人類を脅かす分野の合作交流が可能である。

印象：笹川生であることを自覚し、仕事の面で立派な成果を上げる事。

制度の将来：継続して貰いたい。学会会議の機会も増やして頂きたい。

評価：①多くの研究者が国の派遣で日本に留学できたこと。②一千名を越える研究者が日本の専門家と交流したこと。中国研究者も指導責任者を中国に招き相互理解・中日友好を促進したこと。③多くの中国医学界のリーダーを育てたばかりでなく、中国の研究者もまた日本の技術の発展に貢献した事。

印象：①出国前の事前研修、日本語のみならず日本文化・生活習慣等を理解し、訪日後速やかに日本に適応出来るようにしてある。②本プロジェクトの運営は組織的でよい。例えば定期的な通信連絡により、留学生と指導責任者の連携を強化し、研究者に孤独感を与えない。

制度の将来：①継続して貰いたい。②特別研究者選考に当たっては、研究成果・研究の基礎と継続性を重視し、年齢へのこだわりや、コネを排除する。二度申請したが成功しなかった。選抜は公正・公平に実施されるべきだ。

医学交流の将来：①薬学方面の学术交流も強化して欲しい。今日まで薬学方面は余り重視されていない。②共同研究制度を設立し援助して欲しい。その際には申請制と評価制度を導入して頂きたい。③博士の養成に当たっては、研究費・生活費を合作すれば、広範囲でレベルの高い交流が行われる。中国の博士課程の学生が、対応する日本の専門分野の研究室で1年或いは1年半研究し、帰国後審査を受ける。こうすれば中国国内では深く研究できない内容が日本で行える。指導者は日本・中国の2名である。この方法は我が校では可能である。

印象：多くの中国医療人員を育成し、中国の医療水準を向上させた。中日友好と相互理解を促進した。

医学交流の将来：継続して貰いたい。更に広汎な医学交流を促進して頂きたい。

評価：両国の友誼、医学交流を促進させ、多くの人民に益した。

印象：本制度の実施者の職務への謹厳さときめ細かさ、中国人民への情誼。

制度の将来：本事業を継続し、不断に発展させて頂きたい。

医学交流の将来：経常的に広汎で時宜を得た交流を促進して頂きたい。

第5期

評価：中国医療の発展、中日友好、両国民の相互理解を促進させ、世界の医学の発展と人材養成に寄与した。

印象：きちんと運営されている。

制度の将来：①中日共同研究のための基金の設立。②特別研究者制度を拡大発展させ、多くの人員が学位を取得できるようにする。

評価：日本のハイレベルの専門家と先進医療・研究に触れることにより、多くの研究者の水準を向上させたばかりでなく、学習・仕事の面で更に努力を重ねたことは、研究者としての生涯に深い影響を与えた。

印象：①研究者の成長を考えた友好的で、きめ細かく、熱心な事業。②指導責任者の研修生への文化の違いを超越した暖かい配慮（研究・生活方面）。

制度の将来：継続して貰いたい。更に多くの中国の青年に、我々のような得難い経験をさせ、母国の医療に貢献したいという意志を持つ青年に影響を与え啓蒙して欲しい。

印象：①研究者の生活・学習に対するきめ細かい配慮。②指導責任者が親身になって指導してくれ、大変勉強になった。

制度の将来：帰国後数年以内に再訪日し知識を更新したり、指導責任者に感謝の挨拶をする機会を望んでいる。

医学交流の将来：①より多くの相互交流の機会を希望します。②日本の専門家が訪中して指導する事を希望します。

印象：①多くの者が制度の恩恵を受け、影響が広い。②同じ分野の専門家間の交流と連絡を強化したい。

制度の将来：様々な分野の学術会議、交流会議を組織し、同期生の連携を強化したい。その為の基金の設立を希望します。

医学交流の将来：医療関係者間に橋を架け、道を通し、連絡・連携の強化を希望します。

評価：20年前の本事業開始時と現在とでは、中国の医療状況や人員構成に大きな変化が見られるので、研究者の選抜や研修内容について大きな調整が必要です。

印象：協会職員の仕事ぶりや中日友好への貢献は尊敬に値する。

医学交流の将来：①この20年、中国医療の発展速度は極めて速い、人材養成のみでなく、日本の専門家の代表団が中国の大学病院で学術交流を行って欲しい。②帰国笹川生の多くは既に医療機関のリーダー格になっている。日中医学協会による共同研究への助成を希望します。

評価：研究者は日本で学問への厳しい姿勢、真実を重んじる科学的態度を学び、且つ成績を上げた。如何にして一科学者となるか、科学研究とは如何なるものか、留学から得た大きな糧である。

印象：①組織的にしっかり運営されている、②指導責任者の選抜や生活上の心配り。③特に訪日前の日本語研修がよい。

制度の将来：①研究者は出来る限り若い人、出来れば30歳以下を選抜したらよい。②養成計画はもっと具体的にすべき。特に研究テーマ。③日本語研修は続けるべきです。

医学交流の将来：①学術交流テーマは時代にあったものがよい。例えば今年のSARSはプロジェクトの中心に据えるべきであり、また時宜を得たホットなテーマ、例えばAIDS・肝炎の予防活動は重要である。時期・場所・テーマを絞り込んだ制度であってこそ効果と影響力を持つことが出来る。②今後の中日医学交流の過程における人材発掘・人材養成のポイントは重責を担える人間性である。そうしてこそ所属機関に重視され重用される。③交流プロジェクトをなるべく地方の研究施設や医学教育機関に移行させる。これらの機関は交流の成果をより重視するので効果的である。

評価：本事業は中日両国間の学術交流と相互理解を促進し、中国の医療関係者に深く学習する機会を提供し、中国が必要とする高度な専門家を育成した。

印象：日中医学協会と笹川記念保健協力財団の真面目で効率的な仕事。

制度の将来：継続して頂きたい。研究者の招請人数や予算規模を縮小し、帰国笹川生が日本の学会に参加する費用に回して欲しい。

印象：この15年間に中国のために多くのリーダーを養成した。彼等は中国医学界に大きな貢献をしている。

制度の将来：更に研究者間の連携と学術交流を強化して頂きたい。

印象：息の長いプロジェクトでかくも多くの人材を養成したことに驚嘆する。

制度の将来：第二次計画終了後には、20年間の貴重な経験を総括し、中日友好の歴史としてまとめてほしい。

医学交流の将来：帰国後省レベル以上の表彰を受けた者、出版物の主任編集・副編集をした者をリストアップし、彼等の経験交流会を組織するか、日本へ派遣して学術交流を行うなどして、適切に評価・奨励する。

評価：意義深く非常に有益、時代に合致した制度。

印象：①一つの国（日本）と民族をあらゆる角度から理解し観察できた（しかも長期間、日常生活の中で身をもって体験できた）。

制度の将来：中国の発展と開放政策の進捗に伴い、両国の医療機関が共同研究や情報交換を進展させ、医療情報の利用を活発にするため、笹川医学奨学金制度がその橋渡しとなること。

医学交流の将来：両国の医科大学や病院が常に連絡し合う事。日本の専門家はもっと中国で講義を行うべき。絶えず交流する事により相互理解と双方の進歩が保証される。日本の医学界はこの方面で米国に遅れている。米国は学術交流を通して医療機器や薬品の販促を行い、また、中国の医師を医学の最前線に導いている。日本が中国医学界との交流を更に強化し、アジアの医学の向上に共に貢献することを願う。

評価：中日文化交流史に永久に刻まれるべき事業である。

印象：日中医学協会の人々は毎年来日する多くの中国留学生の事前語学研修、来日準備、日本での学習・生活面、帰国後の連携に心血を注いでくれた。日本財団と日中医学協会各位に心から感謝する。

印象：素晴らしい事業。日本滞在中は愉快的な時間を過ごすことが出来た。日中医学協会の暖かい心遣いに感謝します。

制度の将来：笹川生との連携を常に行って欲しい。

医学交流の将来：より多くの交流の筋道をつけて頂きたい。

印象：運営が行き届いている。

制度の将来：笹川生の代表が研修地を再訪し、指導者を表敬する機会を作って頂きたい。

医学交流の将来：効果的な交流事業を数多く展開して欲しい。

評価：世界医学交流史上に類を見ない唯一のプロジェクトを創設した。

印象：運営が素晴らしく、完璧に近い。

評価：中日医学交流の促進。先進技術と理念の学習。

印象：運営が完璧。

制度の将来：①臨床分野の研修の強化。②中日共同研究事業の展開。

医学交流の将来：中日両国の疾病は共通点もあり、また、違う部分もある。それぞれの国内の関連する研究を計画的にきちんと合理的に行う共同研究を展開したい。

評価：実験のチャンスの少ない中国の医師たちにとって、とても良い勉強の機会を与えてくれました。

印象：この奨学金により、東京で開かれた学会で初めて研究発表をしたことです。

制度の将来：出来れば継続して貰いたいです。

医学交流の将来：中国側も類似の奨学金制度を設立し、日本人の中国での研修を支援し、中医学研究や中医学に対する理解を深める事が出来ればと思います。単なる西洋医学だけでは治療できない疾病がたくさんあります。中医学の知識を身につければ臨床治療に更なる効果が期待できます。一方中国の医師も、もっと西洋医学（基礎・臨床）のレベルを高め、共に人類に貢献できればと思います。

評価：①中日両国人民の友好と相互理解を促進した。②研究者の医療・研究レベルの向上に益した。

印象：私の指導教授の学問に対する厳しさ、素早い思考、突出した才能が強く印象に残っている。

制度の将来：①機会があれば再び日本へ行き、指導責任者や教室の人達に会いたい。②日本の教室員や指導責任者を中国に招き、当該研究者の所属機関や同じ分野の機関と学術交流を行う。相互訪問を行う事により交流を強化する。

医学交流の将来：①帰国笹川生の一部を選抜し日本と学術交流を行う。②日本の研究生や指導責任者を中国に招き学術交流や参観を行う。③難病について不明のことが有れば、指導責任者または専門家とネットワークを通じて検討することが出来るシステムを構築して欲しい。

第6期

評価：経済のグローバル化は必然的に科学技術のグローバル化を招く、この種の学術援助事業は、中国の医学人材を養成するのみならず、中日両国の協力関係を助け、短所を補い、長所をお互いに伸ばす事に益する。

印象：運営がきめ細かく、きちんとしていて、友好の空気が溢れている。

制度の将来：①貴重で限られた滞在期間を最大限に利用するため、来日前の準備を更に充実させたい。例えば語学研修の強化、自分に合った研修内容や研究先の選択、研究者と研究先との事前交流の機会提供等。②1～2年に1回、帰国笹川生が訪日して学術交流を行う機会を提供して欲しい。

医学交流の将来：基礎研究領域の学術交流を強化したい。アジア人の共通性を基に、中日間で癌を含む重大疾病の病因学研究室、予防医学関係研究室が協力し、テーマを決める際には双方の特性を利用し優れた部分を共有する。

評価：中日医学交流を強化し、中日友好の促進発展に歴史的貢献をした。

印象：日中医学協会職員の研究に対する暖かい思いやりと責任感は深く印象に残った。

制度の将来：本事業を継続して頂きたい。

医学交流の将来：今後は中医学方面の交流を強化したい。特に現代病、例えば癌・心血管疾患・花粉症・アトピー性皮膚炎等の過敏性疾患、不妊症等の領域の中医合作交流を行う事は、中日医療水準の向上と新しい医学領域の開拓に極めて意義がある。

印象：本プロジェクトはよく管理されている。

制度の将来：本事業を継続し、更に多くの成果を上げて欲しい。

評価：二千人に近い中国の医師が日本留学したことは、先進技術や理念を学習したことのみならず、両国民間交流と友好の礎となった。

印象：箱根セミナーで富士山に行ったこと。

印象：帰国笹川生の組織化及び関連活動及び「笹川生通訊」の発行などは他の制度には見られない。指導責任者は研究者の生活にも充分気を配り、良好な環境を与えてくれた。

制度の将来：①指導者と帰国笹川生の短期交流の実現、5年或いはもう少し期間をおいて、2週間程度の学術交流を実施する。研究も深まり新しい分野が拓ける。②特別研究者制度は3か月から半年に短縮する。

医学交流の将来：今後とも多種多様な数多くの交流を持ち、両国医学を共に進歩させたい。

評価：中日友好と中国医療衛生事業の発展に不滅の貢献をした。

印象：奨学生に対する責任感。

制度の将来：中日友好と両国医療衛生事業交流に引き続き貢献して欲しい。

印象：組織運営が素晴らしい。

評価：中国医療各領域の人員に海外で学ぶ機会を与え、彼等はそれを切っ掛けに、帰国後急成長し各々の領域で指導者となった。

印象：私の知る限り、笹川医学奨学金制度は他の奨学金と比べ、最もよいプロジェクト。出国前の語学研修や日中医学協会の研究者への配慮など。

制度の将来：今後帰国笹川生の短期的な学术交流、国際学会会議への参加などに対して援助して頂きたい。

医学交流の将来：中日医学交流のたゆまぬ発展を希望します。

評価：多くの中国医療関係者に、現代的医療の理論と技術に接する機会を与え、レベルを向上させ、人民の健康水準の向上に寄与した。

印象：広い範囲から奨学生を選抜していること。

制度の将来：生命科学分野における広汎な中日交流を進めたい。

医学交流の将来：①分野別に資金援助を行う。臨床は短期研修、或いは技術研修（肝移植等）。ポスドクへの助成等々。②日本の教授が訪中して指導する事業への助成。③共同研究への助成

評価：中日両国人民の友好交流を促進した。医学方面の相互協力（長所を取り入れ、短所を補う）に貢献した。

印象：生活・環境面が予め整備されているため、研究に専念できた。

制度の将来：厳正に研修生を選抜し、人数を少なくし、長期プロジェクトにする。100人ずつ10年から50人ずつ20年とする。派遣研修生の地域分布を考慮する。

医学交流の将来：臨床分野の中日共同研究、Ⅱ・Ⅲ期新薬の試用・放射線治療の新技術等。中国側は症例が多く、日本側は資金と技術力がある。双方が協力して医学の発展に貢献したい。

印象：組織と手配がきめ細かい。

医学交流の将来：①専門別の共同研究を行う。十分に両国の長所を生かし、日中医学協会が機関や人員を募集し、全体を統括すればプロジェクトはスムーズに進み早期に成果を出せる。②帰国笹川生を分野別に集め、指導責任者も招いて研究の進捗状況や成果を報告するのは効果的である。

評価：笹川医学奨学金制度は中国医学界の発展のためハイレベルの専門家の養成に貢献した、誠に時宜を得たプロジェクトであった。

印象：誠実で行き届いた配慮。目的が明確で多くの成果を上げた。

制度の将来：事業を継続し、成果を高め、影響を広める。もし一段落させるのなら、同学会基金の設立、帰国笹川生の短期訪日（3か月以上）研修や同学会病院の設立など。

医学交流の将来：笹川医学奨学金制度の継続または類似のプロジェクトの設立により更に中日医学交流を発展させ、中国医療人員のレベル向上を進める。研究成果の交流会、両国医学者の相互訪問などを数多く実施し友好を深める。

第7期

評価：私は笹川研究者として在日期间中、日本の医療制度、病院や研究所の運営を知り、また日本の医療関係者とのパイプも出来た。この事は、私個人のみならず中国の医療発展にとっても大きな影響を与えたいと思う。

印象：選抜が公平正大であること。来日後の研修・配慮が行き届いている事。

印象：①運営が緻密で行き届いている。職員が事業に真剣に取り組んでいる。②研究により大いに収穫があった。

制度の将来：本事業を継続して貰いたい。

医学交流の将来：多種多様な交流を実施して欲しい。

印象：事業の運営がしっかりしている。

制度の将来：基礎・臨床医学以外に公衆衛生分野の研修・交流にも力を入れて欲しい。

医学交流の将来：交流のルートを広げ、国内の対象を衛生部に限定しない。公衆衛生、病院衛生管理へと交流を拡大する。

評価：友好の促進。日本の医師の仕事に対する勤勉さ、不断の努力、奉仕の精神、専門分野への貢献を学んだ。特に多くの知識、科学

的思考方を学んだ事。日本で心臓内科分野でN C V Cにより 7,000 例を測定、医師の指導も行った。

印象：帰国後10年経っても当時を思い起こす。特に非常に友好的な医師・看護師、私に米や菓子をくれた隣人（農民）。

制度の将来：多くの研究生は帰国後所属が変わっている。私は心内科から救急科主任となった。1か月程度日本の救急事業を見たいと思う。日中医学協会が宿舎を手配してくれれば旅費・滞在費は自己負担する。帰国後12年、当時の指導責任者に心から会いたいと思う。旅行社経由では個別行動は不可、お世話いただければうれしい。

医学交流の将来：中国経済の発展につれ人民の生活も向上した。中日医学交流も多方面で拡大すべきである。12年前は多くの面で中国との差を感じた。今は共通の課題も多くなった。交流の拡大はアジアと世界の幸福をもたらすだろう。

印象：制度の先見性、科学的な管理、事務職員の敬業精神。

制度の将来：系統的に病院管理学を学ぶ機会が欲しい。短期養成班として日本の大型病院の管理を学習できれば、日中病院間交流を促進させるであろう。

医学交流の将来：笹川医学奨学金制度の設立と実施は、中日医学交流の貴重なモデルである。他の交流の道筋に、成功例として経験を供与することが出来る。

評価：中国の改革開放の初期、知識があり志のある科学者は外国の先進的科学技術・知識を渴望していたが実現は困難であった。笹川医学奨学金制度の設立により、多くの医学関係者の願望は実現した。私自身もこの制度により、思いもよらなかった大量の知識を学んで国内では取得が困難（法医病理では博士課程指導者が大変少ない）であった学位を得る事が出来た。

印象：現在、国外留学の道は幾つか有る。しかし笹川医学奨学金制度は若い世代を対象とし、公正で厳しい選抜制度・試験を経て才能のある青年が訪日し学習できる。私の見る限り、笹川研究生の能力・外国語水準は、文部省留学生も含む他の留学生より遥かに高い。

制度の将来：中日友好の架け橋として多くの知識の高い青年が先進的科学技術に触れる事の出来る笹川医学奨学金制度は長く続けて欲しい。受益者として以下の事を提案する。①研究・学習に集中させるため生活費を月額20万円とする。日本経済は不景気のため、受入数を半減させてもいいのでは。②能力と需要があって日本に留まり仕事を継続したり、就職する場合は激励する。③日中医学協会が何か活動する場合は、私のように日本で仕事をする者がいる事を忘れて欲しい。④1年の研究期間は少ない。特別研究者制度を受けられる人は少ない。直接博士課程に進める者が有ればこれを支持する。

医学交流の将来：中国の改革開放が進んだとは言え、能力のある人材が出国学習の機会が得られるとは限らない。私は中国の学者が来日の際、しばしば交流するが、中には知識も貧しく専門を理解できない「教授」がおり、こういう人が多いと将来の交流の推進に影響を与える。「教授」や「博士課程指導者」でなくても、まじめな医師、医学教育の最前線の青年は学習すべきである。笹川医学奨学金制度のようなプログラムは多いほど良く、他の制度に比べて公正である。未永く継続して欲しい。他に日本の学者が中国の学会に多く参加できるよう支援して欲しい。

印象：留学の機会に恵まれない、多くの若い中国の医師に、質の高い留学のチャンスを与え、しかも、細かい心配りをしてくれたこと。

制度の将来：出来ることなら本事業を継続し、中国の若い医師に留学の機会を与え、中日の若い医師たちの交流を促進して欲しい。

医学交流の将来：中国も日本の若い医師の研修を受け入れて、相互学習をしたい。我が耳鼻咽喉科も日本の研究者を受け入れたい。

印象：①日中医学協会の仕事ぶり。②日本で学んだことが、帰国後大いに役立ったこと。

制度の将来：継続して貰いたい。日本の指導責任者・教室員と長く時を隔たった状況だからこそ、交流を継続したい。

評価：①中国医学の発展。②両国の民間交流。

印象：日中医学協会職員の真剣できめ細かい仕事ぶり。

制度の将来：更に高いレベルの交流、シンポジウム開催への助成など。

医学交流の将来：ハイレベルの専門交流例えば、アジア人種の睡眠時呼吸障害の発病率、予後及び発病機序の研究。

評価：多くの医学関係者が日本へ留学する事により、視野を拓き、自己の不足を知る事が出来た。どのように努力すれば、やるべき事業を発展させる事が出来るかを知る事ができた。

印象：私の指導責任者は東京まで出迎えてくださり、非常に人柄が良く尊敬できる方で深く印象に残っている。しかし、教授と私の中国における専門とは大きくかけ離れていた。始めの頃は日本の国情、人に対する配慮などについては理解できず、専門分野で色々な問題を提起し、先生に迷惑をかけた。この事をずっと申し訳なく思っている。先生がこの事を忘れて下さるよう、また、先生のご健康を祈っている。

制度の将来：①医学の人材養成はいろいろなレベルで行う。初心者は1年の研修、中級・高級研究者は専門領域の具体的内容・研究テーマ等目的性を強化する。②日本語の上手な帰国研修生に日本語の書籍・資料を提供する。

医学交流の将来：①日本の優れた専門家、私たちの指導者だった方を日中医学協会を通じて中国へ招請し講義してもらえば多くの人々に影響を与えるだろう。②同学会は毎年貧困地区の巡回医療を行い高い評価を受けている。しかし、実質的・長期的問題解決にはならない。これらの費用を診療所や開発の遅れた地区の医師の短期研修に当てれば成果が上がる。

制度の将来：継続して貰いたい。

医学交流の将来：中日医学交流の強化促進。

評価：笹川医学奨学金制度は中日医学関係者の交流と中国の医師・研究者・医療機関の水準向上に大きな貢献を果たした。

印象：組織・運営が緻密で研修生の研究・生活面に良好な環境を提供した。

制度の将来：継続して貰いたい。帰国笹川生に再来日の機会を与えて頂きたい。

医学交流の将来：中日医学交流を更に強化したい。特に医学教育分野など。

印象：多くの研修生が1年間の研究を通して、新知識と技術を学んだことは、中国医学の発展に大きな貢献をし、中日医学交流と中日友好を促進した。

制度の将来：研究者の選抜は、後進地区（省）に重きを置くべきである。

印象：①ちゃんと帰国する者が多い。②全国規模であること。③地区分布の偏り（地区による外国語能力に差がある）。④帰国後活発に活動している。

制度の将来：①人数の多くを辺境・貧困地区に当てる事。これらの地域こそ医療水準の向上が必要である。②帰国後、日本の学術交流会に参加できるよう支援されたい。

第8期

評価：①中日友好関係に発展の機会を与えた。②中国の医療水準の向上に貢献した。③中国医師のレベルアップの速度を速めた。

印象：運営が理にかなっていて、按配がきめ細かい。研究者が温かな気持ちになれる。

制度の将来：帰国笹川生への研究援助を。

医学交流の将来：定期的な学術交流を実施したい。

印象：目的が明確で、きちんと運営されていること。

制度の将来：帰国後5～10年経った研究者の、元の研修地への再訪（2～3週間）。

医学交流の将来：このような制度を継続してもらいたい。

評価：①歴史に記されるべき事業。②日中学術交流の促進。③中日民間交流の促進。

印象：①本事業は広く長く中日医学交流を促進した。②日中医学協会の業務がきちんとしていて、プロジェクトの順調な運営を保証している。

制度の将来：①第二次事業終了後、引き続き第三次10年計画を実施して欲しい。②帰国笹川生には継続的に日中医学協会の資料を提供して欲しい。

医学交流の将来：①両国の希望に合致した学術交流会議を数多く開催する。②日本の専門家が訪中して講義する。

印象：按配が行き届いている。

印象：良き学習の機会であり、日本の関係者との交流の機会でもある。

医学交流の将来：中日両国の友好は前途ある事業。友好往来を通じて合作の機会を増やす。その影響を徐々に拡大し、両国の先入観や敵意を捨て、双方の良いところを学び共に発展する。中日医学交流は多方面で行われ成果を上げている。事業の継続を希望する

評価：中国医学人材の養成、中日両国人民の相互理解と協力、中国における現代化とグローバル化の促進に貢献した。

印象：無私の援助事業。日本側の責任感。

制度の将来：継続し、更なる発展を。

医学交流の将来：このまま展開すればよい。

印象：日中医学協会が終始お世話をしてくれ、私が困難にぶつかった時も、助けてくれた。また、帰国後も何かと配慮してくれる。

制度の将来：継続して頂きたい。

医学交流の将来：中日医学交流を更に進めて欲しい。中国から留学するばかりでなく、日本の医師が訪中し先進医学を伝えて欲しい。

また、中国の伝統医学を学び、共同して重大疾病・感染症の研究も行って欲しい。

評価：①民間交流と友好往来の促進。②研究者の知識と才能を伸ばした事。

印象：日本は風光明媚で人心も穏やかで礼儀正しい。日中医学協会の按配が行き届いている。

制度の将来：①継続して貰いたい。②研究者の選抜方法は改善の余地有り、a、もう少し柔軟に！b、多くの方法がある。

医学交流の将来：多くの帰国笹川生は機関の指導者や教授になっている、日本と再び交流・合作を行うための援助をお願いしたい。

印象：長期で大規模な事業。

制度の将来：継続し、交流を更に深めて欲しい。

印象：笹川陽平先生はじめ皆様が中国医学・看護事業に暖かな愛を注いで下さった事に感動する。日中医学協会の皆様の支援は終生忘れない。

制度の将来：制度の継続を希望する。多くの看護従事者に進歩の機会を提供して頂きたい。

医学交流の将来：看護従事者の研修先を選択する場合、看護大学の教室が望ましい。臨床から離れているとは言え、研究生の看護理論と科研能力は向上する。必要に応じて臨床に転じる事が出来るし、研修生にとって得るものは大きい。

評価：この制度は中国の医薬学研究、中日間の文化交流に深く歴史的意味をもたらした。

印象：システムがきちんとしていて、研究者へのきめ細かい配慮がある。

制度の将来：帰国笹川生が国内外科学と産業発展を担う事を希望する。そうすれば更に影響力を増すだろう。

医学交流の将来：今後の中日医学交流は重要項目に的を絞った協力を行う。研究・開発・産業など。

評価：仕事と語学力のレベルアップは勿論日本人民に対する理解も深まった。

印象：日本の大学での研究、箱根セミナー、長春での日本語研修。

制度の将来：帰国笹川生への経常的な情報提供と、研修生と指導責任者・教室員との定期交流を希望する。

印象：事業が長期に亘り、多くの人が恩恵を受けた。

制度の将来：①校長・衛生庁長・病院長等から選抜した笹川生の1～2か月の短期交流。②医薬業の高級管理者の笹川生を対象とした日本の医薬企業との共同研究。

印象：視野が大きく広がった。

制度の将来：病院管理の人材育成プロジェクトは如何。

印象：両国専門家の交流を通して相互理解が広がり、中国の人材養成事業及び日本側の仕事も進んだ。

制度の将来：更に多くの人が日本で研修できるように。

医学交流の将来：今後共よりよい事業をたくさん実施して欲しい。

評価：①社会的意義；中国医学の発展を促し、衛生分野及び広汎な人民に対する医療の質を高めた。②政治的意義；中日友好を促進、アジアと世界の平和にも貢献大。③中国の研修生も日本の先進的科学技术の発展を担った。

印象：笹川良一先生、笹川陽平先生、森岡先生等日本側の方々のこの制度に対する重視が、本制度の大きな成功をもたらした。

制度の将来：長期・短期交流の結合。例えば指導責任者が来華し帰国後の研修生の仕事を視察する。厳選した帰国笹川生の日本での学会参加。特別研究者の期間は3～6か月とする等。

第9期

評価：単なる医学交流ではなく、共に未来に向けた民間交流こそ重要。

印象：緻密な計画と、適切な按配。

制度の将来：帰国笹川生との連携を強化する。時間が経つと忘れてしまうから。

医学交流の将来：①官・民による多彩な交流。②単に中国が日本に学ぶのではなく、日本も中国に学ぶ態度が必要、例えば中医薬等。

評価：資金提供者の「命を尊び人類の健康に対する心遣い」と戦略的眼力。

制度の将来：今後10年から20年は本事業を続けて頂きたい。

医学交流の将来：日中医学協会は中日両国が関心を持ち、共通する分野で病院を建て、長期に協力できる友好関係を築いて欲しい。

評価：本事業は中国医療の為に大量の優秀な人材を育成し、その90%以上が定められた期限に帰国し、医療・教育の第一線で活躍し、教育及び科学研究の責務を担っている。また、日本の指導責任者と積極的に交流を行い、日中友好の強化に非常に重要な効果をもたらしている。

印象：中日双方の協力による、厳格な選抜方法、出国前の厳しい外国語研修、日本での生活・研究条件の素晴らしさ。研究者は研修に全力を投入できる。

制度の将来：継続を希望します。同時に、きちんと選抜した上で、特定の分野と人材に特別の支援を頂きたい。例えば短期共同研究への援助。また、同学会への支持と指導を強化し、広範な笹川生を団結させ、中日医学交流に積極的な貢献が出来るようにして欲しい。

医学交流の将来：中国は現代医学以外に中国の伝統民族医学—中医学も十分に重視している。21世紀、予防医学は益々重視されるようになるだろう。中医学理論の立場では人間を全体として捉えることを重視し、それが今後医学に於いて重要な視点となる。また、中薬の副作用が少ない点を医師と患者が認識し、中日医学交流を通して中国伝統医学の理念を日本に広め、同時に日本の発達した現代医学の知識を長所にして、相互に補い合い、人類の健康に貢献する。

評価：留学生と指導責任者との師弟関係、留学生と中国派遣機関との関係を通して、研修生が日中間の人の往来の架け橋となれば、多くの中国の大学・研究機関が日本の大学や研究機関を理解出来るばかりでなく、笹川医学奨学金制度をも理解できる。

印象：①本奨学金のレベルは高く、中国国内で一流の外国語レベルの者がやっと合格することが出来る。②本奨学金は留学前と留学後の配慮が他の奨学金より良い。例えば特別研究者制度や同学会等。

制度の将来：①沿海地区の発達した都市や著名大学から派遣された研修生は、学術リーダーとして育成し、医療・科研能力の育成以外に、学会に参加したり、学会を組織する機会を与える。②東北・西北部等、内陸からの研修生には基礎的な臨床を主とし、診断と治療能力の向上を図る。③同学会を強化する。

医学交流の将来：①今後の医学交流は双方が補い合う形にすべきである。例えば日本は研究と診断技術に優れており、中国は生活習慣病・難治疾患に対する中医学による予防・治療に優れている。②中日両国共に関心のある分野において、共同研究や臨床見学などを行う。また、両国の同じレベルの大学・病院が共同研究を行いその成果を共同利用し、治療方法や新薬の開発に役立てる。③今後は政府間・団体間の交流から、教室間の交流に移って行くだろう。将来統一試験を行うことがあれば、中国の教授、特に笹川生の経験のある教授は自分の弟子を優先的に推薦できる様にする。交流のある教室での研修であれば、現在の研修生の煩雑な手続きや困難を無くすことが出来る。

評価：笹川良一先生の広い心と資金的援助により、中国の医療人員が日本で研修出来たことは、我が国医療への一大貢献であり深く感謝する。多くの帰国留学生が中国の医療衛生事業に傑出した貢献をしている。

印象：多くの研修生が日本留学により、医療技術レベルをおおいに向上させ、併せて、日本への理解も深めた。

制度の将来：継続して欲しい。①単なる研修でなく、研究課題をはっきりさせて訪日させる事。②日本語能力が高い者を派遣しなければならぬ、そうでなければ日本で苦しむことになる。③日本の法律や制度・習慣を事前に理解させる。何が良くて、何がダメかはっきりさせる。例えばアルバイトが違法か合法か本人にきちんと教える。

評価：①中国医学と中国医師の専門レベルの向上に有意義であると同時に、研究者が中国の医学動向を日本にもたらすことにより、両国の医学交流を推進した。②留学生は専門研究と共に、日本文化を学び、日本の友人もでき中日友好促進に意義があった。

印象：91年9月30日、雨の成田空港に降り立った時、日中医学協会の職員が雨に濡れながら、私達一人一人に傘を開いて渡してくれた事を感動をもって想い出す。これが日本人に対する私の第一印象で、生涯忘れがたい思い出。

制度の将来：一時代を画すほどの事業が、2008年で終了するのは誠に遺憾である。日本に来る留学生の中で笹川生は優秀であり、これは笹川財団の偉大な功績である。例え人数を縮小してでも継続して貰いたい。

医学交流の将来：21世紀、医学は日進月歩である。新薬も絶えず開発されているが、人々は副作用を恐れる。中医薬・中西医結合は世界の趨勢だが日本では患者に喜ばれてもなかなか普及しない。日中医学交流に際しては中医・中薬・中西医結合の情報を紹介して欲しい。私は非力だがボランティアでも協力したいと願っている。

評価：中日医学交流と中日友好を促進した意義深い事業である。

印象：日中医学協会職員の仕事への情熱。

制度の将来：継続し、新たな領域にも拡げてゆく。

印象：非常によく整備されたプロジェクト。出国前研修、出国、日本到着、日本での研究と生活及びセミナー、出国等全般に亘って日中医学協会の仕事ぶりが印象的である。

制度の将来：継続して貰いたい。

医学交流の将来：合作と連携を強化して頂きたい。

印象：日本の先進的科学技术への理解と、日本の専門家の勤勉さと仕事への厳しい姿勢。

制度の将来：特別研究者の比率を増やして欲しい。研究生の知識を深め、能力を高めるために。

医学交流の将来：中日医学交流の範囲を更に広げ、予防医学、薬学分野も強化したい。人類の健康に重大な危害を与える問題について、日中双方の医学者が世界の医学者と力を合わせ原因の究明に当たろう。

評価：制度の意義は深い、中国に先進技術と研究人材をもたらした。両国間の医学交流を進展させ、アジアと世界平和に貢献した。

印象：特別研究者制度、再来日して研究、交流を深めるといふ、意義深い事業だと思う。

制度の将来：継続して貰いたい。

評価：私は瀋陽生まれで、日本人はちょっと怖いというイメージがあった。来日により多くの日本人の友達の好意を受け、日本人が好きになった。大多数の日本人は善良で友好的だ。

印象：指導責任者が最も印象深い、彼の厳しい科学的姿勢、たゆまぬ研究精神、学生に向けられる和やかな微笑みは忘れがたい。

制度の将来：中国は今なお発展途上の国であり、医療もまた更なる発展が必要である。本事業の継続を心から希望します。

医学交流の将来：私のように長年日本で研究を続けている笹川生はかなり多い、皆それぞれ違った場所で、違った研究をしている。我々が「帰国報告団」を組織して、中国国内の医療関係者に日本で学んだことを広めたら、有意義だと思う。私は先ずボランティア活動を希望する。

評価：①よく組織されて運営が良い、選抜から日本語研修、出国から空港での出迎え、研修地への送迎等何れも忘れがたい。他の外国へ行ってみると、笹川財団の素晴らしさが改めて感じられる。②帰国笹川生のネットワークで仕事上の助け合いが出来ること。

制度の将来：初めて外国へ行く人員への、当該国理解の為の教育が不十分である。特に研修先を選ぶ時の情報が少ない。笹川生に多くの情報を与え、ハイレベルの研究室を選べる様にしたい。

医学交流の将来：本事業を継続して頂きたい。時間の蓄積と共に多くの笹川生が中日医学交流に貢献できるようになると思う。

評価：本事業は多くの中国の医学人材を養成したばかりでなく、両国の医学研究を促進し、両国人民の相互理解を押し進め、中日両国の今後の友好関係に大きな意義を持つものとなる。

印象：大規模（大人数）で長期的な事業。日中医学協会の研修生への配慮が行き届いている。

制度の将来：学術交流会を定期開催し、帰国笹川生に研究成果の発表の機会を与え、本事業の成果を確かめたい。

印象：中日双方がよく組織されている。

制度の将来：①本事業を継続して貰いたい。②日本の専門家が中国で研究活動をするのを助成して欲しい。

医学交流の将来：①中日医学交流を益々盛んにし、相互の人的交流を行いたい。②本事業を継続して頂きたい。

評価：多くの中国医学人材を養成し、彼等の能力を更に発揮させたことは、中日友好の歴史に記載されるだろう。

制度の将来：本事業を継続し、中日医学交流を強化したい。

医学交流の将来：何度か日本に勉強に行き、日本人が益々中医学や針灸に目を向けて来ていることを感じた。日本と中国中医学界との交流、例えば日本の東洋医学関係の学会や中国の中医学術学会の情報を多く提供し、また、中医の研修生の数を増やす事を希望したい。

制度の将来：短期でもよいから、再来日して元の研修地で勉強したい。特別研究者制度は人数が少ないので、帰国笹川生全員に機会を与えて欲しい。

評価：①私の仕事に大きな助けとなり、生涯に亘る決定的な影響を与えた。②善良で勤勉な日本人を忘れがたい。

印象：笹川良一先生と彼の偉大な心意気。

制度の将来：①継続して貰いたい。②中日人民の友好の為に一所懸命に仕事をしたい。

医学交流の将来：①私は既に医療の現場を離れ、人口と計画出産の行政職の仕事をしています。交流を人口と計画出産方面に広げることが出来ますでしょうか、この分野はいまでも厚生労働省の管轄ですね。

第10期

印象：日本側職員の真面目な仕事ぶり。

制度の将来：長期に亘って継続して貰いたい。本事業は両国民間交流の架け橋です。

医学交流の将来：臨床医学分野の交流を強化して頂きたい。

評価：中国の医学、特に現代医学の発展は不十分であり日本に学ばねばならない。中国の伝統医学は世界的にまだ受け入れられていない。大切な事は、中国の伝統医学を広める事、広範な人がその恩恵を受けられるようにする事。中医学の問題としては、現代的方法で現代化と科学化を進める事が必要である。

制度の将来：①制度の発展。②制度を更に充実させる。特別研究者はまじめに成果を上げた人を派遣する。同時に範囲を拡大し、多くの笹川生に知らしめる事。「笹川生通説」で知った時は既に間に合わない、「笹川生通説」は不備があり、読むべき事はなく、間違っても訂正されない。

医学交流の将来：日中医学術交流は両国医学発展の大事である。本制度による人材養成の基礎の上に、層の厚い学術交流と学者の派

遣に力を入れれば両国医学は共に発展する。伝統医学の研究交流にも力を入れる。笹川医学奨学金制度は従来の基礎の上に新たな方向を目指し、人の選考に当たっては客観性・公開性を重んじ、まじめに初志を貫くべきである。本制度は一部分の人間のものではない。

評価：研修生は後顧の憂い無く学習に専念できる。

印象：分野を決めて的を絞る事。学問的水準もあり重要なテーマを持って訪日するので有れば支持する。

評価：笹川生の質は良く、また、日中医学協会の面倒見の良さは、全ての研修・研究制度の中で一番評価されている。

印象：規模と影響力が大きい。日中医学協会の面倒見がよい。研究者は帰国後も頑張っている。

制度の将来：続けてほしいと思います。本事業は中日医学交流は勿論、中日関係において、絶大な影響を持っています。もっとアピールした方がいいと思います。今まで欧米帰りの留学生はよく活動していますが。笹川研究生の帰国後の活動も、大きく宣伝して欲しい(同学会は物足りない、例えば研究成果のアピールは効果がある)。

医学交流の将来：①医学だけではなくて、医者としてのモラルをもちょうと教えてほしい。研修生は、日本の医師の傲慢な態度も学んでしまう傾向があるように思います。②もっとたくさん研修生を育ててほしい。それによって日本の影響力はもっと大きくなるはず。③語学の勉強で大分時間を費やしてしまう事もあり、その間に欧米からの研修話が来たらそっちに行ってしまうこともある。もっと良い方法はないかと思います。④衛生部の他に、教育部・科技部等と一緒に協力した方がいいのではないかと思います。中国の上層部にパイプをつくった方がいいのではないかと思います。

評価：中国の医療衛生事業の発展に大きな助けとなり、両国医学交流に非常に有益である。

印象：日本文化を知った事以外に、笹川陽平理事長の講演が印象に残った。

制度の将来：日中医学協会を通して、特別研究者の短期再来日制度を設立し、更に交流を深めることは出来ないでしょうか。

医学交流の将来：①専門別学術交流を強化したい。例えば北京で両国の相当する専門学会が学術会議を開き、日本の指導責任者を北京に招き特別講演や教育活動を行う事など。②文化交流も強化したい、北京である分野の文化交流会を開き、帰国笹川生を招くのは如何でしょうか。③日本の新動向(各層各方面)の技術応用・国民心理・経済等について日本の専門家が北京で専門報告会を開く事などは如何でしょうか。

評価：①後顧の憂い無く実験研究ができ、生活も保証されている。②日本人の友情が身にしみた。

医学交流の将来：両国の若い医師の交流を深めて、日本の若い医師に中国の現状を理解してもらい中日両国の友好関係を長期に継続させたい。

評価：①日本の新しい先進的知識を習得した。②日本と日本の医療事情を理解した。③中国の優秀な医療従事者養成に貢献した。

制度の将来：①一定の比率で特別研究者を選考する。②試験に合格した者全てに日本への学習の機会を与える。

印象：行き届いた手配、厳密な計画。

制度の将来：留学生にもっと多くを学習させれば、若い世代は広く知識を取得し、中日間交流も拡大するだろう。

医学交流の将来：アメリカとヨーロッパの企業(GE/シーメンス等)は常に学術交流を行い、私も参加した事がある。しかし日本の企業・団体がこの種の活動を組織する事は珍しい、日本の企業は学術と産業を同時には考えず、全体としては日中医学交流は限定的なものだ。

評価：①中日友好に有益。②中国青年医師のレベルアップに有益。③医学交流に益する。

印象：きちんとした運営①厳格な選抜制度。②出国前の語学研修。③日本滞在中の研究者への配慮と指導責任者の指導。④帰国後のフォロー

医学交流の将来：①研究成果の相互交流。②薬物の新開発。③定期的な相互訪問と交換留学生制度。④医療情報ネットワークを設立し、症例の交換、指導を行う。

印象：①毎年100名でしかも医療衛生各専門分野に亘っている事。②事業期間が長く、1年の研修事業を20年も続ける誠に偉大な事業。③レベルが高い事業；研修場所が日本の最も有名な大学・病院及びその専門家や教授で研究者は世界の一流の専門家に接触し、最新の治療研究方法や技術を学べる。

制度の将来：①帰国笹川生や特別研究者に研究助成をして頂きたい。②再来日して研究を深めたい。

評価：笹川医学奨学金制度は中国の医療衛生事業のために既に1500名の優秀な人材を育てた。彼等は帰国後我が国人民の医療水準の向上に巨大な貢献をしている。

印象：日本財団は多くの中国医学者に研修の機会を与えた。これは日本財団の国際精神を体現したものだ。

印象：中国の医学科学のレベルアップに大きな力となった。

制度の将来：連携を維持し、不断に交流を実施する。

医学交流の将来：医学心理学、臨床心理学、心理衛生分野の交流を強化する。ある部分の資金を増やす。私も再度日本を訪問したい。

印象：日中医学協会職員の見聞した仕事ぶりは深く心に残った。来日して研究地へ行く時、新幹線のホームまで送ってくれて、いろいろ親切に説明してくれたことを想い出す。

制度の将来：中国の科学技術は大きく進歩し、日本との差は縮まった。多くの中国青年のアメリカへの思いは更に強くなっている。この問題はしっかり考えねばならないと思う。

医学交流の将来：①現在の中国は、やはり日本に学ぶという一方向の交流にならざるを得ない。しかし、日本ではめったに見られなくなった疾病が中国にはまだ存在しており、日本の若い医師は中国に来ればそれを見ることが出来る。②中国の辺境地区はまだ医師や薬が少ない状態である。これらの状況の改善の手助けが出来れば有意義と思う。

評価：中国各地の医療関係者に日本での勉強の機会を与えた。しかも多人数である。他のどのプロジェクトにも勝っている。

印象：本事業関係者の研修生に対する行き届いた配慮と作業能率の高さが強く印象に残っている。

制度の将来：研修先を決める際、学校や指導責任者に関する情報がほしい。指導責任者の側も研究者の状況を理解し、双方で研究先を決める方法を探してほしい。

医学交流の将来：笹川生は帰国後全国各地において、研究・医療に従事し、実践の中で創造的な成果を上げた。2年に一回程度帰国笹川生と指導責任者の交流会を開き、日本医学界の学者と交流を持ち両国医学の発展を促進したい。

評価：日中笹川医学研究者制度は我が国医学界に大きな影響を与えた。多くの医学者の交流は疑いもなく我が国の水準を高める最良の方法である。

制度の将来：日中笹川医学研究者制度は継続して欲しい。我が国の多くの医学関係者を出国させる事は、我が国の医学の発展、制度の改革に必要なことである。現制度に短期を加える（年齢を超えた者、短期研修、急を要するテーマ等）。研修生の対象は遠方の辺境地区の都市の医療従事者に重点をおく。

医学交流の将来：日中医学交流のなかで、本制度は設立後既に17年を経過している。養成された医師は、医学分野、特に疾病防治領域で大活躍をしている。しかし13億の人口を抱える途上国の中国にとっては、まだ充分といえない。是非第三次10年の事業の協定を行い、より多くの質の高い医師を養成し、中国と世界の人民の医療事業に貢献して欲しい。①選抜対象の改革について；第一次と第二次事業の20年間の選抜対象は北京・上海・天津・広州及び各省の省都（日本の県庁所在地に相当）を中心としているため、辺境地区や省都以外の都市の医療従事者は選抜試験に参加できなかった。今後は辺境であるチベット・新疆・内蒙古・雲南・貴州・黒龍江省等からも受験させ、合格すれば留学できるよう希望する。②留学期間の改革について；研究者は1年、特別研究者は1年、短期研究制度（3か月以内）とする。

制度の将来：本制度を継続し、より多くの医学従事者に助成し学問を深めさせる。出国前には語学研修以外に帰国笹川生に日本での経験を聞く機会を設け、精神面や考え方の準備をさせ、カルチャーショック等を軽減させる事を提案する。

制度の将来：①事業の継続を希望します。②研究者を厳正に選抜する。帰国笹川生が新しい研究者を推薦する。③滞在期間を2年にすれば多くの知識を得、論文を完成することが出来る。④帰国笹川生の再来日の機会が有るといい。

医学交流の将来：①帰国笹川生の人的資源を充分に発揮させる。②中日両国の医学関係者が参加する学術交流活動を行う。③中日医学交流に関する定期刊行物を発刊する。

印象：①外国語研修。②教官の指導の下で、論文を完成し、学会発表をしたこと。

評価：中国の医療従事者に知識と視野を拓き、研究と交流の機会を与えた。実際面で有益であり、深遠な歴史的意義もある。

印象：本制度及び笹川良一先生、笹川陽平先生の我が国医療衛生事業への奉仕の精神と熱意。

制度の将来：①本制度の継続。②日中の専門家・指導責任者と笹川生の交流、笹川生間の交流の強化。学術交流会の定期開催。③中国衛生事業、特に辺境地区の重視。④帰国笹川生への研究助成の強化。審査・評価制度も設立する。

医学交流の将来：各科・各地区の交流を強化したい。①医療・医療保険制度・地域医療の分野で日本は多くの経験を有している。②医学教育面で優秀な教師を相互派遣し有能な人材を養成する。③中医薬分野の交流に於いては、日本は中医・中薬の専門科を開設し、中国の優秀な専門家を招聘し人材養成につとめる。

第11期

評価：本事業は設立以来、多くの学科・機関の学術的リーダーを輩出し、我が国の人材育成、両国医学交流を促進し、又日本の医学研究にも貢献した。全人類の健康面で我々が直面している問題解決には、多くの国の科研人員の共同作業が必要である。本事業はその目

的に対し時宜を得たプロジェクトである。

印象：①多人数を長期間助成する計画的プロジェクトである。②運営面が良く配慮されている。③同学会を通して帰国後も学术交流活動が行われている。

制度の将来：事業の成果を更に上げるための提案：①ハイクラスの短期（数日～3か月）交流制度を設ける。課題研究や技術の習得や特別研究者制度とは別のものであり、帰国した高級職等の研究者・医療従事者が大学研究室間の二国間交流を行う事に意義がある。②帰国笹川生に科研助成を増やす。

医学交流の将来：①同学会の地区別学術大会に日本の専門家が来る機会を利用し、専門別交流を行い、研究、病院参観、座談会など実質的な交流を行う。②定期、不定期に帰国笹川生専門別訪問団を組織して日本の主要な学会に参加する。学术交流の拡大と本制度の成果の宣伝にもなる。③帰国研究者と指導責任者が参加する小規模な（30～40人）研究会を中国と日本で交代に開催し、現代医学の最前線やホットなテーマに関して討論する。

評価：研究者は日本の先進技術と経験を学び、帰国後各分野のリーダーとなり中国医学に大きく貢献すると同時に中日医学交流を促進した。又多くの日本人が中国を理解する機会を作り中日友好に有益であった。

印象：日中医学協会の研究者に対する行き届いた心配り。

制度の将来：例えば本プロジェクトが終了しても、他の形式、帰国笹川生と元の研修地の指導責任者との連携を保ち、引き続き指導を受けの手助けをして欲しい。例えば短期訪問、特に臨床医学は実地見学が重要で実現すれば大変助かる。

印象：①指導責任者や事業関係の職員の責任感が強く、我々は日本の生活に速やかに慣れ、安心感を持つことが出来た。②指導責任者が熱心に指導してくれた。

制度の将来：継続して貰いたい。

評価：看護師に外国で研修する機会を与えたこと。我々は学習を通して日本の看護状況を知り、両国の看護の現状を比べ、我々に不足している事を身をもって知ったので、長所を伸ばし短所を補って、帰国後の仕事に大変プラスになり、患者により良い看護が出来るようになった。

印象：看護師に外国で学ぶ得難い機会を提供したこと。

制度の将来：看護分野の人材養成に更に力を入れ、より多くの看護交流（学術会議を含む）の機会を作って頂きたい。

医学交流の将来：今後日中笹川医学研究者制度の様な制度を立ち上げ、より多くの看護師が出国し、先進的看護を学べる機会を増やして頂きたい。

印象：日中医学協会職員の熱心な仕事ぶり。指導責任者の勤勉さ。

制度の将来：継続して頂きたい。

医学交流の将来：本事業は意義深い事業で、中日医学交流に得難い貴重な機会を与えた。両国医学関係者は長所を伸ばし短所を補って共同で人類に貢献している。

印象：日中両国の組織が非常に良く整備されたプロジェクト。

制度の将来：①継続して頂きたい。②帰国後数年を経た研究者は知識の不足を痛感する、再訪日して研究したい。特別研究者制度は年齢制限があり参加できない。それを越えた者に短期研修でも良いから、再訪日し学習の機会を与えられたら本制度は更に充実したものになる。

医学交流の将来：病院間の中日医学交流に助成して頂きたい。

評価：本制度は中国医師に日本の先進的な医薬学を研修する機会を与え、中国医師の進取の精神を鼓舞し、多くのハイレベルの医師を養成した。一方、多岐に亘る日本社会の生活・文化を吸収し、帰国後、研究者の多くは中国医学界のリーダー的存在となった。

印象：①日本民族の、行き届いたきめ細かさ、仕事に対するまじめさと責任感。②箱根セミナー。③東京の娘たちの日本語は耳に心地よい。日本語は美しい言語だ。

制度の将来：既に多くの中国医学界のリーダを養成している本制度を続けるべきと思う。また、本制度を医学界のエリートを生み出す制度にするため、更に高度な共同研究に援助したらよいと思う。

医学交流の将来：現在日本の医学レベルは欧米同様世界のトップレベルにある。中国の医学も急速に発展している。我々は中日医学交流を進め、よりハイレベルの合作を行い、他者に学びつつ、よりよい成果を樹立し、医学発展の記念碑的事業を成し遂げるべきと考える。

印象：①笹川研究者となった事は、私の人生の重要な一里塚となり、私を更に真剣に医学研究の道に邁進させることとなった。②日中医学協会職員の熱心で誠実な仕事ぶりは忘れがたい。

制度の将来：上海か北京に中日笹川医学奨学金記念館を建設し、笹川良一、笹川陽平両先生の偉業を永久に中国人民の記憶に止め、併せて、2000名の笹川生が来日時を回顧し、医学への献身と情熱を鼓舞する場所としたい。

医学交流の将来：日中医学協会が今後とも中日医学交流に積極的な貢献をすることを期待します。

評価：2000名余が笹川医学奨学金制度の恩恵を得、中国医療衛生事業の将来に最も重要な戦力となった。また、中日友好と医学交流の大きな架け橋となった。

印象：中国側の厳正な選抜、日中医学協会の組織的で有効な仕事。

制度の将来：①笹川生の選考を更に厳密にし、語学能力と研究意欲に満ちた若手を選抜する。申請時に研究計画書を添付させ、選考する側は、研究の先進性・可能性と申請者の研究能力を総合的に評価した後に研究者を決定する。実力が伴わない者を選抜しても効果が無く、先輩が長年に亘り築き上げてきた中日医学交流の成果を損なうことになる。②同学会の活動を強化するため、帰国笹川生と指導責任者の学術交流活動を活発に展開し、また、会員の科研成果と優秀論文などを刊行し、笹川生と指導責任者との合作を促す。これら学術研究の向上は本事業の重要な目的の一つである。

医学交流の将来：両国共に関心の有るテーマ、又は直面している医学的問題について中日で共同研究を行う事は最大限の効果を生み出す。また、交流それ自体も大切だが、学術的レベルの向上も重視しなければならない。

評価：帰国笹川生が中国医学界の各領域でリーダーになっていることを、笹川生の一人として誇りに思う。笹川医学奨学金制度の成果は中国医学界に未永く影響を与えるだろう。

印象：選抜される難さと日本語研修のしんどさ。今ではいい思い出が・・・。

制度の将来：笹川生の交流の機会を縦横に深めれば、本事業の成果は倍増するだろう。

医学交流の将来：中国人医師の日本での研修だけでも壮挙だが、日本の専門家が訪中して講義やシンポジウムを行えば、もっとより多くの者が恩恵を受けるであろう。

評価：①中国政府を援助し、多人数の中国医学人材を養成した事は中国医療水準の向上に大きく貢献した。②両国人民の相互交流・理解・友好を深め人類の平和に大きく貢献した。

印象：笹川良一先生と、笹川陽平先生の度量の大きさと、真摯な責任感。

制度の将来：笹川医学奨励基金を設立し、帰国笹川生の活躍を奨励する。これにより、引き続き笹川精神を中国に更に広める事が出来る。

医学交流の将来：様々な形式の中日交流を実施する。①専門交流、両国の専門家が短期研修班で交流する。②専門別の学会を中国か日本で開催する。③新技術や発明の成果を両国で享受する。④互いの友情を長く保つため、帰国笹川生と指導責任者が会い師弟の情を深める。

評価：国際協力を促進し、医学人材の養成等に計り知れない影響を与えた。

印象：多くの好意が笹川事業に結集した。

制度の将来：①刊行物を発刊し、帰国笹川生の研究論文を掲載する。②同じ専門の帰国笹川生の学術交流活動を援助すれば、学術上において同学会の地区会議より効果を上げることが出来る。

評価：笹川医学奨学金制度は偉大なプロジェクトで、中国の為に多くの医学人材を養成し、中国医学の発展に大きく貢献した。

印象：厳格な選抜と、訪日前、訪日中、訪日後の配慮、また、研究者のために日本の最良の医療機関と最も優秀な指導者を選択してくれた。研究者がより良い成果を上げるために大変有益であった。

制度の将来：帰国して勤務し、既に成果を上げている帰国笹川生に更に多くの機会を与えて頂きたい。

医学交流の将来：日本との医学交流はもっと深く広く行うべきである。帰国した笹川生は日中医学交流でその特長を生かし、日本の医学の新しい成果を中国に導入すべきである。

印象：①日中医学協会職員の責任感と仕事ぶり。②全ての笹川生に対する細かな心配り。

制度の将来：この制度を継続し、更に多くの人が恩恵を受けられるよう希望する。

医学交流の将来：専門別の学術会議を定期的に日本か中国で開催する。

評価：ハイレベルの専門家を養成し、極めて有益で成果が大きい。時代の要求に合致した事業。

印象：笹川生として留学期間中、研修先の大学から格別の重視と配慮を受けた事。

制度の将来：①継続して貰いたい。②訪日前に日本の各大学・研究機関・研究室の専門・特徴などの情報を提供してくれると、はっきりした目標を持って留学することが出来ます。

医学交流の将来：笹川医学奨学金制度に対しては一生感謝することに変わりはないです。多くの留学生（私も含めて）は皆、帰国する前に1週間か2週間、自分の妻を日本に呼びたいと考えています。留学中に節約して蓄えたお金の多くはこの為であろうと考えます。1年間も長く国内に残って、親と子供の世話をしてくれた妻に対する感謝の気持ちなのです。しかし、その事はなかなか出来ない事です。最後の時間に非常にしたいことが出来ないのは、何とも言い難い気持ちです。よって、以下の提言をします。日本政府に働きかけて、笹川医学奨学金留学生の妻に来て貰う手続きを簡単にして貰うことです。書こうか、書かないか、ためらって返事が遅れてし

まいりました。どうもすいませんでした。(原文も日本語)

評価：意義深く、時代に合致した制度であった。

制度の将来：継続して貰いたい。

評価：中国のために多くの研究者と臨床家を養成した。帰国後笹川生はそれぞれの機関のリーダー格となり、責任者となった者も少なくない。本制度は中日医学交流と両国人民の友誼の促進に大きく貢献した。

印象：笹川財団と日中医学協会の我々の日本滞在中の研究・生活両面に対する暖かい配慮に心から感謝いたします。

制度の将来：本事業の継続を希望します。

医学交流の将来：①学術交流と共同研究の促進。笹川生の帰国後も元の研修教室と共同研究を継続する。その一部は中国で研究する事も可能。②両国医学界の中医中薬方面の合作を重視する。中国の中医臨床レベルは比較的進んでおり、日本は研究レベルと基礎施設が進んでいる。双方が協力し補い合えば良い論文と成果を得る事が出来る。

評価：意義深く有益であった。

印象：①20年の長期に亘る留学基金。②研究・生活両面が整っている。③帰国後のフォロー

制度の将来：帰国笹川生の短期再来日研修制度が実施されれば、彼らは更に向上するであろう。

第12期

評価：どの面をとっても良くできたプロジェクト。とりわけ日中医学協会の笹川生に対する生活・研究両面に亘る配慮がきめ細かく行き届いていて、大きな困難もなく1年を過ごすことが出来た。

印象：このような良い事業は是非継続すべきと思います。また、特別研究者の年齢制限を越えた帰国笹川生には、短期学術訪日の制度を設けて欲しい。

評価：意義深く、有益な制度。

印象：①学会参加費用を提供していること。②研究先・宿舎の提供。③箱根セミナーが忘れがたい。

制度の将来：貴奨学金制度の継続は21世紀の日中友好関係の発展に貢献するものと信じています。

医学交流の将来：中国は医学も含めてまだ発展途上の国です。内陸と農村は未だに貧困から抜け出していません。医学領域では高度な医療技術と専門知識を持った人材が不足しています。今後の中日医学交流が中国医療の成長と発展に寄与する事を期待しています。

(原文も日本語)

評価：中国医療関係者のレベルアップと中日医学領域の相互理解に貢献した。

印象：①周到な手配、指導責任者が誠実で近づきやすく信頼できる。②日本社会の発展。

制度の将来：人の特徴を見て教育すること。中国人の人格を平等に扱う事。医学以外の文化全般の理解をも重視すること。

医学交流の将来：人の交流は勿論有益であるが質を重視する。団体的、官製の日中医学交流は實際上効果は小さい。理由は中日間のレベルの差が大きい事、地球のグローバル化。

評価：中国がWTOに加盟したことは、必然的に中国が世界を知り、世界が中国を知る流れとなった。中国の改革開放政策以降、中国の医師が出国出来るようになり、日本の専門家と交流出来るようになったのは、貴重な機会であったと思う。笹川医学奨学金制度の提供者と関係する皆様、日本政府と人民、また熱心に指導して下さった指導責任者の皆様に心から感謝いたします。

印象：全体的に良く組織され、留学生同士の連絡、帰国後のフォローなど、他に例を見ない事業。

医学交流の将来：帰国笹川生が日本の専門学会に参加し、また、元の指導責任者との交流を奨励するため、旅費・学会参加費の一部などを助成して頂きたい。

評価：この制度は全ての留学生制度の中で待遇・手配とも最も行き届いている。その上第二外国語も習得した。中日医学・看護学交流を促進させ、中国の医薬事業を支援、人材を育成した。土台を固め、将来へ発展する基礎を築いた。

印象：日中医学協会の皆様の仕事に対するまじめさ、行き届いた手配が深く印象に残った。

制度の将来：看護分野の受け入れを増やして頂きたい。看護分野の発展は遅く、奨学金を得るのは困難。受け入れ人数の増加は中国の看護分野の発展に大きく作用するであろう。

医学交流の将来：交流の範囲、チャンスを増やして頂きたい。特別研究者の機会を得た後も、更に2~4週の短期訪問を可能にして頂きたい。

評価：①医学領域で日中交流が深まった事により、日中間の差は縮まり、同様の発展を遂げつつある。協力は中国の国際化を進め、日

本に中国の医療方面の資源を提供する道も出来、日中両国はアジア・太平洋地域で強固な地位を築く事が出来た。②この制度により、多くの受益者が自らの生涯を切り拓く事が出来た。日本に対する親近感も生まれ中日友好を深く実感する事が出来た。③個人的に受けた影響から言っても、忘れ得ぬ人生経験であった。

印象：周到な手配と行き届いた心遣い。大家族のような気分を懐かしく思う。この制度の研修生であったことを誇りに思う。

制度の将来：専門別に小型の笹川学術シンポジウムを行うこと、組織運営もやり易く、100人以上の学術交流より容易で効果的。研修生間の連携を強め回顧・展望を深める。

評価：中国医療人員のレベルを高め、視野を広げ、中国医療の国際化に貢献した。

印象：交流の規模の大きさは、他に類を見ない。奨学金提供者（笹川財団）と実施者（日中医学協会）の仕事ぶりは留学生に対し教育的効果があった。

制度の将来：①本事業を永久的な中日医学交流の架け橋とするため、正式な組織を設立するのがよい。規模については考慮の余地がある。②このような純民間交流は政府のプロジェクトとは違う。長く続けて欲しい。

医学交流の将来：中国の経済発展と共に医療機関も経済力をつけてきたので、今後は政府を通さずに直接国外と交流する機関が増えて行くだろう。中国政府の政策も徐々に医療機関の民営化に進むだろう。日本側は今後交流の重点を中国政府から中国の医療機関と直接交流することに移行すべきだろう。その為のパイプの確保は、その数も含めて極めて重要である。

印象：多くの新知識、技術を学んだ。在日中の生活と研究に対する配慮がとても良く、日本人民の中国人民に対する友好の情を身近に感じることが出来た。

制度の将来：旧革命根拠地（農村）・少数民族・辺境・貧困地区等に重点を置いた事業が望ましい。

評価：笹川奨学金で日本へ行く機会を得た者は、帰国後それぞれの場で力を発揮し、仕事の水準を高めただけでなく、日本の文化を理解した事は中日交流にも意味のあることであった。

制度の将来：研究者の中国の所属機関での身分により、国外にいられる時間が異なるから、研修期間を少し柔軟に調整出来ないでしょうか。

医学交流の将来：医学交流を各分野で各々の形で進める。的を絞る。同一領域で、同一テーマで長期に常時交流すれば中日医学交流の実があがる。日本には科研基金があり研究上有利、中国は各領域で発展している。両者を結合すれば中日医学は発展し世界に貢献できる。

評価：私の場合、1年（長いとは言えない）の研究自体の収穫以外に、研修を通して視野は広がり、問題の解決方法、厳密な科学的思考、小さな事も見逃さない研究の姿勢など多くのことを身につけた。もしこの機会がなかったら、外の世界を何も知らずに終わったかも知れない。学術上のことに限らず、国際交流は誠に意義深い。

印象：①プロジェクトの持続性と連続性。②選抜試験。③語学力が無かったら、研修目標の達成は出来ないということ。

制度の将来：絶えることなく継続して頂きたい。

医学交流の将来：専門別学術交流活動を行い、相互で補い合い、視野を広げ、新しい思考を身につける。

評価：①中日医学協力の促進。②中国のため大規模に医学従事者を育成、彼らが帰国後医学事業の発展に貢献していること。

印象：日本語研修、日本での生活と研修、帰国後の同学会、地区別交流会、笹川生通訳録など、全てについて本プロジェクト創始者と実施者の中国人民への友好の情を感じる。

制度の将来：既に完璧の域に達した事業。

医学交流の将来：中日医学交流は多くの地区・都市で行われている。中国の西部大開発の政策に併せて、西部地区でも中日医学交流を展開するよう希望する。

印象：①日本の文化・社会を知ることが出来た。②日中医学協会のきめ細かい心配りや按配に敬服する。

制度の将来：本事業を総括しつつ、更に中日医学協力の内容と方式を進んだものにする。

医学交流の将来：中日医学交流、その他の中日交流は、全て両国人民の相互理解を促進した。笹川良一先生の壮挙と中国医学への支持に深く敬意を表する。

評価：私の見方では、中日の医薬学のレベルは大変な開きがあり、薬学方面から見れば、日本は設備が進み、資金が潤沢で、製薬業は非常に発達している。中日の差は基礎教育、基礎研究、薬品生産量、質の均一性等々とても同じレベルでは語れない程だ。中国の薬学関係者が日本へ研修に来ると、そのレベルの開きを身をもって感じ、多くの知識を得、進んだ設備に接することが出来る。本事業は中国医薬業を押し進める意味で非常に有意義である。

印象：非常に行き届いた事業で、笹川生の多くは初めての外国であったが、様々な面で良く配慮されていて、研究に専念することが出来た。

制度の将来：本制度の継続を心から希望する。特に中国の薬学分野の人材養成に力を入れて欲しい。

印象：中国の医療関係者を育成し、中国医療の発展を促した。

制度の将来：継続して貰いたい。

医学交流の将来：幅広い交流を促進し、友好を進めて欲しい。

印象：しっかりした運営と、行き届いた配慮。

制度の将来：事業を更に強化し、多くの中国の若手医師に日本での研修機会を与えて欲しい。

医学交流の将来：多くの交流を行い、相互に留学生を派遣し、中日医学交流会議を多数開催し、共同研究を進めるべきである。

評価：①多くの中国医学関係者が日本及び各分野の日本人を理解し民間の友好が深まったこと。②日本の先進技術の学習を通して、中国の医学水準が向上したこと。

印象：①選抜が合理的。②出国前の研修がきちんと行われている。③日本滞在中の研究者への配慮が行き届いている。

制度の将来：①本事業を10～20年継続して貰いたい。②帰国して長期間が過ぎた笹川生が再訪日して短期交流（3か月）を行うことに助成して頂ければ仕事・研究面の助けとなる。

医学交流の将来：①日中共に関心のあるテーマでの協力がすすめば、中国の多くの患者・医学関係者の特徴が発揮できる。②学会間の直接交流を強化する。

第13期

評価：科学に国境はあってはならず、その成果は全人類が享受すべき。日中笹川医学研究者制度の巨大な貢献に感謝する。

印象：友好、無私、謹厳、実効。

制度の将来：①もし継続が可能なら、選抜をもっと厳しくする。得難い奨学金と研究の機会は当然優秀な人材に与えられるべきである。海外留学の経歴で身を飾る事が目的の者、縁故による者を厳しく廃すこと。②臨床分野で功績の高い帰国笹川生の短期訪日プロジェクトを立ち上げて欲しい。業績があっても年齢が高く、特別研究者制度申請の資格がないからである。

評価：時代に合致した制度。

印象：真面目

評価：進んだ技術・知識を高めたこと。先進的な考え方、意識を養成したこと。

印象：来日して交流が出来たこと。

印象：組織的で世話が行き届き、良い研究環境が出来ている。

制度の将来：継続を希望する。

医学交流の将来：専門学術検討会を開催し、更に交流を進めて欲しい。

評価：貴事業の合作交流は非常に有益である。今後更に多くの専門領域で合作を進め、共に進歩し更に多くの貢献をして欲しい。

印象：全てに亘って行き届いた配慮。

制度の将来：特別研究者と日本との同一専門分野の間の交流を更に推進して欲しい。

医学交流の将来：多方面に亘る交流を活発にし、人類に貢献して欲しい。

印象：日中医学協会職員の仕事ぶりは責任感があり親切である。

制度の将来：研究機関や指導責任者を決める時、研究者と事前に連絡し合えば研修の成果は更に大きくなる。

医学交流の将来：①日本の専門家が訪中して指導・交流する。②中国の大都市以外の地区での指導・交流を増やす。

印象：行き届いた事業。

制度の将来：継続を希望します。

医学交流の将来：国内の専門家間の定期交流を推進して欲しい。

印象：①協会職員の実心で行き届いた仕事ぶり②中国での日本語研修期間が長い。

制度の将来：笹川事業を是非継続し、中国の若い医療従事者に研究の機会を与えて欲しい。

印象：“反面教師”の部分をも含め、多くの経験を得たこと。

制度の将来：継続を希望する。

医学交流の将来：中日医学交流、専門交流の促進は大きな意義がある。また、前世紀に起こったあの戦争に対する中国人民の心に残る

しこりを除くためにも必要なことである。現在世界のテーマは共存共栄である。但し日本国民は過去を忘れてはならない。種々の交流は両国間の友好の長期的発展を保障する。中日医学交流が今後とも広く実効的に発展することを願う。

評価：日中笹川医学研究者制度は異文化間の相互理解と友誼・交流を促進した。特に中国の研究者の専門領域の能力向上に貢献した。

印象：本制度は中国医学界のために多くの医学者を養成するという不滅の業績を残した。

制度の将来：双方が関心のあるテーマを研修期間を延長して研究すれば、価値ある課題が、より一層の成果を得る。

評価：この制度の効率は高い。学習・生活面の手配が良く、短期間に進歩することが出来る。規模の大きさも他に比べるものはない。特定の大学・研究室だけでなく、研修生は日本全体を理解することが出来た。

印象：日中医学協会の配慮のおかげで研修生たちは、異国で学ぶ孤独を感じる事が無かった。

制度の将来：①学位取得も含めるべきである。そうすれば安心して研究出来、目標もはっきりする。②帰国後の学術交流は分野別に組織する、例えば心血管疾患など。また、帰国笹川生全員と日本側指導責任者・学者が共に交流・合作する。こうすれば将来の発展に意義がある。今のやり方は浪費で実用的でない。

医学交流の将来：帰国笹川生は既に相当数に達し、中国の医学水準は高くなったのでハイレベルの交流が出来る様になった。例えば①専門別交流会②1～2年単位で各専門分野の臨床科学研究を討論する。③仕事上での協力と指導を進める。④笹川生の相互連絡を助け、最新の動向を掌握させ交流の対象とする。⑤一部の帰国笹川生は実力があるので、日本側教授・医師と更に多くの交流と情報の収集が可能である。

評価：①両国人民の友好往来の促進②両国科学技術交流の促進③多くの中国人に日本を知る機会を与えたこと。

印象：十数年に亘る努力と、多くの研修員の訪日を助成したことは誠に希なことである。日中医学協会はこの膨大な仕事をこなし、研究者の生活面に、痒いところに手が届く程の配慮をしたことが特に印象深い。

制度の将来：出来れば年5～6名が訪日して学術会議に参加するのを助成して欲しい、業績を上げた帰国笹川生や日本と交流している医学者の励みにもなる。

医学交流の将来：①同学会が各地で行っている交流会は誠に意義深い。是非続けて欲しい。②日中医学協会と中華医学会が年次専門交流会を共催して欲しい。例えば中日心血管疾病交流会、中日救急医学交流会。

印象：大多数の日本人は非常に中国に対し友好的だが、一部の日本人は中日両国の違いを配慮せず中国人を差別する。

制度の将来：事業を継続して欲しい。

印象：両国の指導者は本制度を重視している。組織がしっかりしていて周到である。

評価：貴事業を通して多人数の中国医学者が研究と交流の機会を与えられた。彼等は帰国後各分野でリーダーとして活躍をしている。

印象：大規模で目的が明確である。能力が高く仕事が速い。

制度の将来：本制度を継続して欲しい。

医学交流の将来：①中国の対外医学交流は、今後ともかなり長期間に亘って先進国に学ぶ事が主となるだろう。だからこそ、より多くの人員が交流に参加することが必要だ。②中医の近代化を促進する。③日本の医療保証制度を研究すること。

第14期

評価：両国にとって良いことです。

印象：1994年頃笹川良一先生に会ったこと。

制度の将来：もっと深く長く続ければ、中国の医学の発展を更に促す。

医学交流の将来：水の流れの様にずっと続けて欲しい。

評価：貴事業は中国の改革開放政策の初期に調印された。当時は中国経済・科学技術発展の初期段階でもあった。貴事業は多数の高素質、高レベルの医療従事者を養成し、中国の医療衛生事業発展の巨大な牽引車となり、その恩恵は中国各地に広がった。有る意味では貴事業は中国のその他の事業の発展にも影響を与えていると言える。

印象：①厳格で目標値の高いトレーニング②生活面も含めた行き届いた心配り③厳しいぐらいの管理④事務局の事業への敬意と仕事への態度。

制度の将来：①短期研修（例えば3か月）プロジェクト、或いは特定のテーマに関する一定期間の研修②帰国後一定期間を経てから元の研修地で研修する、或いは指導責任者が訪申し交流を深め、指導する。③レベルの高い論文を中日の雑誌に発表する、或いはセミナーを開催する。

医学交流の将来：①中日双方で重大疾病に関する研究交流を行い、各自の研究や情報・特徴を紹介し合う。②重大疾病や感染症の状況の相互通報③研究者或いは行政職・事務職員が相互訪問し業務上の意志疎通を図り経験交換する。④特定の疾患（管理・分野を含む）に関するシンポジウム。

印象：研究・生活面で研究者に良好な環境を提供した。

制度の将来：特別研究者が元の研修機関でなく、別の都市・機関で研究できればもっと多くの知識を得られるだろう。

医学交流の将来：①合作と交流を強化し、より多くの若い医師に研究の機会を与えて欲しい。②合作・交流地域については南方及び辺境地区に機会を与えて欲しい。③日本側受入機関、中国側派遣機関を組織し、医師が相互訪問し、機関間の相互交流を行う。

評価：中日医学界の交流を促進し、中日両国人民の心の交流を深めた。

印象：生活・学習両面への行き届いた配慮があり、良好な研究条件が出来ている。

制度の将来：更に研究・交流の機会を設ける。

評価：中日医学交流を促進し、且つ中国医学の発展を促した。

印象：医学交流を通して、私の日本及び日本人への理解が深まった。

制度の将来：同種のプロジェクト或いは更に進んだプロジェクトを興し、定期交流をしたい。

医学交流の将来：交流を強化し多くの活動を行いたい。

評価：貴事業の設立は日本留学を希望する医師にチャンスを与え、日本に対する理解を深め、中日友好を促進した。

印象：協会職員は非常に親切である。

制度の将来：継続して頂きたい。

医学交流の将来：私は日本で先進的な研究方法を学んだが、帰国後はそれを役立てる事が出来ない。主な原因は中国の実験設備が整っていないことだ。日本の進んだ設備で共同研究を継続できるプロジェクトがあれば良いと思う。

評価：①中日友好の促進②日本の医学を学ぶ機会を提供してくれたこと。③中日文化交流の促進。

印象：細かく行き届いた事業運営。

制度の将来：若い医学生に対して、大学院修了まで援助するシステム。

医学交流の将来：短期研究・参観のための訪日（1～2か月）

評価：①貴事業は先ず選抜が比較的公正で、先進技術を学び中日交流の促進に意欲のある学生たちに貴重な機会を与えること。②研修生は日本で専門知識を習得したが、大切なことは彼らが未来の発展を築くスタート台に立ったこと、日中の相互理解を深め友好を不動のものとした。

印象：事業を運営している日中医学協会の研究者に対する来日後の細かい配慮には感動すると共に心から感謝する。

制度の将来：①このような事業を継続発展させて欲しい。②帰国笹川生で際だった業績を上げた者の再訪日、或いは国際学会で研究成果の発表が出来る様にして欲しい（発表は笹川生として行う）

医学交流の将来：中国の経済発展に伴い、医学水準も向上している、国際的な学術交流に参加することは中国の医学研究水準を向上させ、また、世界に中国を理解して貰うプロセスである。中日交流の歴史は長く、両国関係の深化に伴い、相互理解と友誼は日増しに強まっている。日中医学協会も多彩な学術交流を展開して頂きたい。

印象：多くのことを学んだ。

制度の将来：必ず継続して欲しい。

医学交流の将来：様々な学術交流をして欲しい。

評価：①中国青年医師のレベルアップに有益である。②中日間の相互理解と中日友好の進展に有益である。

印象：①来日前の語学研修と来日後の日中医学協会の多様に行き届いた配慮②指導責任者の指導が真剣で責任感があり、師弟関係がとても良い。

制度の将来：ここ数年に選抜された研究者は、以前の者に及ばない様だ。優秀な者を（成果の多さを基準として）選抜することにより、来日中或いは帰国後成果を上げ易くなる。

印象：民間団体が中国の為に多くの医学人材を養成した事は敬服に値する。

医学交流の将来：交流と研究の機会を増やして欲しい。

評価：日中笹川医学研究者制度は中国において最も影響力のある事業である。両国の医学交流に益するばかりでなく、中日両国民の相互理解促進に多大な貢献をしている。

印象：①箱根セミナーでの笹川陽平先生と日中医学協会の先生の熱意に溢れた講演・挨拶。

制度の将来：出来れば指導責任者が訪中して、学術交流を行い、医学の新たな展開を紹介する機会を作って欲しい。

医学交流の将来：①日本の保険制度は羨ましい。医師は患者に患者の経済状況を気にせず最適な治療をすることが出来る。中国では多くの患者が適切な治療を受けられない。日本の保険制度を中国に紹介する機会があればよい。②日本の専門家が中国の大病院を巡回して手術実演・学術交流をするプロジェクトを立ち上げて助成して欲しい。中国医師のレベル向上と共に笹川事業の影響力と成果を更に高める効果がある。

第 15 期

印象：選考は合理的に行われている。出国前の語学研修は日本での生活に役立った。

制度の将来：本制度により成長し、指導的立場に就いている帰国笹川生と日本の専門家との間に、深く幅広い交流・協力が行われること。短期訪問（1～3か月）等も含めて。

印象：留学生の研究・生活面への配慮が行き届いている。

制度の将来：継続して欲しい。

評価：両国人民の相互理解と両国医学交流を深め、両国人民の健康と福祉の向上に多大な貢献をした。

印象：細かく行き届いた世話と研究者との緊密な連絡。

制度の将来：①特別研究者の人数を増やす。但し期間は3か月以内とする、笹川生は帰国後大きく進歩し、殆どが指導的地位に就いているため長期滞在が出来ない。ある種の医学技術、特に臨床医学は見学すれば直ぐ応用し治療レベルを向上させることが出来る。②指導責任者を中国に招き講演・学術交流・参観をして欲しい。③中日医学雑誌を創刊し中日同時に発行する。

医学交流の将来：①連絡を密にし、協力を深める。②中日医学雑誌を創刊し、臨床版と基礎版に分け、英語・中国語・日本語何れかで掲載する。③共に努力し両国人民に幸福をもたらそう。

評価：中日友好を促進させる制度。

印象：先進的設備と仕事への姿勢。

制度の将来：中医薬学近代化のための科研基金の設立は出来そうですか。

評価：多くの医療従事者、特に遅れている西部地区の医療従事者が貴事業で先進国の経験を学ぶ機会を得たことは発展を促す作用となった。

印象：同学会の学術交流会は成果・情報を確認し仕事を促す。

制度の将来：中国西部地区の衛生医療人員の研修人数を増やして欲しい。

医学交流の将来：SARSの流行により人類と感染症との戦いはまだ終わっていないことがわかった。感染症分野の交流を盛んにし中国人民を救って欲しい。

評価：日中笹川医学研究者制度は非常に有益な民間交流の架け橋であり、貴事業の創立者に心から感謝する

評価：①両国人民の友好、文化交流、医学交流の促進②先進技術を身につけた中国医療人員の養成

印象：日中笹川医学研究者制度の設立は我々に日本の文化・風土・人情を知ると共に、先端的な日本医学を学ぶ機会を与え、深い印象を与えた。笹川先生と日中医学協会・衛生部に感謝。

制度の将来：①指導責任者が訪中し指導した笹川生の所属機関を訪問して講義や指導をして欲しい。②帰国笹川生と指導責任者の共同研究基金を設立することにより、交流を促進し、師弟愛も深まる。

医学交流の将来：①公衆衛生分野の危機管理・対応に関する交流を強化したい。SARSの流行は人々に深い教訓と啓示を与え、また問題点を露見させた。私は日本滞在中のO157の流行と阪神大震災での日本の対応を思い出した。②経済発展に伴い、中国では生活習慣病が問題となっている。この点でも日本の経験に学びたい。

評価：帰国前、私は中国ではまだ空白部分である呼吸器ウイルスによる感染症の試薬研究を、3～5年かけて行いたいと考えていた。再度日本を訪れ技術を学びたいが、国内事情もあり、どうすれば可能か、支援して頂けるだろうか。

印象：研究者に対する支持と運営方法、研究者を大切にし優秀な人材を求める事などに強い印象を持った。

制度の将来：事業を継続して欲しい。より多くの帰国笹川生が再訪日して更に研究を深めることが出来る様にして欲しい。

医学交流の将来：日本の同一分野との学術交流を行いたい、対応するところがわかりません。日中医学協会はこの面で協力して欲しい、これも良い交流であると思う。

評価：中日間の友誼、とりわけ医学交流を促進し中国医学の発展に大きな貢献をしたこと。

印象：行き届いた仕事で責任感があること、留学目的が明確なこと。

制度の将来：①本制度を継続して貰いたい。更に3か月か半年程度の高級訪問学者制度を加え、帰国後抜きんできた成果を収めた笹川生の訪日研究に援助して頂きたい。

医学交流の将来：①交流領域を増やす②定期或いは不定期の学術活動③中国の中西部地区特に経済発展の遅れた地区との交流・協力。

評価：中日友好と共同の繁栄にとって意義がある。

印象：笹川財団（日本財団）は日本の各界、各層に影響力がある。

制度の将来：本制度を継続して貰いたい。

医学交流の将来：様々な経路で中・青年を対象とした中日医学交流を強化し、学術水準と学術への気運を高める。

印象：日中笹川医学研究者制度が斯くも長期に大規模に実施され、しかも見事に運営されている事。その他同学会の学術交流会の開催、「笹川生通信」の発行等笹川生との長期に亘る交流。

制度の将来：本制度が更なる発展を見、より多くの中国医学者を養成し中日医学交流を促進し、世界の医学の発展に寄与することを希望します。

医学交流の将来：中日医学交流を今後とも継続発展させて欲しい。特に少数民族地区との学術交流事業を強化する。未だ交流が行われていない領域、例えば民族医薬分野（チベット医薬学・モンゴル医薬学）など。

評価：本奨学金事業は多くの中国医学者を養成した。我々は学術的に長足の進歩を遂げ、学び取った多くの先進技術を仕事に生かし素晴らしい成果を挙げた。多くの者がリーダーとして中国医学の発展に貢献している。

印象：来日前の準備から帰国笹川生まできめ細かく手配されており、特に来日後の生活面での配慮が行き届いているので安心して研究に専念できる。

制度の将来：本制度がたとえ終了しても、何らかの方法で中国医学界の科学研究、技術革新、学術交流を引き続き支持して頂きたい。例えば国際学会への参加や日本視察への援助など。

評価：中日医学交流に、日本の先進技術の習得に、また長期的には中日友好に益する。

印象：①中国での国内研修がちょっと長い、殆ど日本での研究期間に相当する。②箱根セミナーが印象的。

制度の将来：研修は一種の相互交流の手段であり、両国の友好が目的である。よって日本の若い医師の中国での研修や両国間の学術交流を援助するなど様々な発展が可能である。本制度の将来はすばらしい。

医学交流の将来：中国人の生活水準の向上と医学技術の発展に伴い、今後益々国際交流活動は増えていく。以下の項目を提案します。
①日本の専門家が訪中して講義・指導に当たる活動への支援②中国の医師を日本開催の学術会議に招待する。③共同研究項目を増やす。④医学交流を通じて中日友好を達成する。

評価：貴事業は中日協力事業の模範となった。

印象：帰国後の連携と組織活動が長期的で連続性がある。

制度の将来：継続し更に交流範囲を拡げてほしい。

医学交流の将来：日中笹川医学研究者制度は中日医学交流で最も成功した事業である。本制度を継続し、内容を充実させ、各地でその影響力を高める。中日医学交流全体を促進させる結果となる。各地の帰国笹川生は研究費が不足している。これに対する支援と帰国笹川生間の研究協力に対する支援は有効である。

印象：指導責任者の責任感と中国留学生への配慮。

制度の将来：継続して頂きたい。

医学交流の将来：経験があり、臨床経験もある科学研究能力のある人を日本へ派遣する。帰国研究者に科研費を助成し不足を補う。

印象：日本人の真剣で真面目な仕事ぶり。

制度の将来：日中笹川医学研究者制度を未永く継続し、不断に発展させ多くの業績を上げて欲しい。

医学交流の将来：①定期的に学術交流と共同事業を行う。②ハイレベルの専門家の相互訪問を行う

第16期

印象：指導責任者の学問への姿勢。

制度の将来：継続し、中日友好を深めて欲しい。

医学交流の将来：日本の先生は中国のことをまるっきり知らないなので、中国に来て見て欲しい。

印象：日本語研修と在日中の研究等、組織的で行き届いた事業。

制度の将来：①特別研究者制度を3～6か月にして、数を増やす。②特別研究者と指導責任者の共同研究に助成金を。

医学交流の将来：①「中日医学通訳」を発刊し両国医学の最新情報、学術交流活動、著名医師・著名機関の紹介を行う。共同研究の助成申請（中日医療と健康保険制度など）を行えるようにする。②専門別学術交流の機会を増やす。③国際的な最先端医学又は両国共通の健康問題に関する研究協力基金を設立する。

印象：きちんとした運営、人間味のある管理。

制度の将来：活発且つ柔軟な活動を展開して欲しい。

医学交流の将来：①私は青島市のチベット自治区援助人員として、2002年4月～2003年4月までチベット日喀則市の衛生副局長・人民医院副院長を務め、この間チベットの劣悪な医療状況をこの目で見た。日中医学協会の先生方が希望されるなら、資料提供いたします。②本事業は内地の医療関係者の養成に限定せずチベットのある地区、ある病院の活動にも貢献できれば意義は大きい。もし可能なら私はこの任務を担い、私たちの組織はチベット人民の健康のための使者となる事が出来る。

評価：私は笹川医学奨学金制度に大変恩恵を受けた。日本で勉強した事、体験したことは一生忘れられない。日本の方々と築いた人間関係は、今後の日中友好にも非常に有意義な事だと思っている。

印象：20年間という長さに亘る実施期間。②留学する人数の莫大さ。③プロジェクト管理の組織化など。

制度の将来：2008年以後、本制度は「新しい顔」で日中医学交流の新しいページを創って欲しい。具体的に言うと①留学生（研修生）は少人数で30～50名。②研究期間は短期（3～6か月）と長期（2～3年）。③中国西北部の後進地区から長期研究者を選び、北京・上海等大都市からは短期研究者を選ぶ。

医学交流の将来：笹川医学奨学金制度は日中医学交流で最も注目され、高く評価されている事業である。中国の広い地域から選ばれ、日本に派遣され、交流の貴重な人材になり、益々活躍することが出来ると確信し、期待する。SARSのような、我々には未知な恐ろしい疾病は、人類の共通の敵である。日中両国の医療関係者と研究者は、力を合わせて、共同研究をし、徹底的にSARSのような疾病と闘い、我々の健康を守るために、もっと努力しなければならないと思う。

評価：中日両国人民の相互理解と交流の促進、中国医療衛生人員のレベルアップ。

印象：日中医学協会職員の敬業精神。

制度の将来：短期訪日交流事業の設立。

印象：笹川医学奨学金で訪日の機会を得、日本と日本人を知り、自分と自分の国と日本との差を知った。日本人の敬業精神は深く印象に残った。

制度の将来：本事業を継続して貰いたい。更には研究者が自分に合った、しかも一流の機関で学べるようにしたい。

医学交流の将来：①中日両国は、一衣帯水、アジアの隣国であるが日本の医学レベルは中国より進んでいる。日中医学交流は中国の医学発展に大変有益である。②同じ地球上にある日本と中国は過去のことは忘れ、未来に目を向け子々孫々に亘って友好的であるべきだ。

印象：日本文化、日本社会への理解。

医学交流の将来：日本の一流専門家が訪中して最新情報や技術を講義してもらいたい。今日通信は非常に発達してはいるが、多くの技術は、いくら文章を読んでも会得できるものではない。実際に講義や手技の実演をしてもらえれば、中国医学にとって非常に有益である。

評価：非常に有益で意義深い。両国人民の友好の架け橋である。

印象：日中医学協会の行き届いた手配。

制度の将来：本事業を継続し、また、帰国笹川生との連携を深めて欲しい。

医学交流の将来：笹川医学奨学金制度は日中医学交流のための架け橋を提供した。更に交流を深めるため、日中医学協会と笹川財団は帰国笹川生と指導責任者の共同研究プロジェクトを設立して欲しい。

印象：研究と生活面での手配が合理的で、暖かみがある。

制度の将来：合作の継続を希望します。

印象：多くの中国医学関係者に勉強の良い機会を与え中日人民の交流と理解、文化交流を促進したこと。

第17期

評価：①本事業は中国医療衛生事業に貢献し、笹川生は各方面の第一線で活躍している。例えば、後進地区でボランティア診療を組織し、SARS流行の際には、先頭に立って治療に当たった。また、基礎研究者たちは日本で学んだ先進技術と知識を生かし、ハイレベルの成果を出し、中国医療に貢献している。②中国の為に優れた人材を育成した。「帰国笹川生学術交流会」や「笹川生通訳」においては、回を重ねる毎に学術レベルの向上が見られ、世界的水準に達している者が少なからずいる。この成果は笹川医学奨学金制度の人材養成事業と不可分である。③中国医学者の日本に対する理解を深め、両国人民の友好促進に貢献した。

印象：①笹川医学奨学金制度は事業がきちんと、きめ細かく運営され、関係者の敬業精神や指導責任者の懇切な指導は、研究者に外国に居ることを感じさせない程であり、先進技術や知識の学習に専念出来た。また、日本の先生や友人と国境を越えた友情が生まれた。②本事業は帰国後の研究も応援してくれる。

制度の将来：①笹川医学奨学金制度を継続し、より多くの中国の医学関係者に、視野を拓き、レベルを高める機会を与えて欲しい。②1年間の研究期間では短すぎるので、研究者の研究状況によっては期間延長も考慮して欲しい。

医学交流の将来：①中国経済の発展速度は速く、医学領域の人材育成も急を要するが、日本の研究環境と比べて、中国国内の科学研究には困難（設備・試薬等）が多い。作業能率が悪く、高水準の研究者育成には不利な条件である。笹川医学奨学金制度の様な制度をもっと設立して中国医学者のレベル向上を目指したい。②笹川医学奨学金制度の期間は1年と短く、日本語研修を中国で受けてはいても、日本に慣れ、研究が終わらない内に帰国の時期が来てしまう。また、特別研究者制度は人数が少なく、帰国笹川生の多くは、その機会を得られない。よって中日の合作プロジェクトをもっと増やして欲しい。③定期或いは不定期の中日学術交流大会を開き、研究や技術に関する情報交換や、指導責任者の指導や啓発を受けたい。

評価：国際交流プロジェクトの中で、最も成功した事業。

印象：同学会、笹川生通訳、同学会名簿、交流会の定期開催等本事業の成果を持続させるのに効果的でよい。

評価：多くの者に出国の機会を与え、世界を見、視野と発想を拓けるのに益した。

印象：計画的できめ細かい運営。

制度の将来：本事業を継続して頂きたい。また、帰国笹川生にも更なる支援をお願いしたい。

医学交流の将来：分野別の共同研究を強化したい。

評価：日中友好と医学交流促進に意義深い。

印象：日中医学協会職員が行き届いた手配と研究機関の辛抱強い指導と敬業精神。

制度の将来：帰国笹川生への研究助成事業を増やしたい。

医学交流の将来：特別研究者制度を日本に半年、中国に半年とし、節約出来た生活費を研究費として支給するのは如何でしょう。

評価：中国医療人員が日本を理解し、交流を促進し、日中友好に有益である。

印象：運営が行き届いている。

制度の将来：経費が有れば、継続して貰いたい。

医学交流の将来：中日交流は数千年の歴史があり、中日医学交流もまた永遠に続くよう希望する。

評価：①本事業は多くの中国西部地区の医師を留学させ、両国医学交流の架け橋となった。②日本で先進的な医薬衛生学を学んだことは非常に意義深い。

印象：殆どの笹川生が帰国し、才能を発揮している。

制度の将来：帰国笹川生への援助を強化して頂きたい。研究機関や指導責任者の指導を受ける機会を増やす。例えば5年毎に訪日して短期交流をする等。

評価：発展途中の中国では、医学も看護も新しい考え方、技術などを導入することが必要である。学んだ事を現場に導入する事は、中国医学の発展に大いに役立つ。

印象：期間の長いこと、事業をより良くするための努力、研修生に対する配慮などが素晴らしい。

制度の将来：続けていける事をお祈りします。

評価：本事業は中国医学発展のために多くの人材を育て、大部分の研究者は帰国後、研修で学んだ事を生かし、大いに活躍している。同時に本事業は日本の研究室にも貢献し、日本に残って研究を続けている研修生はそれぞれの分野で大きな成果を上げている。

印象：財団の研修生に対する配慮が行き届いていて、我々の日本滞在は非常に順調であった。日本人民は中国人民に友好的である。

制度の将来：事業の継続を心から希望する。但し研修生の選抜においては、研究や技術面の能力を加点して評価することは出来ないだろうか。

医学交流の将来：日本の医学は各方面で発達しており、世界の最先端にいる。一方中国は人的、物的に大きな潜在能力を持っており、勤勉で学問を好む多くの人材が控えている。中国は天然医薬資源が豊富だが、設備は古く技術は未熟である。養成し・鍛錬し・新しい情報で刺激を与える事が必要である。日中医学交流は既に多くの実績を上げているが、更に①大規模な学術交流大会を開催する。②多くの共同研究の活動拠点を設ける事を提案します。

印象：終始一貫して、真摯に運営されている事業。

第 18 期

印象：この奨学金制度のおかげで、私達は日本の一流大学で、一流の指導教官のそばで勉強出来たこと。

制度の将来：いつまでも持続していくように祈っています。

医学交流の将来：益々盛んになるように。

印象：研究者への配慮が行き届いていて、人情味が溢れている。おかげで研究に専念出来た。

制度の将来：特別研究者で再来日したいが、元の指導責任者と連絡が取れず、まだ申請出来ないでいる。また、元の指導者と連絡が取れない場合は、貴協会が他の研究機関を手配したら良いのではないかと。特別研究者の研究先は、元の研究機関以外にした方が、交流が広がっていくのでは。

医学交流の将来：①共同研究を盛んにし、併せて助成金を得られるようにして欲しい。②学術交流活動や学会開催に対する助成基金を設立して欲しい。

評価：責任ある仕事ぶり。

印象：帰国笹川生の基礎科学研究費を援助して欲しい。

印象：笹川生が訪日した時や、日本で生活・研究、研究者の交流活動への配慮が良かった。

制度の将来：①本事業を継続・発展して頂きたい。②特別研究者制度の滞在期間の多様化、優秀な帰国笹川生は既に責任有る地位に就いており、1年間の訪日は難しい、3か月や半年、又は短期交流に分けることが良いのではないのでしょうか。③帰国笹川生が訪日する時、日中医学協会がビザ取得手続きをしてくれるとありがたい。④特別研究者制度の1年間の内、一定期間を中国で研究し、残った費用を引き続き共同研究助成金として支給する様にすればよいのでは。

医学交流の将来：①長期的な共同研究プロジェクトの設立。②専門別学術会議の定期開催。③多種多様な助成金制度の立ち上げ。

評価：我が国の医師を、医学の発達した日本で研修させることにより、視野を拓き、見識を深めさせることが出来た。

印象：プロジェクトの運営が良い。

制度の将来：先端的テーマの専門研修を行えば、研究者の進歩が早く、帰国後、自立して新しいテーマに取り組むことが出来る。

医学交流の将来：医学に国境は無く、全人類の財産であるので、医学交流は極めて重要である。①日本の専門家が中国で講義・指導する機会を増やす。②日本が世界をリードしている分野に中国の研究者を派遣して集中的に研修すれば、帰国後速やかに当該分野の研究を展開出来る。

評価：①中国医師が日本の先進的医療を学ぶことが出来る事。②中日医学交流を促進し、長所を伸ばし、短所を補い合い、共に発展することが出来ること。③相互理解を深め、対立を無くし、世界の平和に役立つ。

印象：中日双方の運営の連携が良く、手配が行き届いていて、我々は順調に日本での研究を終えることが出来た。

制度の将来：①絶えることなく継続することを希望します。②研究者の選抜と、指導責任者を選ぶ作業をもっと厳格にすべき、高い素質の研究者と責任感有る指導者を選べば更に多くの成果が上がる。③日本語研修を廃止し、筆記試験と口頭試験で選抜を行えば、時間の節約になる。

医学交流の将来：両国が実際に必要としている事をテーマとした相互交流を促進させる。

制度の将来：外国語研修から研修修了までの時間が長すぎるので、今後は英語で直接コミュニケーション出来る研究者と指導責任者を選び、時間を節約してはどうか。それによって必要なことを速く学び取り、併せて英語の応用能力を向上させることが出来る。

印象：日本側の熱心で行き届いた対応と、研究者の生活への至れり尽くせりの配慮。

制度の将来：継続を希望します。

医学交流の将来：華東地区（上海市、浙江省、安徽省、江蘇省、福建省、江西省）との交流活動の強化を希望します。

評価：①選抜が厳しい笹川奨学金研修生に選ばれたことを誇りに思う。②本制度により、自分の専門にふさわしい指導者と共同研究者

を得ることが出来る。③経済面の援助があるので、順調に研修を進めることが出来る。

印象：きちんと組織運営されていて、問題が生じたら直ぐに解決してもらえ、研修生は安心して研究を終えることが出来る。

制度の将来：看護分野の人材養成の人数を増やして頂きたい。

医学交流の将来：笹川医学奨学金制度が引き続き中日医学交流に貢献されることを希望します。心から感謝します。

評価：本制度に全面的に賛同する。中日双方の関係者は真面目に仕事に取り組んでいるが、日本側が民間組織のため、不十分な部分がある。この点を改善すべき。

印象：中日双方の組織活動については「同学会通訊」があるが、ホームページを充実させた方が実質的である。

制度の将来：継続を希望する。現行制度・特別研究者制度の他に、3～6か月の短期プログラムを増設、或いは日本での学術活動参加を支援するなど。中国側のハイクラスの帰国専門家にも交流の機会が継続される。

医学交流の将来：①帰国笹川生の専門別に、日本の指導責任者・関連大学、研究室を結んで共通のテーマで共同研究を行う。②年度別・専門別中日医学交流を毎年順序を決めて実施する。③笹川研修生に書籍・雑誌を送る。或いはインターネットを使い情報を提供する（日本の一部の専門領域は検索できず、読みとれない）。④中医薬に関心のある日本の専門家と共に研究したい。

印象：きちんと運営されている。管理能力が一流である。

医学交流の将来：帰国笹川生の短期訪日の機会をたくさん作って頂きたい。

印象：大変有益である。

評価：①中国医学・科学の発展に貢献した。②両国政府・人民の友好に貢献した。③世界或いは東アジアの医療に貢献した。

印象：①日中医学協会の人達は皆親切で、真面目できめ細かい。②日本人は中国人に友好的。③自分のレベルアップに役立った。

制度の将来：本制度を継続し、また、ハイレベルの訪問学者のプロジェクトを増やして頂きたい。

医学交流の将来：中日の専門家が協力して、中医薬・漢方薬の研究と開発を行い、世界的に普及させて行くことは非常に重要である。笹川医学奨学金制度のますますの発展をお祈りいたします。

評価：本事業は長期間に亘って、多くの中国の医師・看護師を養成した両国交流史上例を見ない一大壮挙であり、必ずや日中友好の歴史に刻まれるであろう。現在の中国医学の発展は、笹川医学奨学金制度抜きには語れない。

印象：①日中医学協会の仕事が真面目できめ細かい。②指導責任者が親切で、責任感がある。③全てが組織的に運営されている。

制度の将来：①事業を継続し、人数は適宜減らす。②優秀な帰国笹川生の短期訪問研修（1～3か月）を定期的に行う。多くの笹川生は機関のリーダー格になっていて、長期間職場を離れるのは難しい。③帰国笹川生が自分の専門分野の学術会議参加のため訪日出来るプロジェクトを設立して頂きたい。

医学交流の将来：医学交流は両国の友好往來の重要な分野です。以下のことを提案します。①両国専門家が定期的に学術交流会を開催する。②若い中日専門家の交流を活発にし、医学交流の後継者を作る。③専門家間の短期交流を行う。④中日医学交流専門団体である日中医学協会と帰国笹川生で「中日医学交流理事会」を設立し、交流を更に促進する。

評価：①中国医学人員に日本の先進的医学に触れる機会を与えた。②中国人医師の視野を拡げ、今後の発展に寄与した。

印象：①非常にきめ細かく、行き届いた事業で、研修者が速やかに研究に入れる。②自分の希望に応じて指導者・機関を選べること。

制度の将来：中国人民の幸福のため、本事業を継続して貫くことを心から希望します。

医学交流の将来：①日本が世界をリードする領域を重点研究項目とする。②日本の先進的臨床医学の実用技術と科学技術の学習を重点とする。

評価：①両国人民の相互理解と友好を促進した。②両国医学のレベルアップに貢献した。

印象：指導責任者の指導と、教室員の生活面・研究面での心遣い。

制度の将来：本事業を継続発展して頂きたい。

医学交流の将来：現在中国では学位を重視する風潮が拡がり、修士・博士でない者はほとんど教授や主任になれない。本制度は研修生ばかりでなく修士・博士を養成するコースも設置すれば効果が更に大きなものとなる。

評価：多くの医学人材を養成し、日中医学の発展に大きく寄与した。

印象：日中医学協会の至れり尽くせりの心遣い。

制度の将来：本事業を真摯に総括し、人材の潜在能力を発揮させ、中日医学交流を更に発展させたい。

印象：日本人の敬業精神。

制度の将来：本事業の継続を希望します。日本の専門家が訪中して研究することは、相互理解促進に有益だと思います。

医学交流の将来：専門家の相互訪問を多数実施し、学術交流活動を促進する。それにより両国民の相互理解を図ることが出来る。

評価：中国医学の進歩と両国人民の相互理解を促進した。

印象：スタッフの真剣な仕事ぶりが印象に残る。

制度の将来：選抜の際の年齢制限を緩和して欲しい。

医学交流の将来：中日医学交流を堅持する。

印象：本事業は組織的で、按配が行き届き、真摯で責任感がある。研修者に対する要求も厳しい。

制度の将来：①本事業を継続し、多くの人に機会を与える。②帰国笹川生の増加と共に、職責にも変化が見られる。3か月～半年の短期研修事業の設置、また、特別研究者制度の年齢制限を適宜緩和することなどを希望します。

印象：多くの笹川生は日本留学により先進知識・科学技術を学び、大きくレベルアップした。

制度の将来：①本事業を継続して貰いたい。②帰国笹川生は多くの者が責任有る地位に就いているため、1年の出国は難しい。短期訪日（3～5週間）が現実的だと思う。

医学交流の将来：中日医学交流が両国人民の友好に末永く貢献することを願う。

印象：中日医学交流と相互理解の促進。

制度の将来：意義有る本事業を継続して貰いたい。

医学交流の将来：中日両国は隣国であり、歴史的要因で理解より誤解が多い。日本人民の善良さは留学生に深い印象を与えた。中国は飛躍的に発展し、実力を付けており、短期間に世界に影響を与えるようになるだろうし、少なくとも日本人はそれを実感するだろう。もし誤解が深まり、相互理解が進まなければ、両国ともその代価を支払わねばならないだろう。日本の学生が中国で短期研修（臨床実習・見学等）する助成事業は創れないだろうか。

第19期

評価：医学の先進技術と理論ばかりでなく、日本の工業・交通等の発展状況を知り、今後の中華民族発展の勇気と方向を与えられた。

印象：訪日中の様々な心配り、盛大な歓迎式、研究報告書、事務局通信、歓送会等皆忘れがたい。

制度の将来：研究者の家族団らんの機会を設ければ、更に暖かみのある事業になる。まずは人間を大切に、我々は軍人ではないのだから。

医学交流の将来：①医学方面では、中国は明らかに日本より遅れている。我々は多くの症例を持っているのみだ。よって、教室間の交流を強化すれば双方にとって有益だと思う。②日本の医師の敬業精神には敬服する。中国に来て指導して欲しい。また、指導責任者も中国で講義をして頂きたいが、こちらは資金的に苦しい。その為の助成プロジェクトは創れないだろうか。

評価：WTOに参加したことにより、中国では世界に通用する専門家（ハイレベルで世界的視野を持つ）が益々必要となった。笹川医学奨学金制度は、いち早く中国の要求に応えた。

印象：①敬業精神。②日中友好

制度の将来：①笹川医学奨学金制度が長期に亘って運営され、益々充実していることを祝福したい。②特別研究者制度の年齢制限を緩やかにし、帰国後、長年経験を積んだ帰国笹川生に再来日の機会を与えれば、大変効果が有ると思う。

評価：笹川医学奨学金制度は、1500名の中国研究者を留学させ、日本及び世界の先進医療、技術、研究方法と理念を学ばせ、本人のみならず、彼等を通して中国の医療発展に巨大な貢献をした。

印象：笹川医学奨学金制度は他の奨学制度に比べて影響力が強く、日本の多くの研究者に知れ渡っている。これはプロジェクト実施者と笹川生の努力の賜物である。

制度の将来：日本の研究環境は、中国の研究者にとって大変羨ましい。日常業務は極めて多忙だが、是非また日本で研究したい。そこで①特別研究者の滞在期間を半年にする。②特別研究者が更に3か月ほど再来日する制度の設立を提言したい。

医学交流の将来：中日医学交流は学術交流のみならず、医療設備、機器、医療用品、薬品等の交流も深めるべきである。私の知る限り病院管理（医療経済）領域の交流が少ない気がする。

評価：国外の先進医療技術と研究方法を吸収したことは勿論、中日友好往來の増加や共同研究促進の機会を与えたことなど、誠に意義深いプロジェクトである。

印象：来日した夜の歓迎会が忘れがたい。指導責任者と初めて会った時の事が今もよみがえる。

制度の将来：①本事業を継続して、中国医学を世界の先進レベルに押し上げて欲しい。②選抜試験から訪日までの時間が長い、もし短縮出来れば、更に優秀な人材が訪日するだろう。

医学交流の将来：今後とも中国及び日本で中日医学交流を多く実施し、また、指導責任者と帰国笹川生が集まって情報を交換し、更に

交流と友情を深めたい。

評価：留学により視野が広がり、世界レベルと自分との差を理解し、現実にもった道を探ることが出来た。

制度の将来：特別研究者の年齢制限の緩和は可能でしょうか。

医学交流の将来：私は中西医结合による針灸神経刺激手法・治療、難治性尿道総合症（頻尿等）で良い成果が得られた。この分野の日本の専門家の指導を受け、更に研究を深めたいので、日中医学協会の援助を希望します。

評価：異文化への理解を促進出来る。

印象：留学前の研修。

制度の将来：看護分野の研修生を増やして欲しい。

医学交流の将来：各分野間の交流も配慮して欲しい。

評価：中国医学特に医学研究に大変貢献している。

印象：長期間（20年）に亘り大量の人材（2000名）を育成していること。

制度の将来：①この制度を継続して欲しい。②臨床研修を希望している人にもっと機会を与えて欲しい。

医学交流の将来：中日医学交流という大きな仕事は、自分の力では何も出来ないと思いますが、交流を深めることは私の希望です。私に出来ることがあったら何時でも全力でやります。

印象：各人の能力を存分に引き出す機会を作った。

制度の将来：特別研究者の年齢制限は必要ない、それ以外の条件を満たしている者にはチャンスを与えるべき。

医学交流の将来：更に多くの交流の機会を希望します。

第20期

印象：研究者の生活面への行き届いた配慮。

制度の将来：中国の医療体制は1986年（本制度開始時）に比べて大きく変貌している。両国とも現在の中国の実情に基づき、研修者の募集対象、養成目的、運営方法を考えればよりよい成果が得られる。

医学交流の将来：患者は国境を越えて治療を受けられるが、医師は国境を越えて治療を行えるだろうか？民間組織や学術団体は技術的・法律的に資格の相互認定の促進を図っては？

評価：中国のために多くの医療人材を養成し、彼等は帰国後皆各専門分野の指導的存在となった。

印象：指導責任者のレベルの高さ、知識の広さ、科学的思考の明晰さ、学問への厳しさ、そして人間性。

制度の将来：本事業を継続して貰いたい。

医学交流の将来：中日医学交流もまた政治や政府の影響を受けるが、様々なルートで多様な交流を続けることは、中国医学の発展に有益である。

印象：日本留学への夢を実現させてくれた架け橋。

制度の将来：特別研究者の選抜は中国側の推薦で行うべき。帰国研究者を良く知るのは所属機関であるので、元の研修機関の指導責任者の推薦は必要ない。また、選抜の基準は①在日中の業績。②帰国後の仕事の成果・業績。

医学交流の将来：中日医学民間交流は重要である。

印象：友好と友情。

制度の将来：継続。

医学交流の将来：更に緊密に。

医学交流の将来：大部分の笹川生は訪日前、日本語の勉強のみを重視し、短い1年間に手技を学んだだけで帰国になってしまう。それは彼等が臨床医で実験室を知らないからである。私は中国において出国予定の人員に一部の実験室を開放し、一か月前後研修し、実験方法というものを理解させれば、訪日後すぐ役に立ち、1年を有効に使うことが出来ると思う。私の実験室では出国前の短期研修が出来る。これは奨学金を貰った事に報いる一手段と言える。

印象：きちんと運営されていて、交流や意志の疎通がしやすい。

制度の将来：帰国笹川生と指導責任者が直接会って技術・情報の交流を行う（3か月以上）事を希望します。

医学交流の将来：交流の形式を多様化し、相互協力を促進する。

評価：笹川医学奨学金制度により両国の学術交流は広範な発展を見、中国のために多くの医薬学の人材養成に貢献した。笹川生は帰国後それぞれの分野でリーダー的存在となっている。

印象：①帰国笹川生への一貫した支持と援助。②留学生に対するきちんとした管理。③笹川陽平先生の人的魅力。

制度の将来：①笹川医学奨学金制度を継続して頂きたい。②笹川科研基金（年間100万円ー1400万円程度）を設立し、帰国笹川生の研究を援助すると同時に日本財団の中国における影響力を高める。③極めて優れた業績を上げた帰国笹川生が日本で学術交流する事業を定期的に行う。

医学交流の将来：①中日医学交流を更に発展させる。②広範な共同研究を促進する。③日本側が承認した中国の医学部・医科大学の優秀な中国人留学生を選抜し、直接日本の医師免許試験を受けさせる。④中国貧困地区の医療衛生事業を日本に援助して頂きたい。

評価：本事業は中国の医学人材を養成し、中国の医療水準、医療技術を促進させ、中日医学交流に非常に意義があった。

印象：指導責任者と教室員の敬業精神と仕事への姿勢及び中国の研修生への真剣で責任感有る指導。

制度の将来：本事業の継続を提案します。

印象：①心から日中医学協会に感謝いたします。②心から日本財団に感謝いたします。③心から笹川陽平先生に感謝いたします。

評価：笹川医学奨学金制度は中国にとっても、自分にとっても効果的な民間医療交流である。中国医療事業の発展と両国人民の友好往来を促進し、今日まで中国全土の広範な医療人員が日本で研修し、帰国後は各専門分野で大いに活躍している。

印象：笹川医学奨学金制度で最も印象に残ったのは、日本の美しい環境と日本人民である。特に指導責任者の中国人留学生への懇切な指導と敬業精神は学ぶべきところが多かった。私は「笹川生通訊」に“我が師の恩忘れ難し”という回想記を掲載した。

制度の将来：笹川医学奨学金制度は創立以来長い時を経て、まもなく2008年を迎える。本事業を総括する会議を開催し、同じ笹川生や指導責任者と往時を偲び、本事業の意義を再確認したい。

医学交流の将来：多くの医療人員が日本で研修し、帰国後活躍していることは、大変意義有ることだ。本事業は2008年に終了するが、私のように色々な事情で再訪日は出来ない研修生はその実現機会を切に願っている。多くの人員の受入が困難なら、少人数の短期研修、学術会議への参加、共同研究、定期学術交流等のプロジェクトにより昔日の成果を新たに発展させられると思う。

印象：事業の全てが合理的に運営されており、研修生は短期間に日本での生活や研修に適応することが出来る。

制度の将来：①中日医学交流に極めて意義有る本事業を必ず継続すべきと思う。②来日前の日本語研修の短縮（但し日本語の強化は必須）に留意して欲しい。

医学交流の将来：中日医学交流は多面的なものであり、研修生制度はその一つである。他の交流は必ず具体的テーマを実質的且つ長期的に研究すべきである。日中双方の長所を生かした共同研究への助成制度の設立を提案いたします。

評価：医療衛生人員の養成は、改革開放政策下の中国に大きな影響を与えた。

印象：組織的で上手く運営されている。

制度の将来：英語を第一外国語とする研修者にとって、日本語研修は日本での生活のためであり、目標値を高く置く必要はない。また、日本語は訪日後の実験室での主要言語ではない。よって日本語の日常会話の習得に長い時間をかけることはないだろう。

評価：①医学交流を通して医療技術のグローバル化を促進した。②共同研究を促進した。

印象：日中医学協会職員の責任感に満ちた仕事ぶり。

制度の将来：帰国笹川生が自由なテーマで申請出来る研究助成公募事業を設立して欲しい。

医学交流の将来：高級訪問学者の相互交流（1～3か月）

評価：素晴らしい制度、中国の医学、特に基礎医学方面に大きな影響を与えた。

印象：指導責任者の学問への姿勢。

制度の将来：継続して貰いたい。

医学交流の将来：経済発展により、中国、特に沿海地方の医療状況は著しい発展を見た。しかし、基礎研究分野では、まだ日本と差がある。日本の専門家には引き続きアドバイスをお願いしたい。

評価：帰国笹川生の活躍は、中国医学界で、また、それぞれの分野で益々重要になっている。

印象：緻密な運営、実効的な研究。本事業の効果は極めて顕著である。

制度の将来：本事業を継続し、更に広範に大規模に運営して欲しい。特に特別研究者の人数を増やすことは意義がある。

医学交流の将来：笹川医学奨学金制度は中日の文化交流と医学交流の模範となる輝かしい事業であり、両国人民の友好を著しく促進した。

印象：笹川医学奨学金制度は、中国の医師に日本留学の機会を与え、我々は日本での生活・研究において、日本医学界の発展と日本の

医師の仕事ぶりを体験することが出来た。

制度の将来：可能なら、継続発展させて欲しい。人数を減らし（50人程度）一人あたりの経費を増やして欲しい。

医学交流の将来：中日医学交流は更に広く発展させなければならない。中国の学者が日本の学術活動に数多く参加し、多くの日本の専門家が中国に来て指導するのがよい。

評価：笹川医学奨学金制度は医学交流の範囲に留まらず、研修により各々がレベルアップし、且つ教科書で習った「資本主義」である日本社会の様々な面を自らの目で見て、日本人の仕事ぶり、整然とした社会秩序、整った民主制度と法治等が深く印象に残った。また、日本語力も非常にアップした。

印象：①選抜の公正さ。②日本側の精緻な仕事。

制度の将来：①私が本制度に応募した当時、日本の研究施設に関する資料は「医育機関名簿」だけで、提供された資料は大変少なく、さっぱりわからない状態だった。現在は改善されたのだろうか。②研修期間中に少なからぬ者がアルバイトをしていたが、これは恥ずべき事だ。③同学会の刊行物を増やし、日本の情報を伝えて欲しい。

医学交流の将来：申し訳ないが、平素この問題について、余り考えていない。しかし、青海省など遅れた地域は交流の機会が非常に少ないと感じる。また、日本でよく読んでいた日本語の医学雑誌が今は読めなくなったのが残念だ。

評価：非常にきちんと運営されている。

印象：研修生の専門分野（テーマ）に合わせて指導責任者を選ぶ。

印象：箱根セミナー、日中医学協会職員からの連絡と配慮。

制度の将来：①訪日前に研究機関や指導責任者に関する事を研修者に理解させて、研修や研修テーマについて充分準備させる。②研修生に支給される援助金を増やす。

医学交流の将来：交流の機会を増やす。

印象：日本側専門家の仕事に対する無私な精神と、研究に対する姿勢。

第21期

制度の将来：継続して貰いたい。また、帰国笹川生にも助成して欲しい。

制度の将来：継続を希望します。

評価：笹川医学奨学金制度は中日医学交流の架け橋となり、中日友好に大きな貢献をした。本事業の実施により研究者はレベルアップし、各領域で大きな貢献をしている。

印象：笹川医学奨学金制度について、我々は日本財団、日中医学協会、中国衛生部が本事業に心血を注いで実施していることを感じた。また、帰国後のフォローの厚さ、特にSARS流行時にはそれを感じた。

制度の将来：派遣された機関で、自分の希望研究内容の全部が満たされない時には、他の学科・学部や機関で短期間学べるようにするのがよい。

医学交流の将来：本事業の研究期間は1年であるが、必要な者は一定期間滞在を延長し、ある者は帰国後研究に合致した仕事を行ったのち、専門上のことで必要があれば短期で再訪日して勉強する。また、指導責任者が中国に来て指導しても良い。柔軟に運営してこそ大きな成果を収めることが出来る。

印象：きちんと運営されていて、研究者にも配慮がなされている。

制度の将来：事業を継続し、交流を一層強化したい。

医学交流の将来：①本制度を更に充実させ相互交流を促進する。②交流の範囲を拡げ、共同研究を促進し、帰国笹川生にも適用する。期間は1年である必要はない。③科研基金を多数設立し、重要な研究テーマには重点的に助成する。今の助成額は少なすぎる。

評価：笹川医学奨学金制度は中日医学交流として、広範な中国医学人員を日本に派遣し、世界の先進的医学研究に触れさせ、自己とのレベルの差を認識させ、併せて今後進むべき方向と目標を与えた。中国の医学レベルの向上に非常に有意義な事業である。

印象：①規模が大きく、影響力が強い。②きちんと運営されている。③公正で透明である。④帰国後のフォローもある。

制度の将来：①本事業を継続して貰いたい。②更に多くの交流の機会を提供して欲しい。（笹川生間、及び笹川生と指導責任者、医療機関同士の学術交流など）

医学交流の将来：①本事業に関して、私の心に残った印象は、A、自己申請制度と語学試験による選抜。B、語学研修の実施。C、研修生への保証が完備している事。②笹川医学奨学金制度は2008年に終了するが以下のことを希望したい。A、本事業をきちんと総括し、次

期事業の参考に。B, 笹川生間の学術交流を引き続き支持し、例えば指導責任者と帰国笹川生の交流の機会を持つ。C, 帰国笹川生が研究助成の申請を出来るようにする。D, 相互交流の促進、例えば日本の学生や医療関係者に中医学を学ぶ機会を提供する。

評価：①中国の医師のレベルアップに大きく貢献した。②中日医学交流の基礎を固めた。③派遣人員が最も多く、また、帰国している。

印象：①選抜の公正さ。②厳格な運営。③長期間で多数の人材育成。

制度の将来：①笹川医学奨学金制度の継続を希望する。②帰国笹川生に研究奨励金を提供して貰いたい。

医学交流の将来：①中国西部地区との医学交流を希望します。②日本の専門家が雲南省に来て指導して欲しい。③帰国笹川生が日本の学術会議に参加するのを援助して欲しい。

評価：本事業は中国の若い医学者に日本の先進技術と医学管理、医学教育を学ばせたばかりでなく、中日の相互理解と文化交流の促進に積極的な役割を果たした。

印象：①二期に亘る日本語研修は長すぎる割に効果が薄い。一期実施して直ぐに訪日した方が効果的である。②訪日したばかりで慣れの頃、指導責任者が生活面・研究面で親切に助けてくれたこと。

制度の将来：①二期に亘る語学研修を一期にし、訪日までの時間を短くする。②論文の完成のみを研修成果の基準としない事。テーマにより長い時間を必要とする時もある。③訪日時の研究テーマは、種まきの期、収穫期の双方があり、具体的状況はそれぞれ異なる。大部分は1年では足りない。状況が許せば、指導責任者の意見を基に、一定期間の研究期間延長を行う事も有って良いのでは。

医学交流の将来：相互交流と共同事業を活発にする。帰国笹川生が訪日して学術交流活動に参加したり、指導責任者が訪中して講義・指導を行う等。

評価：笹川医学奨学金制度により、医学知識を学んだばかりでなく、日本に対する認識も深めた。本事業は両国人民と医学士の相互理解も促進させた。

印象：きちんと運営されている。指導責任者の学問への姿勢。

制度の将来：この制度は中日医学交流を促進し、志を持った青年を鍛錬した。しかし、滞在期間が短く、課題をやり遂げるためには大変忙しく、大きなプレッシャーがかかる。もう少し長期的な交流を打ち立てて欲しい。

医学交流の将来：中日医学交流は両国にとって有益である。より多くの青年が日本に留学することが、相互理解の最も良い方法である。更に機会を増やすことを希望します。

評価：中日友好と両国医学の発展を促進した。

印象：生活面での配慮が、細かく行き届いている。

制度の将来：継続を希望します。

印象：運営がとても良い。

制度の将来：更に多くの青年医師が日本で学べるよう希望します。

医学交流の将来：更なる交流の強化と、日本の専門家が訪中して講義・指導することを希望します。

印象：日中医学協会の業務が見事、研修生に対する生活面の配慮も行き届いている。

制度の将来：①出国までの研修時間を短縮する。②人数を増やす。③研修を順調に開始するため、訪日前に指導責任者ともっと連絡を取りたい。訪日後の研究に有利である。

医学交流の将来：①近年の中国医学の発展は目覚ましく、多くの成果を上げてているが、全体的水準は依然として日本の方が高い。更に高度な、例えば特定のテーマに絞った共同事業を展開する方向に進みたい。②中国政府は多様な医療事業形態を奨励している。私立病院の経営は日本が多くのノウハウを持っており、その方面の交流は出来るだろうか。③中国の広大な内陸部はハイレベルの医師を必要としている。留学生の選抜において、配慮して頂きたい。

評価：①中日両国の広範な医学交流の促進。②両国の交流と共同研究領域の拡大。

印象：研究者への配慮が行き届いており、安心して生活・研究が出来る。

制度の将来：更に長期的に発展させ、中日両国医学、ひいては世界の医学に貢献して頂きたい。

医学交流の将来：日本の専門家が訪中して、各分野の医学研究の動態を紹介して欲しい。

印象：苦勞もしたが収穫は多かった。しかし帰国後、所属機関では修了証を学歴として認めてもらえず、博士号を取るのには更に難しい。

制度の将来：①笹川医学奨学金制度は中国医療事業の需要に合致したものであるべきである。②日中医学協会は中国衛生部等関係機関と協議して、中国医療機関が笹川制度を正式な学歴として認めるよう発布させるべきだ。笹川生の総合的实力は多くの博士号取得者を上回っているし、また、帰国笹川生を励ますことになる。笹川生が正式に認知されてこそ、本制度は成功し、影響力を深めることが出

来る。

評価：本制度は既に 1400 名以上の人員を研修させ、帰国後笹川生の多くは日本との交流を続け、両国医学の重要な架け橋となっている。特に専門分野の発展においては彼等の相互交流が積極的役割を果たしている。

印象：①非常に良く整備された事業で、日本側職員や受入機関と意志の疎通が図りやすく、研究が比較的短時間に高い段階に入ることが出来た。②訪日前の語学研修や日本の文化的背景の紹介は有益だった。

制度の将来：更に多くの疾病コントロール領域の人員を留学させ、予防医学分野の人材養成を進めて欲しい。

医学交流の将来：より多くの専門分野（機関）間の相互交流を展開して頂きたい。

印象：実直な運営。

制度の将来：①滞在期間を 2 年とする。②特別研究者の滞在期間は 3～6 か月或いは数か月等本人が決める。

医学交流の将来：帰国笹川生が日本での学会参加や共同研究を行うため、定期的な援助をお願いしたい。

評価：①本事業は選抜や来日前の段取りが複雑すぎる。②募集対象は日本語を第一外国語とする者を主な対象とすべきで、そうすれば語学研修の時間や訪日後の言葉の問題を減少させることが出来る。

印象：きちんと運営されている事業で、研修者は所期の学習目的を達成出来る。日中医学協会に責任感があり、運営の全てが整然としていて、筋道が立っている。

制度の将来：この制度実施以来、研修生は既に相当程度に達し、私の所属する大学病院でも各科 2～3 名の笹川生がいる。今後は範囲を決め、重点目標を定めた事業にしてもいいと思う。中国で遅れている分野、レベル別の人員養成、実験室の建設等。また、日本の専門家の短期訪日指導も効果的だと思う。多くの帰国笹川生は日本で学んだ事の応用段階で困難にぶつかっている。

医学交流の将来：①中日医学交流は両国医学の発展に重要な役割を果たしている。特に多くの先進的医療技術や研究理念が日本との交流を通して中国に広まり、予防・診断・治療に大きく貢献している。②中国の伝統医学は「治療」を重んじて「診断」を軽んじ、結局投薬を主としている。現在においても、患者も医師もその伝統を踏襲している。特に慢性病、先天性或いは遺伝性の疾病にその傾向が顕著で、診断が困難で知識も不足している。中国は疾病の診断技術及びその施設の建設を重視すべきであり、中日医学交流もこの方面に重点を置きたい。③中国は人口が多く疾病の種類が多い。しかし経済水準の都合により多くの難病と疾病に対し適切な診断と治療が出来ないでいる。日本においてはこの種の遺伝性、先天性疾病の治療は無料であるので、研究も進んでいる。当該研究分野で日本との交流を進めたい。

評価：先進国による途上国への援助事業の成功例である。中国医学者に科研能力を高める機会を与へ、両国医学者の交流と理解を促進した。

印象：日中医学協会の職員が我々の研究の為に様々な苦勞をしてくれた。

制度の将来：今後は帰国笹川生にも助成して欲しい。特に元指導責任者と帰国笹川生との共同研究や交流を重視して頂きたい。

医学交流の将来：帰国笹川生と指導責任者、団体が短期的でなく長期に亘る学術交流・指導・学習班などの活動を行うのを援助して頂きたい。

印象：整った制度であり、良い環境を提供しているので、研修者が学習に専念出来る。

制度の将来：継続して貰いたい。

医学交流の将来：学術検討会を開催して頂きたい。

評価：中国の医学発展のための金銭では計ることの出来ない重要な架け橋で、その潜在的な功績は月日を重ねる毎に重さを増している。

印象：本事業と担当スタッフが暖かい配慮をしてくれた。

制度の将来：帰国笹川生の中日共同研究に助成して頂きたい。

評価：①奨学生に得がたい機会を与えてくれた。②日中友好を促進した。③中国医療水準の向上に貢献した。

印象：財団がしっかりした援助をしてくれたので、研究に専念出来た。また、博士課程に進む基礎を作ってくれた。

制度の将来：①短期学術交流や日本での学会参加に援助して欲しい。②科研基金を増やし、笹川医学奨学金制度の助成の種類を広範なものにして欲しい。

医学交流の将来：①学術交流活動や学会を多く開催したい。②共同研究を促進したい。③連携を深め、情報交換を活発にしたい。

評価：笹川医学奨学金制度を通して、広範な医学人員が世界の医学特に日本の医薬学に触れる機会を得、先進知識を掴み、中国の医療事業発展に大きな貢献をした。

印象：笹川陽平先生が全ての研修生に関心を払い、多忙にも拘わらず研究者と交流してくれることには大変感動した。

制度の将来：日中医学協会は後進地区で経済的に苦しい中国西部地区との交流に力を注いで欲しい。

医学交流の将来：医学交流は比較的多いが、薬学交流は非常に少ないので強化して欲しい。

印象：日本語研修。

制度の将来：人数を増やして欲しい。

医学交流の将来：交流分野の拡大、特に臨床医学の相互交流を盛んにしたい。

印象：日中医学協会の行き届いた手配。

制度の将来：留学期間については柔軟に対応して頂きたい。例えば臨床研修は3か月、半年、或いは1年に分けられる様にすれば、更に多くの中国医師が訪日出来るし、笹川医学奨学金制度の影響も強くなると思う。

医学交流の将来：多種多様な交流、日中医学協会のホームページを使ったネットワークによる交流。

印象：箱根セミナー。

制度の将来：①再来日、再々来日の機会を与える。②帰国笹川生への研究助成金。③看護分野の人数を増やして欲しい。

印象：①共同研究が出来たこと。②日本語能力が向上したこと。

医学交流の将来：更に交流を促進したい。

評価：①人材を養成し、中国医学の発展を促進した。②両国の相互理解と友好を進めた。

印象：規模や期間が長期に亘り、影響が大きい。

制度の将来：医学界の相互交流の機会を増やす。

医学交流の将来：①交流の機会を増やす。②共同研究を促進する。③相互訪問の実現。

評価：笹川医学奨学金制度は多くの中国医学人員に日本の先進技術・医療を学ぶ機会を与え、併せて、日本の風俗習慣への初歩的理解をもたらした。

印象：運営が計画的で、行き届いている。

制度の将来：更に10年間の継続を希望します。

医学交流の将来：中国医学の人材養成は有意義である。西部地区の人数を増やして欲しい。

印象：医学の進歩を人類が享受すること。

制度の将来：相互協力事業の推進。

医学交流の将来：長期的な友好と共同事業。

第22期

評価：①中国の為に多くの世界に通用する医学人材を養成したこと。②中日医学交流を促進したこと。③帰国笹川生の相互交流にも力を入れていること。

印象：①日中医学協会は選抜後の一切の事に関して、非常に周到な按配をしている。②笹川医学奨学金制度の研究者となったことは生涯忘れぬ思い出である。

制度の将来：勿論本制度を継続して頂きたい。少なくとも、特別研究者制度は続けて頂きたい。2008年に事業が終了するのなら、それ以後は笹川生の短期訪日や指導教官との学術交流プログラムを実現して頂きたい。

医学交流の将来：①交流領域の拡大。②両国青年研究者の交流促進のための基金設立。③中日医学交流の専門情報誌の創刊。④中日医学交流のため、多くの基金を設立する。⑤学術会議の定期開催。

評価：北海道大学医学研究科の、笹川生の研究活動へのフォローが素晴らしい。

印象：本事業は中国から医学人材を集め、学問を深める機会を作った。

制度の将来：①厳格な選抜制度により、優秀な人材に公平な競争のシステムを与える。②助成額を増やし、本制度の魅力を維持する。

医学交流の将来：笹川医学奨学金制度が長く継続されることを希望します。

印象：中国医療衛生事業に無私の貢献をした。

制度の将来：本事業を一部改善し継続する。①特別研究者の研究期間の延長をする。②帰国笹川生への研究助成を行う。

医学交流の将来：中日医学交流は双方向なもので、日本の教授が中国で指導したり、研究者が研修に来たりするのがよい。

印象：①組織的な運営。②来日前の日本語研修は日本語未習者にとって大変有益。

制度の将来：①特別研究者への申請が大変難しい。②帰国後、日本側機関との小規模な短期共同研究に対する助成制度を設立して欲しい。

い。

評価：中国医学界の優秀な人材が、研修により日本社会、医療体制に対する理解を深め、併せて、中国の文化、医療方面の成果と消息を日本に伝えた。

印象：箱根セミナー。

制度の将来：①継続し第三期事業を行って欲しい。経済的事情が許さなければ、人数縮小はやむを得ない。②現在実施中の特別研究者制度の年齢制限を撤廃し、全ての帰国笹川生にチャンスを与えて欲しい。

医学交流の将来：①学术交流を増やす。②帰国笹川生に対する研究助成を増大させて欲しい。

印象：日中医学協会の配慮は人情味が溢れており、日本滞在中、孤独感とは無縁であった。

制度の将来：①永遠に継続して欲しい。②将来日本からも訪中して交流して欲しい。

医学交流の将来：①研究者の大多数は医師であるが、実際に日本で臨床に従事した者はごく僅かである。研究者が日本で学習した先進医療技術を中国に導入する事こそが、本制度の意義であり、効果を上げる事なのであるから、1年間の研修終了時の形式的報告に拘ることは無いのではないか。1年間で何か結果を出すことが本制度の主要目的では無い。②制度の経費の一部を指導責任者が訪中し、受入研究者の所属機関で学术交流する費用に充てれば効果は益々上がると思う。③笹川生間（帰国・在日中の者を含む）の交流の機会を多く持ちたい。

印象：中日医学交流を促進し、中国医療人員のレベルを高め、両国医学人士の相互理解を進めたこと。

制度の将来：帰国笹川生の短期訪日プログラム（3か月）を実現し、研究の更なるレベルアップを図る。

医学交流の将来：学会会議の定期開催を提案します。

評価：①両国人民の親近感を築いた。歴史を忘れず、更に現在を重視する。②中国人民の医療向上に貢献した。笹川良一、笹川陽平両先生に感謝します。③この制度は両国人民の友好の証であり象徴である。

制度の将来：水を飲む時、井戸を掘った人の事を忘れてはならない。我々は中国の発展を思う時、日本人民への感謝の念を想起する。我々は第一線の医師であるので、良い方法は思いつかないが、双方の合作による共同研究を促進したい。

医学交流の将来：中日医学交流は20年近いので、今後は実質的な交流を希望する。新たなプログラムを作成し実施して頂きたい。

印象：①効率的な人材養成。②同学会の連絡網

制度の将来：業績のある中国の専門家を選抜し彼らを日本に派遣する。日本の業績のある指導責任者を中国に派遣し、相互交流を促進する。

医学交流の将来：①引き続き人材養成を促進し、特別研究者の比率を増やす。②臨床系笹川研修生の滞在期間を6～8か月とし、基礎系は15～18か月とする。③帰国笹川生が日本の学会（秋季）に不定期に参加出来るようにする。④更に多様な交流を行う（国際共同事業等）。

評価：笹川医学奨学金制度は中国医療人員のリーダー養成に適切な協力をした。私は本制度の受益者として、日本政府、人民、日中医学協会、指導責任者と教室員に心から感謝する。私は専門である生物医学分野において知識の系統化、実験技術の先進化を学び、思考方法は厳格且つ科学的になり、帰国後仕事に役立っている。

印象：本制度は、きめ細かい配慮により、学習・生活両面において良好な環境を与えてくれ、研究者の専門分野においても有益であった。また、帰国後も日中医学協会は我々を忘れず、同学会を通して心配りをしてくれている。私は、日本での生活を記憶に留め、指導責任者や日本の友人を懐かしんでいる。

制度の将来：本事業の継続をお願いする。また、帰国笹川生の期別・地域別のセミナーを毎年開催し、仕事上、或いは先進的・今日的的問題について交流活動をしたい。開催地は日本でも中国でも良い。また、指導責任者と帰国笹川生の学术交流を盛んにし、特に特別研究者の人数を増やして欲しい。私は2006年に訪日し、指導責任者と一緒に課題を完成させたい。

医学交流の将来：中日医学交流は今日まで多くの業績を上げてきたが、特に中国医学の急速な発展と人材の大量育成に多大な貢献をしている。私は中国国民の一人として深く感謝する。日中医学協会が中日医学交流の発展に引き続き貢献することを希望します。医学領域におけるシンポジウム、年間報告会等を開催し、先進技術や論文について交流を推進したい。我々参加者も資金の一部を負担する。今後、日中医学協会は研究所間、病院間等医学領域の相互協力を促進し短期或いは長期の交流や人材養成に積極的に取り組んで頂きたい。

印象：運営がしっかりしているので、研修効果が保証されている。

制度の将来：①本事業を継続し、中国のためにより多くの人材育成をして欲しい。②より多くの日本の中青年的医師・研究者・看護師が中国との交流をして頂きたい。

医学交流の将来：①貧困地区との交流を盛んにしたい。②2年に一度看護交流をし、日本の専門家を招く。現在中国の看護レベルは向上しており、共同研究が可能である。長期的に見れば5年後には笹川事業のような効果が期待でき、中国の看護事業をレベルアップで

きる。

印象：研修生へのきめ細かい配慮。

制度の将来：研究者は帰国後の職務により長期出国は難しいので、特別研究者は短期にすべき。

評価：①本制度は既に 1500 名が帰国して、祖国のために尽くしている。②日本の先進技術や管理・研究概念を帰国後多に役立てている。③日中友好と国際協力を推進した。

印象：事業がきちんと運営されており、研修生の研究上・生活上の困難を解決出来るよう、きめ細かい配慮がされている。

制度の将来：語学研修の期間を短縮して欲しい。

医学交流の将来：中国の医学・医療制度・保険制度は、今正に改革の真っ只中であり、多くの研修生が優れた制度である笹川医学奨学金により多くの知識を中国にもたらし、改革事業の推進力となっている。今後も本制度を継続し、より多くの人材に日本の先進技術や管理方法を学べるようにして頂きたい。

印象：領域が広く、長期間であること。来日前の研修。来日後の行き届いた配慮。

制度の将来：帰国笹川生に日本との交流機会を提供出来れば、本事業を更に有益なものにすることが出来る。

医学交流の将来：交流範囲を更に広げたい。特に帰国笹川生や日中医学協会など関係機関が努力し相互交流を発展させたい。

評価：来日前は自分の臨床に関する視野は狭かったと言える。来日後、ずいぶん苦勞して勉強し、多くの知識を得、視野が広がった。基礎研究を臨床につなげる重要性を理解し、今後の自分の臨床に対して自信が持てるようになった。

印象：研修生の研究や生活に対する配慮が行き届いており、至れり尽くせりであった。非常に感激した。

制度の将来：継続し、更に発展させたい。

評価：日本の看護方法を学び、帰国後応用して上手くいっている。

印象：研究だけでなく、生活方面にも配慮が細かく行き届いている。

制度の将来：本制度を継続して頂きたい。

医学交流の将来：今後とも様々な形式の中日医学交流を継続したい。

印象：箱根セミナー。

制度の将来：①日本の博士課程で学ぶための助成をする。②短期（3か月）訪日プログラムを実現して欲しい。

医学交流の将来：①日本の専門家（3～5名）が訪中団を組織し、各地で学术交流や新技術の紹介を行うのがよい。②発展の遅れた地区（特に中西部）との長期的交流を強化したい。

印象：来日前の日本語研修は、とても役に立つ。

制度の将来：①研修生として来日中に特別研究者の申請が出来るようにする。来日6か月後に申請し、合格すれば、1年滞在延長する。2年続けて研究すれば効果が上がる。②大学院や論文博士のために日本に残っている笹川生への助成は出来ますか。③家族の来日も手配して頂ければ更によいのですが・・・。

医学交流の将来：①多種多様な学术交流、中国医師の短期（1～3か月）研修等を実現したい。②両国の専門別学会の交流の強化。

評価：笹川医学奨学金制度は中国医療関係者に日本留学の機会を与え、中日医学交流を促進させた。両国医学の発展に大きな意義があると思う。

印象：笹川医学奨学金制度の職員の熱心で行き届いた仕事ぶりは、我々に深い印象を与えた。

制度の将来：本制度の継続を希望します。

医学交流の将来：中日両国の医学交流が更に発展することを希望します。

評価：本事業は中国医学界のために多くの優秀な人材を育成し、特に我々のような開発の遅れた地区の医師に得難い留学の機会を与え、当地区の医療事業の発展に大いに貢献した。誠に時宜を得た事業であると思う。

印象：日中医学協会職員の責任感に満ちた仕事ぶり、指導責任者の熱心で辛抱強い指導は我に深い印象を与えた。

制度の将来：①本事業の継続を希望します。②同学会の学術交流会は各地区で毎年開催したい。③「笹川生通訊」も継続して欲しい。

医学交流の将来：中日医学交流を更に充実させ、関係を密にしたい。中国側が日本の学者の指導を受ける機会を増やすのがもっともよい。

評価：笹川医学奨学金制度は中日医学交流の促進と医療水準の向上に非常に有意義である。

印象：研修生の学習と生活に対する行き届いた配慮。

制度の将来：①非常に良く運営されている制度なので是非継続すべきと思う。②帰国笹川生の短期訪日研修と、笹川事業や世界の先進的医学情報を定期的に笹川生に提供するようにして頂ければありがたい。

医学交流の将来：中日医学交流、特に臨床医学方面の交流を促進したい。

評価：育成された 2000 名近い現代医学に精通した研究者は、帰国後我が国医療分野の中核となり、一部は責任者となっている。本事業は中日両国人民の友好と相互理解及び文化交流の促進に深く貢献した。

印象：きちんと組織運営されている。

制度の将来：本事業の継続及び、帰国笹川生の国際学会参加と両国専門家の学術交流活動（1～3か月）への助成を、事情が許せば実現して頂きたい。

医学交流の将来：留学生の相互派遣と学術交流活動・共同研究を広範に促進したい。

評価：笹川医学奨学金制度は中日医学交流の発展を促進し、中国医療人員が多くの知識と技術を学び、日本を知り、能力を向上させ、大部分の者が帰国後大きな成長を遂げている。また、一部の者は日本に留まり研究を深めている。本事業は中日医学交流と中国医学及び研究者自身の為に非常に有意義である。

印象：笹川医学奨学金制度の大きな特徴は、その運営能力にある。選抜、日本語研修、面接試験、来日中の各方面の按配と帰国後のフォロー等他に例を見ないプロジェクトである。

制度の将来：①笹川医学奨学金制度は既に 20 年の歴史を持ち、中国医学に良い影響を与え、その名が知れ渡っている。今後も本事業を継続し、より多くの中国の若手医師に機会を与え、両国の人的交流と医学交流に貢献して欲しい。②今後は研究者の選抜、特に特別研究者の選抜に関して、公開性と透明性を高め、申請者に状況を知らせ、不採用になった者にはその理由を通知して欲しい。

医学交流の将来：①中日医学交流を更に広範にハイレベルなものに発展させたい。②人材養成以外に、中国は医療管理方面に於いて多くの解決しなければならない問題がある。疾病予防と公衆衛生を例に取れば、中国各地の CDC（疾病予防控制中心）の責任者を訪日させ、日本の疾病予防・管理のノウハウを学ばせる必要がある。今回の SARS の流行に於いて、中国の公衆衛生分野の力不足の深刻さが明らかになった。

評価：研修先の選択が盲目的であることが問題。臨床医は臨床レベルの高い研修先を望み、研究者は科研水準の高い機関を望むが、事前に日本の大学の特徴が理解されていない。

印象：日中医学協会の運営能力が高い。研修者の研究・生活を順調に進めている。

制度の将来：①研究先の選択は極めて重要。研修者に事前に日本の各機関の特徴等の情報を提供し、当該研修者が最適な機関を選べる様にする。②中国の生活水準の向上に合わせて、奨学金も増やすべき。

医学交流の将来：両国の相互訪問を活発にし、お互いの特徴や欠点を理解し合い、研修者が自分に適した研究機関を選択出来るようにする。

評価：視野が広がった事。

印象：初めて国外に出て、日本の医学や社会の全てが非常に印象的だった。

制度の将来：年齢制限を、1 回目は 30 才以内、2 回目は 40 才以内とするべき。

医学交流の将来：①中国の専門家が日本で学ぶ以外に、日本の専門家が短期訪中して、指導する（手術手技の公開・内視鏡操作等）②学術団体を設立し、中文・日文の学術情報誌を刊行する。

評価：①笹川医学奨学金制度は中国医学界のために多くの有為な人材を育成し、彼らは帰国後、順調に自己の仕事の基礎を固めている。②本事業は両国人民の相互理解と友誼及び医学交流・専門交流を促進した。

印象：①日本側職員の周到な配慮により、初めて出国した若い研究者が、安心して研究に集中出来た。②帰国後のフォロー。

制度の将来：特別研究者への申請・採用後の来日までの手続きを簡単且つ柔軟にして欲しい、中国国内、特に我々軍関係はシステムが複雑なので・・・。

医学交流の将来：①我々の E-mail に中日医学交流の情報を流して欲しい。中国政府各部門の通知を受け取った時にはもう遅い事が多々ある。②共同研究事業を更に多く、又自由な形式で申請出来るようにして欲しい。全ての申請書に所属機関の公印が必要だとすると、途方もない時間の浪費となり、また、ある部門の干渉や意地悪を受けやすい。よって多くの者がチャンスを放棄せざるを得ない。もっと柔軟にして頂きたい、例えば訪米して共同研究する等。③アンケートに答える機会を与えて頂いたこと、不満と意見を聞いて頂いたことに感謝します。

評価：①多くの事を学び仕事に役立った。②日本への理解が深まった。③日本語が上手くなった。

印象：①日本語の先生が熱心だった。②自分で研修先を選べるので、能力の向上に有益。③生活上の配慮が行き届いているので、研究に全力投球出来る。

制度の将来：①特別研究者の申請条件を緩和して、元の研修地・指導者以外の機関で研究出来るようにして欲しい。②本事業を継続することは中日双方の利益となる。③帰国笹川生への科研援助を強化して頂きたい。

医学交流の将来：①日本の専門家の訪中講演を増やす。中国には多くの大手外国製薬企業があり、彼らは常々世界の著名学者を中国に招いて講演をさせており、中国の医師は学術的な考え方の面で世界の傾向との同時性を保つことが出来る。何故日本の製薬企業は自国

の専門家を中国に派遣しないのだろう。これでは中国の医学者に日本医学のレベルを知らしめることが出来ない。②短期訪日研修の実現。帰国後、問題にぶつかった時、3～6か月の短期訪日をして研修を受けたい。1年は必要ない。

評価：本事業は中国の医師にとって大きな助けとなった。

印象：きちんと運営され、暖かみもある。

制度の将来：継続して頂きたい。

医学交流の将来：日本の専門家が訪中して講演して欲しい。

評価：中国医薬の科学的な現代化と両国の相互理解を促進した。有意義な交流事業を存続すべきである。

印象：手配・配慮が優れている。

制度の将来：①本事業を更に多様に継続・発展させて頂きたい。②助成金の額を上げて欲しい。③特別研究者の比率を増やして欲しい。

医学交流の将来：日本と中国は隣国で、習慣も似通っているので、医学交流の効果も大きい。毎年中国と日本と交互に場所を変えて笹川生の学術大会を開催したい。

印象：①日中医学協会の事業運営がしっかりしていて、研究・生活は満足のいくものだった。②指導責任者が熱心に指導してくれた。

制度の将来：中日医学交流を継続・発展させ、研究援助も強化して欲しい。

評価：中国衛生事業の発展を促進した。

印象：他の奨学制度より管理が厳しい。

制度の将来：瀋陽・長春の日本語研修は全員に義務付けなくてもよいのでは。瀋陽の学習をやめる。

医学交流の将来：臨床医の半年か3か月程度の短期訪日研修プロジェクト。一定の予算内での人数を増やすことが出来る。

評価：本事業の成果は永遠である。

印象：厳しく科学的な運営。内容が充実していて効果が高い。

制度の将来：事情が許すなら、更に発展させて欲しい。

医学交流の将来：条件が許すなら、多様な形式での中日交流の機会を提供して頂きたい。

評価：笹川良一先生が創立した本事業は、中国医学に対しても、両国人民の友好と相互理解にも大きく貢献し、笹川生は帰国後大きく成長し成果を挙げ、制度に対する人々の評価も高い。

印象：日本人が友好的であること。仕事を愛し、且つ能率が高いこと。

制度の将来：本事業を不断に継続して頂きたい。両国の状況の変化に合わせて若干の調整は必要。

医学交流の将来：①第二次10年計画の実現により、両国医学研究者の交流は更に拡がり、特に帰国笹川生と日本側指導者との交流の場を提供したことは大きい。②そこで特別研究者制度以外に3～6か月の短期研修プログラムの実現を希望したい（多くの笹川生は帰国後、責任ある立場になり、長期間の出国は難しい）。③また、2～3年に1回、日本の高度な専門家が中国を訪れ、指導や学術成果の講演をして貰えば、帰国笹川生への大きな助けとなる。④私は笹川医学奨学金制度が両国医学人士の支持の下、益々発展することを衷心より願う。

評価：中日両国人民の交流を促進し、中国医学関係者の視野を広げた事。

印象：本事業の奉仕の精神が強く印象に残った。

制度の将来：本事業がより良く発展することを希望し、併せて国際会議への参加援助をお願いしたい。

医学交流の将来：今後とも医学各領域の相互交流が深まることを希望します。

第23期

印象：笹川生の生活面への行き届いた配慮。

制度の将来：継続して頂きたい。

医学交流の将来：中日医学交流の重点を西部地区に置き、遅れた地区の医療水準を向上させて欲しい。

評価：①中国医科学事業の進歩発展を促進した。②笹川生の日本への理解と、日本の教室研究員の中国への理解を促し中日友好に意義があった。

印象：①日本の研究室のレベルの高さと、日本の教授の責任感。②日本の象徴である富士山に行く機会があり（箱根セミナー）嬉しく誇りに思った。

制度の将来：事業継続の協定を結び、より多くの中国人研究者を日本に呼んで欲しい。

医学交流の将来：中日医学交流を助け、中日友好を促進するべきである。

印象：①中日友好と相互理解②中日医学交流③多人数への大規模な資金援助等目的が明確である。

制度の将来：①滞在期間は2年間で最も良い②家族の呼び寄せに関し配慮が欲しい。

医学交流の将来：①日中笹川医学研究者制度を更に適切なシステムに調整し継続する。②自費で再来日した研究者への援助を期待したい。彼等は往々にして経済的困難に見舞われ学業にも影響する。彼等を援助出来れば良い成績を収める事が出来、日中笹川医学研究者制度に恩返し出来る。

評価：日中笹川医学研究者制度はとても良い。中日の医学と世界の医学の発展に寄与している。

印象：本制度は招請した研究者に責任を持って対応しており、日本でも有名である。

制度の将来：選抜試験から来日までの期間を短縮して欲しい。進歩が急速である21世紀に2年間の予備期間は長すぎる。

医学交流の将来：①ハイレベルの専門家の相互訪問を実現し、講演会・研究会を行い、医学交流の促進と若い研究者の意欲を高めた。②中国に派遣される日本語教師は、日本の顔として中国人の前に立てる様な教養が高い人にして欲しい。③本制度は非常にいい制度で長く続けて欲しい。

印象：日中医学協会の笹川生に対する、きめ細かな配慮に感謝します。

制度の将来：継続して貰いたい。

医学交流の将来：様々な共同研究事業を行いたい。

評価：貴事業は中国が必要としている多人数の医学人員を養成し、中国の臨床・科研のレベル向上に非常に有益であった。また、優秀な医学人材の才能を開花させる重要な方法である。貴事業は日中両国人民の相互理解と友誼を著しく促進した。

印象：本制度の運営は謹厳・合理的・効率的・且つ継続的である。

制度の将来：本制度を長期に亘って継続して欲しい。また、特別研究者の人数を増やして頂きたい。

医学交流の将来：①学位取得のためのプロジェクトを追加して欲しい。②指導責任者の訪中（講義・指導）に助成するシステムを設立して欲しい。③西部貧困地区の医学人材養成を強化して欲しい。

印象：①周到な計画性と整ったシステム。②研修者の研究・生活面への保証。

制度の将来：継続し、更に多くの医療従事者・研究者に研修を受けさせて欲しい。

医学交流の将来：相互交流・相互通信。長所を伸ばして、足りないところを補う。

評価：①大部分の自費留学生に比べて笹川生は厳しい選考を経ているので相対的にレベルが高い。②日本に残って大学院に入学する道も拓ける。

印象：笹川財団と日中医学協会の指導者と職員は中国の歴史と文化を理解し、本制度に全力を注いでいる。

医学交流の将来：①この制度で選考された研究者は研究レベルが高く、真面目であり自費留学生とは違う。日本の指導責任者はこのことを理解し、正當に評価すべきである。②日中医学交流はいろいろな方法で拡大していくべきである。難しい面も有ろうが協会の影響力も内外で高まるであろう。

評価：貴事業は多くの医学人材を育成し、中日医学交流に計り知れない貢献をしている。我々は日本の先進医療技術を学び中国の医療水準の向上を促進した。貴事業の意義は深く、非常に有益であり、誠に時宜を得た事業である。

印象：組織的できめ細かい配慮がある。指導責任者と研究専門分野が一致していれば学術上の効果が上がる。

制度の将来：本制度を継続してほしい。特別研究者の人数を増やして欲しい。

医学交流の将来：①中日医学交流の促進、臨床医師、特に手術の際の機器操作の研修期間を増やして欲しい。②帰国笹川生が参加できる交流や学術活動を増やして欲しい。③日本で開催される学術会議への参加の機会を提供して欲しい。

評価：日中笹川医学研究者制度は中日医学交流ばかりでなく、中国のために多くの医療関係者を育成した。また、両国人民の友好にも貢献している。帰国笹川生は皆日本に対しそれぞれの思いがある。私は日本を第二の故郷と感じている、私が「ママ」と呼んでいた老人とは今でも手紙で連絡しているが、是非再会したい。

印象：協会の研修生に対する手配・配慮が素晴らしい。毎月送られてくる「事務局通信」が良い例だ、他郷にある研修生の孤独を癒し、安心して研究に励める。

制度の将来：中日医学交流を継続して欲しい。

医学交流の将来：今後とも日中医学交流を広く多様に推進して欲しい。帰国笹川生にとっては出来れば日本の医学・看護の専門家が訪中して指導して欲しいし、短期訪日研修も実現して欲しい。

評価：①中日と世界をつなぐ医学界の架け橋となった。②相当数の中国の医学研究者が国際的レベルに達した日本で先進技術を身につ

け、帰国後はそれぞれの場で活躍している。③中日間、中日医学界間の交流を促進した。

印象：誠心誠意中日医学交流を促進し、笹川良一先生の本制度発足の趣旨を貫いた。

制度の将来：往来を活発にし、学術発展を促進し、相互理解と友誼を構築する目的を達した。

医学交流の将来：往来を盛んにし、学術交流を促進したい。

評価：価値ある制度。

印象：日本への理解が深まり、視野が広がった。

制度の将来：①この様な制度を継続して欲しい。②日本人の仕事は非常に周到である、笹川生の意見を採り入れてくれれば尚良いのだが・・・③指導責任者が訪中し笹川生の所属機関を訪問して相互理解と共同事業を推進する機会を作って頂きたい。

医学交流の将来：提案①素晴らしい目的を持った事業をよりよく運営し、制度実施上の問題については真面目に検討し合理的に解決して欲しい（笹川生が提起した問題も含めて）。②相互交流を強める。指導責任者が訪中し講義・学術交流又は観光などを行えば、両国の相互理解、相互尊重を促進する良い機会となる。③適切で多種多様な形式で医学交流を行って欲しい。

印象：真面目にやっている事業。

制度の将来：日中笹川医学研究者制度は継続すべきです。

医学交流の将来：日中笹川医学研究者制度を継続し、更に学者の相互訪問など中日医学交流を促進してほしい。

評価：多数の医学留学生を育てた事。貴事業を時代に合った方式で発展させ、又10年続けて欲しい。

評価：本制度の成果は①中日友好の発展②先進技術の学習③日本語水準の向上

評価：笹川医学奨学金制度は変化が無く時代の発展に則していない。奨学金が少ない。近年中国国内の物価は上昇し、語学研修期間の収入は減少する。来日後家族の生活水準は下がっている。また、家族の来日が許可されず、人権問題だと思う。

印象：日中医学協会の仕事ぶりが真面目で大変印象に残った。

制度の将来：①語学研修はちょっと時間の無駄の部分がある。②3～6か月の短期研修を加えることを提案します。

医学交流の将来：中日両国専門家の相互交流を促進して欲しい。例えば短期相互訪問など。

印象：①勉強しやすく、日本への多方面の理解が進んだ。②事業の運営システムと、職員の仕事ぶりがきめ細かいのが印象に残った。

制度の将来：本制度を継続し、併せて笹川生間の交流・連絡を強化して欲しい。

医学交流の将来：長期にそして深く多彩な交流合作を希望します。

印象：広範囲・長期間に亘り相互理解を深め、友好と中国医学の発展を促進したこと。

制度の将来：長期に亘って継続して頂きたい。

医学交流の将来：今のままの方式で充分素晴らしい、長期に亘って継続して欲しい。

評価：貴事業は中国のために1500名以上の医学者を養成した。彼等は将来、また、現在既に中国衛生事業に重要な役割を發揮している。貴事業は中日医学交流のなかで最も実効性のあるプロジェクトで将来中国医学界の中核となるであろう。笹川生は日本の先進技術を中国に導入したに留まらず、自ら中国医学の医療・研究を開拓している。彼等が日本で学んだことは中国において新たな創造を導き出し、人類の健康と中日医学交流に大いに貢献している。

印象：組織がしっかり運営されている。中国に派遣される日本語教師の指導が素晴らしい。指導責任者の敬業精神、知識経験の厚み、そのレベルは世界の最前線にある。

制度の将来：今後の笹川研究生の養成について深く検討し私は以下のことを提案いたします。①引き続き新しい人材育成事業を調印する。初期の帰国笹川生は既に定年退職の年齢に達し、新しい笹川生が各機関・各専門科で活躍している。笹川生の育成を終了することは適当でない。②第二次事業終了後も特別研究者制度は更に数年は継続して貰いたい。③帰国笹川生への研究奨励基金を増額して欲しい。

医学交流の将来：①中国医療水準の発達は不均衡で、地域医療の医師の養成の強化が必要である。近年一部の大病院や有名医療機関のレベルアップの速度が非常に速いのは、笹川医学奨学金制度の存在もその一因として挙げられる。中国の医療態勢と保険制度は大きく変化しており、中日医学交流の重点は地域医療に置くべきである。中国の地域医療が必要としている全科医師の養成に狙いを定めるべきで、笹川生が地域の診療所レベルの医師を指導する以外に、日本の退職した医師が短期訪中して地域医師の集中指導に当たってはどうか、通訳は初期の帰国笹川生が担当すれば、語学的な問題は発生しないし、費用的にも軽減される。②条件が比較的恵まれている中国の医療機関は両国が共同出資して、中日両国共に直面しているテーマを共同研究するとよい。

評価：私の生活と仕事に終生変わらぬ影響を与えようと思う。

印象：①日中医学協会の仕事ぶりと配慮・思いやり。

制度の将来：よりよい形で継続し、両国において更に影響力を強めて欲しい。多くの人はまだ本制度の意義を知らない。②各省の帰国

笹川生の連絡会を作り、連携を深めたい。③帰国笹川生と指導責任者の学術交流会の開催、指導責任者が訪中し講演することを歓迎します。

医学交流の将来：①中日共催の学術交流会②学術書の中日共同出版

印象：運営がきめ細かい。

制度の将来：学術交流と共同研究への援助と支持をお願いしたい。

印象：日中医学協会の笹川生への研究・生活への責任感有る姿勢は本制度の発展に大きく貢献している。

制度の将来：本制度を継続し、より多くの中国医療従事者に勉強のチャンスを与えて欲しい。笹川生の座談会、学会活動を多く組織し、笹川生間の交流と連帯の機会を増やして欲しい。

医学交流の将来：日本の看護師の訪中にご援助頂きたい。日本の看護師が中国の大病院を参観し、臨床を行い、中国の実態に触れ理解を深める事により今後の中日看護学術交流が促進される。

印象：多くの中国人医療関係者に日本との交流の機会が与えられたこと。

制度の将来：研究者制度・特別研究者制度の他に短期の制度を取り入れれば効果が上がると思います。

医学交流の将来：更に多くのハイレベルの日本の専門家が訪中し、共同研究を増やしたい。

印象：日中医学協会の仕事ぶりはきめ細かく研究者が暖かみを感じる。

制度の将来：帰国笹川生への研究補助をお願いしたい。

医学交流の将来：一衣帯水の中日両国の医学交流を更に深く広く発展させたい。

評価：多人数の中国の医師が長期に亘り先進技術と研究思想の薫陶を受けた。他に比べるものがない国際交流事業である。

印象：日中医学協会の研究者への世話が行き届いている。我々が来日直後に遭遇する諸問題の速やかな解決に手助けをしてくれたおかげで、早く研究活動に入れた。

制度の将来：①語学研修期間を短縮し、所属機関を長期に離れる仕事上の影響を軽減して欲しい。②選抜方法を改善し、研究基盤のしっかりした人を選ぶ事を優先して欲しい。

医学交流の将来：交流を多方面にし、日本での研究先と研究者の所属機関との交流を深めたい。

評価：①貴事業は中国の医療事業の発展を促進したばかりでなく、中国各省・各都市・各専門分野の多くの医療人員が最良の条件で研修の機会を得、中国の地方レベルの病院の発展も促した。②貴事業が両国人民の相互理解と友誼を深めたことに深く感動する。誠に意義深い事業である。

印象：日中医学協会の熱心な仕事ぶりには感動する。研究・生活方面が保証され、異国にありながらも順調に学業を達成することが出来た。

制度の将来：本制度発足以来、より公明正大になり、年を追う毎に事業の内容が良くなっていることに非常に満足している。

医学交流の将来：中日医学交流が今後益々盛んになり、両国が互いの研究状況を真に理解し、時宜を得た情報交換を行い、共に発展することを心から願っています。また、新しく重要な医学情報を得るために、研修・学会参加のための短期訪日の機会が多くなれば良いと思います。最後に日中医学協会の配慮と励ましに感謝します。

評価：①中日交流を促進し、相互理解を深め、隔たりを除くことに貢献した。②学術交流を促進し、自分の専門領域の現状を理解できた。

印象：①職員の業務態度がよく、きめ細かく行き届いている。②日本の研究機関の考え方と方法。

制度の将来：①事業の継続が望ましい。②特別研究者制度への助成を増加して欲しい。帰国笹川生が指導責任者の指導を受ける機会を増やして欲しい。

医学交流の将来：①「日中医学」を帰国笹川生に贈って欲しい。②優秀な帰国笹川生を日本の学術会議に招いて欲しい。

印象：組織・運営が行き届いている。

制度の将来：本制度を継続するか、形を変えて存続して頂き、両国人民の友好と中国医学の速やかな発展に貢献して頂きたい。

医学交流の将来：特別研究者制度は本制度の重要項目で貢献度が大きい。再来日の時、研究機関を選択する幅が広がれば、更に人材育成に有利であるし、帰国後の研究の方向や内容を変える必要がある研究者のために大きな助けとなる。

評価：中国医師の医学研究に得難い学術交流の機会を与え、医学発展を促進した。

印象：生活面で細かい配慮があり、研究面でも厚い支持をしてくれた。

制度の将来：意義有る研究を行っている帰国笹川生への援助基金を設立して欲しい。

医学交流の将来：①短期的に専門家が相互訪問し学術研究交流をする。特に将来有望な専門家を指導し・交流する。②両国間で意義有るテーマを選んで交流し友好を深める。③日本で行われる学術会議等の情報や成果を入手したり、直接参加できる様にして頂きた

い。

評価：中日間の学術交流と友好の促進に寄与した。

印象：①指導責任者が熱心で責任感があったこと②終始一環真摯な運営

制度の将来：業績を上げた帰国笹川生との短期交流の実現。

医学交流の将来：本制度の様な方式で更に中日医学交流を促進したい。相互に指導し合う短期交流の実現。

評価：極めて時宜に叶った事業である。日本には先進技術があり、中国には優秀な医療人員がいて、日中笹川医学研究者制度によって両国の医療水準の向上を推進した。

印象：研究者の生活・研究に対する配慮がきめ細かく行き届いている。

制度の将来：予防医学領域の交流を促進して頂きたい。

印象：両国の交流と相互理解を促進した。

制度の将来：種々の交流を継続して頂きたい。

医学交流の将来：多くの中国医療関係者に学習の機会を与え交流を活発にして頂きたい。

評価：意義深い事業、私は制度にかかわった人々と日中医学協会への恩を一生忘れない

印象：留学生への配慮がきめ細かく行き届いている。職員の仕事への姿勢が素晴らしい。

制度の将来：①研究先の選択には本人の意志を重視して欲しい。希望する機関に行けない場合は何故行けないかきちんと説明し、「もう決まりました」で済まさないで欲しい。②配偶者の来日を許可して欲しい、これは基本的人権の問題です。

医学交流の将来：中日医学交流は長い歴史を持ち、また、今後とも継続発展すべきであることは両国の医学界人士の共通認識である。民間団体である日本財団・日中医学協会が偉大な貢献をした事は誠に得難く尊い事であり、必ずや歴史に名を残すであろう。言うまでもなく医学交流の基本となるものは両国人民の政治・経済・文化交流である。この基本が脆弱で有れば、医学交流も影響を受ける。私は第三次事業の実現には楽観的だが、少なくとも特別研究者制度は人数を減らして「少数精鋭」となっても質を維持して継続して頂きたい。私見を述べさせて頂いたことに感謝します。

制度の将来：日本の専門家・教授が中国で講義・学術報告等を行うプロジェクトを設立し、より多くの中国医療従事者が日本医学への理解を深め、共同事業を促進する機会を作って頂きたい。

印象：研究者に対して至れり尽くせりで、日中医学協会職員の勤勉な業務態度も素晴らしい。

制度の将来：①日中笹川医学研究者制度の長期に亘る発展を希望します。本制度は中日友好に貢献し、日本の先進技術を学び、中国医学向上の意志を持つ者に学習の機会を提供してきました。②特別研究者の年齢制限の撤廃、或いは特別研究者経験者の再来日プロジェクトを設立してください。

医学交流の将来：更に交流を深め、多くの機会を提供して下さい。

印象：日本の先進医療・技術を学んだ他に、日中医学協会の真摯な仕事ぶりは我々が学ぶに値する。また、指導責任者の「早出晩帰」で休まず働く姿勢が印象的だった。

制度の将来：帰国笹川生にも助成して頂きたい。事業の成果を増し、共同研究を促進することになると思います。

医学交流の将来：各専門分野ごとに年1～2名の帰国笹川生を日本で開催される学会に招請して欲しい、雑誌で読めるのは数年前に開始された研究であるので、学会に参加することによって、自己の専門に関する最新情報を得ることが出来ます。

評価：両国医学研究者の架け橋となり、両国の科学研究の協力関係を促進し、両国の友好を強化した。

印象：運営がきめ細かく行き届いていて、留学生が安心して研究に専念できる。

制度の将来：①語学研修期間の短縮。②帰国笹川生への短期訪日への助成③両国研究者の共同研究の促進。

医学交流の将来：①中日医学大会を定期開催し、一定の知名度を得た後は、その他の国か地域の著名学者にも講演を依頼する。②毎回専門領域を替えて中日医学交流会を開催する。③中日両国医学者間の交流・往来を活発にし、笹川生と日本の専門家との共同研究を促進させる。④本制度を継続する。

評価：貴事業は疑いもなく影響力が強い。その一つは、日本の医学研究レベルは多くの面で中国より勝っており、多くの向学心と知識のある中国の青年医師に学習と交流の機会を与えたこと。もう一つは両国人民の友好交流を促進し、不快なことを克服したことである。

印象：選抜が厳しく、研修事業が高レベルで運営されている。帰国後も全ての研修生を忘れずに、貴重なものを提供してくれる事に感動する。

制度の将来：①継続して欲しい。②特別研究者を増員し、私も再び日本で研究できる様にして欲しい。

医学交流の将来：中日医学交流を更に拡げ多彩にすべき。中国には百万を越える青年医療関係者がおり、勤勉で学習意欲が高く、先進

知識を渴望し祖国を愛し、神聖な医療事業を熱愛している。出国して研修する機会を待ち望み、自己の医療レベルを上げ、祖国の人民に仕えようとしている。しかし、中国の医療技術者は人数が多い。出国ルートは多くなく定員も少ないので留学出来た人はとても少ない。交流が拡がり、ルートがもっと増えれば知識を求めている人の夢を叶えることが出来る。

印象：運営がしっかりしている。

制度の将来：更に継続して欲しい。

医学交流の将来：日本が投資して病院を設立すれば、中国の医療体制に更に大きな影響を与えると思う。

評価：貴事業は多くの中核的な医療人材を養成し、中国の医学医療の発展と中日医学交流に多大な貢献をしている。

印象：研究期間中及び帰国後も事業がしっかり運営されている。

制度の将来：本制度を通して中日医学交流と人材養成を更に促進して頂きたい。

医学交流の将来：毎年1回学術交流を行い、日中笹川医学研究者制度のことを更に広く知らしめ、中日医学交流を促進する。

評価：中国医学発展に計り知れない貢献をし、中日友好と相互理解また、学術交流を深めている。

印象：日本や日本人に新しい認識を持った。日本人の仕事への真剣な姿勢は深く印象に残った。

制度の将来：継続して貰いたい。

医学交流の将来：日本は先進国として引き続き中国に援助して欲しい。中国人民は恩人を決して忘れない。

評価：中国のため多くの優秀な研究者を養成し、中日友好を促進した。

印象：①実務担当者の仕事がかみ細かく行き届いている。②奨学金財団は奨学生の意見を非常に重視している。

制度の将来：現在出国している笹川生との連絡を強化して欲しい。彼等は今すぐに帰国するわけではないが、他の形で祖国に尽くす事が出来るし、かつて笹川生であったことをきくと誇りにしていると思う。

医学交流の将来：中国医学、特に研究方面は日本より遅れているので、日本の専門家が中国の医療機関を訪問し短期指導（半年か1年）を行えば効果的なのでその方面の資金的援助をお願いしたい。

印象：国内外で交流をする機会を持ちたい。

評価：15年前の笹川医学奨学金制度設立当時はもちろん現在も、貴事業は中国医学の発展に巨大な功績を残し、中国医学により速い進歩をもたらしている。

印象：本制度の運営はしっかりと着実に実際に基づいて行われている。全てが笹川生の立場に立って考えられており、行き届いている。

制度の将来：中日友好のため、中国国民の健康のため、中国医学をより速く発展させ、より高水準に導く為に、本制度をよりよい形で継続して貰いたい。

医学交流の将来：中国は発展途上国であり、医療水準も高くない。特に辺境地区、未発達な地区にその傾向が著しい。我々は高レベルの医師を必要しているが我が国の国力にはまだ限りがある。笹川奨学金制度の様な制度がもっと有れば中国の医療レベルの向上を促進し、中国の医師がよりよい教育と研究環境を得、高レベルの医学人材となり、中国国民の健康状態は大きく改善されるだろう。また、日本の医師が短期訪中し中国の真の姿を理解し、更に中国の医師を直接指導すれば、多くの者が学習の機会を得られる。

印象：初めて日本に来て、未だ慣れていない時に、本制度の職員が様々な面で配慮をしてくれたお陰で、我々は速やかに研修に入れた。この事にとても感謝している。

制度の将来：本制度を今後とも継続・発展させて頂きたい。また、多くの日本の医療関係者が中国の大都市ばかりでなく、辺境地区に行き、現地の状況を知る為のプロジェクトを加えて頂きたい。

第24期

印象：生活面と研究面で助かった。

制度の将来：日本に残って研究する者（大学院生）に対して奨学金制度を作って欲しい。

医学交流の将来：今後も研究者制度をつづける他、新たな制度を作って欲しいです。例えば留学生・大学院生・研究者などを対象として。

印象：①中国の医師のため医学が発達している日本への留学という得難いチャンスを与えたこと。②本制度の職員の留学生に対するきめ細かな配慮。

制度の将来：①本制度を継続して頂きたい②私にも再来日の機会を与えて欲しい。

評価：中国の科学技術・医療水準の向上に貢献した。

印象：箱根セミナー

制度の将来：①「日中医学」を日本の代表的な、或いは国際的な雑誌にして、ハイレベルの中国研究者の論文を掲載し学術交流を深める場にして欲しい。②日本の教授・専門家が中国で講義をする助成事業を設けて欲しい。③高級研究者の短期訪日研究助成事業を立ち上げて欲しい。

印象：①日中医学協会と指導責任者の留学生に対する配慮と心遣いがきめ細かく深い印象を残した。②指導責任者の真実をとことん追究する姿勢が印象に残った。

制度の将来：日中笹川医学研究者制度の継続を心から願う、本制度が更に輝かしい発展を遂げ、中日友好交流に貢献して頂きたい。

評価：中日医学交流を増加させ、両国医学者の相互理解に大きな貢献をした。

印象：指導責任者の研究・治療への姿勢。

制度の将来：①継続して下さい。②帰国笹川生に短期再来日の機会を下さい。③新しい日本語の文献を手に入れるための経費の援助をお願いします。

医学交流の将来：社会医学と人文社会科学の交流を促進して欲しい。日本の専門家に聞いたところによると、中国の医学は有る程度の進歩を遂げたが、社会医学と人文社会科学は相対的に遅れているようである。

印象：選抜が比較的公平である。

制度の将来：家族の同伴や家族に会うための短期帰国を許可して欲しい。

医学交流の将来：学術交流に多くの相手国（日本⇄中国）の医師を招いて欲しい。

印象：日本滞在中の日中医学協会の至れり尽くせりの配慮に感動した。

制度の将来：①在日期間中に自分の専門分野に関係のある他の機関を数多く参観するための短期研修を企画して欲しい。受入機関1か所では日本の先進技術を理解するのに限界がある。②研修期間中に終わらなかった研究を日本か中国で続けるための継続助成基金を設立して頂きたい。

医学交流の将来：①中日医学交流の中国医学発展への効果を強化させたい。例えば中国に来て講義する日本の専門家は、欧州の専門家に比べてとても少ない。②交流を数多く組織したい。例えば中日ウイルス学会などを中国か日本で開催する。③日本の医学の最新動向を紹介する刊行物をつくり、中国の医療関係者に送付し、相互理解と交流を深めたい。

印象：きめ細かい配慮。

制度の将来：①更に多くの人を招請して頂きたい。②私の様な臨床一本の医師には来日後直ぐ臨床実習が出来る様に按配して頂きたい。そうでなければ客か見学者になってしまいます（私は奨学生の身分で訪日したわけですから、この希望は過大なものかもしれませんが）。

医学交流の将来：①臨床歴5～10年の経験のある臨床医師に多くの機会を与えて欲しい。又、臨床医師と基礎研究医師を分けて事業を行って欲しい。②日本の医学や保険制度に関する多くの情報を中国に紹介し、広範な人民大衆が一日でも早く合理的な医療を享受出来る様希望します。

印象：日本人民と中国人民の友好と日本側の真摯な仕事ぶり。

制度の将来：長期に亘って共同事業を続け、中日医学交流の要の事業となって欲しい。

医学交流の将来：未来を見据えた、長期的な交流を希望します。

印象：日中医学協会の仕事ぶりが真摯で、きめ細かく行き届いている。

制度の将来：来日前に研究者と受入教室が当面の研究課題を決めることにより、日本での研究時間を有効に使える。

医学交流の将来：共同事業と情報交換、新旧笹川生間の交流を強化し、また、多くの学術交流と学術会議を開催したい。

印象：規模が大きく、注意深く行き届いた配慮。

制度の将来：臨床習練を行うかどうかを前提にして研究課題を決めること。

医学交流の将来：日本はアジアでも先進的な立場にあり、指導的な責任を果たしている。更に大きな規模で中日医学交流を展開して頂きたい。また、臨床医を中国に派遣し、日本の新しい技術・経験等を紹介して欲しい。

評価：研修生が日本の医師の仕事を理解し、自分の関心のあるテーマを見つける事ができた。連携と共同事業は極めて重要です。

印象：よく運営されている。

制度の将来：①成果の上昇した人を受け入れた研究機関を表彰する。②研究費は研修者の研究テーマの為に使って欲しい。

医学交流の将来：交流事業を継続して貰いたい。

評価：笹川医学奨学金制度は中国の研究者に良質な研修機会を与え、日本医学の発展状況を知らしめたばかりでなく、中国医学の問題点も認識させた。帰国笹川生は、その差異を縮める事に努め、笹川事業に育てて貰った恩に報いなければならない。

印象：語学研修から帰国までの全てに亘って、運営が行き届いていて、非常に「人間を尊重する」事が、笹川医学奨学金制度が私に与えた最も大きな印象である。

制度の将来：特別研究者の期間を3か月か半年に縮め、より多くの人が再来日し日本の最新医学を学べる様にして頂きたい。2008年3月に本制度が終了したら、笹川生の連絡組織を設立して欲しい、笹川生、とりわけ同期の笹川生と一緒に学び深い友情で結ばれ、帰国後も互いに連絡し合っている。「笹川生通訓」はその良き架け橋で同窓生の消息を知ることが出来る。

医学交流の将来：①今後とも日中医学交流を継続して頂き、多くの日本の専門家が訪中して講義・指導を行って欲しい。②医学教育管理分野の交流に関して、日本の医学教育の先進的経験を紹介して頂きたい。また、既に医学理論への理解と・豊富な臨床経験を持ち、しかも医学教育（カリキュラム設定や時間配分等）に携わる中国の研究者を日本の大学（本科・修士・博士課程等）で学ばせ、医学教育分野の研究経験を積ませ、中国の医学教育レベルの向上に役立てたい。

印象：①日本語研修②運営がしっかりしていて研究者への配慮がきめ細かい。

制度の将来：「LIHANSEN 奨学金」と言う制度があり、1年間の米国留学の他、毎年 IADR（世界歯科医学大会）への参加を助成している。帰国笹川生が毎年日本の学会に参加して、出来れば発表が出来るプロジェクトを考えて頂きたい。

医学交流の将来：中国には科研基金での出国は不可等種々の規定があるので、財団が様々な学術交流の機会を作って、日中笹川医学研究者制度をより魅力有るものにして頂きたい。例えば帰国笹川生の短期訪日や再研修、日本の受入機関の人が訪中するなど様々な助成項目に申請できるようにしていただきたい。

評価：日本の医学は中国より進んでおり、この事業は中国医学の発展に大きく寄与した。医学を志す者として、我々は日本の友人の協力を深く感謝する。留学という得がたい機会に奮闘努力し、自らも医学の発展に貢献したい。

印象：本制度を通して多くの日本の名医に出会ったこと。

制度の将来：本制度の継続と、基礎医学分野を更に重視して頂くよう希望します。

医学交流の将来：中日医学交流の歴史は長く、古くは日本が中国に学び、今は中国が日本に学んでいるが、何れも両国人民の健康向上に大きく寄与している。本制度が両国共同で基金を設立し、医学領域の協力を大きな貢献をして頂きたい。

評価：日中笹川医学研究者制度は中日文化交流と医学技術交流を促進し日中両国人民の相互理解を深めました。

印象：指導責任者の研究生への配慮に心から感謝いたします。

制度の将来：日中笹川医学研究者制度を長く継続して頂きたい。帰国笹川生・特別研究者は日本の先生から研究・臨床面について引き続きご指導を頂きたい。

医学交流の将来：1年間の研究・特別研究だけでなく、学会参加・3か月程度の見学などを希望する。

評価：笹川医学奨学金制度の設立が中国医療人材の育成に果たした役割は極めて大きい。笹川生として非常に光栄である。

印象：①きめ細かい手配と盛大な歓迎式典②協会から定期的に送られてくる刊行物により日本の医学水準を知り、また、疑問を解決することが出来た。本当に親切だと思う。

制度の将来：継続して貰いたい。

医学交流の将来：①笹川医学奨学金制度のような奨学制度の増加。②日本医学の最新情報と研究成果の紹介と日本の専門家の中国での講義。③中日共同の科研基金の設立と研究助成の増加。④中日医学交流を継続発展させ、医療・研究の現場にいる医療関係者に多くの枠を与える。

評価：笹川医学奨学金制度は意義深く極めて有益と考える。育成された多くの笹川研究者は帰国後中国の理論及び医療水準の向上に寄与すると共に、日本の文化・風俗習慣と各種福祉制度（保険制度等）への理解を深め、両国人民の相互理解と友好が促進された。

印象：本制度で最も印象的だったのは、制度の代表者と先生方の研究者への配慮が非常にきめ細かく至れり尽くせりであったことです。

制度の将来：第二次笹川医学奨学金制度は2008年3月に終了しますが、両国の関係者は速やかに第三次事業の協議を開始・調印をし、中日医学交流を更に促進させ、中国医療関係者に日本の先進医療技術を学ぶ機会を与えて頂きたい。

医学交流の将来：中日医学交流の方法は比較的多くなったが、未だ充分とは言えない、両国政府と関係部門は両国医療関係者に多くの研修と学習の機会を提供して欲しい。また、笹川医学奨学金制度第三次計画の速やかな調印を切に願う。

評価：①両国人民の相互理解と友好の促進。②両国の医療技術が共に進歩すること。

印象：日本側職員の懸命な仕事ぶり。

制度の将来：継続して貰いたい。

医学交流の将来：中日医学交流が今後とも絶えることなく、広範に発展することを希望しています。

評価：科学技術の目覚ましい発展と共に、医学分野も著しい進歩を遂げている。貴事業は中国医療関係者に新しい臨床医学・基礎医学を学ぶ機会を与え、医療衛生事業に大きき多大な貢献をした。

印象：①新知識を得たこと。②日本社会を知ったこと。③中国と日本の友好を促進したこと。

制度の将来：短期（3か月）研修の実現。

評価：この事業は中日医学交流の架け橋となり、中日医学分野の相互理解と中国人民の医療衛生の向上に対して大きな貢献をした。

印象：①日本語の先生。②毎月送られてくる事務局通信。

制度の将来：笹川医学奨学金制度の継続を希望します。②帰国笹川生の交流会を開催し、日本の専門家に講演をお願いする。

医学交流の将来：貴事業の継続、素晴らしい事業だと思う。

評価：このような歴史的に意義深く偉大な事業は世界に極めて少ない。中国人民の医療水準の向上に大きく寄与し、子々孫々に亘る中日友好が促進されることは、両国人民の心からの願いである。

印象：ハンセン病プロジェクトは人類に幸福をもたらした。

制度の将来：中国は依然として発展途上国であり、一部の地区の医療水準は、資金も乏しく未だに改善されて居らず、都市と農村の格差は大きい。日本で学んだ先進技術を帰国後生かすことも一定の制限を受けることは免れないし、人材が他へ移ってしまうこともある。中日医学交流を更に発展させ、将来的に更に必要になる予防医学、リハビリテーション医学のリーダー的人材を育成して頂きたい。

医学交流の将来：両国医学界の協力関係を促進し、特に地方レベルの学術交流・相互訪問・相互学習を強化し、長所を伸ばし短所を補いたい。また、外部資金を導入し、技術・人材・情報交換など共同研究を増加させたい。

評価：①中日両国の医学交流の促進。②両国人民の相互理解と互恵を強化し、中日友好の発展に寄与した。

印象：研修生の在日中、生活面のきめ細かい配慮を受けたこと。

制度の将来：帰国笹川生と指導責任者との長期的交流の実現については、短期相互訪問、例えば指導責任者が訪中し学会参加・講義・指導を行い、笹川生が短期訪日（1か月か半年）し学術交流会も持つなどの事が考えられる。日中笹川医学研究者制度にこのようなプロジェクトを加えて、我々に多くのチャンスを与えて頂きたい。

医学交流の将来：①専門別の学術活動を定期的に行い、懇談・討論・論文報告など様々な方式で交流を強化する。②両国が特定のテーマについて共同研究する。

評価：①中日友好促進に大きな意義をもつ。②両国医学を発展させ健康的で平和な世界を創る為に更に発展して欲しい。

印象：物価の高い日本で、経済的安定を得、研究に専念できる環境を与えて貰ったこと。親切に指導して頂いたこと。

制度の将来：①今日本の大学院で学んでいますが、今後特別研究者としても来日して、更に飛躍したいと思います。本制度を10年20年30年と継続して欲しいと思います。

医学交流の将来：更に交流を深めて頂きたい。

評価：この事業により先進医学・科学の知識と技術を学習出来たばかりでなく、日本の医学関係者との連絡と多くの友人を作ることが出来た。

印象：笹川医学奨学金制度は運営がしっかりしていて、日中医学協会のお陰で我々は順調に研修することが出来た。また、定期交流により、両国の友好関係と友情が深まった。

制度の将来：継続して頂きたい。この事業は両国の医学交流を促進したばかりでなく、民間の友好関係を深めた。

医学交流の将来：機会があれば訪日して学会参加したり、日本の専門家が訪中して学会を開催し更に医学交流を促進する。また、中日医学研究基金を設立し、両国専門家間の共同研究と情報交換を強化する。

印象：日本への良い印象を持ったきっかけは、貴事業の職員の仕事ぶりからでした。

制度の将来：より多くの、特に青年医師に貴重なチャンスを与えて頂きたい。

医学交流の将来：学術会議の開催の他、日本の医師が中国の病院や大学で講義をする機会を増やして頂きたい。

評価：両国医学者の相互理解を促進すると共に、中国留学生が日本で多くの新知識を得た。とりわけ指導責任者の仕事への真摯な姿勢に多くを学んだ。

印象：日中医学協会の仕事ぶり。

制度の将来：①短期交流項目を作る（例えば半年間）。②語学研修期間の短縮（語学研修から出国までの時間が長すぎる）

評価：①両国の医学交流を促進し、中国衛生事業の発展に寄与した。②貴事業の実施により、多くの中国医学のリーダー的人材を育成した。③事業の実施により、日本の先進医療の学習を希望する多くの中年・青年医師の願いが叶った。④貴事業は社会的に高い評価を

得、中日友好に貢献した。

印象：①選考が公正且つ合理的で、人員の素質が高い。②日中医学協会と笹川同学会は笹川生の連絡・研究・学術交流のために多くの有益な仕事をしている。

制度の将来：①貴事業を継続し、更に多くの中国医学界のリーダーを養成して頂きたい。②中国に笹川医学奨学基金を設立し、帰国笹川生に研究助成し、優秀な人を選んで国際学会への参加を援助して頂きたい。③北京に低所得者の為の病院を設立し、帰国笹川生が安価な保健衛生・医療で奉仕活動をする。

医学交流の将来：①中日両国の医療関係者が緊密な連携で学術交流会・共同研究を行い両国衛生事業を不断に発展させる。②政府・民間の協力による共同事業を伸展させレベルの向上を図る。

医学交流の将来：中日医学交流が我々に多くの研究の機会を与え、知識を深め、貴国の風俗習慣・人情、とりわけ仕事への真摯な姿勢を知ることが出来た事に深く感謝します。両国の医学交流と友好関係が未永く続く事を願っています。

評価：中日医学交流を促進し、中日友好に寄与した。

印象：全ての面で、細かく合理的に運営されている。

制度の将来：笹川生が帰国後も日本で研究課題を継続出来る様援助して頂きたい。私の場合は色々な事情（特に設備）により研究を中断せざるを得なかった。

医学交流の将来：中国伝統医学は長い伝統を持ち、中薬も豊富であるが、研究は遅れている。日本の研究技術は進んでいるが、中薬の専門研究科は少なく、中医理論の専門家も多くはない。中日両国が中薬の共同研究を強化して欲しい。

評価：中日友好を促進し、両国医学事業の合作を強化し、中国医療水準の向上に寄与した。

印象：日本側職員の按配が行き届いていること。指導責任者が親切で責任感がある事。

制度の将来：研究者の選抜を中国西部の未発達地区に重点を置いて欲しい。また、臨床研究を重視して欲しい。

医学交流の将来：①日本の専門家や指導責任者が中国で、特に西部地区を訪問し我々の臨床と研究を指導して欲しい。②中日医学学術交流会を組織し交流を深める。

評価：①中国の医療従事者が研修の機会を与えられ、視野を広げ、自己のレベルアップに役立った。

印象：運営がきめ細かく、整然として秩序がある。

制度の将来：将来基金を設立し、我々が不定期に日本医学の新しい成果を短期研修できる様にして頂きたい。

医学交流の将来：定期的に専門別学術会議を開催する。②日本のハイレベルの専門家が訪中して講義する。③日本以外の先進国の専門家が訪中して講義する。④中国の医学者の日本か欧米の学術会議に参加するのを援助して欲しい。

評価：両国の医学交流と文化交流に有益である。

印象：日中医学協会の研究者に対する配慮がきめ細かく行き届いていて、生活の心配なく研究に専念できた。

制度の将来：貴事業を継続して頂き、出来れば帰国笹川生が短期訪日して学術会議に参加するのを援助して頂きたい。

医学交流の将来：中日医学交流をより強化し、両国の相互理解を深め、双方に有益なものにして頂きたい。

評価：①新技術を学び、レベルアップした。人類の医学水準の向上を促進した。①文化交流を強化し、中日友好を促進した。

印象：運営がきちんとしている。

評価：中日の相互理解、中国医学・医療のレベルアップ、医師個人の能力向上に有益である。

印象：①優秀な医学・看護・研究者が選ばれている。②よい生活条件・研究条件が提供されている。

制度の将来：この事業を継続して頂きたい。日中笹川医学研究者制度の学術成果や論文集、及び貴事業の援助の下になされた研究の成果・論文等の出版。

医学交流の将来：日中笹川医学研究者制度は私に乳癌研究の機会を与えてくれ、学んだことを確実に身につけた。現在指導責任者のいる乳腺内分泌研究室では傑出した研究と、多くの論文発表をしている。多くの帰国笹川生は同僚に、日本の医療研究の現状を伝え、その先進的側面を紹介しているだろう。中日医学交流はとても必要な事業で、相互理解を促進し、また進んでいる方に学ぶ事が出来る。中日医学交流が益々盛んになり中国の医療・研究水準が向上することを願う。（事務局注；回答者は日本の大学院に在学中）

印象：①日中笹川医学研究者制度によって、私は多くの中国の同業者と知り合った。この事業の存在は、同業者たちの消息を常に知ることが出来る。②この事業は非常によく運営され、在日中も余り寂しさを感じなかった。

制度の将来：帰国後の笹川生にも継続して若干の研究助成をし、若い帰国笹川生の研究を補助して欲しい。同学会の奨励金が有るが6.5万円なので、26万円ぐらいに増額して頂ければありがたいのだが。

医学交流の将来：中日医学交流を促進し中国と日本の専門家が常に学術交流をする。期間は長期が2～3年程度、短期は1～3か月で宜しいと思う。その他学術会議を開催したい。

評価：笹川医学奨学金制度は多くの青年医学者に、世界的レベルにある日本の先進技術を学ぶ機会を与えた。彼等は将来中国医学界のリーダーとなるだろう。また、指導責任者や教室員との交流により、相互理解が深まったことは、両国間の交流・発展に有意義であったと思う。

印象：日中医学協会の仕事ぶり、特に責任感。

制度の将来：長期に亘り継続して欲しい。

医学交流の将来：各種学術交流、論文投稿・学会・講演等への参加の機会を与えて欲しい。

印象：協会の生活面の配慮が行き届いていたので、研究に没頭できた。

制度の将来：貴事業を継続して貰いたい。

評価：笹川医学奨学金制度が中国の医師に日本で勉強をする機会を与えてくれ、手本とすべき多くの事を教えてくれたことに心から感謝する。貴事業は中日医学交流に大いなる貢献をしている。

印象：日中医学協会の真摯な仕事ぶりや責任感、並びに中国衛生部成果交流処の公明正大で競争に基づく笹川生選抜方法にも感心した。

制度の将来：笹川医学奨学金制度を継続し、両国医学分野の協力事業に益々貢献して欲しい。特別研究者の数を増やし期間を短縮（6～8か月）して頂きたい。

医学交流の将来：今後この制度と同様な別のプロジェクトを設立し、中日間の医学交流を促進して欲しい。日本留学経験者のデータベースを作成し、彼等が帰国後更に高度な研究に進めるよう応援して欲しい。

評価：貴事業は中日医学交流の架け橋となり、留学生は日本の先進技術と管理システムを学び、一方で中国の現状を日本に紹介し両国の相互理解を促進した。

印象：きちんと真剣に運営されている。

制度の将来：提案①ある種の基礎研究分野では、1年の滞在期間では結果を出すことが出来ない。従って学習の方法に重点を置き、テーマを強調しないこと。②研究機関に着いたら直ぐに臨床医局に入ってしまう前に、先ず2～3か月専門科の設置状況・管理状況など全体の状況を理解することが重要である。これは帰国後有効であり中国に必要なことである。帰国前の1～2か月をこの方面の学習に当ててもよい。

医学交流の将来：相互交流・共同事業を強化し、より多く日本の科学技術の支援を頂きたい。研修生は来日したら時間を作って日本社会全体（医学以外の業界）を知り、また、多くの研究機関全体の状況を知ること。多くの研究者は各研究機関で最先端の仕事をしているわけではない。従って学会の状況、研究方法・考え方を主として学ぶべきである。先進的テーマを研究している者は、自発的に共同研究を緊密にし、中日医学交流の架け橋となること。

評価：貴事業は非常に意義がある。更に多くの人にこの制度の恩恵を与え、国際的な人材を養成して欲しい。

印象：日中医学協会のきめ細かい配慮のおかげで、心配無く研究に専念できた。

制度の将来：人類は未だかつて無い疾病の挑戦を受けている。笹川医学奨学金制度が多くの国際レベルの人材を養成し、更に輝きを増すことを心から願っている。

医学交流の将来：人類が未だ克服していない疾病について研究し、人類の健康の発展に寄与し、中日医学交流の広範な発展に努力したい。再び訪日し、先進技術を学ぶことが出来れば誠に幸いである。私は得がたい機会を大切に、刻苦奮闘し、研究に努め、祖国に報いたい。

評価：笹川医学奨学金制度は、中国の青年医師の知識と国外の医学に関する理解を深め、両国医学界の専門と文化・生活面での相互理解と信頼関係を培った。

印象：①組織がしっかりしている。②細かい配慮

制度の将来：貴事業の継続を希望する。別に小規模なプロジェクトを設立し、再び日本で研究するチャンスが無い人に短期研修や学会参加で訪日する機会を与えて欲しい。

医学交流の将来：今後の中日医学交流を更に広く深く発展させたい。日本の専門家が中国で講演・指導することや、定期専門交流に助成し更に発展したい。中日医学交流が隆盛を切に希望する。

評価：中日医学交流を促進した。

印象：手配がきめ細かい。時にはやりすぎで窮屈である。

制度の将来：①本制度は継続すべき。②奨学金の回数を増やすべき。③日本語研修期間が長い、たとえ半年やっても所詮専門交流には役立たない。3か月間日常会話をやればそれでよい。

医学交流の将来：帰国笹川生の学術活動を活発にするのが最適。①学術交流。②笹川生間、日中医学協会と笹川生、指導責任者と帰国笹川生の交流・連絡を強化する。③帰国笹川生が出国して外国（主に日本）の学会に参加するのを援助して欲しい。

評価：程度の差はあっても研究者は新しい知識・技術、研究に対する考え方を学習した。帰国後中国の医療・科学研究のリーダーとしての役割を果たし医学事業を推進している。

印象：毎年100名近い研修生が訪日しているが、毎年日中医学協会は研修生の生活・研究・住宅等の手配に努力し、非常に心配りをしてきている。

制度の将来：笹川医学奨学金制度の継続を心から願う。

医学交流の将来：長期・短期の学術交流・共同事業を発展・強化する。①中日共同研究（基礎・臨床・感染症の調査研究等）を多くする。②特に定期的に中年・青年学者間の学術交流（セミナー・シンポジウム）を展開すべき。

印象：日中医学協会職員の友好的で熱心な仕事ぶり、日本人の仕事への探求心。

制度の将来：事業を継続して頂きたい。また、笹川生間の交流を強化して頂きたい。

医学交流の将来：①笹川医学奨学金制度を継続し、より多くの人に日本で勉強させて欲しい。②医学交流会議を多く開催して欲しい。③特殊な疾病、SARS、精神衛生等の共同研究に助成して欲しい。④友好交流会、夏期セミナー等の開催。

第25期

印象：日中医学協会職員の研究者の生活・学習へのきめ細かい配慮。

制度の将来：“笹川”の名を冠した奨学金制度を末永く継続し、子々孫々に亘る健康な生活の創出に貢献して欲しい。また、「笹川生シンポジウム」を開催し交流活動・共同研究を促進したい。

医学交流の将来：中日医学交流を更に豊かに発展させるため①優秀な人材を集める。②専門研究を行う。③両国専門家の相互派遣。

評価：①中国の若い医療人員に留学の機会を与え、一流国の先進的科学研究を学ばせる事により、留学生と中国の科学研究のレベルアップに貢献した。②日中友好の促進に有益である。

印象：良く整備されたプロジェクトで、配慮が行き届いており、留学生が順調に研究出来る。

制度の将来：可能なら、今後は1年以上滞在し、研究課題を完成出来る制度、更に学位を取得出来る制度にするのが望ましい。

医学交流の将来：日本は世界の先進的地位にあり、学ぶべきものが多い。今後は笹川医学奨学金制度及びその他の交流制度を通して①日本の先進科学技術を中国に導入・応用する。②相互交流により中国伝統医学の進歩・発展を促す。また、広大で人口も多い中国の、症例の多さを利用し、交流を深め、両国医学の発展を促す。

印象：本事業により、私は①日本の基礎医学と臨床医学（代謝性疾患）の発展状況を知り、実験や臨床について学んだ。②日本の医療関係者の仕事への厳しい姿勢を見、同時に中国とのレベル差を知った。③日本と日本人を理解し、公正で客観的な評価が出来る様になった。④本事業は見事に運営されていて、日中医学協会は多くの仕事をし、我々の学習が順調に行くよう配慮してくれた。心から感謝する。

制度の将来：本事業を継続し、より多くの中国医療関係者が日本に留学出来るよう希望します。

医学交流の将来：中日医学交流を更に発展させ、両国の相互理解と友好往来を促進したい。

印象：日本の科学研究の動向を知る機会を与えてくれた。

制度の将来：特別研究者の人数を増やして欲しい。再来日は本事業の効果を一層高めるだろう。

医学交流の将来：交流の機会を増やしたい。

印象：長期間で、援助額が大きい事業。

制度の将来：①学術書購入に対して援助して貰いたい。②日本の専門書の翻訳出版に対して助成して貰いたい。

評価：笹川医学奨学金制度は中国の医師のために日本の医学を十分に学ぶ機会を与え、長期的交流の基礎を築いた。極めて有益な事業である。

印象：箱根セミナーでは、研修者たちがお互いに励まし合い、後期の研修期間を全うする力になった。

制度の将来：本事業を継続発展させて貰いたい。短期と長期に分けるのが良い、例えば①参観・見学のための3か月～半年、②課題を深く研究するための1年半～2年。

医学交流の将来：①中国人と日本人は同じアジア人で、疾病の種類や発症率など似た所が多い。中国医学は発展の必要があり、また、中医学は日本医学の一部の空白を埋めることが出来る。中日医学交流は長所を取り、短所を補い合う事が出来る。②中国の先進医学の遅れを日本はあまり理解していない。中国で発生率の高い疾病に関して、日本の協力で先進的医療設備を導入したい。また、我が国は基礎研究設備が日本より遅れているため、研究者を日本の実験室に派遣して研究させたい。

評価：日本留学により世界の先進的医療技術を学ぶことが出来、非常に有意義である。

印象：日中医学協会職員の細やかな心配りと、日本の医療関係者の敬業精神。

制度の将来：本制度を継続して、より多くの青年医師が先進医療を学べるよう希望します。

印象：日中医学協会の熱心で行き届いた配慮があるので安心だった。

制度の将来：①人数を減らし、生活費を15万/月にする。②研究成果をより高めるため、来日前の研究者と指導責任者の連絡を密にする。

評価：医学のみならず、日中友好の促進に有益。

印象：日中医学協会が責任を持って指導責任者を選んでくれたことにとても感謝している。

制度の将来：研究機関での様々な行事には余り馴染めなかった。日中医学協会と研究機関の留学生担当者が連絡を取り合ってくれれば、勉強や生活面で大いに助けになるのだが・・・。

医学交流の将来：①日本が中国の研修生を受入れる他、指導責任者が短期訪中し、中国の医療環境や研修生の職場の現状を視察すれば、次回の受入れの際、大いに参考になると思う。②来日前に指導責任者と研修者の連絡を補助して貰えば、研修が効果的になる。

印象：人材養成。

制度の将来：継続。

評価：①本事業は1987年の創立以来、多くの医療人員を養成し、中国医学に大きく貢献した。②中日友好を促進した。

印象：日本の指導者の学問への厳しさと仕事ぶり。

制度の将来：笹川医学奨学金事業を継続し、更に人数を増やして、より有意義な中日友好の架け橋となって欲しい。

医学交流の将来：定期的な相互訪問による学術交流活動。例えば①帰国笹川生と所属機関の責任者を一緒に日本に招く。②指導責任者を中国に招く。

評価：中日友好と両国医学界の交流を促進し、中国若手医師のレベルアップを図ったことは意義深い。

印象：選抜の厳格さと、来日前研修。

制度の将来：①本事業の継続。②研修期間の適宜延長。③語学研修の下半期を日本の日本語学校で行う。

医学交流の将来：①本制度のような民間交流を数多く実施することを希望します。②種々の手続きを簡略にすることと、帰国笹川生に、より多くの交流機会を与えるよう提案します。

評価：学問的な事を学ぶに留まらず、視野を拡げ、日本や日本人の心を理解し、両国医学者間の友情を促進している。

印象：他の奨学金に比べ、留学生の生活面へのフォローがきめ細かく、安心して勉強出来る。

制度の将来：①配偶者の来日を許可してもいいのでは。②特別研究者は元の研修機関で研究してもよいし、違う機関で別の雰囲気や研究方法を知るのも良いと思う。

医学交流の将来：①相互交流、特に青年医師の交流を活発に。若い内に留学し、若い内に帰国して仕事をする。②大学間の交流。③共同研究の促進。

印象：中日医学交流を通して、両国民の交流が更に広がって行くこと。

制度の将来：今後は現在のように広い分野を扱う必要はないと思う。具体的な、急を要する、遅れた分野、例えば困窮した農村、大都市の貧困層や老人、障害者、及び弱者（失業者等）への医療対策や援助が良いと思う。

医学交流の将来：①専門別の学術討論会の開催や現地視察を行い、互いに学習し経験を積むこと。②技術と人材の交流を活発にする。中国は医療設備や技術の面で遅れており、特に西部地区と農村はその傾向が著しい。日本が直接援助（医療管理・薬品・設備の再利用など）してくれるのが実際のだと思う。③貧困地区や社会的弱者への医療保障を実際の共同事業のテーマとする事。

評価：本事業が中日両国人民の文化交流と相互理解を促進し、中国医療衛生事業の発展と人材養成に果たした役割は大きい。

印象：良く整備されたプロジェクトで、研究者への配慮が行き届き、大家族の中にいるようで、外国にいる感じがしなかった。

制度の将来：①多くの帰国笹川生は再来日する機会が少ない、師弟関係の維持は、やはり手紙では心許ない。そこで2～3年後に指導責任者の訪中を組織してはどうか。②研究者の滞在期間延長は有益ではないだろうか。

医学交流の将来：今後は現在の研修制度以外に、短期研修（2週間～2か月）プログラムを作り、国際会議への参加、生涯教育、専門技術の訓練等を行うのがよい。科学技術は日進月歩であり、情報が溢れている。長期留学に短期研修を組み合わせるのがよい。

評価：①中国医学界における多くの“精鋭”を育成した。私の大学の場合、帰国笹川生が各科のリーダー的存在になっている。②日本を良く知る帰国笹川生は、両国民間交流の使者である。

印象：以前に2度日本に来た事があるが、本事業は非常によく整備された事業で、種々の面で配慮が行き届いているので、外国にいる

のにもかわらず、生活も保証され、安心して勉強が出来た。

制度の将来：①研究者が訪日前に指導責任者と連絡・交流する。②在日期間中により多くの中日医学交流の機会が欲しい。③帰国後の研究者同士がより多く連絡し合う。

医学交流の将来：中日医学交流には大きな未来がある。隣国であり、同じアジア人種であるので各方面の交流に極めて有利である。今後の交流を進めていく上で、①言葉の問題は重要で、語学人材、特に専門的な事も理解する語学人材を養成する必要がある。②笹川医学奨学金制度を継続させ、より多くの友好の使者を養成する、特に特別研究者の人数を増やす。③私は「日中医学」に論文を発表する機会を得、とても嬉しかった。このような機会をより多く提供して頂きたい（日本語で書ける笹川生に）。

印象：管理が行き届いている。

制度の将来：中日医学交流、特に臨床医学分野の交流を強化して頂きたい。

医学交流の将来：多様な交流を展開したい。

印象：よく組織され、規律があり、大家族のようだ。

制度の将来：①日本に残っている笹川生が、帰国後研究を継続するための基金を設立して欲しい。②帰国笹川生のため、特別研究者制度以外にも、学会参加・短期研修等訪日の機会を与えて欲しい。

医学交流の将来：①両国医学が相互補完するような交流を。②共同研究の促進。③最初の来日の時に2年近く家を空けているので、特別研究者は家族の同伴が許可されてもいいのでは、人道主義に基づき衛生部と協議して頂きたい。④日中医学協会と中国側共催で、帰国笹川生による心脳血管病学会議を開催し、日本の当該専門家にも訪中してもらい、講演をお願いする。

印象：効果的だった。

制度の将来：生活費の増加と、居住環境の向上。

医学交流の将来：中日医学交流の強化は両国にとって有益である。

評価：①両国医学界に友好と交流の橋を架けた。②中国の医師に世界への目を開かせた。③中国の潜在的医療市場は巨大である。本事業は日本の先進医療技術や機器メーカーにとって市場開拓の機会を与える。④中国は留学人員を育てて貰ったので、日本の研究者が訪中して研究するのに協力したい。

印象：日中医学協会のきちんとした、きめ細かい仕事ぶりが印象的。この機会を借りて、日本財団、笹川陽平先生、日中医学協会に感謝を表したい。

制度の将来：①研修生の訪日前研修（日本文化・社会）を強化すべき。②特別研究者の滞在期間を2年とすれば、課題を完成し、きちんとした論文を仕上げる事が出来る。③訪日前研修で、1～2名の帰国笹川生が日本で体験を紹介すれば大変よい。

医学交流の将来：①中国は未だ遅れているので、日本の専門家が、中国の都市に来て指導してくれると良い。②中国の優秀な医師を、日本で学位を取得させる助成制度を設立して欲しい（助成があれば安心して勉強出来る）③中国の都市の公共図書館に英文の医学図書・雑誌を寄贈していただければありがたい。

印象：出国前の語学研修、日中医学協会からの毎月の通知、学会参加への援助、特別研究者制度への申請機会など研修生への配慮が整っている。

制度の将来：本事業を継続して頂きたい。また、帰国笹川生同士の交流及び日本の機関との交流の機会をより多く与えて欲しい。

医学交流の将来：本制度のようなプロジェクトを数多く設立し、中日医学交流を盛んにして頂きたい。

印象：日中医学協会と指導責任者の配慮で、我々は良好な生活と学習環境を与えられた。

制度の将来：1年の研修で我々は大変進歩し、一定の成果を収めたが、1年間ではやはり研究時間としては短いので、特別研究者の人数枠と期間を増やすか、研究者が指導責任者の指導で中国で研究を続けられるような助成プロジェクトを設立させて欲しい。

医学交流の将来：①多くの中国留学生を日本に派遣し、勉学や共同研究を促進したい。②日本の専門家が訪中して指導・講義して頂きたい。③学術交流会の共同開催や定期的な学術交流活動。④日本の先進的臨床設備を中国に導入し、先進技術や臨床方法等を中国で実践する。

印象：研究者が安心して生活出来、指導責任者の選択が良く、周囲の環境が友好的である。

制度の将来：笹川医学奨学金制度を両国の真の架け橋とするには、出国前に日本の科研状況について準備し、来日後の研究能率を上げたい。

医学交流の将来：日本は資金と先進技術があり、中国は症例が多い。中日医学交流の為の助成事業を増やせば、両国の医学に大きな成果をもたらす。

印象：①長期で人数が多いこと。②広範囲をカバーしていること。③計画的であること。

制度の将来：①適宜滞在期間を延長する。1年では課題を完成するには短すぎる。②研究費の増額。

医学交流の将来：①多方面に亘る交流の促進。②両国専門家の相互交流（会議・視察・共同研究を促進）。③後進地区の重視。④民間交流の促進。

評価：本事業の継続を希望します。

印象：日本側の熱心な仕事ぶり、きめ細かい配慮。

制度の将来：特別研究者制度の他にもハイレベルの交流制度を、高級訪問学者制度等。

医学交流の将来：①相互訪問制度を。②共同研究への助成を増加して頂きたい。

評価：多くの若手中国医師を日本に迎え、学習と視野を拓ける機会を与えた。私は訪日前に較べて、日本で起こる全てに注目している。

印象：①日本人の敬業精神。日中医学協会職員のきめ細かい心配り。

制度の将来：訪日前に指導責任者や教室の人と連絡を取り、来日後適応するまでの時間を短くしたい。1年は非常に短く、直ぐ帰国になってしまう。

医学交流の将来：中日両国は同じアジアの国であり、共通点も多いので、お互いに協力し合うことの収穫は大きい。特別研究者制度は既に研究先に馴れており、理解し合っているもので、成果が多い。2008年で特別研究者制度が終わってしまうのは極めて遺憾である。

印象：①生活面での配慮が行き届いている。②指導責任者は各分野の第一人者ばかりだ。

制度の将来：笹川医学奨学金制度を継続して頂きたい。特に特別研究者制度を強化したい。2度目の訪日は1度目より収穫が大きいから。

医学交流の将来：日本の医学水準は世界でも高水準にあるので、我々は日本との交流を深め、水準を高めるため、日中医学協会の支持と協力を得、両国政府に両国医学界が合同で大規模科研プロジェクトを申請したい。また、引き続き学会開催や、相互訪問、共同研究等に協力して頂きたい。

印象：良く組織運営されたプロジェクト。

制度の将来：本事業を継続して、中日両国人民の友好と発展に貢献して欲しい。

評価：両国の発展と、両国人民の友好促進に有益。

印象：きめ細かく、周到な按配。

制度の将来：帰国笹川生の定期的な学術交流会以外に、5年おきぐらいに全国規模の交流会を開催し、専門的分野の他、帰国後の仕事の状況等の面でも交流したい。

医学交流の将来：①私の病院では留学経験者の大多数が日本留学組である。この状況は中日医学交流や医療設備の共同投資事業等に大変有利である。②日本は多くの実験室を開放し、中国医師に研究の機会を与え、また、臨床面にも参加させて欲しい。

評価：本事業は多くの若手中国医師に外の世界に触れ、視野を拓げ、先進的な知識と技術を吸収する機会を与えた。私の知る何人かの先輩の大きな成功は、留学と関係している。この制度も中日両国の直接的交流であり、世界平和と人類の進歩にも貢献する。

印象：日本の先生方の辛抱強さ、きめ細かさ、敬業精神が印象的で、これは中国人に元々欠けている所だ。また、日本人民の修養や公衆道徳にも感心した。私は帰国後の仕事や生活の中でこれを実践している。

制度の将来：本事業を継続するか、同様の事業を設立して頂きたい。私自身の希望を言えば、本事業を継続し多くの学習の機会を得たい。

医学交流の将来：①本事業を継続するか、同様の事業を設立して更に多くの中国青年医師にチャンスを与えて欲しい。②帰国笹川生が多くの日本の先進的情報（書籍・画像データ等）を入手出来るようにして頂きたい。③日本の専門家が訪中して指導・講演して頂きたい。帰国笹川生が橋渡しとなります。④笹川生の学術交流会の開催。⑤両国の大学間・病院間の協力事業に援助して頂きたい。

評価：本事業は中国の多くの人員に得難い学習の機会を与え、科学研究を進歩させたばかりでなく、祖国と、更には人類の科学研究事業に大きく貢献した。

印象：箱根セミナーで同期の友人や日中医学協会の先生方に会った事。富士山を見た事、温泉に入った事等が忘れがたい。

制度の将来：①2008年以降も継続して貰いたい。②日中医学協会との連絡をもっと密にしたい。

医学交流の将来：中日医学交流を更に盛んに、より良いものにして、私共に学習と交流の機会を与えて下さい。

印象：各方面に配慮が行き届き、奉仕の精神に満ちている。

制度の将来：1年では短かすぎ、課題が終わらない、2～3年、出来れば学位を取得出来る事業になれば完璧になる。

評価：本事業は中日両国の相互理解と友好を推進し、中国医療事業の発展を促した大変意義ある事業である。

印象：日中医学協会の行き届いた配慮で、我々は貴重な1年間を有効に使うことが出来た。

制度の将来：①出国前の研修が語学研修を含めて8か月に及ぶので、連続して5か月にした方が合理的である。②中国の生活水準も上

がっているので、生活費は20万/月にしてはどうか。

医学交流の将来：本事業は中日友好と、中国医療事業の発展を促した大変意義ある事業である。このような事業をもっと多く広範に展開して頂きたい。

印象：事業のスケールが大きく、長い。受益者が多い。

制度の将来：①日本の指導責任者と中国の学生との価値観を適宜調整する。②統一的・画一的に行えるのであれば勿論良い。しかし、日本の基準に従って要求・運営するというは双方の感じ方に違いがある。物事は人によって違いがある。来日前に日本を十分に理解しておくのが望ましい。

医学交流の将来：①相互交流の在り方に関する、両国の目標の相違点をきちんと把握すべき。②交流には相互理解が欠かせない。「郷に入っては郷に従え」はもっともだが、不協和音から新しい思考法が生み出されることもある。③中日医学交流が更に発展することを願う。

評価：笹川医学奨学金制度は中国医学人員に日本の先進技術を学ぶ機会を与えたばかりでなく、日本と日本人を深く理解させることが出来た。

印象：①日中医学協会職員の心配り。②日本人の仕事への真剣さ。

制度の将来：来日前語学研修の期間短縮。

評価：視野が広がり、先進技術を学んだので、臨床にとっても役に立った。

印象：優れたプロジェクトの真摯な運営。

制度の将来：①本事業を継続して頂きたい。②助成の主な対象を講師クラスとする。彼等は若いので、技術的にも精神的にも力に溢れていて、事業の効果が期待出来るが、年齢の高い医師はそれほどでもない。

医学交流の将来：①本事業を継続して更に多くの人員に訪日の機会を与え、また、日本の専門家が訪中して、中国の医療事情や医学界の状況を視察し、相互理解を促進したい。

評価：①中国の臨床研究者が先進知識・技術に触れ、レベルアップする機会を与えた。②両国医学者の相互理解を促進した。

印象：①本事業の実施者と支持者が中日友好に注ぐ情熱。②指導責任者や教員員の敬業精神・責任感・協力体制等を学んだことは、私の貴重な財産となった。

制度の将来：①帰国笹川生の短期訪日研修。②指導責任者が訪中して学術交流活動を一層強化する事。

医学交流の将来：交流は相互交流でなくてはならない。研修者は日本留学により、先進的医学研究の学習と、臨床経験を積み、大いに進歩した。これは笹川医学奨学金制度の大きな収穫である。一方中国にも中医学という、数千年に亘って、人民に貢献してきた財産がある。この貴重な分野を日本の医学者と共有したいと考えている。

評価：①研究方法とその指針を得たこと。②日本人の仕事の進め方、とりわけ敬業精神をこの目で見たこと。③中国の医学教育（本科）に不足している点を発見した。④多くの日本の友人を得、今後の交流の基礎を築いたこと。⑤指導責任者と日中医学協会の援助により、今後多くの成果が期待出来ること。

印象：①日本人民の中国人民に対する友誼。②日中医学協会の人情味ある行き届いた配慮。

制度の将来：中国の科学技術は比較的後れていて、医学も例外ではない。とりわけ私が研究している、腎臓疾患の食事療法に関しては空白の状態にあるので、笹川医学奨学金制度の重点助成項目にして頂きたい。中国では慢性腎疾患の患者が多いにも拘わらず、透析や腎移植を受けられる人が少ない。また、食事療法を行えば、合併症を少なくし、病気の進行を遅らせる事が出来る。私は現在低蛋白食品の開発をしているが、資金調達が困難である。

医学交流の将来：①日本での再研修を希望したいが、機会が少ない。日中医学協会は我々のことを忘れてないで欲しい。②私個人は、「日本腎臓病学会誌」「日本透析雑誌」を購読したいが、私の所では全く読む機会がない。日中医学協会を通して購読することは出来るだろうか。

評価：笹川医学奨学金制度は世界の人民に幸福をもたらす偉大な事業である。時代の要請に応えた事業と思う。

印象：笹川医学奨学金制度は、奉仕の精神に満ちたスタッフを持ち、多くの人材を育成した。我々は1年間の研修を一生の宝として、感謝し続ける。

制度の将来：日本滞在中に、日本の大病院の参観を組織し、組織管理体制・実験室等、日本の先進技術の最前線を知ることが出来れば、帰国後の励みになる。

医学交流の将来：①日本の高度な技術・設備を用いて中薬を開発する。②看護領域の研究交流を活発にする。

印象：きめ細かい配慮に感動した。

制度の将来：本事業を継続し、出来れば期間を2年にして頂きたい。特別研究者制度は1年であるが、間隔が空いてしまって指導責任者も指導しにくい。2年連続が望ましい。

医学交流の将来：交流を継続し、中国の医療水準を向上させ、中日友好を促進させたい。

評価：笹川医学奨学金制度の援助により、中薬研究分野において、両国が技術と資源を補い合い、新技術と研究方法を身につけた人材を育成し、大いにレベルアップした意義は大きい。

印象：本事業は研修生への指導と配慮が非常にきめ細かく行き届いている。

制度の将来：本事業の継続を心から希望する。中国のために、より多くの世界に通用する人材を育成して欲しい。

医学交流の将来：①中薬分野の交流活動を活発にする。中国の生薬資源を利用し、共同研究を促進し、中薬の作用機序を明らかにし、難病・慢性病の治療に副作用の少ない天然薬物を役立てたい。②日中医学協会が笹川生により多くの学術交流活動の機会を与えて欲しい。また、最新の専門書を我々に提供して頂ければ、高い研究水準を維持する助けになる。

印象：研究者の生活面への配慮が行き届いている。

制度の将来：本事業の前期に於いては、中日のレベル差は大きかったが、現在はその差がどんどん縮まっている。私が日本で学びたいと思っていた新しい研究方法や思考方法について、一部の日本の指導者は、理解が十分でなく、中国のレベルへの認識も不十分だった。今後、中国国内でも出来る事で短い1年間を使い切り、本来研究したかった事が出来ない研修者が出る可能性がある。本事業においては、中国の情報日本の研究機関に紹介したり、日本の研究者の訪中視察団を組織したりする事を希望します。交流は本来双方向であるべきです。

医学交流の将来：相互に学び合うことで、交流の意義は、益々大きくなる。

印象：(箱根セミナーで) 富士山に行ったこと。

制度の将来：出来れば研修者が1年に2度集まって、生活や研究面について話し合いたい。

医学交流の将来：①年に1回中日医学交流会を開催したい。②出来れば中国人留学生の数を増やして欲しい。

評価：両国の友好と医学交流と人材養成に多大な貢献をした。

印象：選抜が序列に拘らず、公平である。

制度の将来：両国相互の協力により、長期に亘って継続して頂きたい。

医学交流の将来：①本事業のようなプロジェクトを数多く展開し、より多くの中国医師を日本で研修させ、また、日本の専門家の訪中視察・指導を行って欲しい。②笹川同学会の定期開催。

評価：本事業は両国の医学交流を促進し、多くの中国の医学人材を育成し、医学以外の文化交流と友好往来に大きく貢献した。

印象：笹川医学奨学金制度は、運営と研修生への配慮が大変行き届いており、我々に便宜を図ってくれている。

制度の将来：本事業が2008年に終了すると聞いたが、大変遺憾である。継続し更に多くの中国青年医師に日本で勉強をする機会を与えて頂きたい。

医学交流の将来：今後は中国から留学するばかりでなく、多くの日本人専門家が訪中し、定期・不定期の相互交流を促進して頂きたい。

印象：事業がきちんと運営されている。

制度の将来：長期に継続して頂きたい。

医学交流の将来：更に交流を深め、レベルアップすることを希望します。

評価：本事業は中国の医学人材養成に多大に貢献したのみならず、両国人民の交流と友好を促進した。

印象：日中医学協会職員の研修生に対する心遣い。

制度の将来：申請から訪日までの期間を短縮して頂きたい。

医学交流の将来：将来的には学術交流活動を文化・思想面の交流に発展させることが望ましい。

印象：研修者に対する責任感に満ちている。

制度の将来：日中医学協会の専門家(会員)を多分野に亘って増やし、個々の研究者の研究テーマに対応出来るようにして頂きたい。

医学交流の将来：日本の大学生が短期訪中し、中国の医・薬大学を訪問し、中国に対する理解を深めて欲しい。

印象：事業の管理がきちんとしていて、按配もきめ細かい。

制度の将来：本事業を長期に、安定的に継続して頂きたい。可能な範囲で人数を増やし、特別研究者の比率も増加させて頂きたい。

医学交流の将来：①視察・研究・学会開催等、両国研究機関の相互交流を活発にしたい。②専門別交流を活発にし、専門誌も発刊したい。

印象：①全てに於いて運営がきちんとしている。②実力も潜在力も強大。③はじめよければ終わりよし。

制度の将来：①多くの者が本事業の恩恵を受け、日本人民と日本の医療技術を理解した。本事業の継続を心から希望する。②研修生の

人数を増やし、更に多くの高水準の人材養成を行って欲しい。

医学交流の将来：私は老年病関係の研究と臨床に従事しているが、日本留学により当該分野での日本の先進性を知った。中国は今正に高齢化の波が押し寄せ、老年保健医療の整備と基礎研究の向上が急務となっている。日本との多方面の交流（技術だけでなく）により老年病対策と管理システムを設立したい。

評価：笹川医学奨学金制度は中国の医療水準を向上させ、中日両国人民の相互理解と交流を促進した非常に有意義な事業である。

印象：研修生に対する配慮が行き届き、日中医学協会の仕事もきめ細かい。

制度の将来：帰国笹川生に日本の上級医療機関で短期研修する機会を頂きたい。研修中は研修先1か所で、日本全体の医療システムを見ることが出来なかったし、帰国笹川生の多くは機関のリーダー格になっているので、短期参観は効果的と思う。

医学交流の将来：中日医学交流は人と人との交流であり、相互理解は極めて重要である。日本の社会通念と人間関係は中国と大きく違い、初めて日本へ来た研修生においては、往々にして誤解や不満を生み、研修の成果や、帰国後の日本観や仕事にも悪影響を及ぼす。西洋が起源である医学を学ぶ事に日本も中国も条件は同じはずなのに、習慣の違いに突き当たる事は大きな問題だと思う。交流は相互に努力し理解し合うべきだが、例えば日中医学協会からのアンケート（在日中）は質問が細部に及んでいるが、私が提示している様な問題に関しては、反応はなかった。これでは一方通行であって、まだ相互交流とは言えない。

印象：組織的で行き届いたな手配。

制度の将来：継続を希望します。

印象：空前であり、おそらく絶後のプロジェクトである。多人数の中国医学人材を養成し、両国人民の相互理解を促進した。全く素晴らしい。

制度の将来：特別研究者制度だけでも継続し、日本で研究できるようにしていただきたい。

医学交流の将来：多種多様な交流と合作を展開して頂きたい。

評価：視野を拡げ、研究の発想や方法を学習出来たことは非常に意義深い。

印象：人材育成計画がしっかりしていて、運営も緻密である。

制度の将来：本事業を継続して頂きたい。また、日本の先生方にも訪中して頂き指導を受けたい。

医学交流の将来：①専門別医学会の交流を促進と、各専門を網羅した医学学術大会を開催したい。

評価：①両国人民の友好と相互理解の促進。②両国の文化と技術の交流。③中国の医療水準の向上に非常に有意義であったこと。

印象：①来日前の語学研修など行き届いている。②在日中の生活が保証されていて、勉学に専念出来る。③指導責任者が熱心で、日本人が友好的だったこと。

制度の将来：私は本事業にとっても満足している。笹川陽平先生と笹川財団、日中医学協会及びその職員に感謝する。

医学交流の将来：両国が共に直面している公衆衛生分野での合作を強化したい。例えばエイズ・SARS・結核・肝炎その他緊急に対応を要する問題。

評価：本事業の成果は、単なる知識の学習でなく、生涯の財産となる科学的発想方法を学び、視野を大きく広げた事だと思う。

印象：人間と科学双方を尊重していること。

制度の将来：①本事業を継続し、両国がNo.1と認める奨学金制度にして頂きたい。②研修生の研究希望先を尊重し、研修者が最も学びたい事を研究できるようにして欲しい。

医学交流の将来：交流は一方向のものでなく、相互交流が必要である。双方が協力し、双方がその利益を得、共に発展したい。

評価：中国は各分野でまだまだ遅れているので、先進国に学ばねばならない。笹川医学奨学金制度は我々に新たな道を切り拓いてくれた。

印象：本事業は非常に良く組織されていて、きめ細かく配慮されているので、効率よく勉強出来た。

制度の将来：期間を2～3年にするのが合理的で効果的だと思う。

医学交流の将来：①特別研究者の人数を相対的に増加させる。②研修者の滞在期間を2～3年にする。③交流内容を基礎に重点を置き、その成果を臨床に反映させる。

評価：日中交流、中国医学、人類への貢献が大である。

印象：運営が良く、効果が顕著。

制度の将来：継続し、一層の発展を希望します。帰国笹川生へのフォローアップも強化して頂きたい。

医学交流の将来：効果的で長期に亘る相互交流を。

印象：日本は先進的な隣国なので、現代医学とその実践方面で、中国を押し上げる作用を持っている。

医学交流の将来：若手医師の交流を強化する。例；学術交流大会形式等。

評価：本事業は中国医療関係者に訪日の機会を与え、学術交流のみならず両国人民の友好の深化にも貢献した。

印象：日中医学協会職員の至れり尽くせりの配慮は、私にとっても、また、我々にとって最も印象に残る体験だった。

制度の将来：訪日前に指導責任者と十分に連絡を取って、研究計画と研究の準備ができれば、日本での1年をもっと有効に使える。

医学交流の将来：①多種多様な相互交流を。②研究のためには1年では短いので、滞在期間を適宜延長出来ればよい。

印象：良く運営されている。

制度の将来：研修生にもっと自由を。

医学交流の将来：短期相互訪問をより多く展開して欲しい。

評価：笹川医学奨学金制度は日中友好を具現したものであり、中日医学交流のモデルと言える。

印象：日本の先生方の仕事への真摯な姿勢が印象的だった。

制度の将来：私個人は、特別研究者として再訪日したい。

医学交流の将来：中日医学交流は未来に目を向け、長期的な協力、不断の進歩をのぞむ。中国からの研修以外にも、日本の研究者が数週間～数か月調査・会議参加のために訪中されることを歓迎する。

印象：運営がきめ細かく行き届いている。

制度の将来：活動を活発にし、帰国後も連絡を密にしたい。

医学交流の将来：本事業のような制度を、長期に亘って継続して頂きたい。

評価：①両国医学交流の促進。②中国医療のために多くの人材養成をした。③日中友好への貢献。

印象：笹川医学奨学金制度の帰国人員は、中国医療衛生各部門のリーダー格となり、医療衛生事業に貢献している。

制度の将来：①継続して頂きたい。②特別研究者は再来日なので、レベルの高い機関で研究出来れば、効果は大きいと思う。

医学交流の将来：①特別研究者は元の研修機関よりレベルの高い所に派遣すべき、元の機関のままでは成長に限界がある。②中国内の科学研究を共同で実施することが出来ないであろうか。双方にとって有益な条件を利用できれば成果は上げられると思う。③中国医療機関への援助を強化し、専門家の相互派遣を行ってほしい。

5. 特別研究者の自由意見

第2期

印象：①研究者の学習と生活への配慮が行き届いている。②出来れば更に系統的に研究出来れば良い（私の場合、帰国後外国人研究員としてに再訪日し、国立公衆衛生院で研究出来た）。

制度の将来：研究者間の連携と学術交流の一層の促進。

評価：本事業は、広範な中国の若く有為な医療従事者に、日本で学ぶ機会を与え、日本の厳しい学風、骨身を惜しまず研鑽する精神及び科学的姿勢に触れさせる極めて有益なプロジェクトである。

印象：指導責任者の選択、日本語研修、研究・生活面への配慮等、よく整備されたプロジェクト。

制度の将来：①選抜される研究者はなるべく若く、出来れば30歳以下が望ましい。②日本語研修の継続。③養成計画については更に具体性を求め、先進的テーマが望ましい。

医学交流の将来：①医学交流のテーマは時代の要請に応えるものが望ましい。例えばSARS・エイズ等。継続的な教育・相互交流があつてこそ良い成果を上げる事が出来る。②交流を深める中で、人材を発掘、熱意ある研究者を育成することは大切。こうした人材を各機関は重視すべきだ。

印象：長期間に亘り、中国の為に多くの人員を養成した事に感嘆する。

制度の将来：本事業終了後、貴重な20年の経験を総括し、中日友好の歴史に載せる。

医学交流の将来：①帰国後省レベル以上の表彰を受けた者、書物を出版した者を対象に、日本か中国国内で交流会を開催し、活躍に応じて表彰する。②「笹川生論文目録」「笹川生著書目録及内容摘録」「笹川生受賞論文集」等を編纂し、記録に残す。

評価：①中日両国人民の友好と相互理解を促進した。②研修生の素質を伸ばし、研究能力のレベルアップに有益であった。

印象：特別研究者として再度日本に行くことが出来、家に帰ったようであった。

制度の将来：①三度目の訪日が出来て、研究を深める事が出来ればよい。②指導責任者が当該研究者の所属機関を訪問し学術交流をする。

医学交流の将来：①帰国笹川生を選抜して、訪日させ学術交流を行う。②指導責任者が訪申し学術交流をする。③遠距離診断システムを構築し、帰国笹川生が診断困難な症例について、指導責任者や日本の専門家と検討出来れば良い。

第3期

評価：①中日交流の面から見て、特別研究者として再度訪日し、日本の友人と旧交をあたためる事は、両国の民間交流に誠に有意義と思う。②学問的な面から見て、特別研究者は指導責任者が優秀と認めた者であり、再来日して研究する事は更なる成果を上げることが期待できる。

印象：特別研究者研究発表会が印象深い。

制度の将来：2週間程度の短期訪日研修制度を設立し、より多くの帰国笹川生が日本の医療の最新状況を知ることが出来れば、笹川生のレベルアップと制度の長期的且つ連続的な成果が期待できる。

医学交流の将来：①日本の西洋医学は欧米のレベルに近く、日本は人種的に中国人に近い。中国の医師が日本の西医に学ぶ事は、中国医学のレベルアップに有益である。交流を更に促進したい。②中国の西洋医学は古典的な意味での西洋医学ではなく、中西医结合の色彩が強い。これは日本の西洋医学にとっても参考になるであろう。③日本の東洋医学と中国の中医学は更に交流を深める必要がある。

印象：学習・研究面で大きく向上した。

制度の将来：①3か月から半年の短期訪日研修への助成。②優秀な特別研究者には帰国後の研究資金の援助を。

医学交流の将来：公衆衛生分野の専門家の相互訪問・相互理解の促進。

評価：帰国後、際だった成績を上げた者を選んで特別研究者とすることは、レベルを保証し、また大きな成長が期待できる。

印象：日中医学協会の学習・生活両面に亘るきめ細かい配慮。

制度の将来：共同研究を促進し、中日双方がお互いに優れた面を取り入れる。

医学交流の将来：①様々な分野で多様な形式の交流を行う。②留学生の相互派遣を行い、人・病院・制度等において相互理解を深め

る。③人員・機器・設備等、日本が中国の後進地区への援助を行う。④学術交流は、やはり指導者と学生が実際に会って行うのが望ましい（例；毎年開かれる帰国笹川生の学術交流会で学生が発表し、指導責任者も参加するのが最も良い）。

評価：多くの中国医師が、先進医療の理論と実践を学ぶ事は、中国国内の医師のレベルアップと人民の健康水準の向上に有意義である。

印象：広い範囲から選抜されていること。

制度の将来：生命科学分野の交流の促進。

医学交流の将来：①多様な助成事業、臨床の短期研修、特定分野の技術研修（肝移植等）、ポストクへの援助など。②日本の専門家の短期訪中講義。③共同研究への援助。

第4期

評価：①中国医学の進歩と発展を促進した。②両国医学界の相互交流。③日中両国人民の友好促進。

印象：笹川良一先生に会ったこと。「人類は皆兄弟」「世界の人々に奉仕する」の理想に邁進する姿は敬服に値する。

制度の将来：①学術交流基金を設立し、帰国笹川生が日本やその他の国で開催される国際学会に参加出来るようにして、中国医学の世界との交流を促進し、併せて笹川生の中国国内での地位を高める。②中国国内における科研基金を強化し、給付額を増やし、帰国笹川生のレベルアップを促進する。

医学交流の将来：大規模な中日医学シンポジウムの開催への援助。

印象：①日本の医師の責任感、仕事への真摯な姿勢。②先進医療・技術を学んだこと。

制度の将来：①帰国笹川生の訪日（学会参加・学術交流）への助成。②教授・主任医師クラスの短期訪日視察。

医学交流の将来：①相互交流の促進。②中日間の学会での使用言語は英語でなく、日本語・中国語とする。

印象：非常に有意義な研究が出来、また、日本の友人と更に理解し合える機会であった。

医学交流の将来：中日友好は前途有望である。両国友好人士の往来を更に促進し、協力事業の機会を作って行きたい。交流の拡がりにより、両国間に横たわる先入観や敵意が取り除かれ、お互いの優れた点を学び合い、子々孫々に亘る友好と発展を手に入れることが出来る。医学交流の分野に於いては、既に多くの成果を上げており、引き続き中日友好の中核的役割を果たすことが期待される。

印象：遠大な計画、合理的な運営、担当者の事業への姿勢。

制度の将来：自分も含めて帰国した特別研究者の多くは、既に管理者の立場にあるため、日本の病院管理システムを系統的に学びたいと思っている。例えば短期研修プログラム（EMBA）等を設立して日本の大病院の管理体制を学べる機会があると良い。これは中日の病院間交流を促進することにもなるだろう。

印象：研究を更に深めることが出来た。

制度の将来：1週間程度の短期訪日研修を希望します。

医学交流の将来：中日医学協力の更なる促進、研究基金や相互訪問への援助等。

評価：笹川医学研究者制度は両国医学者の相互交流を深め、中国医学従事者のレベルアップと、その所属機関の研究水準の向上に大きく貢献している。

印象：よく配慮された運営により、研修者の生活・研究両面に良い環境を提供している。

制度の将来：本制度を継続してほしい。帰国笹川生に更に多くの再来日の機会を与えて頂きたい。

医学交流の将来：中日医学交流を更に促進する、特に医学教育方面等。

印象：①日中医学協会職員の熱心な仕事ぶり。②日本語教師も非常に優れている。

制度の将来：本事業を長期に亘って継続してほしい。帰国笹川生の活動を数多く組織したい。

第5期

評価：本事業は研修生本人が学問・研究を深め、学位を取る機会を得ると共に、中国のハイレベルの研究人員を育成する。また、両国の文化・科学の交流と友好関係の構築に於いて、歴史的意義がある。

印象：帰国間近に行われた研究報告会で、私の報告が高く評価され、とてもうれしく、光栄に思っている。

制度の将来：継続を希望する。3か月～半年の短期訪日研究の機会があればありがたい。

評価：かつて日本が派遣した遣唐使は、両国の相互理解と日本の経済・文化の発展に大きく寄与した。笹川先生の創設した笹川医学研究者制度は両国の相互理解と中国の医療衛生事業の発展に大きく貢献した。

印象：①人数が多く、専門分野が広いこと。②研修機関・指導者すべてが一流であり、先進知識・技術が学べること。③20年継続した事は偉大なことだ。

制度の将来：①研究への援助を希望する（帰国した特別研究者等）②再び訪日して研究を深める機会があると良い。

評価：中国医学の発展と、両国民間交流を促進した。

印象：日中医学協会職員の仕事ぶり。

制度の将来：更にハイレベルのプロジェクト、研究助成などを。

医学交流の将来：より高度な研究テーマ、例えばアジア人種の睡眠時呼吸障害の発症率及び予後に関する研究など。

印象：我々のために良好な研究環境を与えてくれたこと。

制度の将来：ハイレベルの人材を数多く養成していただきたい。

医学交流の将来：①共同研究の機会提供。②特別研究者の活躍の場を設ける。

第6期

評価：経済のグローバル化は必然的に科学技術のグローバル化を招く、この種の学術援助事業は、中国の医学人材を養成するのみならず、中日両国の協力関係を助け、短所を補い、長所をお互いに伸ばす事に益する。

印象：運営がきめ細かく、きちんとしていて、友好の空気が溢れている。

制度の将来：①貴重で限られた滞在期間を最大限に利用するため、来日前の準備を更に充実させたい。例えば語学研修の強化、自分に合った研修内容や研究先の選択、研究者と研究先との事前交流の機会提供等。②1～2年に1回、帰国笹川生が訪日して学術交流を行う機会を提供して欲しい。

医学交流の将来：基礎研究領域の学術交流を強化したい。アジア人の共通性を基に、中日間で癌を含む重大疾病の病因学研究室、予防医学関係研究室が協力し、テーマを決める際には双方の特性を利用し優れた部分を共有する。

評価：2回目の訪日なので生活面の適応に問題が無かった。研究に全力投球できた。

印象：やはり緊張していた。

制度の将来：研究期間を適宜延長する（1～2年）。

医学交流の将来：現在の医学交流体制を基礎に、更に大規模な共同研究を行う。例えば治療薬物の研究などは双方に有益である。

評価：①1回目の訪日の時より更に専門知識を得ることが出来た。②以前の研究を継続することが出来た。③1回目の経験から、何をどのように学ぶべきかわかっていた。④大学院に進むことが出来た。⑤特別研究者制度は優秀な人材を育成するのに、最も成功したプロジェクト。

印象：研究者の為に生活費・住居費・研究費が支給されたこと。

制度の将来：①継続を希望する。②日本で学術交流会を開催したい。③各々の専門分野に関する新情報・新研究などを提供して頂きたい。

医学交流の将来：①日中医学協会が中日医学会を設立し、笹川生を会員とし、学術交流会を開催すればレベルアップに有意義と思う。②科学研究基金を設立し、中国国内或いは日本で研究資金の提供を行う。③笹川生の成果や受賞などを広く宣伝する。

印象：日中医学協会の実務運営により、笹川医学研究者制度が際だった成果を上げ、中国の医療の為に多くの人材を養成したこと。

制度の将来：短期交流・視察を実施し、両国医療関係者が相互理解と友情を更に深め、両国の福祉と健康に貢献することを希望する。

評価：2000名余が笹川医学奨学金制度の恩恵を得、中国医療衛生事業の将来に最も重要な戦力となった。また、中日友好と医学交流の大きな架け橋となった。

印象：中国側の厳正な選抜、日中医学協会の組織的で有効な仕事。

制度の将来：①笹川生の選考を更に厳密にし、語学能力と研究意欲に満ちた若手を選抜する。申請時に研究計画書を添付させ、選考する側は、研究の先進性・可能性と申請者の研究能力を総合的に評価した後に研究者を決定する。実力が伴わない者を選抜しても効果が無く、先輩が長年に亘り築き上げてきた中日医学交流の成果を損なうことになる。②同学会の活動を強化するため、帰国笹川生と指導責任者の学術交流活動を活発に展開し、また、会員の科研成果と優秀論文などを刊行し、笹川生と指導責任者との合作を促す。これら学術研究の向上は本事業の重要な目的の一つである。

医学交流の将来：両国共に関心の有るテーマ、又は直面している医学的問題について中日で共同研究を行う事は最大限の効果を生み出す。また、交流それ自体も大切だが、学術的レベルの向上も重視しなければならない。

評価：本制度は中国医師に日本の先進的な医薬学を研修する機会を与え、中国医師の進取の精神を鼓舞し、多くのハイレベルの医師を養成した。一方、多岐に亘る日本社会の生活・文化を吸収し、帰国後、研究者の多くは中国医学界のリーダー的存在となった。

印象：①日本民族の、行き届いたきめ細かさ、仕事に対するまじめさ責任感。②箱根セミナー。③東京の娘たちの日本語は耳に心地よい。日本語は美しい言語だ。

制度の将来：既に多くの中国医学界のリーダを養成している本制度を続けるべきと思う。また、本制度を医学界のエリートを生み出す制度にするため、更に高度な共同研究に援助したらよいと思う。

医学交流の将来：現在日本の医学レベルは欧米同様世界のトップレベルにある。中国の医学も急速に発展している。我々は中日医学交流を進め、よりハイレベルの合作を行い、他者に学びつつ、よりよい成果を樹立し、医学発展の記念碑的事業を成し遂げるべきと考える。

評価：中国の医療衛生事業の発展に大きな助けとなり、両国医学交流に非常に有益である。

印象：日本文化を知った事以外に、笹川陽平理事長の講演が印象に残った。

制度の将来：日中医学協会を通して、特別研究者の短期再来日制度を設立し、更に交流を深めることは出来ないでしょうか。

医学交流の将来：①専門別学術交流を強化したい。例えば北京で両国の相当する専門学会が学術会議を開き、日本の指導責任者を北京に招き特別講演や教育活動を行う事など。②文化交流も強化したい、北京である分野の文化交流会を開き、帰国笹川生を招くのは如何でしょうか。③日本の新動向（各層各方面）の技術応用・国民心理・経済等について日本の専門家が北京で専門報告会を開く事などは如何でしょうか。

第7期

制度の将来：特別研究者の年齢は35～45才ぐらいがよい。この年齢層の者は一定の経験を積み、考え方も成熟しているし、研修終了後は帰国して元の職場に復帰する。

医学交流の将来：臨床医学分野の交流を強化して頂きたい。

評価：多くの者が、特別研究者を契機に更に学問を深め、国内の各専門分野に於いて影響力を増し、臨床と研究分野における有用な人材となった。彼らは両国医学交流と先進的な隣国に学ぶ架け橋である。

印象：1回目の来日より勉強が進んだ。初めて来た時より研修者も成熟しており、指導責任者や教室の人々の中に入って、学術的により深く学ぶ事が出来た。

制度の将来：本制度は、私の人生のターニングポイントとなった。帰国後の私の仕事を大きく促進させ、研究分野で進歩し良い成果を上げた。本事業が中国の青年医師のレベルアップを促し、我が国の医療に貢献することを願う。

医学交流の将来：①在日期間に学会や座談会に参加させてもらって、歓迎を受け、また大いに啓発された。日本の専門家が参加する学術会議や交流会を開催し、相互理解・知識を深め、中国医療事業の発展を促進したい。②笹川医学研究者制度及び特別研究者制度を長期に亘って継続し、より多くの青年医学者に学習と訓練の機会を与えること。また、帰国笹川生が様々な形式で指導責任者やその他の専門家との学術交流・師弟関係を持続、中日医学交流と中日友好に貢献するよう心から希望する。

評価：本事業は帰国笹川生から優秀な者を選んで再度日本で研修させ、より高度な専門家を養成する事業であり、誠に有意義と思う。

印象：特別研究者制度により、より高度な専門家を育成していること。

制度の将来：①08年に笹川医学研究者制度が終了しても、特別研究者制度は継続し、帰国笹川生にチャンスを与えてほしい。②帰国した特別研究者に日中医学協会の資料・情報を常に提供してほしい。

医学交流の将来：①中日国際学術会議を数多く開催する。②多くの日本人専門家が訪中して指導・講義をする。

評価：中国がWTOに加盟したことは、必然的に中国が世界を知り、世界が中国を知る流れとなった。中国の改革開放政策以降、中国の医師が出国しやすくなり、日本の専門家と交流出来るようになったのは、貴重な機会であったと思う。笹川医学奨学金制度を運営する皆様に感謝いたします。

印象：きちんと組織され、留学生同士の連絡、帰国後のフォローなど、他に例を見ない事業。

医学交流の将来：帰国笹川生が日本の学会に参加し、また、元の指導責任者との交流を奨励するため、旅費・学会参加費などを助成して頂きたい。

印象：きちんと運営され、配慮も行き届いている。

制度の将来：継続を希望する。

医学交流の将来：今後とも、より一層のご支持ご援助をお願いしたい。

評価：①中日医学交流と共同事業の促進。②中国の為に多くの優秀な医学人材を養成し、帰国笹川生が祖国の医療事業の発展に大きく貢献している事。③中日両国人民の友好の促進。

印象：日本語研修、日本での生活と研修、帰国後の同学会、地区別交流会、笹川生通訳録など、全てについて本プロジェクト創始者と実施者の中国人民への友好の情を感じる。

制度の将来：本事業は際だって優れており、非の打ち所がない。

医学交流の将来：中日医学交流は既に内地（沿海地区など）の多くの地区・都市に行き渡っているため、今後は西部地区開発の趨勢に併せて交流を展開してはどうか。

印象：自主性・独立性が高まり、研究者に有益である。

制度の将来：帰国後の特別研究者への援助、短期出国・国際会議への出席等。

医学交流の将来：中日医学交流のたゆまぬ発展、各分野の交流の深まりを希望します。

評価：本事業は多くの中国の医学人材を養成したばかりでなく、両国の医学研究を促進し、両国人民の相互理解を押し進め、中日両国の今後の友好関係に大きな意義を持つものとなろう。

印象：大規模（大人数）で長期的な事業。日中医学協会の研修生への配慮が行き届いている。

制度の将来：学術交流会を定期開催し、帰国笹川生に研究成果の発表の機会を与え、本事業の成果を確かめたい。

評価：特別研究者制度は有益かつ有意義と考える。再訪日であるため、環境に素早く適応し、研究に集中でき、また1回目の訪日の基礎が有るので効率が良く成果も上がる。

印象：本制度の担当職員の仕事ぶりが、きめ細かく行き届き、また、効率的であったこと。

制度の将来：帰国した特別研究者に対する助成、例えば日本で開催される学会への参加、指導責任者を中国に招いて直接指導を受けること等、直接（face to face）交流の機会を提供することは双方にとって有益である。

医学交流の将来：特別研究者は帰国後中国各地で研究・教育・臨床に従事し成果を上げている。2～3年に一度、活動・研究報告をまとめるか、1週間程度日本に集まって指導責任者との交流会を持ち、併せて日本の各分野の専門家との協力事業を促進しては如何。

第8期

印象：交流が深まり、長期的な研究協力が出来たこと。

制度の将来：本制度により成長し、指導的立場に就いている帰国笹川生と日本の専門家との間に、（元の研修機関に拘らず）深く幅広い交流・協力が行われること。短期訪問（1～3か月）等も含めて。

評価：中日医学交流と中日両国人民の友好を促進した。

印象：再来日により、大きな収穫を得たと思う。

制度の将来：また訪日して、研究・交流をしたい。

医学交流の将来：①中日医学交流を促進し、医学を発展させる。②国際協力事業を強化する。③活動項目を増やし、交流の機会を多く作り出す。

評価：中日両国人民の相互理解と交流を促進したこと。中国医療従事者の視野を拓けたこと。

印象：日中医学協会職員の真摯な仕事ぶり。

制度の将来：短期訪問制度の設立。

評価：①中日両国間の学術交流促進と研究レベルの向上、揺るぎない研究成果。②研究者と指導責任者の人間関係が、国際共同研究の基礎的人脈となったこと。

印象：特別研究者の帰国前に東京で研究報告会が開催されたが、指導責任者の研修生に対する責任感の強さに敬服した。

制度の将来：本制度を継続・発展させて頂きたい。帰国笹川生への援助と共同研究、特に人口も症例も多い中国の優位性を生かして臨床と疫学分野に於ける調査研究を促進したい。

医学交流の将来：①中医学は中国に源を発し、唐代に日本に伝わって以降、日本国民の健康と繁栄に大きく貢献してきた。特に生活習慣病・老年病分野に於いては、現在益々注目されている。中医学に関心のある日本の医師・薬剤師・鍼灸師が中国の中医学大学と共同研究をすることは、双方にとって極めて有益と考える。②日本のリハビリテーション医学は世界一流であり、特にPT・OTの養成機関の運営には数10年の実績がある。中国のリハビリテーション医学は緒に就いたばかりであるため、PT・OTの養成機関の設

立にご協力頂きたい。また、日本に於いて中国のPT・OTの養成を行って頂きたい。

評価：1回目の訪日より、適応出来、学んだ事柄も多かった。日本社会への理解も格段に深まった。

印象：中国医学者が日本の先進医学を学ぶ架け橋となったばかりでなく、中日両国人民の友誼も深めることが出来た事。

制度の将来：特別研究者は帰国後、各機関のリーダー格になっている。適当な時期に日本か中国で集まる事が出来れば意義深いものとなるだろう。

医学交流の将来：日中医学協会が両国の専門分野別交流の橋渡しをして欲しい。

評価：笹川生は帰国後、日本で学んだことを応用して一定の成績を上げたが、更に学問を深める必要に迫られてもいた。そのような時、特別研究者制度が我々に、更なる飛躍の機会を与えてくれた。

印象：特別研究者制度は比較的自由で、助成金も多い。我々は恵まれた条件の中で自己を高め、所期の目的を達することが出来た。

制度の将来：帰国後も指導責任者と交流する事を望んでいたが、手紙の往来も限界があり、その他にも様々な障害がある。指導責任者と会ったり、学術交流を行う機会はゼロに近い。再度訪日して先生と会い交流する機会を創って頂けないだろうか。

印象：日本文化、日本社会への理解。

医学交流の将来：日本の一流専門家が訪中して最新情報や技術を講義してもらいたい。今日通信は非常に発達してはいるが、多くの技術は、いくら文章を読んでも会得できるものではない。実際に講義や手技の実演をしてもらえれば、中国医学にとって非常に有益である。

評価：日本の専門家の学問への取り組み、厳格な科学的姿勢、骨身を惜しまぬ努力は賞賛に値し、学ぶべきものである。これを知る事が日本留学の最も重要な点である。本制度を継続し、中国医療事業の発展と両国人民の相互交流・相互理解の促進に貢献する事は大変有意義である。

印象：大変意義ある事業である。また、我々の日本滞在中、生活面は勿論、研究面においても細やかな心配りをしてくれた日本側の人々に心から感謝する。

制度の将来：①本事業を継続・発展させて頂きたい。②出来れば帰国笹川生が日本で開催される学会（国際学会・国内学会）に参加し、日本やその他の外国の専門家と交流し、新知識を得られるよう援助して頂きたい。

医学交流の将来：①帰国笹川生と指導責任者との交流の機会を創る。②帰国笹川生の学術交流会の定期開催。③帰国笹川生と指導責任者との学術交流の為に基金の設立。

印象：笹川陽平先生はじめ皆様が中国医学・看護事業に暖かな愛を注いで下さった事に感動する。日中医学協会の皆様の支援は終生忘れない。

制度の将来：制度の継続を希望する。多くの看護従事者に進歩の機会を提供して頂きたい。

医学交流の将来：看護従事者の研修先を選択する場合、看護大学の教室が望ましい。臨床から離れているとは言え、研究生の看護理論と科研能力は向上する。必要に応じて臨床に転じる事が出来るし、研修生にとって得るものは大きい。

評価：貴事業を通して多人数の中国医学者が研究と交流の機会を与えられた。彼等は帰国後各分野でリーダーとして活躍をしている。

印象：大規模で目的が明確である。能力が高く仕事が速い。

制度の将来：本制度を継続して欲しい。

医学交流の将来：①中国の対外医学交流は、今後ともかなり長期間に亘って先進国に学ぶ事が主となるだろう。だからこそ、より多くの人員が交流に参加することが必要だ。②中医の近代化を促進する。③日本の医療保障制度を研究すること。

第9期

評価：笹川生に学問を深める機会を与え、中日医学交流を更に促進させ、より良い共同事業が出来るようになったこと。

印象：日中医学協会職員の熱心な仕事ぶり。

制度の将来：可能なら本事業を継続・発展させて頂きたい。

医学交流の将来：笹川医学研究者制度は大変意義深い事業である。中日医学交流の為に得がたい機会を与え、両国医学者の相互学習を促進し、力を合わせて人類に貢献することが出来る。

評価：笹川医学研究者制度は研究者が隣国を理解し、協力を深め、自分の学問を飛躍的に進歩させる助けとなる。

印象：笹川医学研究者制度は中国医学界のために千数百名の有為な人材を育てた。その功績は計り知れない。

制度の将来：両国共に関心のある課題については、研修期間を適宜延長してはどうか、価値ある研究テーマに良い成績が残せるのでは。

医学交流の将来：両国共に関心を寄せる医学的問題に対して、共同研究・開発、及び技術協力を行う事が効果的である。同学会の交流会のように地域別に区切り、学科の違う者が交流するのは少し問題がある。

相關関係にある専門交流に絞った方がよい。放射線医学・病理学と他分野の交流、例えば心胸内科と放射線医学・病理学との交流など。以上ご参考までに愚見を述べました。

印象：日中笹川医学研究者制度が斯くも長期に大規模に実施され、しかも見事に運営されている事。その他同学会の学術交流会の開催、「笹川生通訳」の発行等笹川生との長期に亘る交流。

制度の将来：本制度が更なる発展を見、より多くの中国医学者を養成し中日医学交流を促進し、世界の医学の発展に寄与することを希望します。

医学交流の将来：中日医学交流を今後とも継続発展させて欲しい。特に少数民族地区との学術交流事業を強化する。未だ交流が行われていない領域、例えば民族医薬分野（チベット医薬学・モンゴル医薬学）など。

評価：①中国の医師と生命科学の研究者に日本の先進的医学に触れ、学習する機会を与えた。また、1回目の来日で完成できなかった課題を継続し、目標を絞り、更に研究を深める事ができた。②中国人医師の視野を拡げ、今後の発展に寄与した。③中日両国の知識人の交流・相互理解を促進した。

印象：①非常にきめ細かく、行き届いた事業で、研修者が速やかに研究に入れる。②自分の希望に応じて指導者・機関を選べること。

制度の将来：本事業と同種のプロジェクトを継続する事を心から希望します。また帰国後のフォローとして、特別研究者と日本の専門家が長期的に学術交流出来るようにして頂きたい。

医学交流の将来：①日本が世界をリードする領域に関する中国側専門家の訪日研修を行う。②笹川生の多くは臨床医であり、日本の先進的臨床医学の実用技術と科学技術を学習したいと思っている。研修内容を臨床に絞り込む事が出来れば成果は更に大きくなると考える。

評価：本事業が多くの臨床・基礎研究のリーダーを育成した事。

印象：きちんと運営されており、研修目的を達成する事が出来る。管理はかなり厳格。

制度の将来：本事業を継続し、より多くの医学人材を育成して欲しい。

評価：非常に有益で意義深い。両国人民の友好の架け橋である。

印象：日中医学協会の行き届いた手配。

制度の将来：本事業を継続し、また、帰国笹川生との連携を深めて欲しい。

医学交流の将来：笹川医学奨学金制度は日中医学交流のための架け橋を提供した。更に交流を深めるため、日中医学協会と笹川財団は帰国笹川生と指導責任者の共同研究プロジェクトを設立して欲しい。

印象：特別研究者は既に1年の経験があるので、直ぐに慣れ、より良い成果を上げる事が出来る。

医学交流の将来：今後、国際的な医学交流は更に拡がり、中国は益々開放的になり、多くの帰国笹川生が日本の学会や講演に参加できるようになると思う。訪日の為の助成を希望します。

制度の将来：笹川医学研究者制度に研究助成基金を設立して頂きたい。

医学交流の将来：継続により、更に輝かしい成果を。

第10期

評価：医学の先進技術と理論ばかりでなく、日本の工業・交通等の発展状況を知り、今後の中華民族発展の勇気と方向を与えられた。

印象：訪日中の様々な心配り、盛大な歓迎式、研究報告書、事務局通信、歓送会等皆忘れがたい。

制度の将来：研究者の家族団らんの機会を設ければ、更に暖かみのある事業になる。先ずは人間を大切に、我々は軍人ではないのだから。

医学交流の将来：①医学方面では、中国は明らかに日本より遅れている。我々は多くの症例を持っているのみだ。よって、教室間の交流を強化すれば双方にとって有益だと思う。②日本の医師の敬業精神には敬服する。中国に来て指導して欲しい。また、指導責任者も中国で講義をして頂きたいが、こちらは資金的に苦しい。その為の助成プロジェクトは創れないだろうか。

評価：研究者は日本の先進技術と経験を学び、帰国後各分野のリーダーとなり、学んだ事を後輩に伝え、中国医学に大きく貢献すると同時に中日医学交流を促進した。又多くの日本人が中国を理解する機会を作り中日友好に有益であった。

印象：日中医学協会の研究者に対するきめ細かい配慮。指導責任者の熱心な指導と生活面への心配り。

制度の将来：笹川生を修了すると、出国して研究を深める機会を得るのがとても難しいので、将来も様々な方法で、帰国笹川生が学ぶ

機会を設けて欲しい。医学は常に進歩しており、臨床医学は実地見学が必須である。

評価：中日医学交流と両国人民の友誼を促進し、中日友好の長期的発展に貢献した。

印象：医学の新知識・技術を学び、帰国後の臨床や研究に極めて有益であった。

制度の将来：特別研究者制度を日本に半年、中国に半年とし、節約出来た生活費を中国での研究費として中国側機関が管理すればより良い研究成績が上がるのでは。

医学交流の将来：日本で開催される学会参加への旅費助成制度を作れば、中日医学交流の長期に亘る発展に貢献するのでは。

評価：本事業は中国の医学人材を養成し、中国の医療水準、医療技術を促進させ、中日医学交流に非常に意義があった。

印象：指導責任者と教室員の敬業精神と仕事への姿勢及び中国の研修生への真剣で責任感ある指導。

制度の将来：本事業の継続を提案します。

評価：①中国政府を援助し、多人数の中国医学人材を養成した事は中国医療水準の向上に大きく貢献した。②両国人民の相互交流・理解・友好を深め人類の平和に大きく貢献した。

印象：笹川良一先生と、笹川陽平先生の度量の大きさと、真摯な責任感。

制度の将来：笹川医学奨励基金を設立し、帰国笹川生の活躍を奨励する。これにより、引き続き笹川精神を中国に更に広める事が出来る。

医学交流の将来：様々な形式の中日交流を実施する。①専門交流、両国の専門家が短期研修班で交流する。②専門別の学会を中国か日本で開催する。③新技術や発明の成果を両国で享受する。④互いの友情を長く保つため、帰国笹川生と指導責任者が会い師弟の情を深める。

評価：運営がきちんとしており、助成金が充分で、研究・交流の順調な進捗が保証されている。

印象：助成金が充分で、事業の組織運営がしっかりしているので、研修生が安心して勉強できる。

制度の将来：看護分野の人材養成の人数を増やして頂きたい。

医学交流の将来：笹川医学研究者制度が引き続き中日医学交流に貢献される事を希望します。

評価：①医学交流を通して医療技術のグローバル化を促進した。②共同研究を促進した。

印象：日中医学協会職員の責任感に満ちた仕事ぶり。

制度の将来：帰国笹川生が自由なテーマで申請出来る研究助成公募事業を設立して欲しい。

医学交流の将来：高級訪問学者の相互交流（1～3か月）

印象：日本の先進的実験技術を更に学ぶ事が出来た。

制度の将来：特別研究者制度を博士学位コースに改変すれば、更に高水準の人材を育成でき、中国に帰国後より多くの貢献が出来る。

医学交流の将来：①我々研究者は笹川医学研究者制度によって日本の先進技術ばかりではなく、日本民族の仕事に対する真摯な態度や、喜んで人を助ける美德も学んだ。これは中日両国人民の相互理解に極めて有益である。②日本の専門家が訪中して講義を行った。③笹川医学研究者制度が08年の終了後、更に10年延長される事を希望し、併せて笹川先生と日中医学協会職員の皆様のご健勝をお祈りします。

評価：特別研究者制度による再来日研修は、やや遅れた地区の帰国笹川生を主な対象としている。彼らの1回目の帰国後の消息では、所属機関の設備は旧式であり、しかも1年の研修では時間的に不十分であったと聞く。再び機会を得て来日できる事は彼らにとって大きな飛躍をもたらす。私は特別研究者としての研修が彼らの視野を更に広げ、帰国後各々の分野で多大な貢献をするものとする。

印象：笹川医学研究者制度同様、特別研究者制度も非常に行き届いた事業で、ビザ取得から来日して研修機関に着くまで、様々な面で良く配慮されている。日中医学協会職員の仕事ぶりには全く感動した。

制度の将来：本制度の継続を心から希望する。

評価：①両国人民の友好往來の促進。②両国科学技術の交流促進と発展。③多数の中国人の日本理解の増進

印象：日中医学協会職員の研究者への細やかな心配りは印象的だった。

制度の将来：毎年5～10名の帰国笹川生が日本の学会に参加出来れば、指導責任者との交流も出来るし、笹川生の励みにもなる。

医学交流の将来：①現在、笹川同学会が不定期に開催している帰国笹川生の交流会は十分有意義であり、これを制度化して、長期に継続し、また、より多くの日本の専門家が参加するものにしたい。②日中医学協会と中華医学会が毎年中日医学交流会または、専門別交流会を共催する。例えば「中日心血管病交流会」「救急医学交流会」等、両国医学界の交流を促進して欲しい。

印象：①帰国前の特別研究者研究報告会。②日中医学協会職員の仕事ぶり。

制度の将来：①人数と助成額を増やして欲しい。②再訪日迄の間隔を短く（2年かそれ以下）して欲しい。

医学交流の将来：交流のパイプや機会を増やしたい。帰国笹川生の日本の学会参加のための短期訪問助成、指導責任者が帰国笹川生の

所属機関を訪問して学術報告・研究交流を行うための助成等。

第11期

評価：多くの者に出国の機会を与え、世界を理解させた。

印象：計画的できめ細かい運営。

制度の将来：継続・発展。

医学交流の将来：共同研究の促進。

印象：初回の訪日より収穫が多かった。

制度の将来：特別研究者制度を継続し、また、指導責任者を中国に招聘して指導を受ける為の助成をして頂きたい。

制度の将来：継続・発展させて欲しい。

印象：中国国内でぶつかった研究面での問題を抱えて、2回目の訪日をした。実験設備は良いし、周りの日本人はよく知った人達だし、前回より研究がやりやすかった。

制度の将来：継続・発展を希望する。

医学交流の将来：今後とも中日医学交流を盛んに展開したい。例えばシンポジウムの開催等。

評価：中国の為に多くの医学人材を育成したばかりでなく、中日友好の基礎を打ち固めた。

印象：日本人の仕事への姿勢。

制度の将来：研究援助基金の設立。

医学交流の将来：中医薬領域の協力事業を増加させる事を希望します。中国は現在中薬学の近代化を目指している、日本は中薬・生薬の化学的分析及び作用機序解明に関する先進技術と設備及び実績がある。

印象：①研究費が充分であり、指導責任者の指導の下、自分で研究が出来た。②申請・選抜が一般の研究者の様に複雑でなく、国家試験や二期に亘る語学研修もない。③日中医学協会職員が様々の配慮をしてくれたことに感謝する。

制度の将来：①より多くの専門人材を日本に派遣したい。②特別研究者は比較的最近の研究者の中から選抜する。③笹川医学研究者制度の継続・発展を希望する。継続するほど素晴らしい成果を生む。

医学交流の将来：①中日医学学術交流会を中国・日本で交互に定期開催する。②情報交換と最新医学の研究の促進。③共同研究の促進。④専門家の相互派遣。

評価：1回目の訪日より、短時間に適応出来たので研究が進み、とても有意義だった。

印象：日中医学協会の至れり尽くせりの心遣い。

制度の将来：特別研究者制度を継続させて欲しい。

医学交流の将来：笹川医学研究者制度は既に十数年の歴史があり、初期の笹川生は各々の専門で学術上のリーダー格になっている。この人的資源を生かして双方向の学術交流を促進すべきである。専門別分科会を創り、日本の専門家を招いて学術交流をおこなう。

評価：この制度を通じて、中日医学交流に橋を架け、広く中国の医薬学分野に、国際的な、特に日本の医薬学界の現況を提供する機会となった。彼らの学んだ先進的知識は中国の医薬事業に大きく作用した。また、両国文化の交流をも促進した。

印象：笹川陽平先生は多忙にも拘わらず、研究者と交流し、その穏やかで親しみやすい人柄に感動した。日中医学協会の行き届いた手配も忘れられない。

制度の将来：この制度の恩恵を受けた者として、事業の輝かしい成果は誠に喜ばしく思う。西部地区の研修生に対しては、研究・協力面で特に考慮して欲しい。この地域は経済的困難を抱えているから。

医学交流の将来：中日医学交流は互いに学びあって、各方面で積極的に発展させるべき。日中医学協会は特に薬学交流について更に力を入れて欲しい。現在この分野の交流は非常に少ない。

評価：特別研究者制度は、再来日の機会があるから、その希望が原動力となり、1回目の訪日の時、特に努力する。再訪日までの3年間は正に充電期間で、日本で学んだ事を応用・実践する期間である。しかし、やはり1年の期間では限りがあり、もし再訪日、再々訪日が無かったら、語学面・学術面で何れも中途半端に終わる気がする。

印象：笹川医学奨学金は私に成長の機会を与えてくれた。私は今年日本の大学院に入り、アルバイトも始めた、アルバイトをしてみても、不景気な日本で月額22万5千円という奨学金を支給してくれた事に感動する。この事は永遠に忘れられないだろう。日本財団・笹川陽平先生、そして日本国民に心から感謝する。

制度の将来：①特別研究者に第三次、第四次の短期訪日学習の機会を与える。②帰国特別研究者への共同研究助成金の増額。③帰国特別研究者の研究成果や成長を追跡調査し評価する。

医学交流の将来：中日医学交流は人材養成と学術交流に帰結する。日中笹川医学研究者制度はその点完全であり、継続・発展させて頂きたい。医師・看護師は一般民衆に奉仕する者であり、医学領域への援助は即ち人民に奉仕する事である。

印象：特別研究者で来日した事により、相互理解が深まり、共同研究への自信が深まった。

医学交流の将来：日中医学交流を益々盛んにしたい。

印象：日本人の仕事への真摯な姿勢。

制度の将来：本事業の継続を希望します。日本の専門家が訪中して研究することは、相互理解促進に有益だと思います。

医学交流の将来：相互訪問学者の延べ人数を増やし、学術交流活動を促進する。それにより両国民の相互理解が促進され、現在両国間に横たわる歴史的・当面の問題に対してより客観的・現実的に対応する事が出来るようになる。

評価：第1回の訪日の時には日本を有る程度理解し、一定の新知識を学習した。帰国後2年間に日本で学んだ事を仕事に応用できたが、一方新しい問題にも出会った。特別研究者制度は更に学習を深め、問題解決の道をつける事が出来る点で大変有益で、より高度な人材養成に有意義である。

印象：2回目の訪日は、生活環境に早く適応でき、周りの教室員との交流も容易である。

制度の将来：1～2か月の短期交流の実施。医学の新知識を得るのに有益である。

医学交流の将来：特別研究者制度の期間は1年・半年・3か月に分け、本人が選択するようにはどうか。

評価：2回目の訪日は、言葉や文化の差にそれほど障害がなく、研究面で速やかに本題に入れる。

印象：研究修了時の研究報告会。

制度の将来：研究期間を柔軟に、臨床研修は3か月、基礎研究はやや長めに。

医学交流の将来：日本の専門家の訪中への助成、講義・交流・手術手技のデモンストレーション等を行えば、中国医師の為になるし、日中笹川医学研究者制度の影響力を強める事が出来る。

6. 中国派遣機関の自由意見（研究者）

第1期

進歩：日本で知識を深め、帰国後、中西医結合による疾病治療を展開した。中医内科に於ける省の名医と評価され、表彰も受けている。

貢献：成績は突出している。

希望：当該研究者を再度日本に派遣し、更に学問を深めさせたい。

医学交流の将来：中医学の臨床研究交流を強化したい。

進歩：教授に昇進した。

貢献：省の表彰を受けた。

希望：笹川医学研究者制度の長年に亘る本学へのご援助に感謝を表すと共に、今後とも一層交流が深まることを祈念いたします。

進歩：教授に昇進した。生物化学と生物学科の主任である。

貢献：研究を継続している。

希望：①訪日前日本語研修の強化。②帰国笹川生の日本での再研修の機会の増加。

医学交流の将来：専門交流の促進、学会参加など。

進歩：衛生部から3回、市政府より2回表彰を受けた。

医学交流の将来：中日医学学术交流会の定期開催。

進歩：内科主任教授に昇進した。

貢献：研究、診断と治療の各方面に於いて顕著な成果を上げ、指導者に成長した。

希望：本助成事業の更なる拡がり強化を希望する。

医学交流の将来：合作を深める、特に相互訪問に力を入れる。

進歩：本学が貴制度で派遣した医療人員は日本留学により、喜ぶべき成果を上げ、大多数の者が科のリーダー格となり、一部は科主任（教授格）に昇格した。皆様の本学の人材養成へのご援助に、感謝の意を表します。

進歩：①帰国後すぐに、指導責任者と共同研究を開始した。②何度も表彰を受け、教育・研究両面のリーダーとなった。これは日本での厳しい研鑽の賜物である。

貢献：教授・博士課程教官・科主任である。日本での研究課題を継続深化させている。国家から7回研究助成を受け、多くの専門書を編纂した。

希望：本事業は人材養成のみならず、中国の医学研究を進展させ、更には中国人が一般の日本人を理解し両国人民の友好を深める上でも貢献している。

医学交流の将来：笹川医学研究者制度と同様な制度が設立され、両国人民の民間交流が深まることを希望する。

進歩：耳鼻科の臨床で大いに進歩し、科のリーダー格となった。

貢献：日本留学により診断と治療水準が向上し、科をリードしているが、国内の一流水準までは達していない。論文や著作の発表は無い。

希望：帰国笹川生への研究奨励基金を設立すれば、本制度の効果を更に促進することが出来る。

医学交流の将来：中日医学交流は勿論更に促進すべき。日本の専門家が訪中して研究活動をすることも歓迎します。

進歩：①帰国後研究面で進歩した。②慢性閉塞性肺治療に関する研究で国家と省の表彰を受けた。

希望：①臨床と研究人員の養成に優れた制度、継続したい。②専門別の学术交流。③同学会の学术交流会議をよりハイレベルに。

医学交流の将来：①中日医学交流の促進。②共同研究の促進。

進歩：①講師から教授に昇進し、青少年衛生学科のリーダーである。②帰国後168編の論文と7冊の著書を編著した。③省クラス以上の表彰を14回受けた。④中日医学交流を促進している。

貢献：①当科を国際的なレベルに高めた。②日本での経験を十分に生かしている。

希望：①帰国笹川生へのフォロー。②我が校の派遣人数を増やして頂きたい。③研究者と日本の専門家との交流機会を増やしたい。

進歩：90年に「国家貢献突出帰国人員」に選出されると共に、中国青年科学技術奨を受賞した。

第2期

進歩：臨床医であったが、日本留学後は自分で研究を発展させ基礎研究でも良い成績を上げた。省の表彰を二度、助成金を数度受け、特別奨励金も得た。2002年に省優秀専門家に認定された。

希望：本制度は中日医学交流に巨大な貢献をしている。当院の人材育成にも良い機会を与えてくれた。

医学交流の将来：日中医学交流を堅持し、両国人民に幸福をもたらしたい。

進歩：公共衛生学院のリーダー格になり、省の公衆衛生面での学術分野の指導的役割を果たしている。国の研究課題を負っている。

貢献：積極的な貢献をしている。

希望：拡大発展させて欲しい。

進歩：国家・省等の研究課題の責任者として活躍し、十数編の論文を発表し、研究室に細胞培養室・免疫組織実験室・生物学実験室を設立し、また多くの修士・博士を育成した。

希望：継続して頂きたい。

医学交流の将来：中日医学交流をより促進したい。

進歩：日本で学んだ新技術を当院に導入し、心血管内科部門を速やかに発展させた。冠状動脈疾患の介入療法を促進し、遠方からも患者が集まっている。当地指折りの名医と評価されている。

貢献：日本で学んだ先進技術と管理方法を広く当院に紹介した。

希望：素晴らしい制度、中国医学は欧米との交流が多いが、日本との交流活動を促進させるべきだ。

医学交流の将来：各人に、それぞれの専門分野の日本の医学雑誌を贈って貰えればありがたい。

進歩：主任医師として教育・医療に活躍している。

貢献：日本での研修成果により、新技術と研究方法を科にもたらした。

希望：本事業の更なる拡がりを希望する。

進歩：日本留学前は講師であったが、現在は教授に昇進した。

進歩：アンケート用紙をご送付頂きましたが、当院が貴制度で派遣した兩名は、既に当院を離れており、回答をお送りすることが出来ません。悪しからずご了承下さい。今後当院より研修生を派遣する機会が有りましたら、貴協会に積極的に協力し、種々提言などもさせて頂きたいと存じます。各位のご健勝と貴制度の益々のご発展をお祈りいたします。

進歩：他の機関に異動し、責任ある仕事を任されている。

貢献：帰国後、他機関に異動し、産婦人科領域に超音波を応用、東北地区だけでなく、中国国内主要病院での模範手術（腹腔鏡手術など）は300例に及ぶ。この分野の第一線で活躍している。

医学交流の将来：多方面の合作・交流を行う。

第3期

貢献：条件が整わなかった。

希望：一定の研究環境を有する機関の人員で、研究目的が明確で、帰国後も研究の継続が出来る者を選抜する事。

医学交流の将来：継続。

進歩：講師から助教授に昇格し、大いに成果を上げている。

貢献：日本での研究経験を生かし、科の研究態勢を改善し、且つ支えている。

希望：日本で学位を取る機会を増やして頂きたい。

医学交流の将来：会議等、短期訪日交流の増加を希望する。

進歩：日本語を長期間学んだが、使う機会がない。1年ほど訪日してレベルアップさせたい。

貢献：日本で医学教育を学んだが、帰国後、異動があり留学生への教育・管理業務に就いている。

進歩：日本で日本の漢方と微量元素について学んだ事により、数多くの研究や学術交流の機会が得られた。視野が拡がり、多くの友人

が出来た。

貢献：中西医結合と微量元素の研究を継続している。

希望：是非継続すべき、形式は変えても良いと思う。

医学交流の将来：帰国笹川生の力を発揮するため、定期連絡と交流が必要、そのための適切な組織作りを希望する。

進歩：①帰国後 20 余の研究課題に携わり、省レベルの表彰を 8 回受けた。②全国レベルの雑誌に 80 篇、日本の雑誌に 6 篇論文を発表した。③教授に昇進した。

貢献：科のリーダーであり、7 名の修士を育成した。

進歩：笹川医学研究者制度の本学に対する長年のご配慮に感謝いたします。本学が派遣した 14 名は近年次々と出国し、現在は 1 名も国内にはおりません。アンケートにお答え出来ないことを遺憾に存じます。

皆様のご健勝と中日両国人民の友好関係が永久に続くことを祈念いたします。

進歩：既に辞職した。

進歩：①大変進歩した、帰国後、破格の抜擢により教授、解剖学科副主任に昇進した。②中国解剖学会常務理事となった。③現在家庭の事情により渡米しユタ大学に勤務している。

進歩：教授に昇進した。教室の副主任、薬学院副院長、成人教育学院院長である。管理業務の考え方、基準の設定方法など収穫が大きかった。

希望：80 年代に本事業が創設されたのは、笹川良一先生の遠大な見識によるものだ。両国人民の相互理解と、医薬学の交流を促進したことは何物にも替え難い成果である。

医学交流の将来：最近になって再度 1 年間日本で研究したが、日本の政治家と世論の日中関係への理解や重要度への認識が、以前と大きく異なっていた。中日医学交流の範囲は広い。医薬を始め、看護・公衆衛生・病院管理・医学倫理等両国には大きな違いがあり、国情も異なっている。もちろん医学全体に於いては日本が先進的であるが、そのまま中国に導入することは適切でない。それだからこそ交流を深めることが非常に必要なのである。医学以外の要因で交流に困難を来すことがあっても、それは克服されるべきものである。

進歩：生物化学教室のリーダー格である。

希望：高級訪問学者、帰国笹川生の短期訪日など。

進歩：①日本に於いてニューセラミックス補綴等を学び、帰国後国産化した。②先進的技術と設備を学んだことは周囲に良い影響をもたらした。③口腔科主任教授に昇進した。

貢献：口腔医学は元々当院の重点分野であったが、当該医師の日本留学により、当院口腔科の補綴技術は中国国内で一定の評価と知名度を得た。

希望：笹川医学研究者制度は多人数・多方面・長期間に及ぶ良質な奨学金制度であり更なる発展が望まれる。帰国笹川生の短期訪日研修は効果的である。

医学交流の将来：日中医学交流の更なる発展を希望する。

希望：日中医学交流を促進させる笹川医学研究者制度に感謝いたします。これは両国に利益をもたらすものであります。しかし当院が派遣した笹川生は 80% が戻っておりません。貴制度が派遣機関の長期的支持を得るためには、派遣期間を厳守させることが必要と考えます。

進歩：①省青年優秀教師に認定されている。②国内外に於いて 20 数編の論文を発表した。

貢献：当該研究者は帰国後も日本での研究テーマを継続し、国家に貢献している。

進歩：教授に昇進した。

希望：①研修期間を 1 年に限定せず、本科課程、修士課程、博士課程等の奨学制度を追加する。②生物医学方面を強化する。

医学交流の将来：笹川医学研究者制度は中国の優秀な人材に勉強の機会を提供している。是非継続して頂きたい。

第 4 期

進歩：講師から教授に昇進し、現在全国中医薬学会理事である。

貢献：日本で学んだリハビリテーション技術を生かし、回復率を約 15% 上昇させた。

希望：本事業を継続して頂きたい。

進歩：皮膚組織の病理学的・免疫学的研究分野において進歩を遂げた（悪性黒色腫の早期診断と治療、皮膚病の介入治療の新技術など）。

貢献：日本での研鑽により、皮膚病の臨床・研究において省のリーダー的存在となった。

希望：語学研修においては、日本語受験者は医学英語の学習を主とし、英語受験者は日本語の日常会話を主とする。

医学交流の将来：笹川医学研究者制度は設立後既に十数年を経過しており、その間、日本の医療は更に進歩している。特別研究者で訪日出来なかった者に書籍・雑誌などを提供したり、短期訪日をさせたりして、日本医学の新動態を知る機会を与えて欲しい。

進歩：講師から教授に昇進した。2度自然科学助成金を獲得した。

進歩：帰国後教授に昇進し、多くの論文を発表した。皮膚科学、真菌学の研究がレベルアップした。

貢献：科の発展に良い効果をもたらした。

医学交流の将来：多くの学术交流・共同研究の機会を作りたい。

進歩：広州に移った。詳細は不明である。

進歩：病気休養中

進歩：講師から教授に昇進した。28編の論文を発表した。

希望：本事業を継続して頂き、帰国笹川生との交流活動、特に貧困地区への援助をお願いしたい

進歩：1年間の留学を通して日本の先進医療を学び、大いに啓発され、自分の仕事へのイメージを確立したようだ。帰国後、陝西省薬理学会で留学報告をし、好評であった。

貢献：国内の設備の問題により、研究自体はあまり進捗していない。

希望：①笹川医学研究者制度を更に10年継続して頂きたい。②留学にもっとふさわしい若い人を選抜し日本に派遣したい。人数は200名/年に増やして欲しい。

医学交流の将来：帰国笹川生を日本に招いて学术交流活動をさせて欲しい。

進歩：当該研究者は帰国後間もなく米国留学し、現在連絡が取れない。

貢献：帰国後研究を続けたが短期間であったので、貢献度については判断しかねる。

希望：笹川医学研究者制度は以下の点に重点を置いて欲しい。医学情報・保健・予防・臨床・基礎・実験・研究。

医学交流の将来：①引続き多くの中国人研修者を招請して欲しい。②特色ある学术交流を行う。③日本側は度々中国各省を訪れ、視察・指導して欲しい。

進歩：教授に昇進し、解剖学科主任である。

希望：笹川医学研究者制度は非常に優れており、継続して多くの人員に留学の機会を与えて欲しい。

医学交流の将来：研修生以外に、民間の友好往来を促進したい。

進歩：帰国後大きく進歩し、研究・臨床両面で活躍している。

貢献：日本で行った研究と経験を用いて、積極的に業務を行い、細胞遺伝実験室を作り研究と臨床に相応の効果をもたらした。また、国際学术交流に於いても活動報告をしている。

希望：今後の事業に於いても、当研究所の若いリーダーの養成に協力して頂きたい。

医学交流の将来：相互学術訪問と人材養成。

進歩：都合により、当該研究者が日本で学んだ事と、現在の仕事が異なっている。

希望：笹川医学奨学金制度は医学人員のレベルアップに貢献している。管理分野と看護分野の助成項目の設立を希望します。

医学交流の将来：日本財団の支持と資金協力で深く感謝します。

第5期

進歩：帰国後、教授に昇進した。

貢献：帰国後、泌尿器外科分野に於いて当院のレベルアップを実現し、医療を通じて社会に貢献をしている。

希望：本事業を継続し、国際学术交流に更に貢献していただきたい。

医学交流の将来：中医学および中西医结合分野の交流を強化したい。

進歩：日本で肺癌の診断治療を学んだ。助手から教授に昇進した。

貢献：帰国後、当時（90年）中国では行われていなかった技術を導入し、当院の肺癌診断を国際レベルに押し上げた。

希望：再来日の機会を与え、知識を更新させたい。

進歩：93年に教授に昇進した。

貢献：帰国後、衛生部優秀青年基金と市の助成金を得た。日本で学んだ「児童少年衛生学」に関する研究を継続している。

希望：①日本滞在中の研修生への管理・配慮を強化したい。②帰国笹川生相互の連絡・交流を強化し、それを基盤に、中日医学交流を促進したい。

進歩：急速にレベルアップし、講師から麻酔科主任となった。

貢献：科主任を務めている。

進歩：当該研究者の帰国後、当院では「リウマチと免疫病科」が設立され、市周辺は勿論省内から多くの患者が押し寄せた。前後して研究方面においても進捗があり、成果の一部は省の表彰を受けた。

貢献：日本での研究は当院の臨床分野で十分に活用され、免疫疾病分野の診断において際だった貢献をしている。

進歩：日本で学んだ先進治療を臨床に生かし、研究面も積極的にいきなり成果を上げた。現在本学第一医院副院長である。

貢献：ウイルス性肝炎の診断と治療分野は日進月歩であり、追いついていくのが大変である。

希望：中国国内で発展を急がねばならない分野の研究者の訪日を実現させ、実際の医療工作のレベルアップを図りたい。

医学交流の将来：中国医学の実際の発展状況と日本の先進分野を考慮した交流を進める。

進歩：当院の冠動脈疾患の診断と治療、介入療法等に大きな貢献をした。

希望：継続して頂きたい。

第6期

進歩：他機関に異動し、活躍している。

医学交流の将来：多方面の交流。

進歩：①中国国内では、基礎研究、特に予防医学分野の基礎研究が極めて不足している。②当該研究者は教授となり管理業務が多く、研究面が影響を受けている。

貢献：日本で学んだ研究方法・データ処理方法を用いて、撫順市の乳がん予防研究等を行っている。

希望：①訪日前に日本の研究機関との交流機会をより多く与えて欲しい。②帰国笹川生が年1～2回、訪日し学術交流活動が出来るが良い。③笹川医学奨学金制度を継続して頂きたい。

医学交流の将来：同じアジア人であることの特性を生かし、基礎研究、特に重大疾病の予防医学研究等の学術交流を広範に進めたい。

希望：本事業の人数を増やし、期間も延長して頂きたい。

進歩：①帰国後、日本で学んだ悪性腫瘍の診断と治療を臨床に役立て、また、中西医結合治療においても良好な成果を上げた。②血液腫瘍科行政主任（教授格）に昇進した。

貢献：①乳腺の化学療法・内分泌療法分野においては当地のトップレベルにある。②90年代に日本から癌患者のQOLの研究を導入した。

希望：日本への短期研修（2週間～1か月）の実施。資質が高く経験豊かな医師に、速やかに日本医療の発展状況を把握させ、中国に導入するようにする。

進歩：当該研究者は帰国後当会の出版事業の発展に大きく貢献した。

貢献：帰国後、知識を業務に応用し、当会の出版事業の発展に貢献した。

希望：本事業に於ける編集出版分野の人数を増やして頂きたい。

医学交流の将来：我々は中日医学交流の中心である笹川医学奨学金制度の研究項目に注目している。両国医学出版界の相互理解と交流の発展の為、当該分野の人材がより多く選ばれることを希望する。

進歩：当院に戻っていない。

進歩：助手から教授になった。

希望：本事業を継続して頂きたい。

進歩：非常に成長し、現在湖北省の看護分野の指導者である。

貢献：当該研究者が日本から帰国する以前、当院の看護部門は閉鎖的（遅れている）であったが、彼女の帰国後は飛躍的にレベルアップした。特に看護管理分野に於いて当該研究者の果たした役割は極めて大きい。

希望：①病院管理分野への助成制度。②笹川生が日本で学んだ先進医療が中国でどのように実現されているのか実状をきちんと把握する。③現在中国の病院の最大の問題は、医療道德にある。

進歩：講師から放射線科教授となった。

進歩：教授・中薬学院副院長・図書館長となった。

貢献：中薬薬理学研究分野におけるリーダーとして活躍している。

希望：①可能なら本制度を継続し、薬学方面に力を入れて欲しい。②本学の貢献度の高い帰国笹川生を3か月程度再招請し、共同研究に従事させて欲しい。

医学交流の将来：中日医薬学交流の促進、人と人の交流以外に、機関同士の交流も促進したい。

第7期

進歩：1990年笹川生として出国以来、連絡が途絶えている。

進歩：帰国後も研究に従事し、博士学位を取得し、教授に昇進した。現在は修士課程の指導も行っている。

貢献：研究内容の一貫性については、はっきりしない。

進歩：糖尿病の中西医结合診断と治療研究分野に於いて、国内外で活躍している。教授格に昇進した。

希望：笹川医学奨学金制度に感謝します。十余年に亘り当院の人材養成に協力して頂き、彼等は日本で学んだことを実践し、多くの者が各科のリーダーとなっています。今後ともより多くの者に機会を与えてくださるよう希望します。

進歩：①帰国後数年の間に、国内外の一流雑誌に数十編の論文発表をした。②教授となり、本学の国際教育学院の院長である。③リハビリテーション分野で活躍している。

貢献：帰国後、先ずリハビリテーション外来を設立し、同時に学内にリハビリテーション課程を立ち上げた。臨床・教育・研究の分野で成果を上げた。

希望：本学は既に多くの笹川生が帰国し、また、毎年貴制度に申請している。彼らは帰国後良い成果を上げており、我々は貴制度の継続を希望する。中国は人口が多く、それに応じて病人も多い。貴制度を更に規模を大きくして頂きたい。

医学交流の将来：中国は中医学発祥の地であり、中国人民の健康にも大きく貢献して来た。生活習慣病・老年病が増加している今日、中医学は世界的に注目されている。今後とも両国医学者は共に学び合作を強化していきたい。日本のリハビリテーション医学は世界をリードしており、中国の医療機関と共同して、中国の当該分野の人材養成もしていきたい。

進歩：帰国後、日本での研究テーマを継続し、12編の論文を発表した。現在、教育部の研究課題のリーダーとして活躍している。

貢献：帰国後研究方面、実験方法・計画等において大いに収穫があった。これは日本留学の賜物である。

進歩：帰国後、更に研究を深め、副教授に昇進した。論文発表や、研究基金も得ている。

貢献：帰国後、アポトーシス、皮膚アレルギー疾患の研究に素晴らしい成果を収めた。

医学交流の将来：多くの学術交流・共同研究の機会を提供して頂きたい。

進歩：帰国後当院を離れた。

進歩：当該研究者は教育・科研方面で良い成果を上げた。学術面のリーダー格である。94年に北京医科大学優秀教師獎を受けた。

貢献：日本で学んだ事が仕事に生かされ、効果は大きかった。

希望：笹川医学奨学金制度は非常に成功した事業であり、研修者への配慮も行き届いている。是非継続して頂きたい。

医学交流の将来：今後は単方向（中国からの日本留学）から双方向の交流にしたい。

進歩：帰国後心血管内科に復帰したが、その後老年病科に異動し臨床面で良い成果を上げた。現在老年病科主任である。

進歩：①帰国後当該研究者は日本で学んだことを生かし、研究・臨床に活躍し、当院のリーダーの一人となった。②現在頭頸外科主任

であり、省のトップクラスの水準にある。

貢献：腫瘍の免疫治療を日本から持ち帰り、当院に大きく貢献した。

希望：今日まで当院から貴制度に採用されたのは当該研究者1名である。西部地区の語学レベルや研究水準の低さに原因があるが、是非研修者を貴国に派遣したいと考えている。貴協会には中国国内事情を考慮して頂き、西部地区から多くの研修生を受入れて欲しい。

第8期

進歩：帰国後研究を若干行ったが、実験設備が整わず成果は得られなかった（96年に日本へ行き未だ帰国していない）。

貢献：中国では基礎研究は資金調達が困難で、当該研究者は研究を深めることが出来なかった。

希望：①出国前に研究先と交流する機会が欲しい。②帰国笹川生に1～2年に一度、日本の学会に参加出来るようにしたい。③本事業を継続して頂きたい。

医学交流の将来：基礎研究の交流を進めたい。

進歩：①講師から教授に昇進し、博士課程の指導も行っている。②中国微生物学会真菌委員会委員である。

貢献：日本で学んだ先進知識を応用し、多くの研究を行い、多数の研究論文を発表した。

希望：笹川医学奨学金制度は両国の友好と学術交流促進に大きな貢献をしている。是非継続してほしい。

医学交流の将来：学術会議と共同研究の促進。

進歩：日本留学により業務に進歩が見られ、省内の疾病防治事業に貢献した。

貢献：貢献している。

希望：本制度更に発展させたい。

医学交流の将来：専門別の相互交流の発展。

貢献：当該研究者の研究・教育能力の向上により、当科の老年口腔補綴レベルは向上した。

希望：笹川医学研究者制度を更に強化し、やる気のある口腔分野の青年医師の育成を図って欲しい。

医学交流の将来：悠久の歴史を持つ中日医学交流により、友好的な隣国同士の医療・教育・研究に関する共同事業を促進し、両国の医学を進歩させたい。

進歩：日本での経験を研究に生かし、良い成果を上げている。多くの論文を発表し、助手から副研究員（助教授格）となった。

貢献：次々に研究成果を出している。

希望：良く出来た奨学金制度。

医学交流の将来：より一層の発展を希望します。

第9期

進歩：日本での研究により学術・技術両面で進歩が見られたが、帰国後10年、成績は平凡である。

進歩：教授格に昇進した。

貢献：当院副院長であり、医療技術部門と組織管理を担当している。

医学交流の将来：交流を更に進めたい。

進歩：日本で学んだことにより、視野が広がり、しっかりとした理念を持つようになった。講師から教授となり北京解剖学会副理事長を務めている。

貢献：大いに貢献している。

進歩：科のリーダー格であり、多くの研究を行い、多数の論文・著作がある。

貢献：多方面で大いに貢献した。

希望：更に拡大発展させて頂きたい。

進歩：中国医科大学へ転出

進歩：他機関へ異動した。

貢献：当該研究者が日本で学んだ事は当院の教育分野に大変貢献した。

医学交流の将来：更なる発展を期待したい。

進歩：科の学術的リーダーであり、2度にわたり、国家自然科学基金の研究課題の責任者になった。

貢献：教育・研究方面で力を発揮した。

希望：更に拡大発展させて頂きたい。

進歩：当該研究者は帰国後、本院薬理学分野のリーダーとして指導研究に当たっている。省と国家の助成金を得、また多くの論文を発表している。

貢献：日本で新技術や理論を身に付け、帰国後著しい貢献をしている。多くの修士課程学生を指導した。

進歩：①当該研究者は日本で学んだことを基礎に、研究に従事し、「江蘇省に於ける癌の発生状況調査」で省の表彰を受け、日本との共同研究も促進している。②既に教授格に昇進し、論文も10数編発表している。

貢献：日本で癌の疫学を学び、当該分野に於ける当院のリーダーとして活躍している。

希望：日本財団の笹川医学研究者制度に感謝を表します。

進歩：研修期間満了後、日本で学位を取り、更に米国に留学した。98年に帰国し上海に異動した。

第10期

貢献：大腸癌の早期診断治療に関して、大きく貢献した。

医学交流の将来：若い研究者の相互交流を促進したい。

進歩：専門領域に於ける知識、情報が豊富になり、帰国後教授に昇進した。既に修士コースの指導能力を備えている。研究方面で若干進歩が見られるが、臨床方面では平凡である。

進歩：1999年5月、日系製薬企業に転出した。

進歩：①科研能力の向上。②博士学位を取得した。③講師から教授に昇進した。

貢献：教育・臨床・研究面、何れにおいても留学の効果は大きかった。

希望：継続して頂きたい。

医学交流の将来：専門家の相互交流の促進。

進歩：当該研究者は帰国後教育・研究を積極的に行い、省の表彰を受けた。教授に昇進した。

貢献：日本で学んだ研究技術を応用して活躍しているが、経費と設備が不十分なため、若干の制約を受けている。

希望：本制度を継続して頂きたい。

医学交流の将来：笹川医学研究者制度は多くの中国医学人材を養成した素晴らしい事業である。継続発展させて頂きたい。

進歩：日本での研修により、難病・奇病・遺伝病・診断不能な疾病等に対する診断と治療の効率が著しく向上した。

貢献：特殊な疾病に対する治療のリーダー的存在となった。

希望：本制度を継続してほしい。また、①辺境地区の人員の重視。②短期訪日研修の実施（研修が必要な者には年齢に拘らない）。

医学交流の将来：発展の遅れた西部地区を重視し、且つ多様化（短期研修等）させる。

進歩：帰国後多くの論文を発表し、省の研究テーマのリーダーとなり、教授格に昇進した。2001年上海東方医院に移動した。

貢献：日本で学んだ研究を更に発展させ、リーダーシップを発揮し、大いに貢献した。

進歩：講師から教授に昇進した。47編の論文等を発表した。

第11期

進歩：日本では臨床を学ばなかったため、臨床面の進歩は予想を下回ったが、科研方面の能力は向上した。

貢献：当該研究者は日本で研究を学んだが、当院では臨床を主に行っているため、効果については不明である。

希望：臨床を学ぶ機会を増やして頂きたい。

医学交流の将来：発展を希望します。

進歩：研究期間満了後、米国で研究を続けていたが、国の「十百千工程」人材政策の要請に答えて帰国し、中国科学院上海生理研究所に異動した。

進歩：帰国後、再訪日して博士学位を取得した。その後当院を離れ、中山大学でのポスドクを経て、現在暨南大学に在籍している。

貢献：帰国後直ぐ当院を離れているので、評価は困難である。

医学交流の将来：交流を継続・強化したい。

進歩：当該研究者が日本で内視鏡検査技術の臨床応用を学んだことにより、当院の内視鏡検査水準が向上した。

貢献：当該研究者が日本で学んだ事は、当院に大きく貢献している。

希望：奨学金事業を継続し、遼寧省、特に当院から多くの人員を派遣したい。

医学交流の将来：日本側の支持に感謝します。友好協力が継続されることを希望します。

進歩：①研究レベルと能力が急速に進歩し、当研究所の重要課題と国際協力研究の責任者となった。②教授格に昇進した。

貢献：日本で学んだ研究方法や技術を、持ち帰り、大いに役立てている。

希望：笹川医学研究者制度は中国医学の為に多くの人材を養成した。ぜひ継続させるべきであり、特に帰国笹川生の再訪日の機会を多くしたい。

医学交流の将来：中日医学交流を更に拡大したい。

進歩：当該研究者は帰国後大きく進歩した。元々研究熱心な者であったが、日本の医療水準の高さと、専門家の仕事に対する姿勢などを見聞することにより、中国との差を身を以て感じ、益々熱心に研究に励むようになった。笹川医学研究者制度が無かったら、今日の彼の米国での地位（研究員）は得られなかったであろう。

貢献：①当該研究者の日本での研修は、当院にも大きく貢献した。②日本人民の友好的感情、度量の大きさ、無私を切々と感じる。

希望：①笹川医学研究者制度を継続発展させ、分野を広げたい（病院管理分野等）。②日本で研修する以上、事前に日本語能力が必要なことは当然だが、日本語は全国各地で学ぶ事が出来るのに、どうして面倒なこと（一か所に集めての語学研修）をするのだろうか？

医学交流の将来：日本軍国主義が中国に害をなした時代以外、両国は一貫して友好的であり、両国人民は善良であった。日本は戦後、努力を重ね、人民の生活水準は向上し、先進国の仲間入りをした。中国人の多くは米国に目が向いているようだが、我々は先ず隣国に学ぶべきである。笹川医学研究者制度の中国医学に対する貢献に衷心より感謝する。

進歩：血液科の教育・研究に携わり、93年から97年まで主任を務めた。省の表彰を1回、市の表彰を2回受けた。20余編の論文を発表した。

貢献：日本の先進的研究方法を学び、医療・教育・研究に応用した。

進歩：①日本で学んだ研究を進めた。②中国南部では日本語の資料が手に入りやすく、学術研究上若干の制限がある。

希望：①医学文献文庫を設立し、世界の先進医療の動態を帰国笹川生に提供し、また、中国国内の日本語文献の不足も補いたい。②帰国笹川生の短期訪日研修の実現、専門家はポイントを素早く掴んで成果を得ることが出来る。

医学交流の将来：①笹川医学研究者制度と同様な研修制度の設立。②日本の専門家の訪中講義。③ベテラン医師の短期研修と、一般の長期留学双方の促進。

第12期

希望：本事業を絶えることなく継続発展させて頂きたい。

医学交流の将来：連携・合作を強化したい。

進歩：当該研究者は帰国1年後の96年癌により死去した。

進歩：多くの面で進歩し、教授格に昇進した。当院のリーダーの一人である。

貢献：外国語能力に秀でており、国際的雑誌に英文論文を発表している。

希望：本事業は大変上手くいっている。更に継続・発展して欲しい。

医学交流の将来：将来は相互訪問による医学交流としたい。

進歩：帰国後、海南省で初めて新生児科を設立し、新生児に対する医療水準の向上に貢献した。

貢献：日本での研究を臨床に生かし、新生児の生存率の向上に貢献している。

希望：当院の医師に留学の機会を与え、当院の人材養成にご援助頂いたことに感謝いたします。貴制度は是非継続して頂きたい。

医学交流の将来：①交流の継続発展。②看護交流プロジェクト。③臨床医のより高度な手技研修。

進歩：当該研究者は貴制度の奨学金を得、93年4月に訪日いたしました。留学期間満了後、スイスへ行き、その後スイスから米国に渡ったそうです。八方手を尽くしましたが結局彼とは連絡が取れず、よってアンケートの各項目にお答えすることが出来ません。悪しからずご了承下さい。

進歩：日本留学によって視野と発想が広がった。実験計画や手技が飛躍的に向上した。

貢献：当該研究者は帰国後当研究所天然薬物資源分野のリーダーとなり、多くの研究課題に関わり、良い成果を収め、高水準の論文を編纂した。

希望：①西部辺境地区の派遣人数を増やしたい。②天然薬物分野の派遣人数を増やしたい。

医学交流の将来：中薬学と日本の漢方薬学は密接な関係にあり、長い交流の歴史を持っている。江西省は天然薬物の四大産地の一つであり、中草药は江西省で最も将来性のある分野である。日本との共同研究・交流を是非促進したい。

進歩：当該研究者は日本で学んだ事を生かして活躍し、同僚と共に上海市の研究助成金を得、成果も優れたものだった。2003年教授格に昇進した。

貢献：日本で得たものを応用して活躍しているが、研究テーマは留学当時と異なる方向に向かった。

希望：①例えば臨床研修を増やすこと。研修内容によって研修期間を調整すること。②出来るだけ若い医師を選抜することを希望する。

医学交流の将来：短期学術交流・短期学術講座・専門家の相互訪問・視察など。

第13期

希望：研究課題と方向を決めて訪日すれば成果は大きい。

進歩：①帰国後、省の課題など多くの研究活動をし、伝染病学主任医師（教授格）に昇進した。②SARS流行時の活躍により市と省及び国家の表彰を受けた。

貢献：日本で学んだ感染症の疫学を大いに役立て、成果を上げた。

希望：笹川医学研究者制度を継続し、優秀な帰国笹川生の再招請を行って欲しい。

医学交流の将来：医学交流は活動範囲を限定すべきでなく、予測不能な突発的問題に関しても公衆衛生分野の相互派遣による交流を行いたい。本年のSARSのような場合も計画的に国際協力項目とする事が出来る。

進歩：①仕事に対する考え方がしっかりして来た。②日本から先進的管理システムを持ち帰った。

貢献：帰国後、住民のためのホットラインを設置した。

希望：貴制度は、我が国が先進国の技術と管理システムを学ぶ良い機会であり、是非継続して欲しい。

進歩：94年、内科副主任と腎臓内科副主任を兼任し、診断と治療に活躍し、98年、副院長となった。03年、中国人民解放軍総医院に異動した。

貢献：日本から帰国後、重篤な腎疾患の診断と治療に活躍した。

進歩：帰国後2度国家の科学研究基金を受け、軍と省の表彰も受けた。

希望：真の中日友好事業である。

医学交流の将来：帰国笹川生への奨学制度を作り、中国か日本でよりレベルの高い研究が出来るよう希望する。

進歩：帰国後かなりの手術をこなしたが、進歩がちょっと遅い。

貢献：日本で学んだことは、当院に進歩をもたらした。

希望：本事業の継続を希望する。

医学交流の将来：両国医学交流を促進したい。

進歩：既に辞職した。

進歩：研究終了後も国外で研究を続け、当院には戻っていない。

希望：笹川医学研究者制度は中国の医学研究と人材養成に大きな貢献をしている。①帰国笹川生に対して引き続き指導や激励を行うこと。②研修終了後は必ず国家に貢献させるよう管理態勢を整えることを提案します。

医学交流の将来：現在日本政府が行っている中国の疾病コントロール機関に対する借款を強化し、また、このプロジェクトに人材養成

も含めて欲しい。

進歩：帰国後直ぐに癌の介入治療を展開し、活躍している。

貢献：当院に癌の介入治療を創設した。

医学交流の将来：中日医学交流を促進し相互理解を深めたい。腫瘍防治事業への援助、特に中西部・低開発地区の人材養成に力を入れたい。

進歩：他機関に異動し、活躍している。

第14期

進歩：当該研究者は日本での研修により、専門知識や理論は勿論、実験技術その他の面で、著しい進歩を遂げた。現在本学医学技術学院副院長に昇進し、教育・研究面の指導者となっている。

貢献：貴国での経験を実務に生かし、教育・研究の第一線で活躍している。03年に国家自然科学基金を得、本学に荣誉と研究成果をもたらした。

希望：貴国の笹川医学研究者制度の、わが国の人材育成と中日友好に対する貢献に感謝する。

医学交流の将来：相互交流や国際学会の開催など、中日医学交流を更に発展させ、中日両国と世界の医療水準の向上に努めたい。

進歩：帰国後博士学位を取得し講師から教授になった。

希望：笹川医学奨学金制度の継続を心から希望する。

医学交流の将来：中医学研究分野のシンポジウムの定期開催。

進歩：教授に昇進した。

希望：特別研究者は元の研修地以外の所も選べるようにして頂きたい。

医学交流の将来：交流の一層の強化。

進歩：非常に進歩し、講師から教授に昇進した。

貢献：当院（口腔科）の臨床技術を国際水準に高めた。

進歩：研究終了後、米国に渡った。

進歩：3年前に米国に出国した。

貢献：若干の貢献があった。

希望：本事業が国家にプラスになる事が重要である。

進歩：当該研究者は帰国後講師から教授になり、研究成果を臨床に応用して活躍している。近年論文や著作の発表は無い。

進歩：最大の収穫は、視野の拡がりりと、発想・思考方法を学習したことである。これらはいかなる業務にも応用出来る。

貢献：日本では婦人科腫瘍の免疫治療の研修を行ったが、帰国した翌年から生殖補助医療に従事するようになった。先進分野であり、新たに学ばなければならない事が沢山ある。日本でこの分野の勉強もしておけばよかったと思っている。

第15期

進歩：①当該研究者は帰国後日本での研修を生かし、出入境検査業務の向上に貢献し、現在弁公室主任である。②「江西省国境検査誌」「北海衛生検査局論文集」を編纂した。③パソコン管理によるネットワークシステムを整備し、各地の検査局が導入した。

貢献：日本で感染症を学んだ際、パソコンを使用する機会が多く、帰国後パソコンによる管理システムを整備し、当検査処の業務に大きく貢献した。

希望：派遣人員が日本から持ち帰る新知識は大いに参考になる。本制度をぜひ継続して頂きたい。

医学交流の将来：我が機関は中国西部に位置している。将来は西部地区への援助を強化して頂きたい。

進歩：当該研究者は帰国後食品衛生センターにおいて国内外と活発に共同研究・調査を行い、特に「児童の栄養調査」は衛生部の表彰を受けた。

貢献：日本で学んだ知識を大いに生かし、指導・研究を行っており、その成果は黒龍江省の住民栄養政策をリードしている。

希望：貴制度を継続し、中国医学界のリーダー養成に貢献して頂きたい。

医学交流の将来：両国間の共同研究を促進し、共に発展したい。

進歩：当該研究者は帰国後間もなく異動した。

進歩：帰国後B型肝炎ウイルスに関する研究で、遼寧省から表彰された。

貢献：帰国後日本で学んだ事を応用し、感染症の病因に関する研究で大きく貢献した。視野と発想をあげ当センターのリーダー的役割を果たしている。

希望：制度の拡大、特に特別研究者制度を拡大して頂きたい。2回目の訪日は中国国内で未解決の多くの具体的問題を研修出来、1回目より多くの成果が期待出来る。

医学交流の将来：更に交流を上げたい。遼寧省CDCと日本の同種の機関との学術交流を行いたい。

進歩：当該研究者は帰国後外科分野で臨床・教育業務を行い、論文集を編纂し、また院内外の各種カンファレンスに度々参加している。その積極的な姿勢は当院指導者の賞賛を受けた。

進歩：専門分野のレベルが向上し、また、豊富な臨床経験を積んで省内に影響力を持つまでに至った。

貢献：帰国後、てんかんの診断と治療、実験研究に活躍している。省の表彰を受けた。

希望：笹川医学研究者制度を長期にわたって継続する事を希望する。

医学交流の将来：①専門分野ごとの学術検討会の開催。②専門家の相互訪問の実現。

第16期

進歩：帰国後引き続き博士課程に入り、学位取得後、他機関に異動した。

進歩：当該研究者は97年広東省に異動した。

進歩：未だ帰国していない。

第17期

進歩：日本の遺伝子実験施設に於いて、分子生物学領域の先進知識を学んだ。帰国後、生物化学教室の教育内容が豊富になり、学生に好評だった。

進歩：日本留学により、研究・教育方面で進歩が顕著であったが、1年後、当院を離れ上海中医薬大学博士課程に移った。

貢献：帰国後当院に在籍した1年間は、教育分野で大いに活躍した。

進歩：当該研究者は帰国していない。

貢献：当該研究者が持ち帰った新技術は当院に大きな進歩をもたらした。

希望：本制度は大変良いプロジェクトである。経費を増加し、帰国笹川生への研究助成も行って欲しい。

医学交流の将来：相互交流を活発にし、研究分野を上げ、医療水準の向上を図りたい。

進歩：当院に戻らなかった。

進歩：研究期間満了後、更に博士課程に進み、学位取得後、ポスドクとして米国に渡り現在に至っている。

貢献：当該研究者は日本で学んだ研究方法を国内での教育・研究に用い、教室に於いて関連テーマの研究を展開している。

希望：帰国笹川生の短期訪日研修（3～6か月）を実現し、科学研究の新動態を知る機会が有ればよい。

進歩：日本で学んだ管理方法を応用し、当院看護科のシステムを一新させた。

進歩：当院を退職し、米国で研究を続けている。

進歩：当該研究者は帰国後当院に戻らず、再度訪日したい。

第 18 期

進歩：副教授に昇進した。

貢献：日本で学んだことを応用し発展させている。

希望：研究助成基金を設立して頂きたい。

進歩：帰国後、教育能力が著しく向上すると共に、研究分野に於いても独り立ちした。国家レベルの研究助成金を受けた。2000年に再訪日して博士学位を得、その後米国国立がんセンター（NCI）の博士課程に留学し、今日に至っている。

希望：笹川医学研究者制度は素晴らしい制度である。両国医薬学の交流の促進と発展に大きく貢献すると共に、中国医学人材の養成と両国人民の友好往来の機会を作った。

医学交流の将来：日中医学交流を長期に継続し、更に多くの中国青年医師が日本で学べるよう希望する。

進歩：当該研究者は帰国後臨床・研究両面で長足の進歩を遂げ、講師から助教授に昇進した。また、日本側の指導者や学会とも連絡を絶やさず、中日医学交流を盛んに実践し、貢献している。

貢献：日本で学んだことを帰国後臨床に生かすと共に、数項目の関連研究を行った。

希望：笹川医学奨学金制度は両国の相互理解の促進と中国の人材養成及び、我が国医学水準の向上に大きく貢献した。今後とも多様な形式での継続を希望します。

進歩：①自己の専門分野の国際動態を知ると共に、国外の病院のソフト・ハード両面に亘る知識を得た。

②日本語能力が向上し、文献の読解力や日本の専門家・患者と直接話せるようになった。

貢献：日本での臨床経験により、当該研究者の専門知識と思考方法は深まり、明らかに能力が向上した。

希望：研修（語学研修も含む）地や方法、期間については柔軟に実施してはどうか、例えば臨床をテーマとした場合、仕事の効率を考え、中日両国（又は中国のみ）で行ってはどうか。

医学交流の将来：①短期相互交流を増やす。テーマを絞った学術検討会を開催する。②中日共同出資の病院を設立し、中国の病院のハード・ソフト両面の向上に貢献する。

進歩：帰国後講師から教授に昇進し、博士課程の指導にも従事している。

貢献：日本で学んだことを発展させ、国際雑誌に4編の論文を発表し、2編の日本語論文を執筆した。大学院での指導と、日本語薬理学クラスでの日本語の授業に大変貢献している。

希望：笹川医学奨学金制度は大変成功した事業であり、中国の多くの医薬学人材を養成した。本事業を必ず継続し、出来れば年齢制限を廃した3～6か月の短期研修制度も設立して頂きたい。

進歩：語学力は向上したが、仕事への考え方が不安定で、進歩したとは言えない。

希望：①本人は既に看護臨床の現場にはいない。②本制度の選抜に際しては、語学力ばかりでなく、専門能力・仕事への考え方・やる気等も重視する必要がある。そうでないと派遣機関に何のメリットも無くなる。

第 19 期

進歩：帰国後眼科の臨床を継続している。3編の論文を発表した。03年シンガポールでの国際学会で学術発表をした。

希望：本事業を継続し、より多くの人員が機会を得るよう希望する。

医学交流の将来：科研方面の合作を強化したい。

進歩：当該研究者は日本で学んだ事を臨床に広く応用し、たゆまぬ努力をし、今や撫順市の消化器内科分野のリーダーである。助教授から教授、院長となった。

進歩：①昇進した。②上海市の「衛生分野100名のリーダー育成計画」の対象者となった。③「上海市母子保健所」の副所長となり、全市の母子保健事業のリーダーの一人となった。

進歩：帰国後直ぐに米国に行った。

希望：①活躍している中年・青年の帰国笹川生への援助を行う。②半年日本で学び、1年間機関に戻り、また半年日本で学ぶのが効果的。
医学交流の将来：交流を促進し、相互に学び、隔たりを取り除くため子々孫々に亘り友好関係を継続したい。

進歩：日本留学後、更にドイツと米国で学び、多くの論文を発表した。帰国後、省部門の研究課題のリーダーとなって活躍していたが、現在は体調不良で休職中である。

貢献：助教授に昇進し、生化学教室のリーダー格となった。

進歩：帰国後機関を離れ、民間企業に於いてMR関係の研究開発の業務に就いている。

貢献：帰国後直ぐに当院を離れたので成果は明らかではないが、日本から持ち帰った資料は非常に役に立った。

希望：更に本制度を充実させ、よりよい研究・学習条件を提供して頂きたい。

第20期

進歩：若干の進歩はあったが、予想した程ではなかった。しかし本人は努力している。

進歩：留学期間満了後米国に渡り、当院には戻っていない。

進歩：2002年教授に昇進した。

貢献：日本での研究を発展させ、成果を上げている。

希望：本制度の発展と拡がりを期待する。

進歩：①外国語、特に日本語力が向上した。②仕事上の能力、研究計画立案・実施能力の向上。③研究面に於いて発想・視野が広がった。

貢献：日本で学んだ事を、実験室での指導に役立てている。

希望：①予防医学分野の強化。②研究者の年齢制限を45才までに拡げてほしい。

医学交流の将来：①村落部の衛生対策に関する日中医学交流の強化。②予防医学分野の研究と保健衛生事業の交流強化。③中医と西医の交流の強化。

進歩：研究面・論文発表などの面で大きく進歩した。

貢献：日本で学んだ分子生物学が大いに役立った。

希望：継続！

医学交流の将来：更なる発展！

進歩：帰国していない。日本から米国に渡った。

進歩：帰国後、際だった成果を上げ、助教授に昇進した。

貢献：①日本の病院管理方法を導入し、成果を上げた。②指導責任者を中国に招聘し、指導・講演を実施し、本学と指導責任者の所属機関との協力関係樹立の橋渡しとなっている。

希望：本事業は中国医学人材を養成し、先進国の医療や管理方法を学ぶ事の出来る意義深い事業である。

継続して頂きたい。

医学交流の将来：相互交流、相互学習を更に活発に行いたい。

進歩：当該研究者は著しい進歩を遂げた。日本で学んだ小児クローン病の発生機序等の紹介や、実験室を立ち上げるなど大いに活躍している。

貢献：日本から小児消化器系疾病の診断と治療の新動態を持ち帰り、大いに活躍貢献している。

希望：笹川医学研究者制度は中国医学人材の養成に著しい貢献をしている。継続発展させるべきと考えます。

医学交流の将来：相互協力・相互学習を発展させ、具体的な学術的問題に取り組んでいきたい。

進歩：他機関へ異動し、活躍している。

進歩：当該研究者は帰国後天然薬物化学の研究を継続し、その後再度訪日し、名古屋市立大学で博士学位を取得した。現在は帰国し、当院の教授に昇進、博士課程の指導にも従事している。

貢献：笹川医学研究者制度による留学で研究の基礎を固め、再度訪日して博士課程で学んだ事により大きな収穫を得たようだ。去年大学の呼びかけにより帰国し、教授として本科・大学院生を指導している。教育部と四川省から「帰国研究人員奨励基金」の助成を得、研究を更に発展させている。

希望：①本制度は10年以上続けられ、わが国医薬学従事者の大きな助けとなっている。是非継続して欲しい。②ただし、日本語能力への要求が高く、やる気のある者に高いハードルを与えているようだ。日本語レベルが低くても、英語能力の素質を持つ者も派遣するようにすれば、本制度の成果は更に大きくなると考える。

医学交流の将来：研修生の派遣以外、共同研究も促進したい。

進歩：①98年に帰国し、消化器内科領域で大きな貢献をした。雲南省最大の消化内視鏡室を立ち上げ、2000年に教授に昇進した。②02年、衛生部より「貢献突出中青年専門家」に、雲南省より「貢献突出優秀専門家」に選ばれた。03年、中華消化器内視鏡学会全国委員に就任した。

貢献：当該研究者が日本で学んだ消化器内視鏡の診断と技術は、雲南省全体に診断技術の向上をもたらした。

希望：①笹川医学研究者制度は、現場で仕事の出来る臨床医学人材養成のため、更に発展させるべき。②第二次計画終了後も継続して頂きたい。③帰国笹川生の1～3か月の短期訪日研修を実現したい。

医学交流の将来：中日医学交流を益々発展させ、病院間の交流を広範囲に強化し、また、雲南省など西部地区との協力を促進したい。

進歩：①日本での研修中に独力で研究課題をまとめた事により研究能力が向上した。②語学力がアップし海外の文献を自分で読めるようになり、世界の最新情報を吸収出来るようになった。③現場での仕事の能力も大きく進歩したと言える。

貢献：当該研究者が日本で学んだ造血肝細胞培養技術は当院の肝細胞移植に於いて大いに貢献した。②高原赤血球増加症及び白血病診断の進展に貢献した。

第21期

進歩：講師から教授に昇進した。

進歩：研究の発送や進め方、業務の管理方法などに進歩があった。

貢献：日本で習得したことが国内での仕事に役立った。

希望：素晴らしいプロジェクト。継続を希望する。

進歩：日本で具体的に学んだことと、現在担当していることが違っているが、臨床自体には非常に役立っている。

希望：良いプログラムと考える。

医学交流の将来：相互交流を盛んにし、長所を伸ばし、短所を補い合う。

進歩：帰国後、更に進歩し、「四川省突出贡献専門家」の称号を得ている。教授に昇進し、附属病院副院長兼消化器科主任である。

貢献：日本での研究テーマを継続し、また助成金を得ている。

希望：①交流・合作の促進。②帰国笹川生の連絡会の定期開催。③各種学会の開催。

医学交流の将来：継続・強化を希望します。

進歩：①雲南省の表彰を受け、地域保健・母子保健分野での研究成果は、中国衛生部を通して全国に広められた。②国際機関にも招かれて母子保健分野の国際共同研究を主管し、研究・指導面で良い成績を上げ、教授格に昇進した。③管理能力が向上し、当院院長となった。④昆明医学院の客員教授として修士課程の指導を行っている。

貢献：日本留学により、研究能力及び管理能力が向上し、仕事への姿勢・積極性が増した。その国際的共同研究や英日の語学力、組織管理能力・指導力は当院並びに雲南省の母子保健分野の発展に著しく貢献した。

希望：笹川医学研究者制度を継続し、中国医学人材の養成と中日医学交流の発展に貢献して欲しい。

医学交流の将来：①中国西部地区で学術交流活動を展開して欲しい。②日本の専門家が雲南省に来て先進医療を指導して欲しい。

進歩：帰国後研究室の指導者となり、活発に研究を行う一方、多くの大学院生を指導している。

貢献：当該研究者の帰国により研究レベルが向上した。

進歩：帰国後、臨床・研究に於いて、科主任を積極的にサポートし、理論と学術水準も大きくレベルアップした。

貢献：研究課題を継続し、動物実験に習熟し、臨床に役立てた。

進歩：日本で学んだことを研究に応用し、成果を出した。講師から副主任（助教授格）となった。

貢献：副主任の他、JICAとの合作事業の中国側担当者も兼ねて活躍している。

医学交流の将来：広範な中日医学交流、特に公衆衛生面を重視したい。

進歩：日本では基礎研究をしたが、帰国後は臨床と教育に時間を取られ成果ははっきりしない。

貢献：実験室の条件が整っていない。

希望：語学研修期間の短縮。

医学交流の将来：日本留学は研究者の素質を伸ばすので、継続して頂きたい。

進歩：日本の専門家の仕事への情熱が大変よい刺激になった。01年、主任医師（教授格）に昇進した。

進歩：基礎・臨床とも進歩が見られた。衛生部と広東省の科研課題を担当し、多数の論文を発表した。

貢献：知識を医療現場に生かすことが出来る。

希望：笹川医学研究者制度の長年に亘る本学の人材育成へのご援助に感謝を表します。帰国笹川生は大いに進歩し、それぞれの分野で活躍しております。貴制度を是非継続し、今後も毎年本学より笹川生を派遣し、視野を拡げ、レベルアップを図ることが出来るよう希望します。

医学交流の将来：よりレベルの高い交流を促進したい。

進歩：薬物製剤の新研究を発展させた。当院薬剤分野のリーダー格である。

貢献：日本で学んだDDSの理念を研究に導入し、薬物製剤部門の発展に大いに貢献した。

希望：本制度を継続して頂きたい。特に西部地区の医薬学事業の発展にご援助頂きたい。

医学交流の将来：毎年日本の専門家が西部地区を訪れて学術交流活動を行って欲しい。

進歩：アンケート用紙をお送り頂きましたが、当該研究者は期限を過ぎても当機関に現れず、現在連絡が取れません。よって評価は困難であります。悪しからずご了解下さい。

進歩：現在日本で博士課程に在学している。

希望：①研究者を下級レベルの病院・機関から選抜する事を希望する。②研修終了後の研修者の消息をきちんと把握する。

医学交流の将来：交流を更に促進したい。

進歩：帰国後神経内科の研究を行い、指導責任者を招聘し、日本側大学と共同研究を行っている。

進歩：日本に留学中である。

進歩：①当該研究者の日本での研修は当院心臓内科に大きな貢献をした。②同科は23床から46床に増え、業務を上げた。③際だった活躍により、02年主任医師（教授格）になった。破格の昇進である。三年連続で当院の優秀賞を獲得した。

貢献：積極的に業務を行い、貢献度は大きい。

希望：笹川医学研究者制度は当院の人材養成と各科の発展に大きな効果を発揮した。心から感謝する。

医学交流の将来：中日医学交流を更に深めることを希望する。

第22期

進歩：日本留学により進歩した。

貢献：帰国後、医療保険管理の分野で成果を発揮している。

医学交流の将来：中日医学交流の発展と、笹川医学研究者制度による援助を希望する。

進歩：2001年に深圳市人民医院に異動した。

進歩：当該研究者はまだ日本にいる。

進歩：助教授から教授になった。修士5名を育て、市の研究助成金20万余円（270万円）を得て3項目の研究をしている。

貢献：臨床技術と関係領域の研究を促進した。

医学交流の将来：交流の機会を増やしたい。

進歩：留学により、冠動脈疾患の診断と治療に関し進歩が見られ、論文も数編発表した。

希望：素晴らしいプロジェクトと考えるが、派遣先と指導者は慎重に選択されなければならない。研修先によっては、「学びたい事を学ぶ」機会を余り与えられない場合がある。

医学交流の将来：多様な交流、特に病院間の学術交流を促進したい。

進歩：北京同仁医院に異動した。

進歩：研究の立案能力、仕事への姿勢、責任感が以前より増した。

貢献：助成金を得、日本での研究を継続している。

希望：研究者が日本でやった仕事（業績）に於いて、もし、指導者の都合で論文の第一著者となれなかったら、研究者にマイナスの影響を与えると考える。

医学交流の将来：中日医学交流を更に発展させたい。双方が状況を良く理解し合った上で、研修者を選抜派遣すれば効果的である。

進歩：当該研究者は現在日本で研究を行っている。同人が当機関に復帰し各方面で貢献してくれる事を期待している。

貢献：中国省クラスの防疫機関では、ハンセン病の防治対策を主要業務としており、実験研究の役割は主要なものではない。

希望：①臨床医学分野への助成を強化する。②幅広く助成事業を展開する。

医学交流の将来：学術交流、特に皮膚病・真菌・病理・性病等の分野での相互訪問・共同研究を促進したい。

進歩：当該研究者の帰国により、当科の関節疾病と関節周辺骨折の診断と治療レベルが向上した。本人は努力を重ね、業績は際だっている。93年助教授に昇進した。

貢献：帰国後積極的に仕事を進め、日本で学んだことを同僚と分かち合い、科全体の業務を促進させた。

進歩：当該研究者は帰国後多くの論文を発表し、また日本の研究機関とも共同研究・専門家の相互派遣を行い成果を上げている。

貢献：日本留学の1年間に慢性腎不全の低蛋白食事療法を学んだ。帰国後、研究を進め、臨床面で大いに活躍した。当院腎臓内科学教室の知名度が全国的に高くなった。

希望：派遣人数を増やして頂きたい。

医学交流の将来：引き続き各専門分野の学術交流・共同事業を強化したい。

希望：貴制度により当院は4名を日本に派遣し、それぞれに進歩が見られた事に感謝の意を表したい。しかし内3名は帰国後当院の許可を得ず再度訪日し、今日まで当院に戻っていない。その為当院が貴制度を通して人員を派遣することに障害が生じている。

医学交流の将来：日本の専門家が当院を訪れ、学術交流することを歓迎します。当院は中国西部に位置し、規模や医療水準、また医師も国内の一流専門家が揃っています。日本の専門家との長期的な学術交流・共同研究を希望します。

進歩：帰国後引き続き心血管内科で臨床を行っているが、特に目立つ成績は上げていない。

貢献：これといった成果はないが、非常に努力している。

進歩：若干進歩した。

希望：①世界の最新情報を収集し、帰国笹川生に提供して頂きたい。②帰国笹川生の短期訪日研修の実現。

医学交流の将来：臨床分野の交流の強化、出来れば別途助成事業を設立したい。

進歩：当該研究者は既に本院に在籍していない。

進歩：当該研究者は帰国後間もなくベルギーに自費留学し、未だ帰国していない。

貢献：帰国後、また直ぐ海外留学したので当院には貢献していない。

進歩：当該研究者は帰国後主に臨床に従事し、日本で学んだ実験技術を充分に応用出来ているとまでは言えない。

貢献：多くの時間を臨床に費やしているので、研究方面で充分成果を発揮しているとは言い難い。

希望：①訪日前に、研修先に関する情報を充分に得たい。②派遣研究者が臨床に従事する機会を増やして頂きたい。

医学交流の将来：交流の促進、特に日本の専門家が訪中して、中国の医療事情を理解して頂きたい。

進歩：当該研究者は日本で研修中、無断でドイツに留学した。当院は、日本留学満了日の2000年4月、除籍処分とした。

進歩：日本留学により、専門研究において進歩が見られ、当院の研究水準を促進させた。

貢献：本院における癌の化学療法等のレベルアップに貢献があった。

希望：本事業は両国医学交流及び両国人民の相互理解に積極的意義がある。21世紀においても継続・発展されることを希望する。

医学交流の将来：中日医学交流が更に促進されることを希望する。

進歩：①帰国後毎年全国レベルの刊行物に論文を発表している。②学内の研究助成金を得た。③助教授格に昇進した。

貢献：日本で細胞培養・PCR技術等を学び、本研究での業務に応用している。

希望：派遣された日本の機関では、希望していた研究テーマを扱っていなかった。帰国後の業務を順調に行うためにも、研修生の希望と受入機関の調整を行って欲しい。

医学交流の将来：中日医学交流を深く拡く、多様に発展させ、お互いの長所で欠点を補いたい。

第 23 期

進歩：ハンタウイルス感染症の診断と分析に於いて大きな進歩があった。

貢献：日本で学んだ分子生物学分野での実験技術を当研究所での業務に役立てている。

希望：本事業を継続し、より多くの人材養成を行って頂きたい。

医学交流の将来：中日医学交流を更に広範囲に展開し、特に地方病分野の合作交流を行って欲しい。

進歩：研修期間満了後、一旦帰国したが、再度訪日し、現在に至っている。

進歩：当該研究者は帰国後進歩が見られ、学術論文 7 編を発表した。既に得た基礎方面の知識の医療への応用が期待される。現在も指導責任者との連絡が続いており、将来の共同研究に発展する事が期待出来る。

医学交流の将来：①帰国研究者は先進的知識の学習だけでなく、日本の社会状況、人文地理、管理方法、資質や精神面の状況等も持ち帰る。②将来、中日医学交流は日本側研究者を招いたり、大規模な学術会議を両国で定期的に開催してはどうか。

進歩：①帰国後日本語訓練センターに配属された。②日本語能力・パソコン使用能力及び管理能力が大きく向上した。

貢献：日本語訓練センターに於ける管理システムを変化させた。良い成果を上げたと言える。

進歩：帰国後、研究方法を進捗させ、2001 年北京市留学人員奨励賞を授与された。

貢献：帰国後の研究テーマが日本で学んだテーマと異なっていて、やり直しになったが、研究方法に関しては大いに役立った。

希望：引き続き中国の青年医師の育成に協力して頂きたい。

医学交流の将来：①両国病院間の交流を促進したい。②中国青年医師訪日団を組織し、日本に短期訪問したい。

進歩：訪日により理論・臨床両面に於いて進歩が見られ、研究テーマも継続し、日本での研究は一定の成果を収めたと言える。

貢献：当該研究者の日本でのテーマは「人工皮膚および複合培養皮膚」に関するもので、当科にとっても未知の領域だった。広範囲な応用が期待でき、大きな貢献を果たすものと確信する。

希望：本制度が継続され、より多くの中国の若い医療従事者が日本留学の機会を得る事を希望する。

医学交流の将来：中国側でも奨学制度を設立し、中国での学習・参観を希望する日本の医療従事者を招き、相互交流を促進したい。

進歩：当該研究者は民間企業に転出し B 型肝炎ワクチン開発室のリーダーを努め、大学との共同開発を行っている。進捗状況は良好のようだ。

貢献：日本での研究テーマ自体は継続されていないが、日本で得た経験は生かされていると評価出来る。

希望：本事業は必要であり、研修者の基礎知識・能力は向上し、視野は拡がり、交流範囲と情報量が豊かになった。

医学交流の将来：成果の応用、例えば製品化等を研究テーマに含めることは如何。

進歩：2002 年に異動した。

希望：人数を増やし、専門範囲を拡げて頂きたい。

医学交流の将来：2008 年以降も継続して頂きたい。

進歩：当該研究者は科研・文献読解・論文執筆等に於いて明らかに進歩した。

貢献：費用の不足により、日本での研究テーマは継続出来ていない。

希望：日本語研修の期間が長過ぎる。

医学交流の将来：特に臨床領域に於いて協力事業を促進させたい。

進歩：助教授から教授になった。

貢献：日本で学んだ事により、当院の病理診断水準が向上した。

医学交流の将来：笹川医学奨学金制度は非常に成功した制度である、更に多様な形式で発展させ、多くの人員が参加出来るようにして頂きたい。

進歩：当該研究者は大きな進歩を遂げ、科の主任となった。日本で学んだ新知識を同僚に紹介すると共に、業務上の様々な難題を解決している。

貢献：日本留学により視野が拡がり、業務・研究能力も向上した。

医学交流の将来：予防医学交流の促進、特にSARS流行以降、感染症の危機管理分野の交流の強化が必要になった。

進歩：研究における発想・能力が向上し、科の研究活動を引っ張っている。

貢献：日本での研究や経験を、現在の仕事に役立てている。

希望：制度を更に強化し、当院医師の研究レベルを向上させて欲しい。

医学交流の将来：中日医学交流を発展させ、更に多くの基金を設立し、人類の科学に貢献して頂きたい。

進歩：当該研究者は帰国後間もなく、無断で米国に留学した。当院は5か月後除籍処分とした。

進歩：日本で学んだ分子生物学の実験技術を応用して活躍している。

貢献：青少年の発育条件に関する研究において日本での研修を役立てている。

希望：人材養成事業として、高く評価出来る。

医学交流の将来：笹川医学奨学金制度により、継続して世界に通用する人材の育成に貢献して頂きたい。

進歩：帰国後当該研究者は臨床・研究面共に大きく進歩し、当院の学術面での牽引車となった。講師から助教授に昇進している。

貢献：日本で学んだ超音波診断、介入診断・治療を応用して活躍している。

希望：滞在期間を延長して、研究を更に進める事を希望します。

医学交流の将来：更に中日医学交流が深まることを希望します。

進歩：当該研究者は本学に戻っていない。

進歩：当該研究者は日本で疼痛緩和治療を学び、帰国後当院外来患者5,000余名の治療に当り、良い成績を上げた。研究面での進捗も著しく、現在複数の研究項目が進行中である。

貢献：当該研究者は日本に於いて疼痛緩和治療とその研究方面で極めて貴重な経験をし、帰国後当院の臨床・研究に大きな促進作用をもたらした。

希望：本制度は中国の為に大量の医学人材を養成している。継続を希望する。出来れば北京・東北地方以外の地方の人数を増やして欲しい。

医学交流の将来：日中医学交流は人類の健康増進に寄与し、中日両国の文化・学術交流と友好促進に巨大な貢献をしている。今後とも継続発展していくことを希望する。

第24期

進歩：貴笹川医学研究者制度の本校に対する長年に亘るご配慮に感謝いたします。本校からは14名を派遣しましたが、帰国後何年も過ぎ、また最近になって出国する者が相次ぎ、現在本校には1名も在籍しておらず、誠に遺憾であります。悪しからずご了承下さい。各位のご健勝をお祈り申し上げます。

進歩：日本留学により進歩が大きかった。頭頸部腫瘍外科分野で貢献している。

貢献：頭頸部腫瘍外科分野で貢献している。

希望：本事業を継続し、更に対象範囲を拡げて頂きたい。

進歩：日本での文献学習が、帰国後の現場で大いに役立っている。

医学交流の将来：日本の専門家が訪中して指導して頂きたい。

進歩：日本の研究者の仕事に対する真摯な姿勢を見習い、臨床・研究両面においてかなり進歩した。

貢献：帰国人員研究基金の助成を受け、日本での研究を継続している。機関への貢献は大と言える。

希望：日本語研修期間の適宜短縮を希望します。

医学交流の将来：更に広範に発展させる。両国研究者が共同で研究基金に申請する等。

進歩：日本で研究中である。

進歩：日本滞在中は臨床を行わなかったもので、予想したほど進歩しなかった。

貢献：日本では臨床訓練を行わなかったもので、効果が大きいとは言えない。

希望：本事業を継続し、また、臨床を学ぶ機会を増やして頂きたい。

医学交流の将来：更に広範に発展させる。両国研究者が共同で研究基金に申請する等。

進歩：研究方法や思考法に於いて大きな進歩をとげた。

貢献：日本で学んだことを生かし、臨床薬学及びその教育面で大きな貢献をしている。

進歩：①中国農業科学院と感染症の免疫特性について研究している。②衛生部の重点課題である男性同性愛者の行動と社会学的特性—H I V感染研究に従事している。

貢献：H I V感染の分子生物学的研究を行っている。

希望：貴制度の継続と帰国笹川生への研究基金設立を希望。

医学交流の将来：日本での研修以外に共同研究プロジェクトを盛んにしたい。

進歩：①日本では研究を行い、帰国後は臨床に従事している。②研究室の環境が整わず、当該研究者が能力を発揮する条件が整わない。

貢献：臨床経験を更に重ねていく必要がある。

希望：語学研修期間の短縮。

医学交流の将来：帰国後も研究交流出来るよう希望する。

進歩：臨床は進歩したが、教育と研究はそれほど変化がない。

貢献：日本で学んだ臨床技術を最大限に応用している。

希望：来日前の語学研修をそれぞれの都市で行い、業務と生活への影響を軽減して頂きたい。

医学交流の将来：中国科学技術の急速な発展に伴い、日本は専門家を派遣し、長所を伸ばし、短所を補い合う交流を行いたい。

貢献：帰国後日本で学んだ項目の内、生涯教育について、当院全医師に講義し、また、研究方面においても日本での成果が院内で評価された。

希望：本事業を継続し、より多くの人員が日本へ留学出来るようにして頂きたい。

貢献：帰国後、更に研究を進め、地域保健医療仕事を進展させた。当院は地域保健医療面で吉林省の模範機関に指定された。

希望：笹川医学奨学金制度を永久的なものにして頂きたい。

医学交流の将来：日本の専門家が訪中し、地域医療保健の担当者に講義して頂きたい。

進歩：帰国後、実験技術、理論、科学的発想面で大きく進歩した。

貢献：日本で得た知識と経験を生かし、生物学分野で大いに活躍している。

希望：笹川医学奨学金制度を長期に亘って継続して頂きたい。

医学交流の将来：定期的な学術活動と共同研究を展開して行きたい。

進歩：当院に戻らず、再度日本に留学した。

進歩：当該研究者は日本留学により大きく進歩し、業務や研究等各方面に積極的であり、レベルアップした。

貢献：日本で学んだことは本学に大きく貢献している。特に「リハビリテーション概論」課程設立に貢献した。

希望：日本での学習成果は、中国医療の各方面に大きく貢献している。

医学交流の将来：中日医学交流を更に強化したい。

進歩：帰国後臨床面で大きく成長し、一度機関の派遣により米国研修を行った。

貢献：日本で学んだ癲癇外科により、科に大きく貢献した。

希望：多くの医師に留学の機会を与えた素晴らしい事業。滞在期間は研究の進捗により柔軟にし、1年以内の延長を認めてはどうか。

医学交流の将来：日本の専門家が訪中して指導する交流も行いたい。

進歩：視野と知識が広がり、日本で学んだことを臨床に応用している。

貢献：笹川医学奨学金制度は中国医療従事者に、海外に視野を拓げ、学習し知識を広めるよい機会を与えた。

希望：日中医学交流を促進し、一流専門家による講義なども行いたい。

進歩：①学んだ知識と技術を臨床に応用し、業務に進展があった。②日本での経験をまとめ、数編の論文を書いた。③講師から助教授に昇進した。

貢献：①日本で学んだ経験は本院外科領域を発展させた。②対外交流を促進した。

進歩：本学、当科の学術分野のリーダーである。

貢献：教育・研究両面で活躍している。

希望：助成範囲を拓げて欲しい。

進歩：当該研究者は日本に於いて、肝癌の超音波診断とその臨床応用を学び、C T・M R Iによる診断・各種介入療法も学んだ。当院における診断治療に良い成績を上げ、本学の支持の下、更に進歩を重ねている。

貢献：帰国後、上司や同僚と協力し、順調に仕事を発展させている。また、中西医結合治療方面の研究も行っている。

希望：①笹川医学研究者制度は中日医学交流と中国の若い医師の養成に際だった成果を上げている。是非継続して欲しい。②短期研修や臨床研修等も設置して頂きたい。③研修生の帰国後も継続して指導を受けられるよう、連絡を継続出来るようにしたい。

医学交流の将来：笹川医学研究者制度に代表される中日医学交流は、大きな成果を上げている。研究者が帰国後も努力を続けるのは当然であるが、所属機関が彼らを支持し、活躍出来る環境を与え、励まし続ける事はもっと重要である。そうでなければ、費用と人材の無駄遣いになってしまうだろう。

進歩：臨床、教育、研究面で大きくレベルアップした。講師から助教授に昇進した。

貢献：日本語能力が非常に向上した。日本の専門家を2回当院に招いた他、訪中した日本の専門家を3回お世話した。また、1名を日本留学（博士課程）させた。

医学交流の将来：交流を盛んにし、専門家の相互派遣を行う。

進歩：①帰国後更に勤勉になり、仕事への熱意が高まった。②科研能力が向上した。「上海市科学技術優秀青年人材養成計画」に参画している。③助教授に昇進した。

貢献：日本で学んだ事を基礎に良い成績を上げている。上海市科学委員会と衛生局の助成金を当院にもたらした。

希望：我々の優秀な青年たちに、留学の機会を与えてくれた笹川医学研究者制度に感謝する。

医学交流の将来：多種多様な交流、特に臨床の新技術の交流を望む。

第 25 期

進歩：当科のテクニク面を支えている。

進歩：帰国後当該研究者は更に勉強する必要を感じ、2003年日本の大学院博士課程に留学した。

貢献：当該研究者が留学終了後、当院に於いて日本で学んだことを役立て、大いに貢献してくれることを期待する。

希望：日本語研修期間の短縮を希望する。

医学交流の将来：中日医学交流が一層盛んになることを希望する。

進歩：全軍（解放軍）看護師研修班の運営に参加し成果を上げた。現在研究及びリハビリテーション看護学科の設立準備を行っている。

貢献：以前はリハビリテーションの授業は学外から招いていたが、現在は当該研究者が本科と専門学校両方を指導している。

希望：笹川医学奨学金制度は多くの人材養成を成し遂げたが、まだ多くの人員が留学を希望している。出来る事なら更に人数枠を増やして頂きたい。

医学交流の将来：本制度を継続して頂ければ、更に大きな成果が期待出来る。

進歩：①日本語・英語共に進歩した。②日本の専門家の仕事・研究への厳しい姿勢を学んだ。③日本で学んだ実験技術が現在の仕事に生かされている。

進歩：①日本で新技術・新理念を学んだ。②辛抱強く仕事を進めていく精神を学んだ。③帰国後、所属機関の支持を得、新しい業務を展開している。

貢献：日本で麻酔学を学び、帰国後も研究を続けている。

医学交流の将来：大学間の交流の促進。

進歩：帰国後、臨床方面で積極的な活動を行い、腹腔鏡技術の応用範囲を拡げた。

貢献：当該研究者が日本で学んだ事は、当院の臨床現場に大きく貢献した。しかし、当院はS A R S流行当時、指定病院になったため、研究面は若干影響を受けた。

希望：日本での研究は、中国の臨床医学にとって大きな助けとなる。

進歩：当該研究者は際だった成果とまでは言えないが、全体的にレベルアップした。日本に於いて、臨床は出来なかったが、臨床見学や先進的医療管理、医師と患者との良好な関係、また、日本の専門家の臨床・研究の方法と仕事に対する真摯な姿勢に触れ、多くを学んだようだ。研究面では先進的実験方法や発想を理解し能力の向上が見られる。

貢献：日本での研修テーマと帰国後の担当臨床分野は違っているが、当該研究者が日本で収集した症例、研究方法の蓄積等は、当院に於いて徐々に効果を発揮して行くと考えられる。

希望：笹川医学研究者制度は中国医療従事者の、良き指導者と世界の先進技術に触れたいという希望を実現させた。ぜひ継続発展させて頂きたい。

医学交流の将来：①笹川医学研究者制度の様な長期の研修事業の実施。②短期交流、学会・年会・訪問講義など。

進歩：日本では基礎研究を学んだが、帰国後は教育と臨床に時間を取られ、まとまった研究は出来ていない。

貢献：主に臨床に従事していることと、科研費用の不足により研究方面は進んでいない。

希望：本事業は真の架け橋と言える。

医学交流の将来：中国の症例の多さと、日本の技術を発揮させ、両国の医学交流を更に進展させたい。

進歩：臨床面・研究面、また、新しい仕事を立ち上げていく能力、全てに於いて進歩した。

貢献：①医療技術が向上した。②職業倫理を確立し、医師と患者の関係を密接にした。

希望：①訪日前に、研究者と指導責任者の連絡が充分に行えるようにしたい。②本事業は成功している。今後も発展させたい。

医学交流の将来：相互交流による中日医学交流を継続し、更に深く、広く発展させたい。

進歩：泌尿器外科内視鏡の操作技術に格段の進歩が見られた。

貢献：主任や同僚の手助けをして内視鏡操作の向上に貢献している。

希望：本事業を継続し、より多くの中国青年医師が研修の機会を得られるよう希望します。

医学交流の将来：中日医学交流を促進し、両国人民が先進医療の恩恵を受けられるようにしたい。

進歩：当該研究者は帰国後神経内科疾病・痴呆症およびパーキンソン氏病方面の診断と治療に於いて著しい進歩を遂げた。特に当該疾病の SPECT/PET 関係の脳血流診断に於いて長足の進歩が見られる。

貢献：臨床・研究に積極的に貢献している。

希望：中日友好と両国医療関係者が共に進歩できる点に於いて、大変有意義である。

医学交流の将来：指導責任者や直接指導してくれた先生の短期来日を歓迎します。

進歩：科のリーダー格となり、良い成績を上げている。

貢献：日本で学んだ新技術を仕事に応用している。

希望：本制度の発展を希望する。

医学交流の将来：多様な交流と共同研究の促進。

進歩：当院に最新知識と技術をもたらし臨床方面に効果を発揮した。当院の新生児科の発展を促進した。

貢献：日本で学んだことにより、新生児医療方面で極めて大きな貢献をしている。

希望：本事業は中国医療に大きな貢献をしている。中国の為に多くの人材を養成し、彼らは中国各地で活躍している。本事業の継続を希望する。

医学交流の将来：日本の医療は先進的であり（特に新生児医療は世界をリードしている）わが国が学ぶべきものが多い。今後とも両国医学交流を強化し、わが国の医療水準の向上を図りたい。

希望：笹川医学研究者制度は大きな実りをもたらした。しかし、来日前研修の期間が長すぎる。始めから英語能力のある者を選抜してはどうか。

医学交流の将来：笹川医学研究者制度を通して共同研究を促進したい。研究者の帰国後、研究先との研究を継続する事など。

進歩：日本での研究により、実験関係の新技術・管理方法等を学び、視野を拡げ新しい発想を得た。

貢献：当該研究者が日本から持ち帰った、新技術は本学・研究室の長い空白を埋めた。

希望：特別研究者の人数枠を拡げ、更に学問を深める機会を与えて欲しい。

医学交流の将来：学会会議の共同開催。定期刊行物の共同発刊等、交流を進めたい。

進歩：当該研究者は貴国での研究に於いて、視野と知識を広げ、医学的基礎を固めた。先進的な管理方法や貴国専門家の仕事への姿勢・情熱に深く影響を受け、帰国後は以前にも増して誠心誠意仕事に取り組んでいる。

貢献：臨床・研究両面に於いて、大きな貢献をしている。

希望：学習・生活両面にきめ細かく配慮されている制度と考える。

医学交流の将来：笹川医学研究者制度が継続され、中日相互の連絡・連携が更に強化されることを願う。

進歩：当該研究者は帰国後臨床に従事しており、日本での研究の成果については判断し兼ねる。

希望：帰国後臨床に従事する者には、臨床に重点を置いた研究させたい。

医学交流の将来：共同事業と人材育成事業を促進したい。

進歩：引き続き日本で研究を深めている。

進歩：当該研究者の日本での研究成果は、本学審査委員会に於いて高く評価された。

貢献：日本で研究した成果は、帰国後周囲に良い影響を与えている。2003年8月附属医院産婦人科に於いて「日本の印象」と題して講演した。

希望：本制度の継続を希望する。

医学交流の将来：両国医療機関及び医療人員間の交流を更に促進したい。

7. 中国派遣機関の意見（特別研究者）

第1期

進歩：当該研究者は現在当研究所の所長である。血液学に造詣が深く、02年、市の科学技術リーダー30人の一人に選ばれ、国家薬品监督管理局の薬品審査専門家となった。97年より大学院生の指導も行っている。

貢献：当該研究者は日本との共同研究を継続しており、その研究は実効性があり、国内の当該専門分野の空白を埋めるものである。この10数年の間に、国内外で30数編の論文を発表している。

希望：笹川制度は、わが国の青年に海外研修によるレベルアップの機会を与えている。より多くの若者に海外留学機会を与え、人材養成を行って欲しい。

医学交流の将来：中日医学交流を通して互いに医学分野の難題を克服し、交流を堅持し、共に進歩したい。

進歩：①帰国後、国家自然科学基金の研究課題を1題担当し、良い成績を上げた。②教授に昇進した。③遺伝子治療の新薬を開発し、わが国で初めて中国FDAの承認を受けた。

進歩：外科教授であり、中華医学会全外科学会常務委員である。

貢献：研究成果により、省の表彰を受けた。

第2期

進歩：帰国後教授に昇進し、博士課程の教官となった。真菌に関する研究において顕著な成果が見られた。

貢献：真菌に関する研究を深め、多くの論文を発表した。

進歩：帰国後も留まることなく進歩を続けている。

貢献：当該研究者が日本で得た成果は、当センターに大きく貢献している。

進歩：既に当院を離れている。

進歩：①日本での研修中に教授となった。破格の昇進である。②九州大学で博士学位を取得した。③免疫研究室主任となった。

希望：特別研究者制度を継続して頂きたい。

第3期

進歩：①帰国後、教授・科主任に昇進した。②03年に国家中医薬管理局の「優秀中医臨床医師200人」プロジェクトに選ばれた。③中国中西医结合腫瘍治療委員会委員、省中医薬学会腫瘍分野委员会主任委員である。

希望：専門科の主任クラスが2週間～1か月程度の訪日研修を行い、日本医学の発展状況を学習し、中国の所属機関に持ち帰るようなプロジェクトが望まれる。

医学交流の将来：①中医学や東洋医学の交流を重視する。笹川医学研究者制度にあるべきプロジェクトと思う。②中西医结合分野の情報交流があるべき。

進歩：既に異動し、当院に在籍していない。

進歩：当該研究者は優秀である。98年に米国に研修留学し現在に至っている。

進歩：日本滞在中、国立がんセンターに於いて肺癌の臨床を3か月、P53遺伝子の研究を9か月間行い大きな収穫を得た。帰国後、国家科学技術研究基金を得、3つの研究課題を完成させ科学技術進歩奨を受賞した。現在、同基金の癌の遺伝子研究プロジェクトの一部を任されている。

貢献：帰国後一貫して、肺がんの遺伝子研究・放射線治療の研究をしている。

希望：①出来れば国際会議参加費用を助成していただきたい。②日本が資金を提供して、症例が多い中国に於いて共同研究を行えば成果が上がる。

医学交流の将来：両国共に関心のあるテーマで共同研究を行い、定期的に学術討論会を開催し、交流を促進する。

進歩：①教授に昇進し、遺伝学と発育生物学教室主任となり、博士課程の指導者となった。②教育部より「世紀を跨ぐ優秀人材」奨励金を獲得した。③国家自然科学基金の助成を得た。

貢献：(日本留学により) ①中国国内での研究基礎を固めた。②研究チームを組織する方法を学んだ。

希望：①本事業を拡大すると共に研究の深化も望みたい。②短期研修を随時申請できるとよいと思う。

医学交流の将来：両国共同で研究基金を設立し、共に関心あるテーマを共同研究する、例えばSARS等。

第4期

進歩：99年、学生工作部長2000年より大学院副院長となった。

貢献：帰国後も研究を継続し、学術面も徐々に整ってきている。

希望：日本滞在中の研修生への管理・配慮を強化していただきたい。

医学交流の将来：帰国笹川生間の学術交流を強化し、その基盤の上に、中日医学交流を促進する。

進歩：帰国後、アポトーシス、皮膚アレルギー疾患の研究に素晴らしい成果を取めた。教授に昇進した。

貢献：アレルギー疾患の研究を深め、治療においても成果を取めた。

医学交流の将来：より多くの交流の機会をご提供いただきたい。

進歩：①教授に昇進し、公共衛生学院副院長となった。②教育・研究面での活躍により、97年度「北京市優秀青年教師獎」を得た。

貢献：①日本で得たことを、帰国後業務に生かした。②日本での研究テーマを基礎とした申請により、国の研究助成金を獲得した。

希望：有意義であり、継続して頂きたい。

医学交流の将来：双方向の交流に移行していくことが望ましい。

進歩：帰国後、96年に省から米国に派遣され、01年に帰国した。現在中国科学院上海神経科学研究所で博士課程の指導を行っている。

第5期

希望：継続を希望します。日中医学協会と衛生部の中国人民に対する配慮に感謝します。

医学交流の将来：各分野に亘る協力事業を継続し、人類の健康と中日両国人民の友好に貢献することを希望します。

第6期

進歩：①中国国内では基礎医学、特に予防医学研究に重点を置くことが難しく、研究を進めるのに困難がある。②当該研究者は管理職としての業務が多く、研究の進捗に影響がある。

貢献：日本で学んだことを業務に役立て、撫順市の乳癌予防事業の立案実行等を行っている。

希望：①訪日前の準備を充実させる。研究者に日本での研修先と事前に多くの交流機会を持たせたい。②帰国笹川生に1～2年に1度、訪日して学術交流をする機会を与えたい。③笹川医学研究者制度事業の継続を希望する。

医学交流の将来：基礎医学交流の強化、特に予防医学方面でのアジア人共通の疾病に関する協力。

進歩：①日本で学んだ手術手技等を帰国後実践している。②胚移植技術を開発している。③研究への意識が高まり、臨床と共に研究にも力を入れている。④副院長・教授であり大学院生の指導も行っている。

貢献：①日本での研究テーマを継続・発展させ効果を上げている。②新しい仕事にも取り組んでいる。

希望：特別研究者制度は研究者に再度研究機会を与え、レベルを高め、帰国後の業務に応用することの出来る意義深い制度である。心から感謝する。

医学交流の将来：①日本で開催される専門学会に参加できれば、日本医学の新動態を知り、学術交流の機会も得られ、我々にとって大きな啓発となる。②もっと多くの専門雑誌が手に入ればありがたいのだが。

進歩：①当該研究者は帰国後、科学研究分野で国の特許を取った。②治療研究分野で大きな成果を上げ、悪性リンパ腫の薬物治療等により、国家科技部創新基金及び教育部留学人員奨励金より総額約 200 万元（2,600 万円）の研究助成金を得た。

貢献：婦人科疾病の総合治療に貢献している。

希望：より高度な共同研究への援助をお願いしたい。

医学交流の将来：条件の許す限り、より多く、多様な交流と合作を行いたい。

第 7 期

進歩：本学在籍中の仕事ぶりは大変真面目であった。現在は他大学に異動した。

進歩：①教授に昇進し、博士課程の指導も行っている。

貢献：帰国後、日本で得た先進知識と研究方法を用いて、多くの研究を行った。当院の科学研究分野に大きな貢献をしている。

希望：笹川医学研究者制度は両国の友好と学術交流促進に大きな貢献をしている。継続を希望します。

医学交流の将来：①中日国際学術会議を数多く開催する。②共同研究を促進する。

進歩：帰国後、日本で学んだ事を基礎に、良い成果を収めた。

貢献：一定の成果があった。

進歩：当該研究者は帰国後、北華大学に異動した。大変成長し積極的な仕事ぶりで大いに貢献した。現在外国で研修中である。

進歩：①帰国後、教授・熱傷科主任に昇進した。②省の自然科学基金を得た。③中華医学会熱傷外科分会常務委員である。

貢献：日本での研修により多くの啓示を得、成長することが出来た。当科に大きく貢献している。

希望：素晴らしい事業！継続を希望する。

進歩：①日本の口腔分野の新しい治療法・技術を身に付けた。②教授に昇進した。

貢献：①研究に関する発想が広がった。②臨床技術が向上した。

希望：2 回目の訪日研修により、臨床・研究とも一層進歩した。

医学交流の将来：中日医学交流の更なる発展を希望します。

進歩：当該研究者は帰国後積極的に教育・研究活動を行い、研究成果により省の表彰を受けた。教授に昇進した。

貢献：日本で学んだ研究方法を研究や大学院生の指導に役立て、大変貢献している。

希望：本事業を継続して頂きたい。

医学交流の将来：笹川医学研究者制度以外にも、多くの交流事業が行われることを希望する。

第 8 期

進歩：①国外の口腔分野の新技術・方法を知った。②先進的治療方法を学んだ。③国際交流の機会を持つことができた。④副教授・科主任に昇進した。

貢献：①研究に対する視野・発想が深まった。②臨床治療レベルが上がった。

希望：特別研究者制度による再来日研修は、第 1 回目の来日に比べて、多くの面で進歩が大きい。交流の連続性という意味でも意義がある。

医学交流の将来：交流を更に促進したい。

進歩：本学国際教育学院院長・教授である。全国レベルのリハビリテーション学会の会員であり、研究面でも良い成績を上げている。

貢献：帰国後、本学附属医院にリハビリテーション外来とリハビリテーション課程を設立し、自ら臨床・指導・研究に当たり、良い成果を上げている。

希望：①本学は既に多くの特別研究者を輩出し、また、毎年申請している。彼らは帰国後均しく良い成績を上げている。②中国は人口が多く、症例も多い、臨床研究において有利な条件を持っていると言える。本事業をぜひ継続し・強化して頂きたい。

医学交流の将来：中国は中医学発祥の地であり、中国人民の健康にも大きく貢献して来た。生活習慣病・老年病が増加している今日、中医学は世界的に注目されている。今後とも両国医学者は共に学び合作を強化していきたい。日本のリハビリテーション医学は世界をリードしている。中国の医療機関は日本と協力して、中国の人材養成を強化していきたい。

進歩：他機関に異動した。

貢献：日本では腎臓病の研究を行い、帰国後解放军総医院に異動した。

進歩：2001年に教授に昇進。その後、「国家科学技術進歩奨」を受賞した他、教育部・北京市の表彰を受けた。また、中国科学技術協会から「全国先進工作者」の称号も受けた。

貢献：①日本での研究により専門領域での視野・発想等が広がった。②学んだことを帰国後充分応用し、特に中医薬研究に於いて成果があった。

進歩：日本での研究テーマにより、国の助成金を受けた。

希望：再訪日は順調であったが、滞在期間を延長してもっと多くの論文を発表したかったようだ。

医学交流の将来：帰国人員への科研基金を設立し、中国或いは日本に於いて、より高度な研究を行いたい。

進歩：特別研究者修了後米国に渡り、当院に戻っていない。

第9期

進歩：帰国後2000年より、米国国立がんセンター（NCI）に留学し現在に至っている。

貢献：帰国後、引続き米国に留学したが、日本で研鑽をつんだことが米国での研究に役立っている。

希望：特別研究者制度はよい制度と考える。1回目に完成出来なかった課題を仕上げ、更に研究を深め、よりよい成果を得ることが出来る。また、帰国後の教育・研究の大きな助けとなる。

医学交流の将来：中日医学交流を長期に亘って継続し、より多くの青年医師に日本で学ぶ機会を与えて欲しい。

進歩：日本で学んだ臨床経験は、中国国内で応用した、周囲に指導する値打ちがある。しかし、設備等の問題により、効果が発揮されていない。

希望：本制度の継続を希望する。また、一回目の来日で研究が終えられなかった者には、特別研究者で再来日して、課題を完成する機会を与えたい。

医学交流の将来：笹川生同学会が学術交流会を組織し、新知識の交流を行いたい。

第10期

進歩：当該研究者は帰国後大きく進歩し、教授格に昇進した。

希望：継続して頂きたい。出来れば人数枠を増やして、より多くの中国医療人員が日本で学べるようにして欲しい。

医学交流の将来：日本側の長年に亘るわが国への支持に感謝の意を表します。本事業を継続し、派遣人数を増やし、より多くの中国医師が日本の先進医療を学び、共に人類に貢献出来るよう希望します。

進歩：当該研究者は帰国後日本で学んだ先進医療を当院に導入し活躍している。

貢献：当科の学術面・技術面（医療機器操作等）を改革し、速やかにレベルアップさせた。

希望：素晴らしいプロジェクトである。更に発展させ、帰国笹川生の科学研究を援助して頂きたい。

医学交流の将来：多方面の協力と、専門家の相互派遣により、わが国の医療水準を向上させたい。

進歩：中国国内と国外（日本）とは医療状況が異なり、学んだ知識をそのまま活かすのは難しい。

貢献：本院では当該研究者が学んだことを十分に活かす事が未だ出来ない。

希望：本制度は中国医学人材の養成に大きな功績を上げている。継続を希望します。

医学交流の将来：更に多くの奨学金制度を設立し、中日医学交流を促進したい。

進歩：①再訪日によって、一層進歩し、組織管理能力も高くなった。当院の重点分野である熱傷科の主任補佐となった。②中華熱傷学会設立20周年記念活動を組織し成功させた。

貢献：日本での研究テーマを帰国後も継続し、当院の臨床・研究に貢献している。

希望：特別研究者制度は、高度な専門家の養成に有益である。帰国笹川生に更に多くの援助と機会を与え、海外にいる指導責任者との密接な交流を継続させ、国際交流を上げたい。共同研究・短期訪日などにより、最新医療を掌握させ、科のリーダーを育成したい。

医学交流の将来：多種多様な合作交流を進めたい。

希望：更に3か月～半年間の短期研修プロジェクトがあればよい。

医学交流の将来：継続すべきで、様々な形式があって良い。

進歩：99年に国の科学工業委員会の進歩奨励賞と蘇州市科学技術進歩奨を受けた。

貢献：尿道下裂治療に良い成果を上げた。

希望：協力事業を促進させ、相互理解と人材養成・研修を盛んにしたい。

医学交流の将来：学術交流活動を更に活発にし、両国医療を発展させたい。

進歩：日本での研究を継続している。

進歩：①帰国後、教室のリーダー格となった。②冠動脈疾患の研究を行っている。

貢献：新たな研究課題の立ち上げや、研究助成金の申請など、教室を牽引し、積極的に活動している。

希望：帰国笹川生が、研究を継続するための一部費用を助成して頂きたい。

医学交流の将来：中日両国医学界の交流を促進する。特に特別研究者制度を継続して頂きたい。

貢献：①当センターの科学研究分野の責任者として、日本での研修成果を応用し、疾病予防の基礎研究分野で活躍している。②市の科学研究課題を担当したが、日本で学んだことが大いに役立った。③天津市の人材養成政策の重点対象者に選ばれている。

希望：中国医学界に於いては、研究人材はもとより予防医学分野の人材も不足している、今回のSARSの流行においてもそれは明らかである。一方日本ではSARSは一例も発生せず、これは日本の感染症予防の水準の高さを示している。笹川医学研究者制度においては予防医学分野の研究者を増加させて頂きたい。

第11期

進歩：帰国後間もないので判断しかねる。

貢献：日本で学んだ事が、教室での仕事の進展に有益であった。

希望：帰国した特別研究者への研究助成を希望する。

進歩：研究の発想方法や実験方法を学んだが、帰国後は十分に発揮されていない。

希望：本制度の継続を希望する。

進歩：未だ帰国していないので判断しかねる。

貢献：未だ帰国していないので、貢献はしていない。

進歩：当該研究者は帰国後エイズ、その他ウイルスの検出・研究業務に携わり、エイズウイルス及びデング熱ウイルスの分子生物学的研究を発展させようとしている。日本で学んだ最新の研究方法を業務に生かし、実験室のレベルアップに貢献している。

貢献：実験室の立ち上げ、機器・設備の設置、安全管理などに大変貢献しており、学術的にもリーダーと言える。

希望：①本事業を継続して頂きたい。②検疫及び輸出入食品の検査に関わる研究事業の設立を希望します。

医学交流の将来：①医学情報及び医学研究の進展。②中日医学学術交流会の開催。③共同研究の促進。

進歩：製剤分野の業務についているが、条件が整わず、日本での研究を生かしていない。

貢献：研究条件が不十分で日本で学んだことが未だ応用できていない。

希望：西部地区、特に西北地区の医学の発展を促進していただきたい。

医学交流の将来：日中医学協会が毎年代表団を組織し、日本の専門家が西北地区で学術交流をし、我々の地域の医療水準を向上させて欲しい。

進歩：日本で引続き勉強している。

進歩：①日本との共同研究を続けている。②院長補佐を務めている。

医学交流の将来：中日友好往来の長期にわたる継続を希望する。

進歩：当該研究者は、帰国後、当院心臓内科において次々と新しい仕事を展開し、進歩を加速させた。

日中笹川医学研究者制度の18年
－別冊－
－アンケート自由意見の記録－
2004年12月

発行 財団法人日中医学協会

理事長 森岡 恭彦

編集 日中笹川医学研究者制度検討委員会

委員長 杉本 恒明

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 11-2

第1 東英ビル

電話 03-3291-9161 FAX

03-3291-9164